

# 豊岡市公共施設白書

平成27年6月

豊岡市



# 目 次

はじめに	1
------	---

第1章 豊岡市の概況・特性	2
---------------	---

1-1. 豊岡市の概況	2
1-2. 人口・世帯等の推移及び見通し	4
1-3. 財政の状況	10
1-4. まちづくりの方向性	13

第2章 公共施設の概要	16
-------------	----

2-1. 白書の対象施設	16
2-2. 公共施設の概要	20

第3章 施設分類別の公共施設の状況	25
-------------------	----

3-1. データ及び各種指標について	25
3-2. 各分類別の施設の状況	27

第4章 建替え・改修費用の試算	139
-----------------	-----

4-1. 試算の考え方について	139
4-2. 試算結果について	140

第5章 公共施設等の課題	141
--------------	-----

5-1. 現状からみた課題の整理	141
------------------	-----

参考資料	145
------	-----

## 本白書の掲載データについての留意事項等

- 本書で使用している数値や金額等のデータは、各施設を所管する部署へアンケート調査を行い、得られた回答をもとに財政課で取りまとめ作成しています。今後、継続的にデータを蓄積・精査していく中で、各種データについては修正する可能性があります。
- 特に説明がないものは平成 26 年 4 月 1 日時点を基準としています。
- 端数処理の関係で、図表等において個々の数値の合計が一致しない場合があります。
- 複合施設（同一の建物に複数の施設が併設）で個別に検討が必要と考えられる場合は、それぞれの施設を個別に対象施設とします。
- 複合施設や併設施設（同一の敷地内に複数の用途の異なる建物がある施設）などで、施設全体で管理・把握している数値や金額等のデータがある場合には、より施設の実態に近づけるため、それぞれの施設の延床面積等で按分処理している場合があります。

# はじめに

わが国では、戦後長期間にわたり右肩上がりの経済成長を遂げてきましたが、これに伴う都市化の流れの中で、人口や世帯数も増加を続けてきました。これにあわせて、地方公共団体では学校や公営住宅、道路や公園等の公共施設の整備に積極的に取り組んできました。

しかし、バブル崩壊から今日まで続く経済の低迷、人口減少・超高齢社会の到来など社会状況の変化に伴い、既存の公共施設の利用需要や公共施設が担うべき役割・機能が変化しており、これらに対応した新たな公共施設のあり方を検討する時期にきています。

国においても、公共施設を総合的かつ計画的に管理することが地域のまちづくりを進める上で不可欠であるとの認識から、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、平成 26 年 4 月にはその行動計画である「公共施設等総合管理計画」の策定を地方公共団体に要請するなど、公共施設を適切にマネジメントするための取り組みを推進することが全国的な流れとなってきています。

本市では、574 施設、総延床面積約 48.7 万㎡（平成 26 年 4 月 1 日現在／インフラ系施設等は除く）の公共施設を保有しています。これらの施設は先人たちが築き上げてきた市民共有の財産であり、市民の日常的な暮らしを支え、地域におけるコミュニティ活動の拠点となる施設として大きな役割を果たしてきました。

しかしながら、それらの多くは、高度経済成長期以降の行政需要の増大に伴い整備され、特に昭和 50 年代後半からその多くが整備されており、本市においても、既に老朽化が進行している施設があります。また、将来的には多くの公共施設が改修や建替え時期を迎えることで、多額の財政負担を伴うことが予測されます。

とりわけ本市では、平成 17 年の市町合併に伴い、旧市町時代に整備された用途や目的が重複している公共施設が多く存在しています。旧市町時代には、それぞれが独立した自治体として必要な公共施設を整備してきた経緯もありますが、旧市町から引き継いだ施設の総合的な調整を含めた公共施設のあり方の見直しが必要となっています。

この白書は、本市における公共施設の現状・動向等について、市民の皆さまと情報を共有することを目的として作成したもので、今後の公共施設のあり方について、市民の皆さまと本市が協働で検討を進める際の基礎資料とするものです。

# 第1章 豊岡市の概況・特性

## 1-1. 豊岡市の概況

### 1) 地勢

#### ①位置

本市は、兵庫県北部の「但馬地域」に位置しており、地域の中心都市となっています。市域の南側は兵庫県朝来市・養父市に、西側は兵庫県香美町に、東側は京都府にそれぞれ隣接しており、北側には日本海が広がっています。

京阪神からは、JR山陰本線や北近畿豊岡自動車道等を利用して約2時間で結ばれ、京阪神大都市圏と山陰地方を結ぶ交通の要所となっています。

図1-1-1 豊岡市の位置と他都市からの距離



出典：豊岡市都市計画マスタープラン

## ②規 模

市域は、東西が約 39km、南北が約 32km であり、総面積は約 698k m<sup>2</sup>となっています。  
平成 17 年（2005 年）に、兵庫県北東部の 1 市 5 町が合併したことにより、県内で最も面積が広い行政区域となりました。（県全体の約 8%）

## ③自 然

市域の 8 割が山林で、中央には豊岡盆地が広がり、円山川が日本海へ流れ込んでいます。南側の中国山地東端から北側の日本海へと標高は下がり、最高地点は蘇武岳となっています。  
海岸部は山陰海岸国立公園に、山岳部は氷ノ山後山那岐山国立公園に指定されています。  
気候は日本海型気候であり、寒暖の差が大きく夏は猛暑で冬は大雪になることが多くあります。

## 2) 発 展

（出典：豊岡市市勢要覧「とよおか豆辞典（2014 年度版）」）

### ①歴 史

現在の豊岡市中央部一帯は、伝説によると朝鮮半島の新羅から渡来した天日槍あめのひぼこが岩山を切り開き、入江湖だった場所を干拓して耕地にした地域だといわれています。

古くから旧国名である但馬国の中心部を形成し、奈良・平安時代には、国の役所「国府」や国ごとに建立された官寺「国分寺」「国分尼寺」が設置されました。

室町時代には、幕府の重鎮で「六分一殿ろくぶんいちどの」と呼ばれた山名氏の本拠地として出石に此隅山城このすみやまじょうが築かれ、戦国時代には、有子山城ありこやまじょうに移されました。

江戸時代になると、出石には出石城が築かれ、また、豊岡にも京極藩の陣屋が置かれ、共に栄えました。

### ②成り立ち

明治 4 年の廃藩置県、府県改置を経て、但馬、丹後および丹波の一部を管轄する豊岡県が設置されました。明治 9 年、豊岡県は廃止され、兵庫県に併合されました（うち丹後全域と丹波 1 郡は京都府に併合）。

その後、時代の進展とともに市町村も合併など変遷をたどりまし。平成 17 年（2005 年）4 月 1 日には、兵庫県北東部の 1 市 5 町（豊岡市、城崎町、竹野町、日高町、出石町、但東町）が合併して、現在の豊岡市になりました。

## 1-2. 人口・世帯等の推移及び見通し

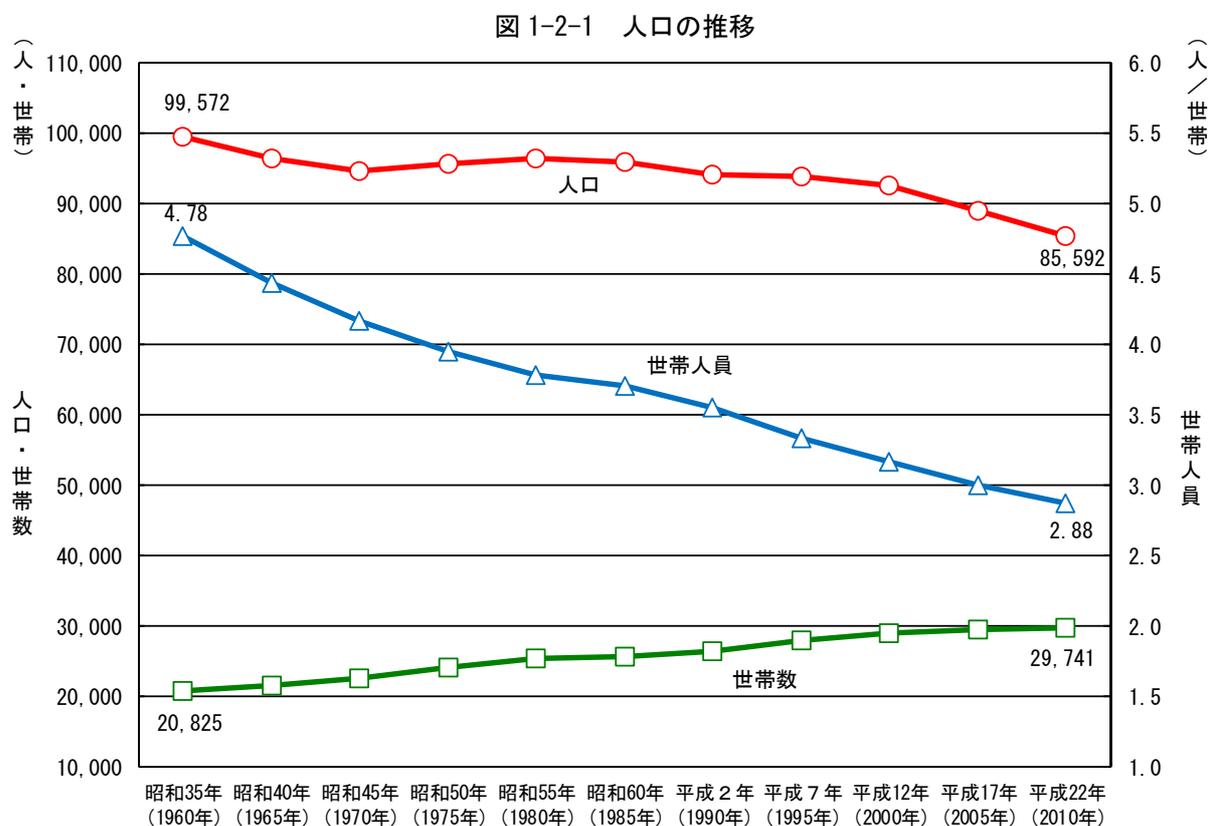
### 1) 人口動向

#### ①人口・世帯数・一世帯あたり人員

国勢調査（実施年 10 月 1 日現在）によると、本市の人口は、昭和 35 年の 99,572 人をピークに減少が始まり、昭和 50 年代にいったん増加傾向に転じたものの、その後は一貫して減少を続けており、平成 22 年で 85,592 人とピーク時の 86%まで減少しています。

この間、世帯数は一貫して増加を続けており、昭和 35 年の 20,825 世帯から平成 22 年には 29,741 世帯と 50 年間で約 1.4 倍に増加しています。

核家族や単独世帯など小規模な世帯が増加しているため、一世帯あたり的人员は一貫して減少を続けており、昭和 35 年の 4.8 人から平成 22 年には 2.9 人と 50 年間で 2 人近く減少しています。



資料：国勢調査

#### ②年齢構成

5 歳階級別の人口をみると、男女ともに 30 歳未満が減少し 60 歳以上が増加する傾向がみられますが、中堅層である 30~44 歳についてはこの 10 年間で若干増加しています。男女とも高齢化が進行しており、特に 65 歳以上では女性の占める割合が高くなっています。

年齢 3 区分別の人口構成比をみると、年少人口（15 歳未満）や生産年齢人口（15~64 歳）の割合が一貫して減少し、老年人口（65 歳以上）の割合が急激に増加しており、着実に少子高齢化が進んでいます。平成 22 年における高齢化率（＝老年人口の割合）は 28.2%で、兵庫県（23.1%）や全国（23.0%）の平均を約 5 ポイントも上回っています。

図 1-2-2 男女別・5歳階級別人口の推移

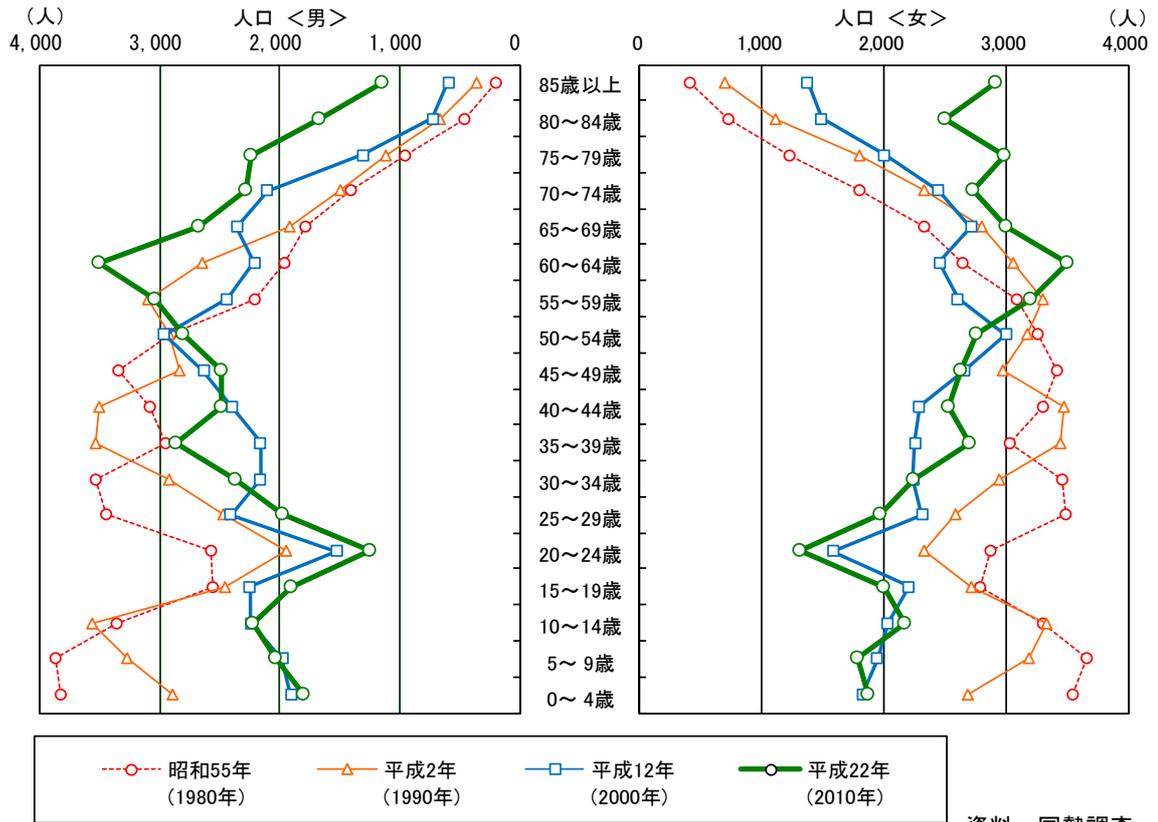
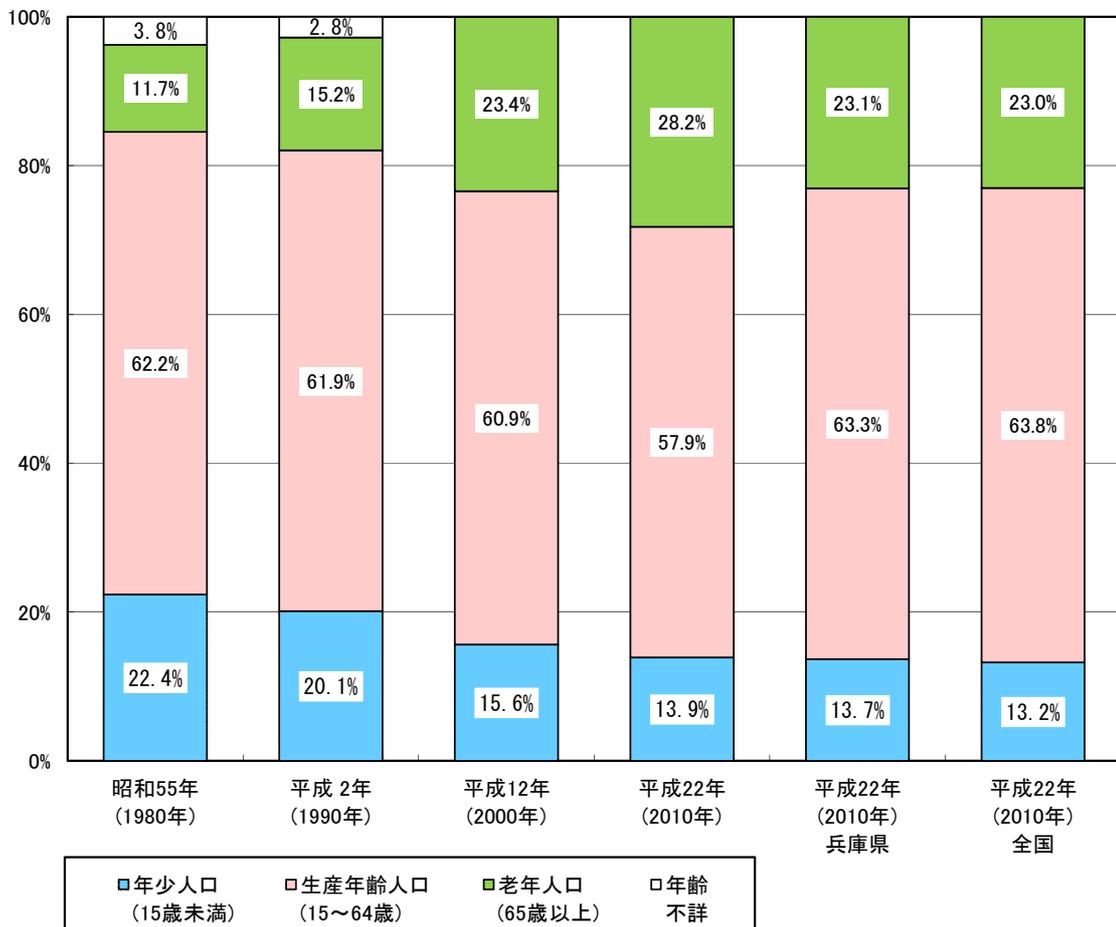


図 1-2-3 年齢3区分別人口構成比の推移



注：小数点以下第2位を四捨五入して割合を算出しているため、合計が100%にならない。 資料：国勢調査

### ③地域別人口（旧市町別人口）

豊岡地域の人口は、昭和60年まで増加を続け、その後も横ばいで推移していましたが、平成12年から22年の10年間で2,710人（5.7%）も減少しています。他の地域においても減少傾向がみられますが、城崎地域、竹野地域、但東地域については、この10年間で十数%（13.0～17.3%）と急激に人口が減少しています。

昭和55年と平成22年の年齢3区分別人口構成比を比較すると、いずれも年少人口と生産年齢人口の割合が減少し老年人口の割合が増加しており、着実に少子高齢化が進行しています。特に、人口減少率の高い城崎地域、竹野地域、但東地域では、平成22年における高齢化率が3割を超えており（それぞれ34.7%、33.7%、37.8%）、住民の3人に1人が高齢者という本格的な高齢化社会を迎えています。

図 1-2-4 地域別人口の推移

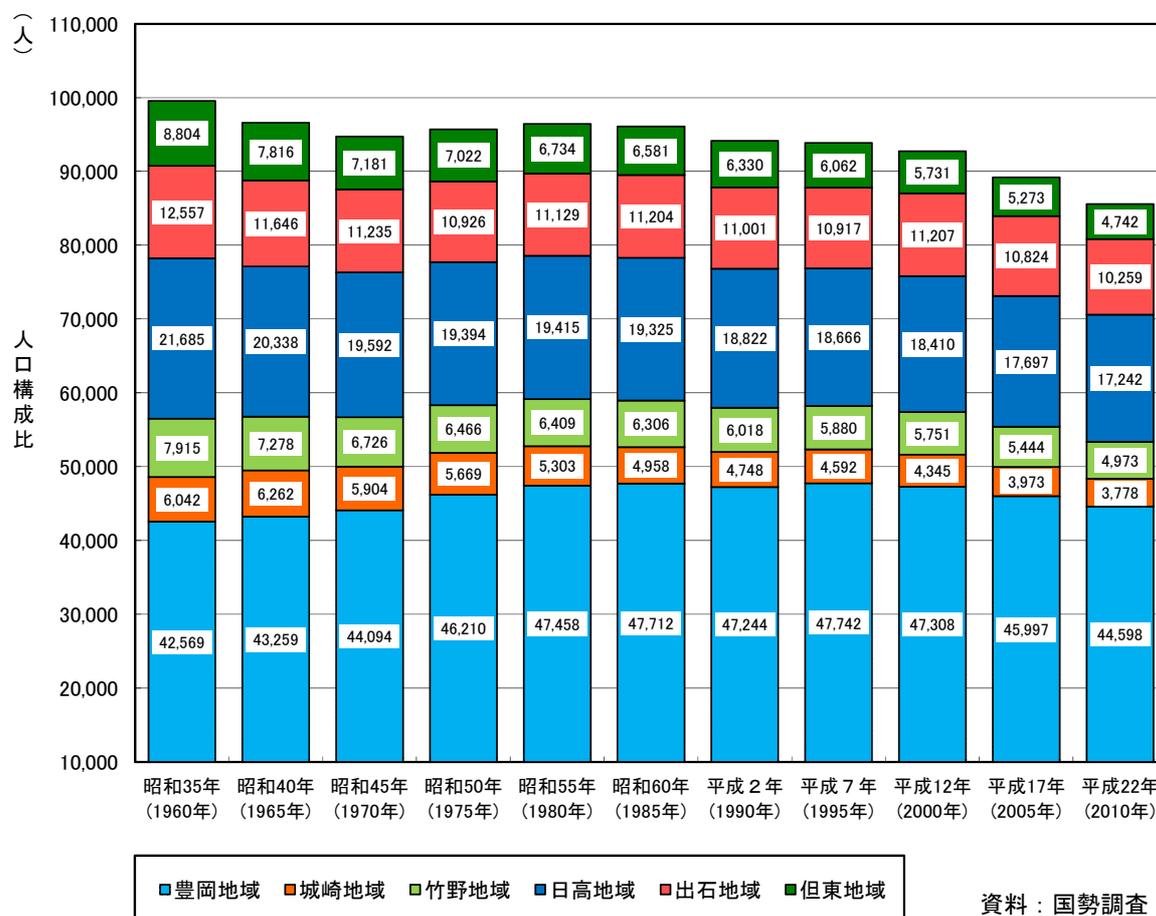


図 1-2-5 地域別人口増加指数の推移

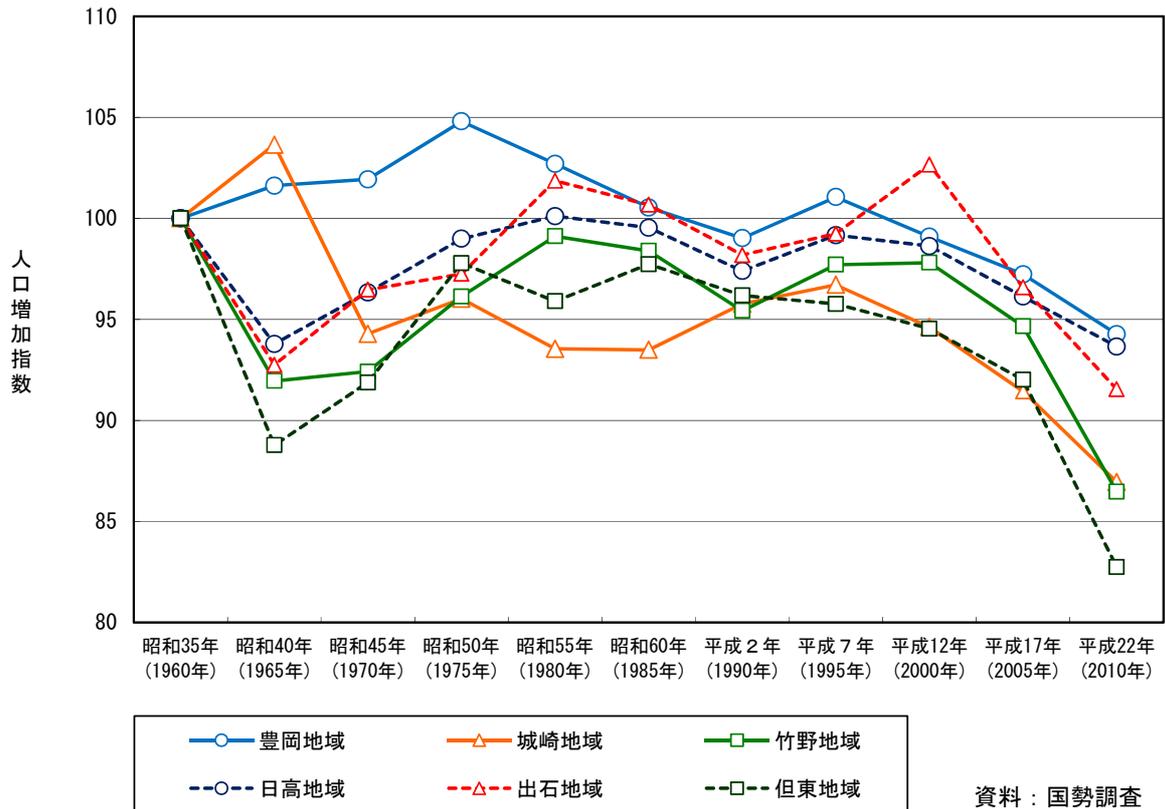
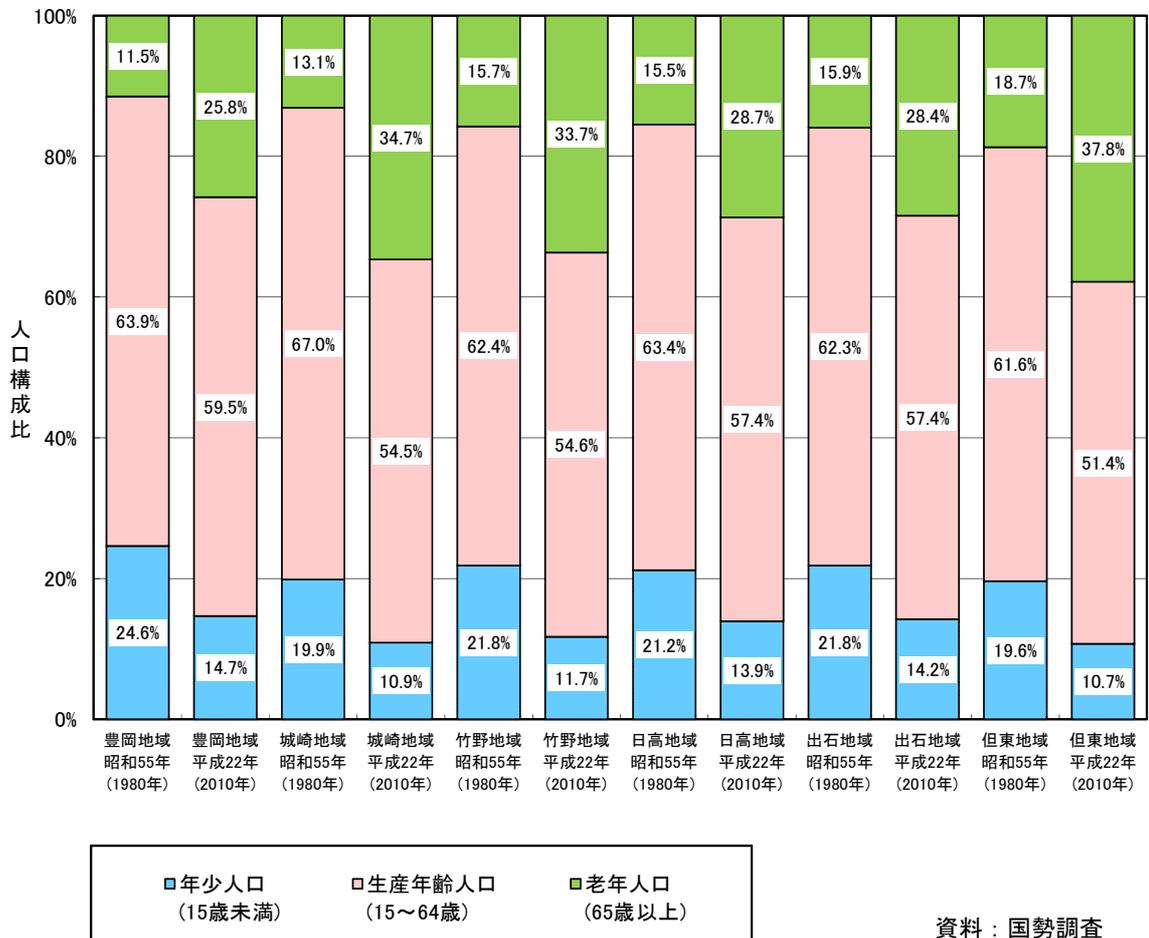


図 1-2-6 地域別人口増加指数の推移



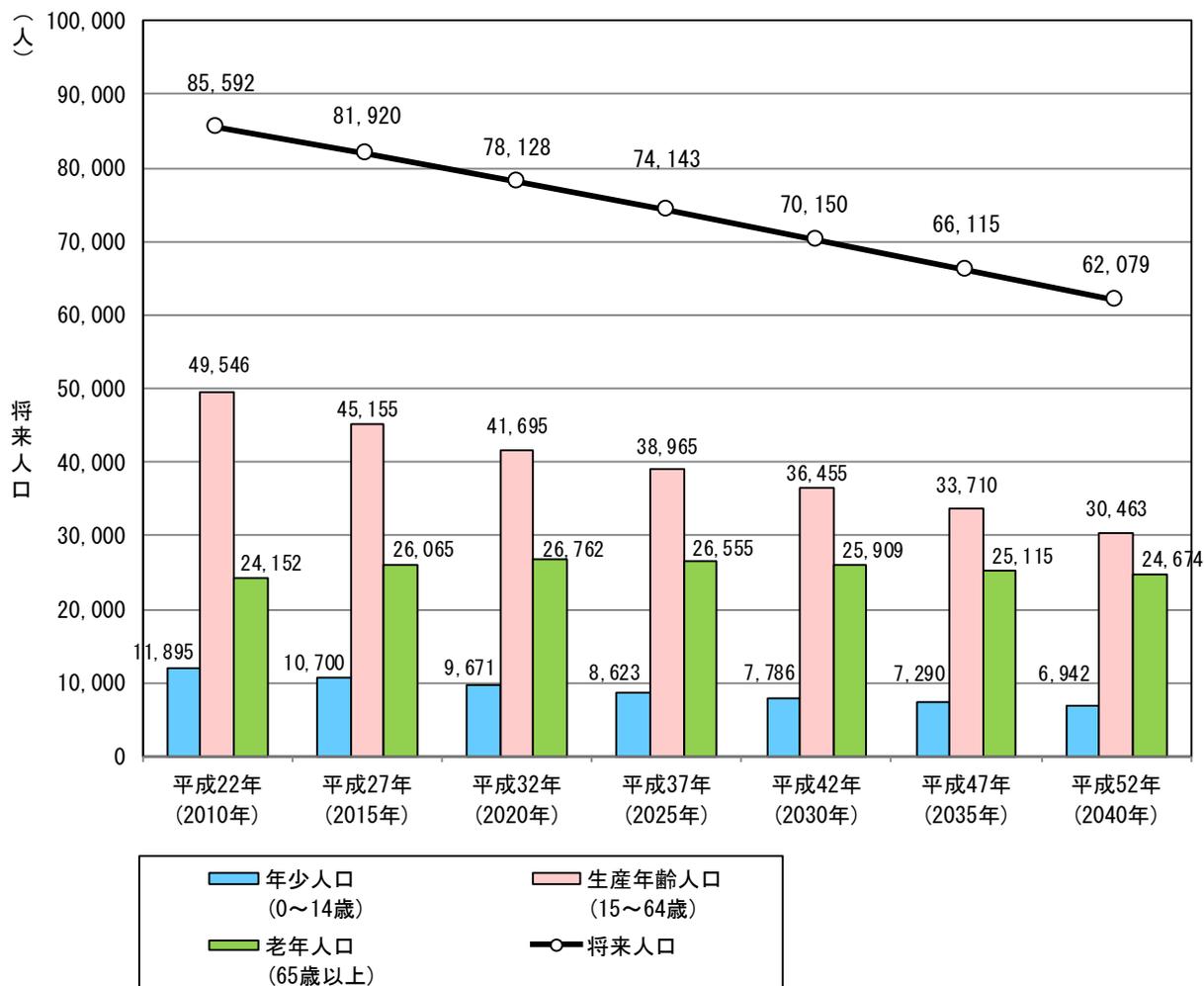
注：小数点以下第2位を四捨五入して割合を算出しているため、合計が100%にならない。

## 2) 将来人口

### ①人口

社会保障・人口問題研究所の推計（平成25年3月）によると、本市の将来人口は今後急激に減少を続け、平成52年には62,079人となり、平成22年（85,592人）からの30年間で約23,500人（27%）も減少すると予測されています。

図 1-2-7 年齢3区分別将来人口の推移



注：平成22年は実績値であり総数には年齢不詳を含む。平成27年以降は推計値。

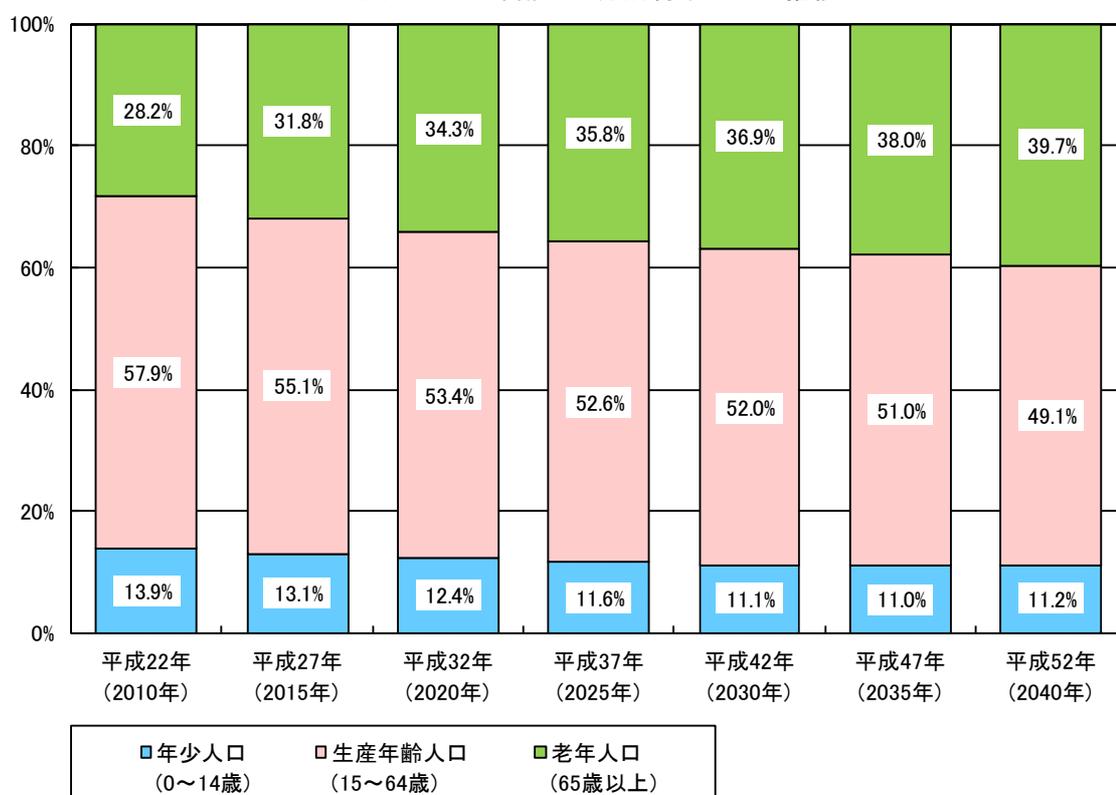
資料：社会保障・人口問題研究所

## ②年齢構成

年齢3区分別の将来人口をみると、年少人口及び生産年齢人口は一貫して減少を続け、平成52年には生産年齢人口が老年人口に近づくと予測されています。また、老年人口は、平成32年まで増加したのち減少に転じ、平成52年まで減少を続けると予測されています。

年齢3区分別の将来人口構成比をみると、年少人口の割合は平成42年以降に横ばいとなりますが、生産年齢人口の割合は一貫して減少し、その一方で老年人口の割合が増加すると予測されています。平成52年における高齢化率は39.7%で、2.5人に1人が高齢者となる社会が到来すると予測されています。

図 1-2-8 年齢3区分別将来人口の推移



注：小数点以下第2位を四捨五入して割合を算出しているため、合計が100%にならない。

資料：社会保障・人口問題研究所

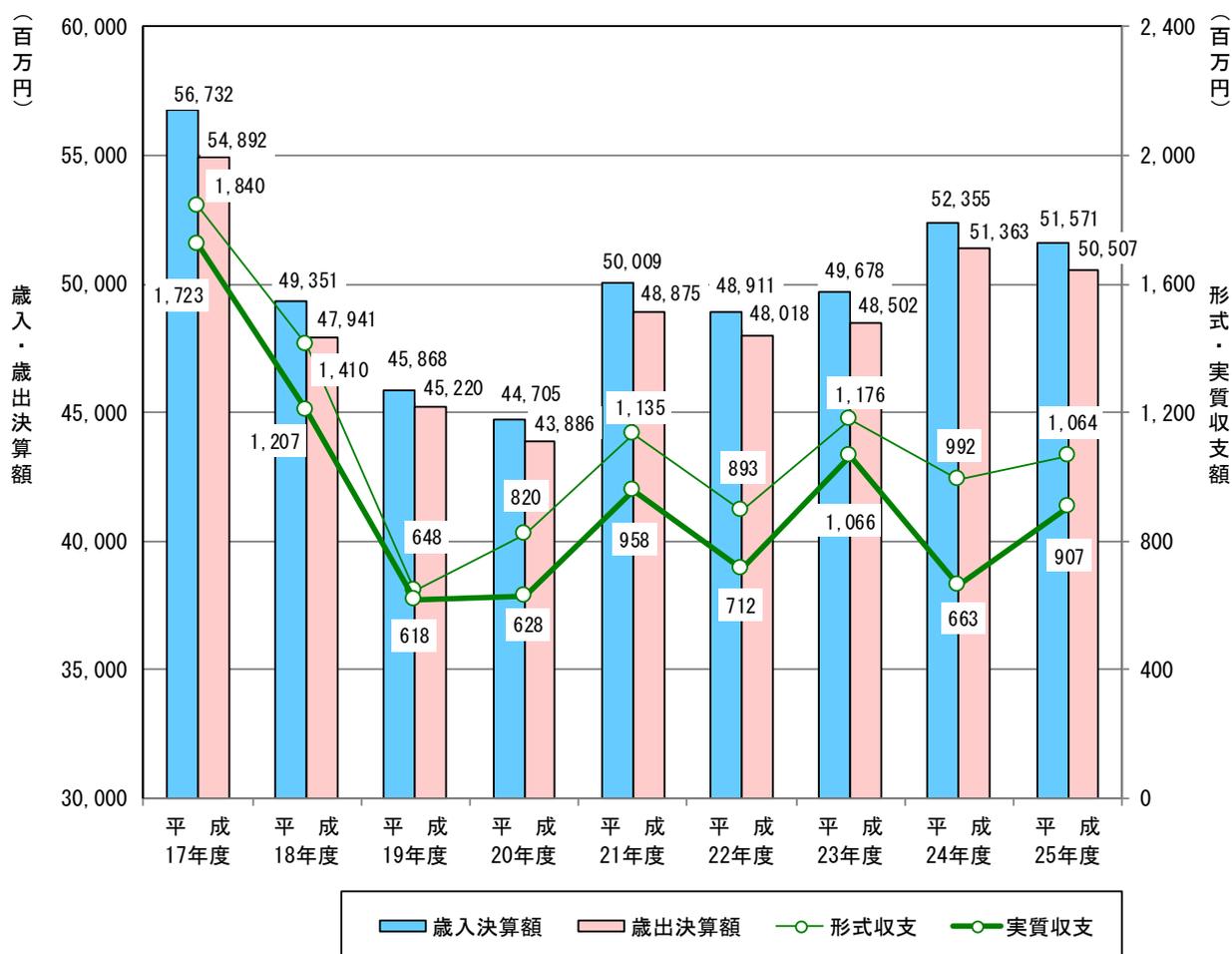
## 1-3. 財政の状況

### 1) 一般会計決算額

#### ①実質収支

市町合併後の決算額について、形式収支から次年度への繰り越し額を差し引いた実質収支は、平成17年度の約17億円から平成19年度と平成20年度には約6億円まで落ち込んだものの、その後は約7~11億円の間に増減を繰り返しており、合併後は黒字を維持し続けています。

図1-3-1 一般会計決算額の推移



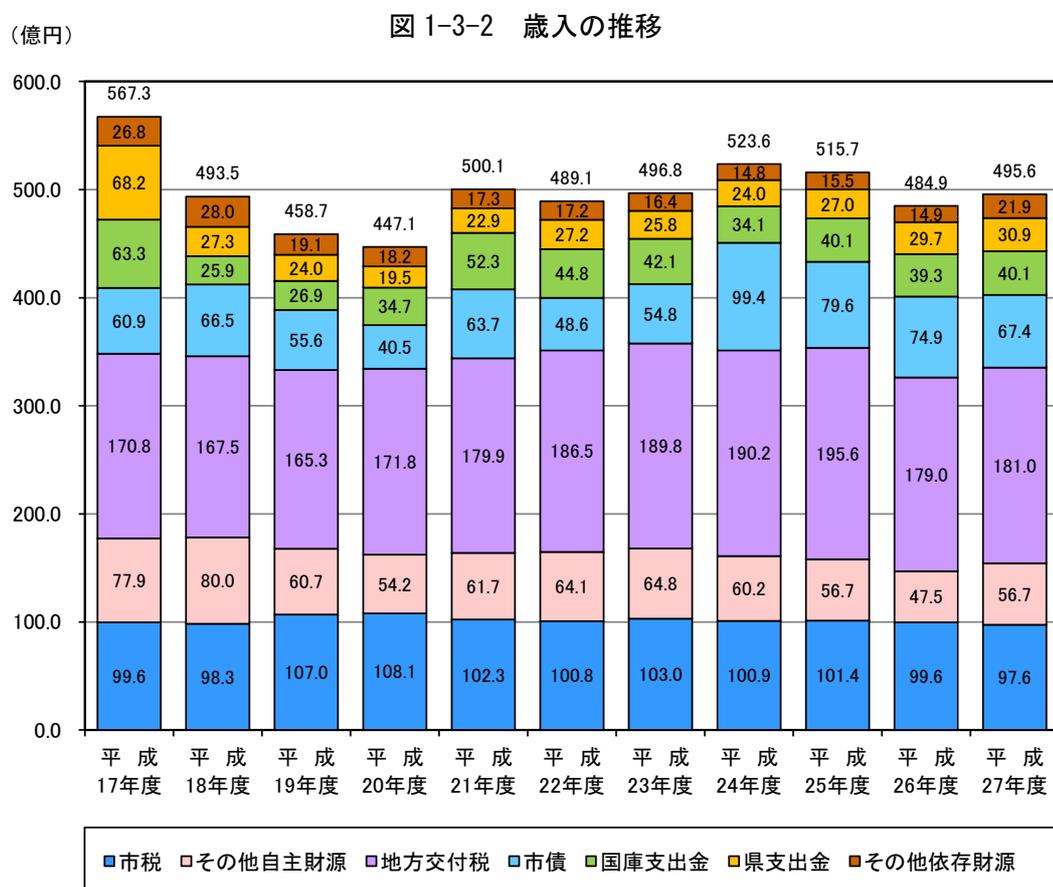
資料：財政課

## ②歳入

歳入は、平成17年度の約570億円から平成20年度には約450億円まで減少したものの、その後、再び増加に転じ、ここ数年は約500億円程度で推移しています。

歳入の内訳をみると、本市の歳入は地方交付税、市債等に依存しており、非常に脆弱な構造となっていることがわかります。

市税等の自主財源は平成18年度をピークに減少傾向にあり、平成27年度（当初予算）は約154億円と歳入の約31%にとどまっています。生産年齢人口の減少等により、市税収入の大幅な増加が見込めないことに加え、市町合併により特別な方法で算定されてきた普通交付税が平成28年度から段階的に縮減される見込であることから、本市の財政運営は非常に厳しくなるものと推測されます。



注：小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計があわない。

注：平成26年度、27年度はいずれも当初予算

資料：豊岡市財政課

### ③歳出

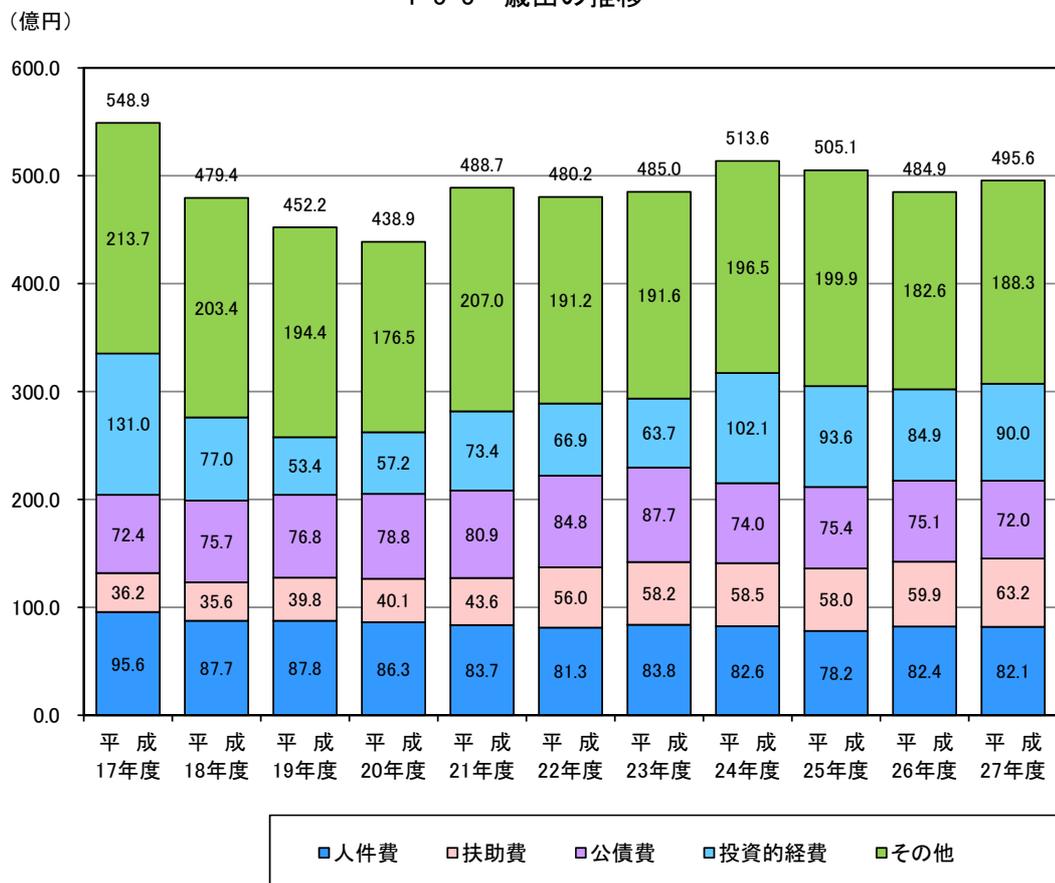
歳出は、平成17年度の約550億円から平成20年度には約440億円まで減少したものの、その後、再び増加に転じ、平成21年度から25年度までの5年間は約480～510億円の間に推移しています。

歳出の内訳をみると、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）は約200～230億円の間に推移しており、平成25年度歳出額の約42%を占めています。そのうち、人件費は、職員数の減少等により約96億円から約82億円へと減少していますが、扶助費は、生活保護費や自立支援費、児童手当等の増加に伴い約36億円から63億円へと大幅に増加しています。公債費は、約72～88億円の間に増減を繰り返しながら推移しています。

また、投資的経費（普通建設事業費、災害復旧事業費）は、約50～130億円の間に推移しており、平成25年度歳出額の約19%を占めています。そのうち、普通建設事業費は、平成17年度から平成23年度にかけて約52～71億円の間に推移していましたが、平成24年度と平成25年度の2年間は新庁舎の建設等に伴い100億円前後まで増加しています。災害復旧事業費は、平成16年の台風23号による風水害への復旧事業が行われた平成17年度の支出が約62億円と特化していますが、他の年度はほとんど支出していません。

なお、近年の投資的経費は合併特例債の活用等による影響が大きく、平成26年度決算見込では12.4億円の一般財源で73.6億円の事業が実施できましたが、合併特例期間が終了する平成33年度には8.8億円の一般財源で25.7億円の事業しか実施できないと推測されます。

1-3-3 歳出の推移



注：小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計があわない。

注：平成26年度、27年度はいずれも当初予算

資料：豊岡市財政課

## 1-4. まちづくりの方向性

### 1) まちづくりの方向性 —豊岡市総合計画—

#### ①めざすまちの将来像

○こうのとりの悠々と舞う ふるさと

- ・人々が四季の移り変わりの中で安心と懐かしさ、地域への深い愛着を感じるまち
- ・自然や歴史、伝統や文化を大切にし、穏やかさと安らぎに満ちた持続可能なまち
- ・人々が大きい夢と希望を抱きながら活躍し、元気と賑わいがあふれるまち

#### ②将来像実現のためのテーマ

○安全と安心を築く

- ・自然との適合
- ・交流の促進
- ・コミュニティの活性化
- ・保健・医療・福祉の連携

○地域経済を元気にする

- ・環境経済戦略の推進
- ・交流による活性化
- ・内発的発展
- ・基盤の整備

○人と文化を育てる

- ・子育て支援・教育
- ・生涯学習の推進
- ・ふるさとの創造
- ・伝統の尊重・革新

#### ③将来像実現のための進め方

○豊岡モデルの展開

- ・まちの資源を活かし、多様な分野の取組みが有機的に連携するプログラムの創造

○参画と協働

- ・まちづくりに関する課題の共有・情報の提供、市民が活動・活躍できる環境づくり

○特色ある地域の成長と連携

- ・豊岡地域
- ・竹野地域
- ・出石地域
- ・城崎地域
- ・日高地域
- ・但東地域

#### ④まちのフレーム

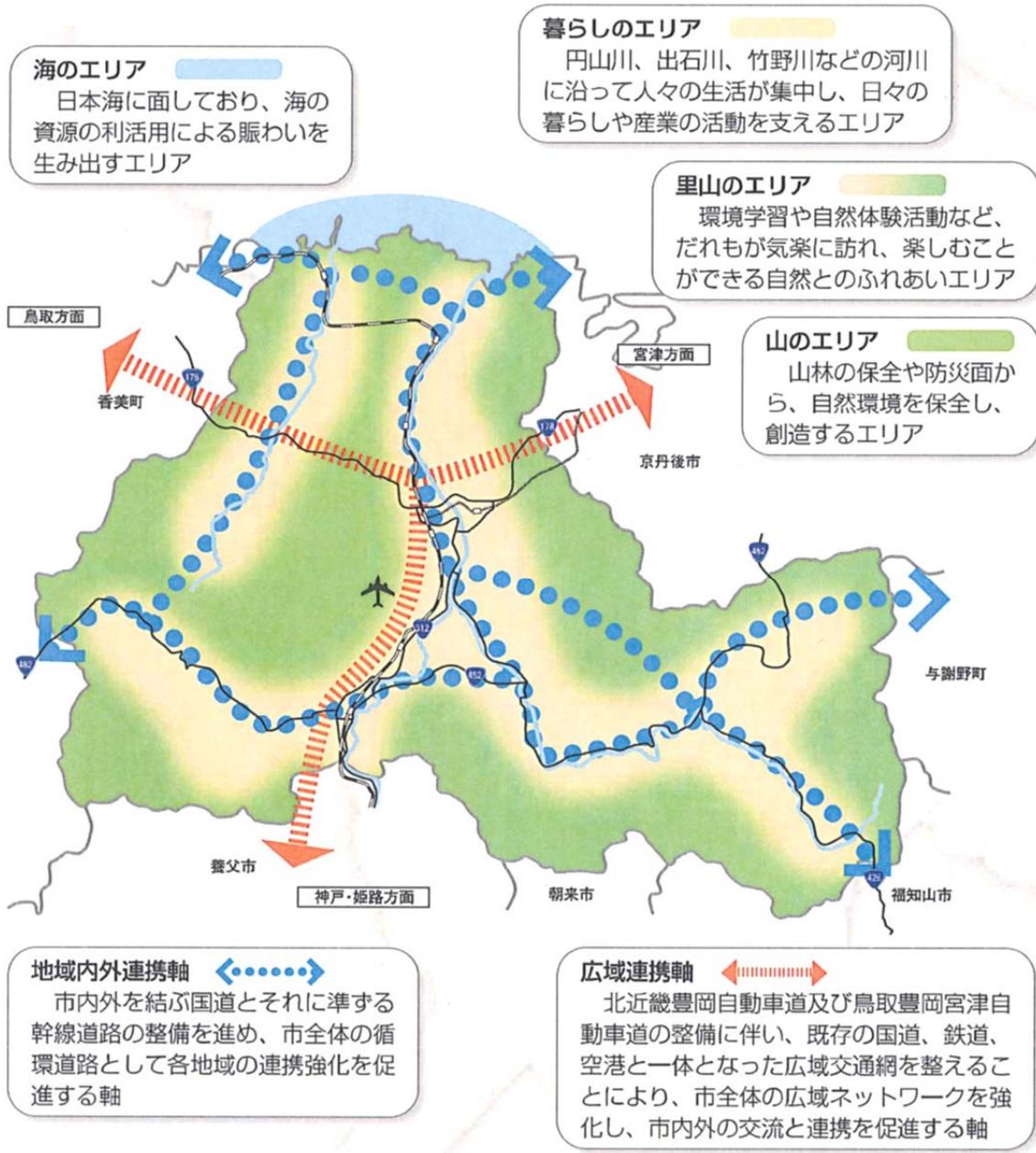
○将来人口

- ・平成28年(2016年)の定住人口を90,000人、交流人口を600万人と設定

○まちの構造

- ・エリア：日々の暮らしや産業、賑わい、自然環境等を支えていく面的な広がり  
海エリア、暮らしのエリア、里山のエリア、山のエリア
- ・連携軸：市内外及び地域内外を有機的に結びつける軸  
広域連携軸、地域内外連携軸

図 1-4-1 豊岡市のまちの構造図



出典：豊岡市総合計画

## 2) まちづくりの基本方針 —豊岡市都市計画マスタープラン—

### ①豊かな自然と景観の保全・創造

○環境の保全と創造を機軸としたまちづくりを推進

- ・ 田園環境創造区域：川沿いに広がる農地や集落地
- ・ 山林・里山保全区域：緑豊かな山林や里山
- ・ 自然交流区域：スキー場として親しまれている高原
- ・ 海岸保全区域：海水浴場として親しまれている海岸部

### ②多核分散型の集約拠点の形成

○地域特性に応じた拠点集約型の都市構造を形成

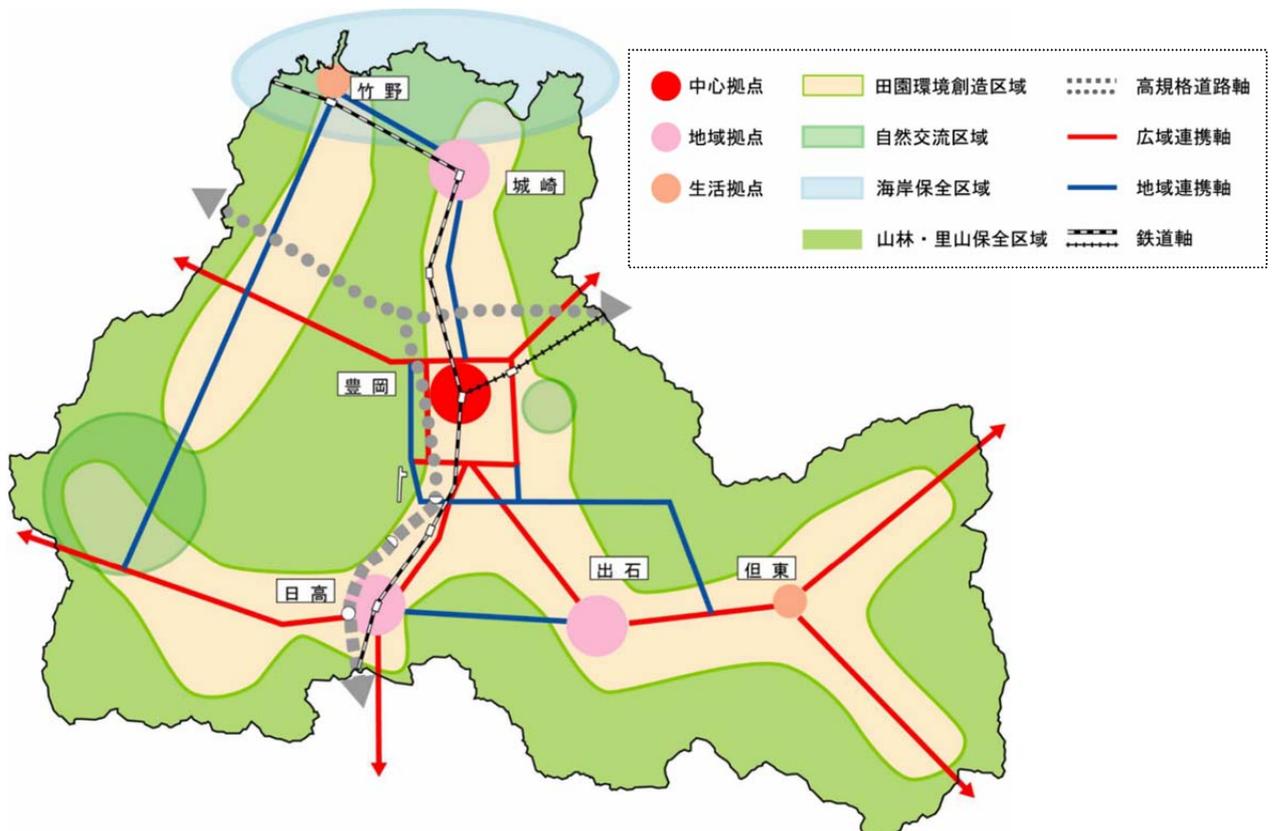
- ・ 中心拠点：豊岡地域
- ・ 地域拠点：城崎地域、日高地域、出石地域
- ・ 生活拠点：但東地域

### ③公共交通等を軸とした交通ネットワークの形成

○誰もが安全・快適に利用できる公共交通を中心としたネットワークを形成

- ・ 高規格道路軸：高速道路（有料道路）
- ・ 広域軸連携：市内外を結ぶ国道等
- ・ 地域連携軸：地域間を結ぶ市道等

図 1-4-2 まちづくり方針図



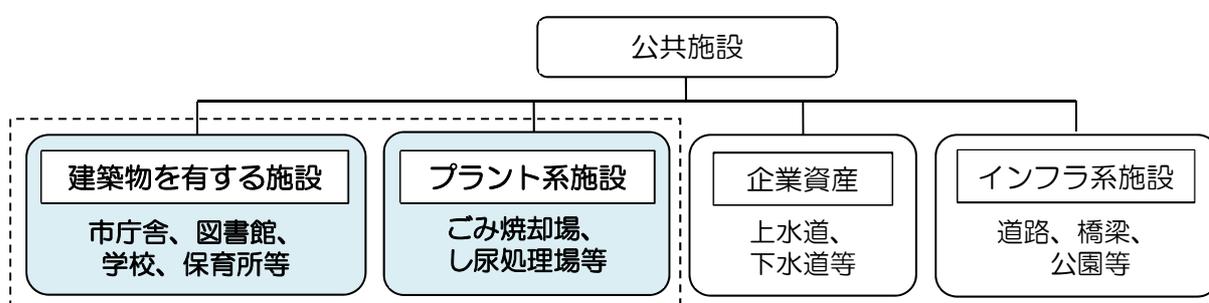
## 第2章 公共施設の概要

### 2-1. 白書の対象施設

#### 1) 対象となる公共施設の条件

豊岡市が保有または使用している公共施設のうち、企業資産（上水道、下水道等の公営企業が保有している資産）及びインフラ系施設（道路、橋梁、公園等の社会基盤となる施設）を除いた建築物を有する施設（いわゆる『ハコモノ』）を、公共施設白書に掲載する「公共施設」とします。

図 2-1-1 公共施設白書に掲載する公共施設の条件



※企業資産及びインフラ系施設であっても、これらに属する建築物を有する施設については、公共施設白書に掲載する公共施設とします

#### 2) 白書に掲載する公共施設

公共施設白書に掲載する公共施設は、次頁の一覧表のとおり 574 施設（平成 26 年 4 月 1 日現在）あり、延床面積は約 48.7 万㎡となっています。

施設の分類については、総務省の「公共施設更新費用試算ソフト」で用いられている施設分類を基準として用途別に分類しており、本章及び第 3 章ではこの分類に基づいて各公共施設の状況を掲載しています。

表 2-1-1 公共施設白書に掲載する施設（平成 26 年 4 月 1 日現在）

大分類	中分類	主な施設	施設数	構成比		延床面積	構成比	
01行政系施設	01庁舎	市役所、庁舎	6件	1.0%	16.7%	25,885㎡	5.3%	7.5%
	02その他行政系施設	防災センター、市議会議場、豊岡稽古堂	5件	0.9%		2,767㎡	0.6%	
	03消防施設	消防本部、消防署、分署	6件	1.0%		4,104㎡	0.8%	
	04消防車庫・詰所	消防団車庫・詰所	58件	10.1%		2,867㎡	0.6%	
	05防災資機材庫	防災資機材備蓄庫、防災倉庫	7件	1.2%		471㎡	0.1%	
	06水防倉庫	水防倉庫	14件	2.4%		339㎡	0.1%	
02市民文化系施設	01公民館	地区公民館	30件	5.2%	14.8%	19,716㎡	4.1%	9.2%
	02集会施設	集会所、生活支援センター	49件	8.5%		8,867㎡	1.8%	
	03文化施設	市民プラザ、市民会館、文化会館	6件	1.0%		16,196㎡	3.3%	
03社会教育系施設	01図書館	図書館、図書館分室	6件	1.0%	4.4%	4,467㎡	0.9%	3.6%
	02博物館・資料館	美術館、コウノトリ文化館、歴史資料館	17件	3.0%		13,031㎡	2.7%	
	03社会教育系施設	野鳥観察棟、出石辰鼓楼、長屋門	2件	0.3%		164㎡	0.0%	
04保健・福祉施設	01健康福祉施設	健康福祉センター	8件	1.4%	2.6%	19,409㎡	4.0%	4.6%
	02高齢福祉施設	老人福祉センター、長寿園	2件	0.3%		1,820㎡	0.4%	
	03障害福祉施設	共同作業所、通所作業所	3件	0.5%		536㎡	0.1%	
	04その他福祉施設	隣保館	2件	0.3%		571㎡	0.1%	
05医療施設	01医療施設	診療所	6件	1.0%	1.0%	2,812㎡	0.6%	0.6%
06スポーツ・レクリエーション施設	01観光センター	まちなか交流館、まちなかステーション	4件	0.7%	7.7%	2,322㎡	0.5%	9.0%
	02スポーツ施設	体育館、スポーツセンター、健康増進センター	24件	4.2%		29,532㎡	6.1%	
	03レクリエーション施設	野外活動施設、自然ふれあいセンター	10件	1.7%		6,899㎡	1.4%	
	04温泉施設	ゆとりぎ、福寿の湯、乙女の湯	6件	1.0%		5,198㎡	1.1%	
07産業系施設	01産業系施設	農産物加工場、農産物直売所	14件	2.4%	2.8%	4,634㎡	1.0%	1.0%
	02環境関連施設	ソーラーPR館、エコハウス	2件	0.3%		205㎡	0.0%	
08学校教育系施設	01中学校	中学校	10件	1.7%	7.7%	66,643㎡	13.7%	39.1%
	02小学校	小学校	29件	5.1%		118,507㎡	24.4%	
	03給食センター	給食センター	5件	0.9%		5,114㎡	1.1%	
09子育て支援施設	01幼稚園	幼稚園	16件	2.8%	10.3%	8,184㎡	1.7%	4.0%
	02保育園	保育園	4件	0.7%		2,319㎡	0.5%	
	03こども園	こども園	6件	1.0%		5,201㎡	1.1%	
	04放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	28件	4.9%		1,841㎡	0.4%	
	05その他子育て支援施設	子育てセンター	5件	0.9%		1,816㎡	0.4%	
10公営住宅	01公営住宅	市営住宅	46件	8.0%	8.0%	72,551㎡	14.9%	14.9%
11その他	01供給処理施設	清掃センター	3件	0.5%	24.0%	6,321㎡	1.3%	6.5%
	02ポンプ場	排水機場、排水ポンプ室	5件	0.9%		542㎡	0.1%	
	03公園	公園(便益施設)、公園休憩所	33件	5.7%		2,140㎡	0.4%	
	04斎場・霊苑	斎場、霊苑	3件	0.5%		705㎡	0.1%	
	05駐車場	駐車場	3件	0.5%		472㎡	0.1%	
	06バス停留所	市営バス停留所	10件	1.7%		106㎡	0.0%	
	07交通関係施設	駅、駅前広場待合所	6件	1.0%		1,059㎡	0.2%	
	08車庫	重機車庫、バス車庫	6件	1.0%		412㎡	0.1%	
	09倉庫	倉庫、收藏庫、書庫	15件	2.6%		1,027㎡	0.2%	
	10公衆便所	公衆便所、トイレ	18件	3.1%		614㎡	0.1%	
	11その他	旧小学校・幼稚園・保育園	36件	6.3%		18,217㎡	3.7%	
公共施設計			574件	100%	100%	486,605㎡	100%	100%

注：施設分類は「公共施設更新費用試算ソフト（総務省）」で用いられている施設分類を基準として分類した。

注：小数点以下第 2 位を四捨五入して割合を算出しているため、合計が 100%にならない。

### 3) 類似都市との比較

人口一人あたり延床面積は5.61 m<sup>2</sup>となっています。人口一人あたり延床面積は、行政区域面積（可住地面積）に比例する傾向にありますが、近畿圏内の類似団体※平均値（3.48 m<sup>2</sup>）を大きく上回っています。

また、公共施設の用途を学校施設、公営住宅、その他施設に区分して近畿圏内の類似団体と比較すると、学校施設、公営住宅、その他施設ともに類似団体を上回っており、特に、その他施設の保有量が類似団体平均値と大きく乖離しています。

※人口が5万人以上 10万人未満で、第2次産業と第3次産業の就業人口比率の合計が95%未満、かつ第3次産業の就業人口比率が55%以上の団体（類型Ⅱ-1）

図 2-1-2 人口一人あたり延床面積の類似団体との比較（近畿圏内）

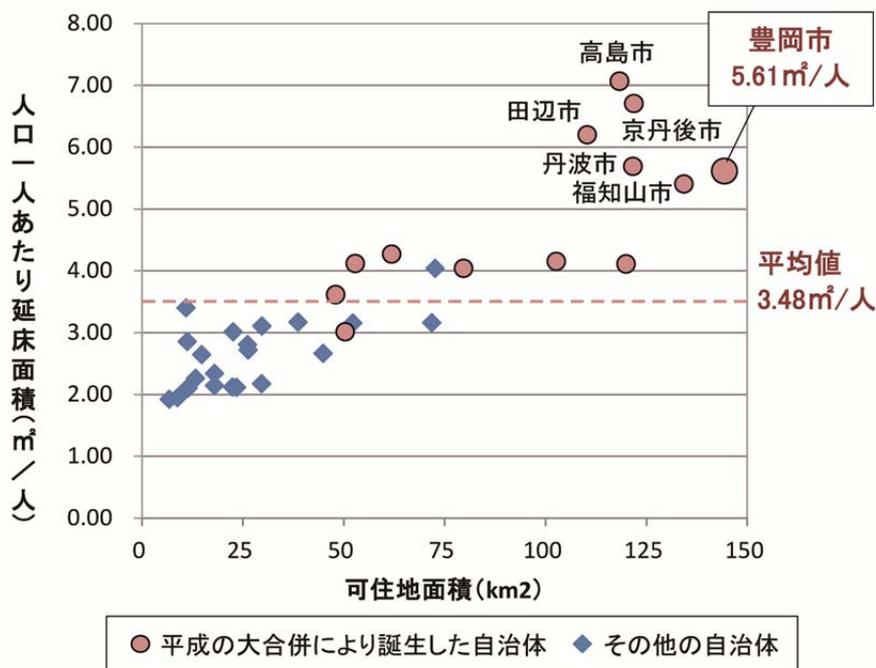


図 2-1-3 人口一人あたり延床面積の類似団体との比較（近畿圏内）

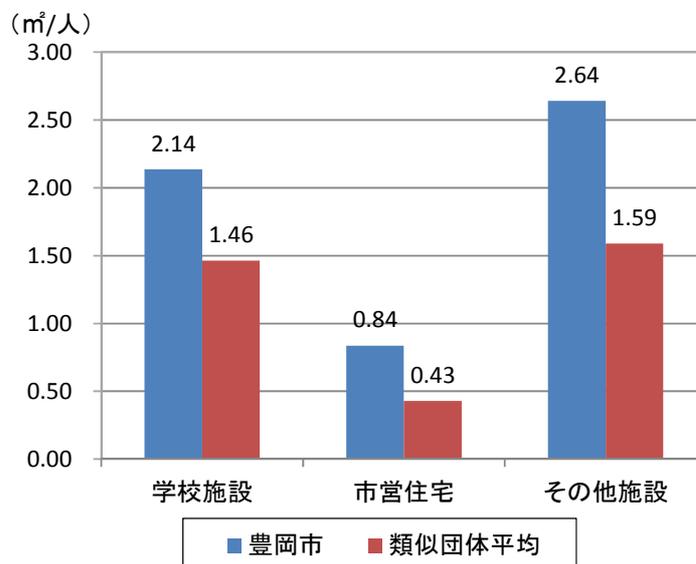


表 2-1-2 人口一人あたり延床面積の類似団体との比較（近畿圏内）

都道府県	類似団体	平成の大合併	総面積 (km <sup>2</sup> )	可住地 面積 (km <sup>2</sup> )	人口 (千人)	延床 面積 (万m <sup>2</sup> )	1人 あたり 延床 面積 (m <sup>2</sup> /人)	1人あたり延床面積の内訳		
								学校 施設 (m <sup>2</sup> /人)	市営 住宅 (m <sup>2</sup> /人)	その他 施設 (m <sup>2</sup> /人)
滋賀県	近江八幡市	合併	177.39	79.67	82.03	33.15	4.04	1.55	0.89	1.60
滋賀県	守山市	—	55.73	44.96	79.43	21.12	2.66	1.25	0.25	1.16
滋賀県	栗東市	—	52.75	29.80	66.40	20.57	3.10	1.29	0.48	1.33
滋賀県	野洲市	合併	80.15	48.01	50.84	18.38	3.62	1.27	0.46	1.89
滋賀県	高島市	合併	693.00	118.31	52.39	37.03	7.07	2.07	1.06	3.94
京都府	福知山市	合併	552.57	134.28	81.12	43.85	5.41	1.72	0.87	2.81
京都府	舞鶴市	—	342.35	72.78	87.91	35.47	4.03	1.61	0.66	1.76
京都府	亀岡市	—	224.90	71.88	92.47	29.17	3.15	1.38	0.49	1.28
京都府	城陽市	—	32.74	22.56	79.37	16.77	2.11	1.21	0.01	0.90
京都府	向日市	—	7.67	6.85	54.25	10.39	1.91	1.13	0.05	0.73
京都府	八幡市	—	24.37	22.72	73.55	22.11	3.01	1.38	0.59	1.04
京都府	京田辺市	—	42.94	29.75	65.41	14.18	2.17	0.98	0.24	0.95
京都府	京丹後市	合併	501.84	121.88	59.63	39.99	6.71	2.81	0.32	3.58
京都府	木津川市	合併	85.12	50.36	72.11	21.75	3.02	1.62	0.23	1.16
大阪府	泉大津市	—	13.26	13.36	76.83	17.32	2.25	1.05	0.17	1.03
大阪府	貝塚市	—	43.99	26.24	90.27	25.30	2.80	1.20	0.77	0.84
大阪府	柏原市	—	25.39	18.04	72.77	16.98	2.33	1.38	0.00	0.96
大阪府	摂津市	—	14.88	14.88	84.11	22.18	2.64	1.30	0.19	1.14
大阪府	高石市	—	11.35	11.35	59.05	16.83	2.85	1.19	0.11	1.55
大阪府	藤井寺市	—	8.89	8.89	66.47	12.91	1.94	0.91	0.00	1.03
大阪府	泉南市	—	48.48	26.42	64.59	17.53	2.71	1.20	0.39	1.12
大阪府	四條畷市	—	18.74	11.30	57.24	11.98	2.09	1.28	0.01	0.80
大阪府	大阪狭山市	—	11.86	11.56	57.65	12.10	2.10	1.09	0.00	1.01
兵庫県	芦屋市	—	18.50	10.99	96.50	32.75	3.39	1.04	1.12	1.24
兵庫県	豊岡市	合併	697.66	144.33	86.69	48.66	5.61	2.14	0.84	2.64
兵庫県	三木市	合併	176.58	102.66	81.00	33.64	4.15	1.63	0.39	2.13
兵庫県	丹波市	合併	493.28	121.66	68.75	39.12	5.69	2.29	0.70	2.71
奈良県	大和郡山市	—	42.68	38.78	89.63	28.37	3.17	1.37	0.28	1.52
奈良県	天理市	—	86.37	52.33	67.46	21.26	3.15	1.24	0.52	1.39
奈良県	香芝市	—	24.23	18.10	77.62	16.60	2.14	1.21	0.03	0.90
和歌山県	海南市	合併	101.19	61.85	55.24	23.60	4.27	1.77	0.64	1.87
和歌山県	橋本市	合併	130.31	52.85	66.66	27.45	4.12	1.68	0.81	1.63
和歌山県	田辺市	合併	1,026.77	110.32	80.12	49.67	6.20	2.28	1.07	2.85
和歌山県	紀の川市	合併	228.24	119.96	66.86	27.50	4.11	1.69	0.34	2.08
和歌山県	岩出市	—	38.50	23.54	53.28	11.24	2.11	1.07	0.04	1.00
類似団体 平均		—	175.28	52.95	71.88	25.06	3.48	1.47	0.43	1.59

資料：平成 26 年 3 月 31 日住民基本台帳人口（豊岡市人口）、  
平成 25 年 3 月 31 日住民基本台帳人口（豊岡市以外の人口）、平成 25 年度公共施設状況調（豊岡市以外の延床面積）、  
統計からみる市区町村のすがた 2014（可住地面積）

注 1：可住地面積とは、総面積から林野面積と主要湖沼面積を差し引いて算出したもの。

注 2：学校施設は小学校と中学校の計（他市との比較のため学校教育系施設のうち、学校給食センターはその他施設で計上した）。

## 2-2. 公共施設の概要

### 1) 施設分類別の状況

施設数の構成比をみると、その他施設が24.0%（138施設）で最も多く、次いで行政系施設が16.7%（96施設）、市民文化系施設が14.8%（85施設）、子育て支援施設が10.3%（59施設）となっています。

延床面積の構成比をみると、学校教育系施設が39.1%（約19.0万㎡）と4割近くを占めており、次いで公営住宅が14.9%（約7.3万㎡）、市民文化系施設が9.2%（約4.5万㎡）、スポーツ・レクリエーション系施設が9.0%（約4.4万㎡）となっています。

図 2-2-1 施設分類別の施設数構成比

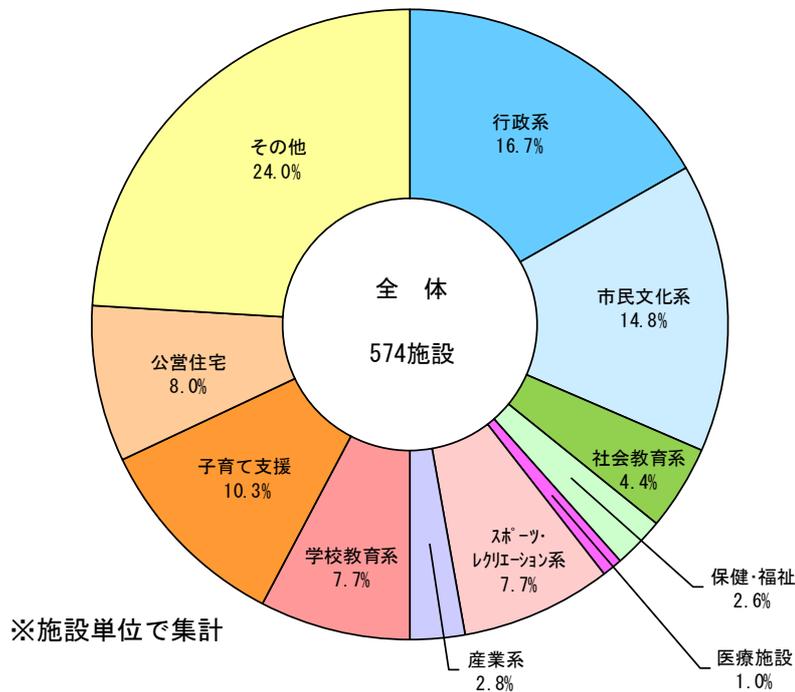
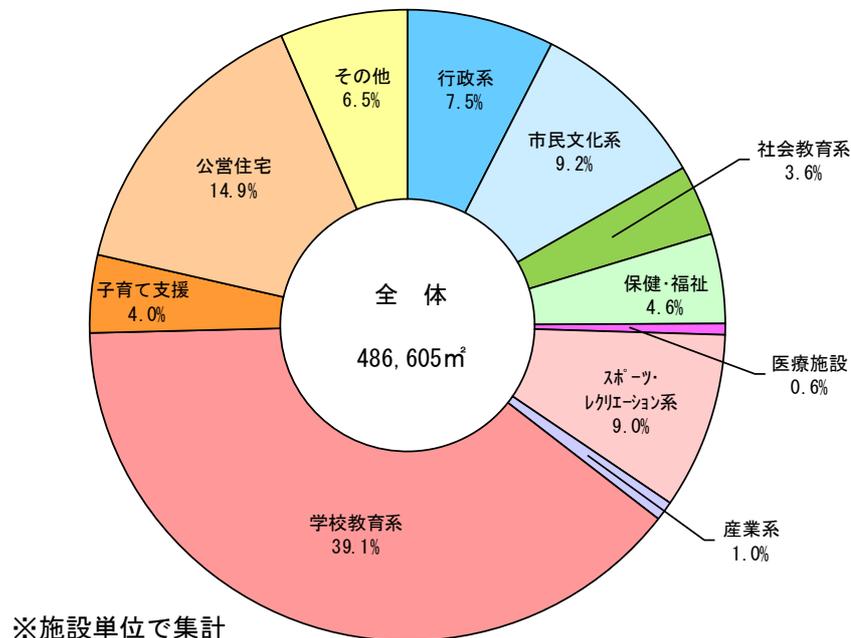


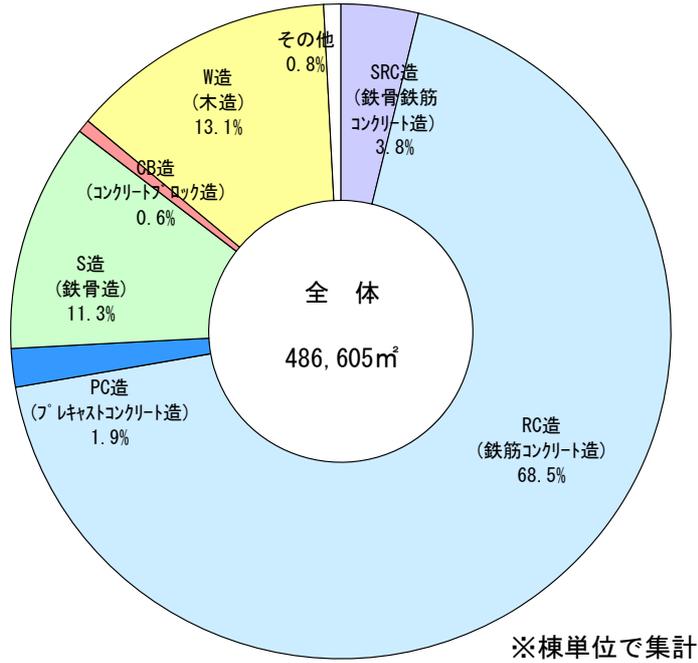
図 2-2-2 施設分類別の延床面積構成比



## 2) 構造別の状況

構造別に延床面積の構成比をみると、鉄筋コンクリート造（RC造）が68.5%（約33.3万㎡）と全体の2/3以上を占めており、次いで木造（W造）が13.1%（約6.4万㎡）、鉄骨造（S造）が11.3%（約5.5万㎡）となっています。

図 2-2-3 構造別の延床面積構成比



注：小数点以下第2位を四捨五入して割合を算出しているため、合計が100%にならない。

### 3) 築後年数別の状況

築後年数別に延床面積の構成比をみると、築16～20年が16.6%（約8.1万㎡）と最も多く、次いで築26～30年が14.4%（約7.0万㎡）、築21～25年が12.2%（約6.0万㎡）となっています。一般的に大規模改修が必要とされている築後31年以上を経過している施設（昭和58年以前に建築）は32.1%（約15.6万㎡）で、全体の1/3近くを占めています。その内訳は、学校教育系施設が47.9%（約7.5万㎡）と半数近くを占めており、次いで公営住宅が12.7%（約2.0万㎡）、市民文化系施設が11.0%（約1.7万㎡）となっています。

図 2-2-4 築後年数別の延床面積構成比

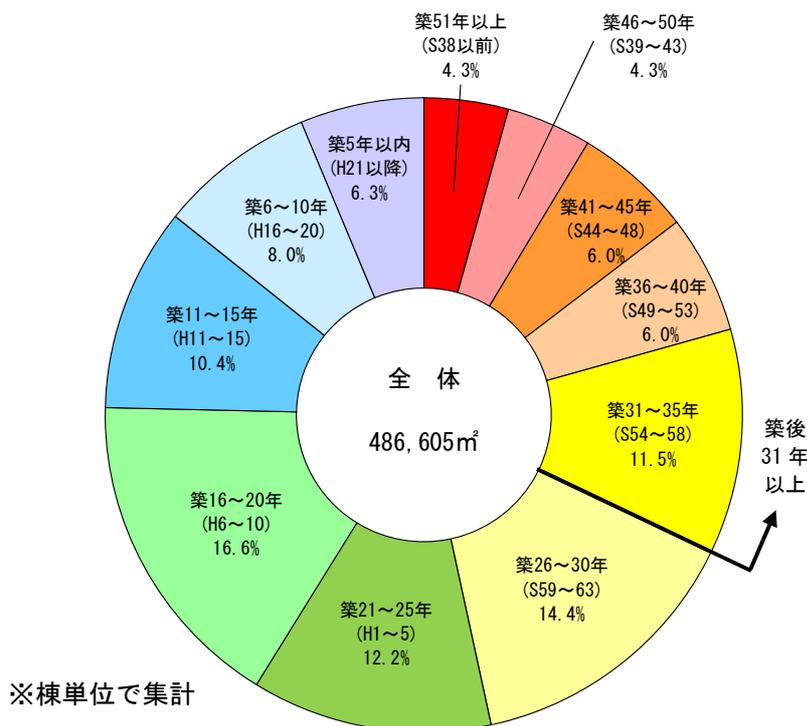
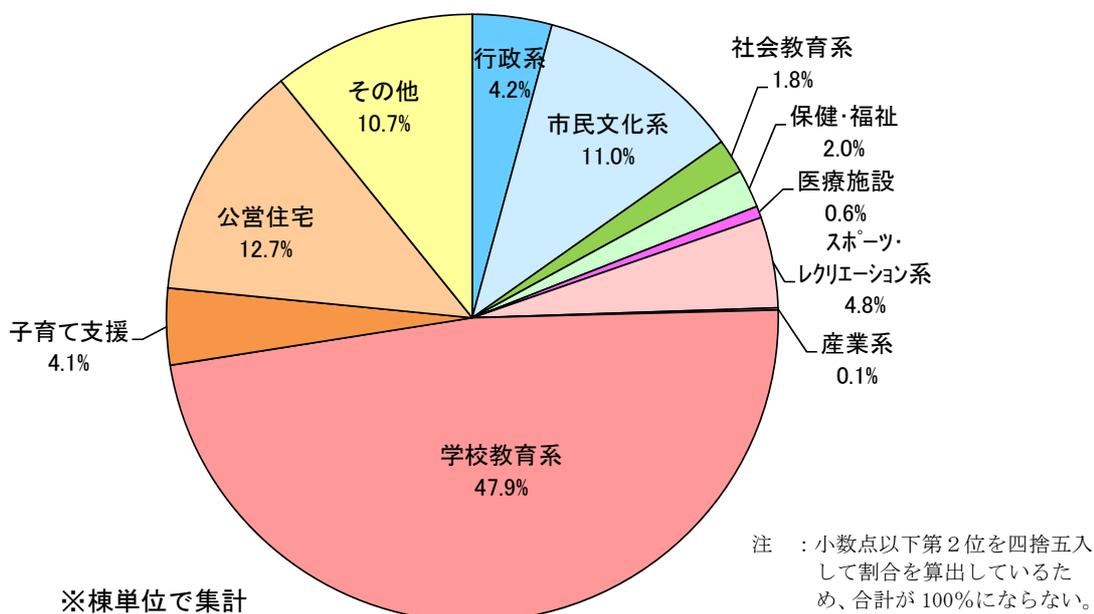


図 2-2-5 用途別の延床面積の割合（築31年以上）

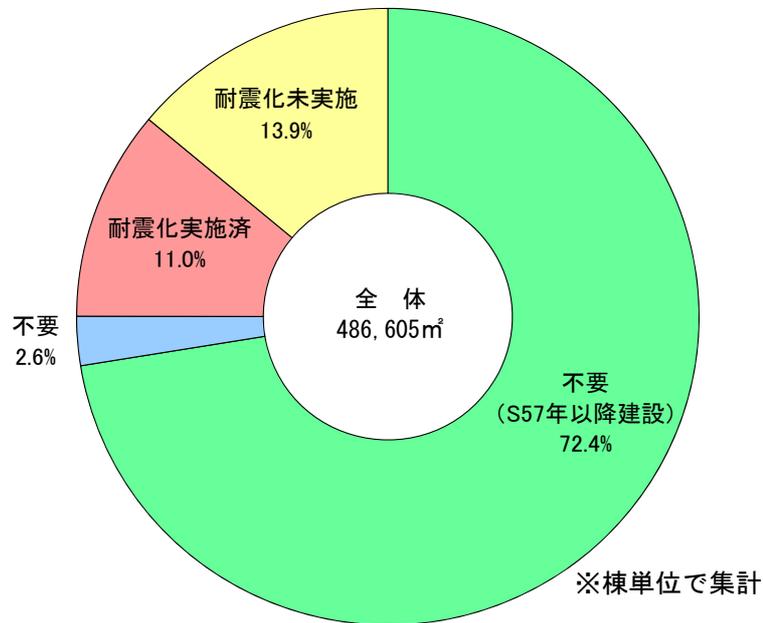


#### 4) 耐震化の状況

耐震化の状況をみると、建築基準法の改正による新耐震基準の施行以降（昭和56年6月1日以降に着工したもの。ただし、本方針では建築年が昭和57年以降のものを集計している。）に建設され耐震化が不要な施設が72.4%（約35.3万㎡）と全体の2/3以上を占めています。

また、新耐震基準以前（昭和56年5月31日以前に着工したもの。ただし、本方針では建築年が昭和56年以前のものを集計している。）に建設された施設が27.6%（約13.4万㎡）となっていますが、そのうち新耐震基準を満たしている建物が2.6%あるほか、耐震改修を実施済の建物が11.0%あり、公共施設全体の耐震化率は86.1%となっています。

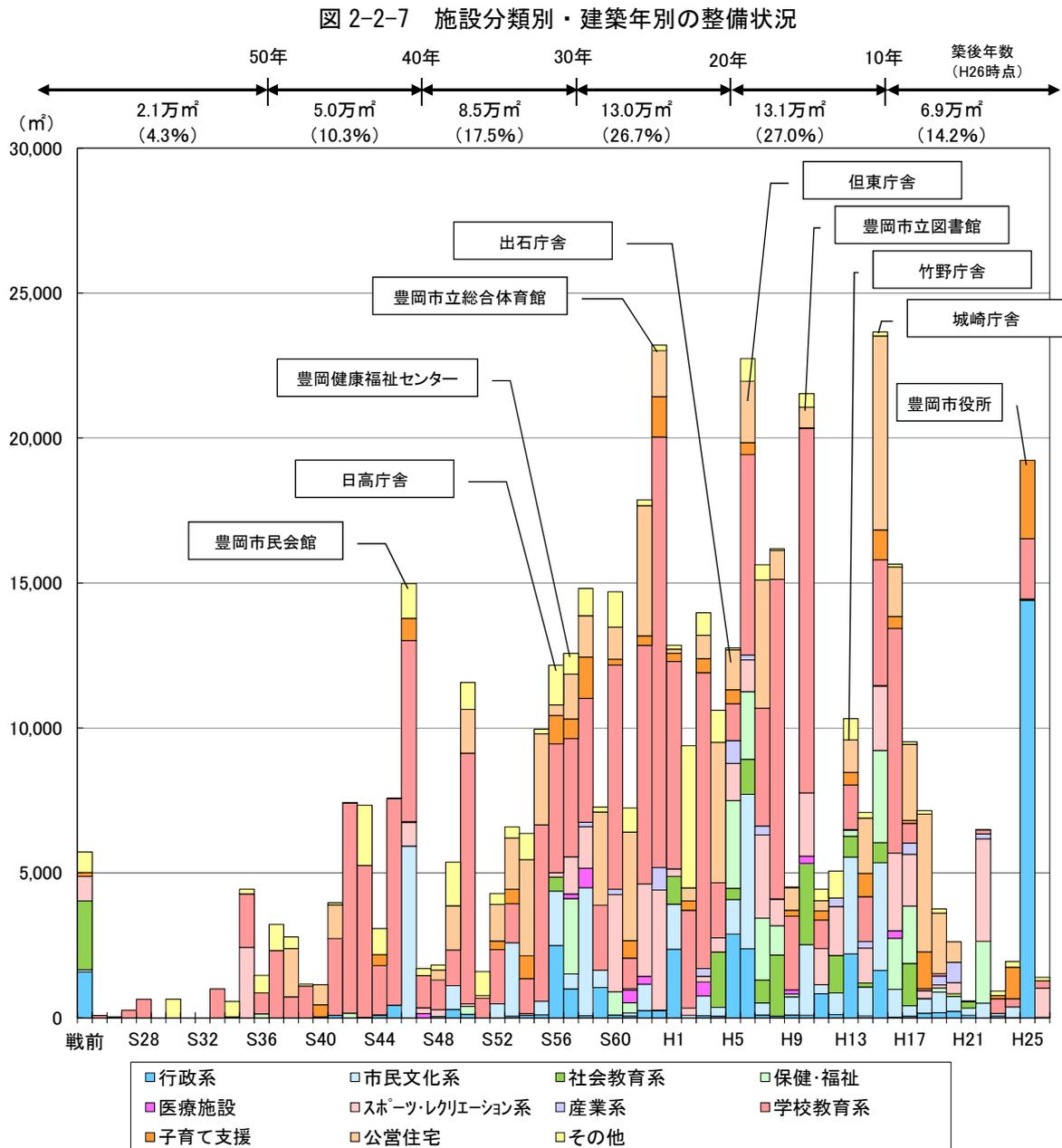
図 2-2-6 耐震化の状況



注：小数点以下第2位を四捨五入して割合を算出しているため、合計が100%にならない。

## 5) 施設分類別・建築年別の整備状況

公共施設整備面積の推移を築年別にみると、昭和55年頃までは学校教育系施設を中心に毎年1万㎡以下で推移してきましたが（昭和46年と昭和50年を除く）、その後、昭和56年頃から急増し、平成16年頃までは学校教育系施設に加え行政系施設や市民文化系施設、スポーツ・レクリエーション施設、子育て支援施設、公営住宅など多くの施設が整備されました。平成17年以降は減少傾向にあります。新庁舎を建設した平成25年には一時的な増加がみられます。



# 第3章 施設分類別の公共施設の状況

## 3-1. データ及び各種指標について

本章では、本市の公共施設について、第2章で取りまとめた分類に基づき、現状の整理を行います。なお、「その他施設」については、直接的に広く一般の市民利用を想定していないものや施設自体が簡易なものが大半を占めることから、本章では対象外とします。

各分類において、「概要」、「建物の状況」、「利用の状況」、「施設に関する費用の状況」、「単位あたりのコストの状況」について整理しています。

### 1) 概要について

当該分類に含まれる施設について、基礎情報（施設名、所在地、施設形態、建築年、構造・階数、延床面積）、コスト情報（維持管理費、事業運営費、人件費）、収入を一覧表として整理しています。なお、複数の建物で一つの施設を構成している場合においては、延床面積が最大の建物の建築年や構造・階数を代表値として記載しています（その場合、延床面積は全ての建物の合計の延床面積となっています）。

### 2) 建物の状況について

建物の状況について、築年や耐震化の状況などで特徴的なところを整理します。

### 3) 利用の状況について

施設の利用状況について、類似施設間で比較可能な項目を指標として設定します。

なお、「行政系施設」では比較可能なデータがないため、利用の状況は省略しています。

表 3-1-1 利用状況の主な指標

指標	説明
利用者数、利用台数、相談件数	各年度における利用等の総数 (1人が3回利用した場合は利用者数3)
在籍者(生徒、児童、園児)数、定員数	各々の基準日時点での在籍者数および定員数
貸出冊数	図書資料及び視聴覚資料の貸出延べ件数 (1人が一度に図書を3冊借りた場合は3冊として計算)
稼働率 (利用コマ数、 利用可能コマ数)	利用可能なコマ数に対する実際の利用コマ数の割合 ※貸室が3室あり午前と午後の2区分で予約可能であれば、1日あたりの利用可能コマ数は6コマ。 ※利用コマ数は、主催事業の開催状況やサークルや個別活動が実際に利用した数(午前と午後で利用予約可能な貸室を1団体が終日利用した場合は2コマ)。

#### 4) 施設に関する費用の状況について

施設に関する費用は、平成 25 年度決算額を基準に「維持管理費用」と「事業運営費用」、「人件費」の3種類に区分しており、「維持管理費用」については、内訳が分かるようグラフ化しています。なお、施設を主に行政自らが直接使用する「行政系施設」については、人件費を除いた費用で整理します。それぞれの考え方と具体的な費用項目は下表のとおりです。

平均については単純平均とし、本文・グラフとも原則として一の位まで記載しています。その他の本文中の金額については原則として一の位を四捨五入して記載しています。

表 3-1-2 施設に関する費用に計上する費用

区分	説明	費目	説明	備考
維持管理費用	施設の維持管理に関わる業務として施設内外で発生する費用	光熱水費	電気、ガス、水道料金、燃料費の計	概要の表では合計値、グラフでは内訳を記載しています
		修繕費	施設の維持補修のために執行したもの	
		工事請負費		
		火災保険料	施設の保険料	
		委託費	外部委託（建築設備保守管理費、清掃・環境衛生費、警備費）等で実施しているもの	
その他	土地建物賃借料等			
事業運営費用	市民への公共サービス提供業務、その他の行政活動として施設内外で発生する費用	委託費	市民への公共サービス提供業務、その他の行政活動として実施しているもの	表・グラフでは合計値で記載しています
		その他	備品購入費、消耗品費等	
人件費			当該施設に常駐している人数×職員の平均給与で算出	行政系施設では分析から除きます

(単位は円または万円)

#### 5) 単位あたりのコストの状況について

施設に関する費用と利用状況の指標を活用し、各施設の単位あたりのコストを下記のとおり計算することで施設ごとにグラフ化します。

平均については加重平均※とし、本文・グラフとも原則として一の位まで記載しています。その他の本文中の金額については原則として一の位を四捨五入して記載しています。

※加重平均：複数の数値から一定の「重み」を加味して平均を導く方法。例えば5施設の「面積あたりコスト」の加重平均は、「5施設のコストの合計」を「5施設の面積の合計」で除したものとなり、施設の規模などを考慮した平均を導くことができます。

表 3-1-3 単位あたりコストの考え方

単位あたりのコスト	説明
利用者等 1 人あたりの支出	施設に関する費用を利用者数等（在籍者、定員数等）で除した値
延床面積 1 m <sup>2</sup> あたりの支出	施設に関する費用を該当施設の延床面積で除した値

(単位は円または万円)

## 3-2. 各分類別の施設の状況

### (1) 行政系施設

#### 1) 庁舎等

##### ①概要

本市では、本庁舎である豊岡市役所のほかに、旧町地域ごとに5箇所の庁舎（城崎、竹野、日高、出石、但東）を設置しています。

いずれの庁舎も公民館、図書館、子育てセンター等の公共施設と複合しており、本庁舎と同様に市民サービスの窓口機能を有する地域振興課及び市民福祉課を設置しています。



< 豊岡市役所 >

表 3-2-1 庁舎の概要

ID	基礎情報						コスト情報（千円）			収入（千円）
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積（㎡）	維持管理費	事業運営費	人件費	
1	豊岡市役所	中央町2-4		H25	RC・7	14,194	72,085	34,140	3,204,673	8,657
2	城崎庁舎	城崎町桃島1057-1	複合	H15	SRC・3	1,294	4,900	0	10,704	47
3	竹野庁舎	竹野町竹野1585-1	複合	H13	RC・3	1,996	6,102	0	2,738	122
4	日高庁舎	日高町祢布920	複合	S56	RC・4	3,241	10,814	0	15,931	1
5	出石庁舎	出石町内町1	複合	H5	RC・3	2,830	9,977	4,690	13,442	5,278
6	但東庁舎	但東町出合150	複合	H6	RC・3	2,330	7,716	0	5,477	15

##### ②建物の状況

最も新しい庁舎は、平成25年に建築した豊岡市役所の新庁舎で、平成17年の市町合併以降に市役所として利用してきた旧豊岡市庁舎は、市議会議場及び豊岡稽古堂として現在も活用しています。

一方、最も古い庁舎は、昭和56年に建築した日高庁舎で、大規模改修・更新のサイクルを上回る建築後33年が経過していますが、平成20年に大規模な改修を実施しており、平成22年には耐震改修も実施しています。

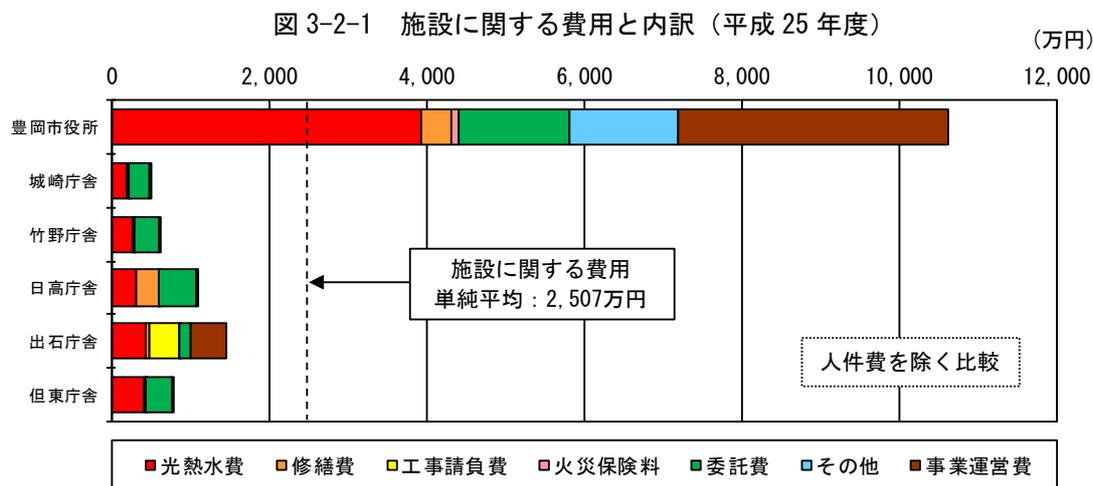
これ以外の庁舎については、平成に入ってから建築したものであり、建築後10～20年ほど経過しています。

但東庁舎では建築後11年目にあたる平成17年から、出石庁舎では建築後14年目にあたる平成19年から大規模な改修を実施しています。

### ③施設に関する費用の状況

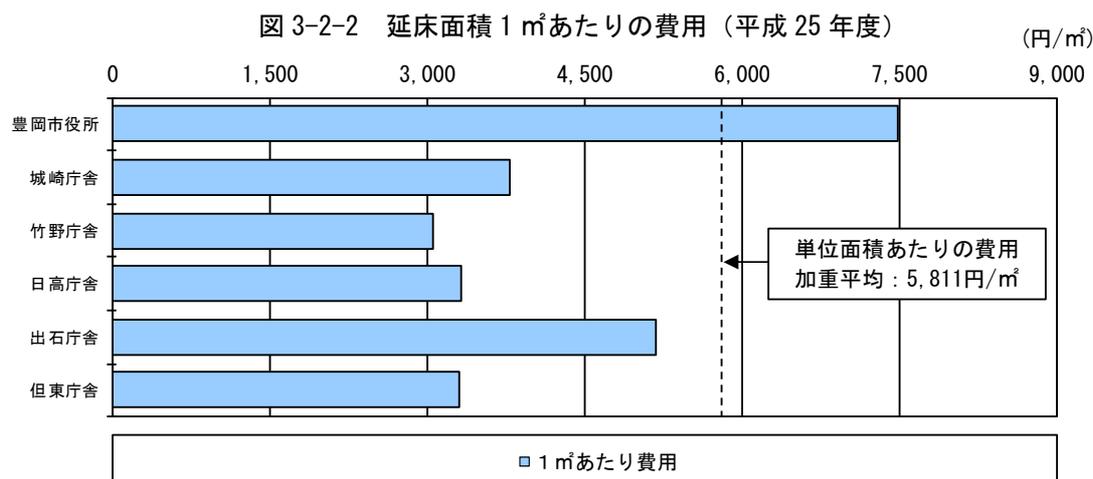
平成 25 年度における施設に関する費用(人件費を除く)をみると、全施設の平均では 2,507 万円となっていますが、本庁舎としての機能を有する豊岡市役所は約 1 億 620 万円と特に高く、平均の 4 倍を超えています。

費用の内訳をみると、いずれの庁舎においても光熱水費や委託費の割合が高くなっていますが、豊岡市役所や出石庁舎では事業運営費が 1/3 近くを占めています。



### ④単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用(人件費を除く)を延床面積 1㎡あたりでみると、全施設の平均では 5,811 円となっていますが、豊岡市役所は約 7,480 円と他の庁舎(約 3,060~5,180 円)に比べて高い水準となっています。



## 2) その他行政系施設

### ①概要

本市では、その他行政施設を 5 箇所に設置しています。

市議会議場及び豊岡稽古堂は、旧豊岡市庁舎を曳き家・リニューアルしたもので、豊岡稽古堂は市民の交流スペースとして活用されています。

これ以外の施設は防災関連の施設であり、災害発生時の情報発信・収集拠点や防災活動拠点としての役割を担っています。



<市議会議場(2F)・豊岡稽古堂(1・3F)>

表 3-2-2 その他行政系施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報 (千円)			収入 (千円)
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積 (㎡)	維持管理費	事業運営費	人件費	
7	市議会議場	中央町2-4		S3	RC・3	528	0	0	0	0
8	豊岡稽古堂	中央町2-4		S3	RC・3	1,051	0	0	0	140
9	防災通信センター	中央町3-6		H15	RC・3	237	583	0	0	0
10	豊岡防災公園	泉町8-29		H25	S・1	250	722	124	0	0
11	円山川防災センター	日高町西芝		H11	SRC・2	700	916	180	2,738	0

### ②建物の状況

延床面積は、豊岡稽古堂が約 1,050 ㎡と最も広く、市議会議場（約 530 ㎡）と合わせて 1,500 ㎡を超える施設となっています。

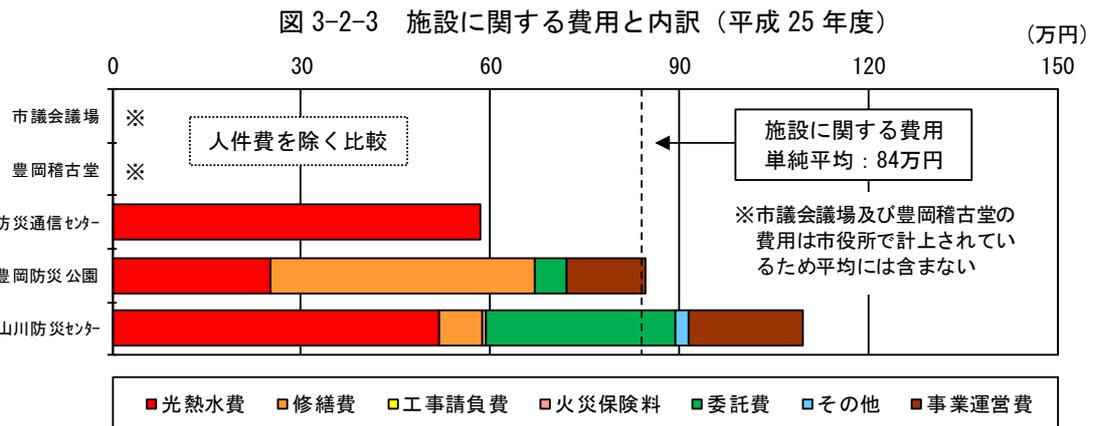
昭和 3 年に建築した市議会議場と豊岡稽古堂は建築後 90 年近く経過していますが、旧豊岡市庁舎をリニューアルした際に全面的に改修が行われています。これ以外は、平成に入ってから建築した比較的新しい施設となっています。

また、市議会議場と豊岡稽古堂は新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築したのですが、全面改修により、耐震性は確保されています。

### ③施設に関する費用の状況

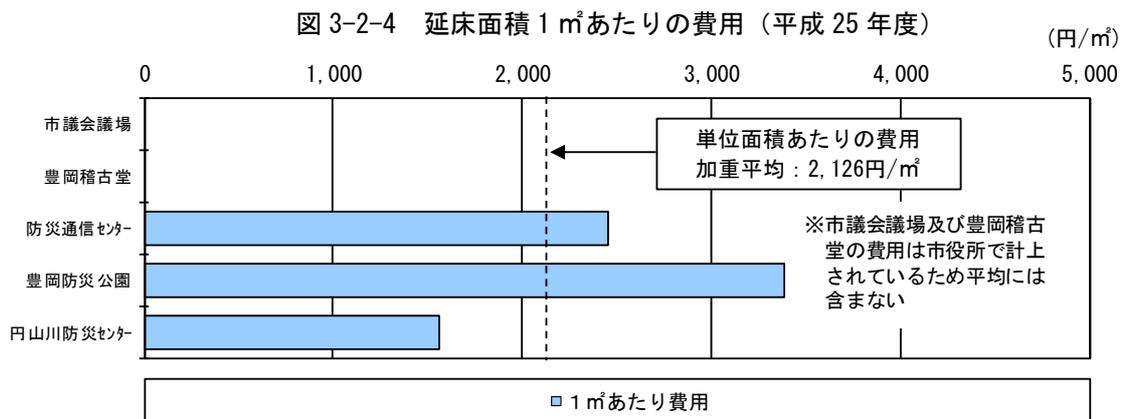
平成 25 年度における施設に関する費用（人件費を除く）をみると、豊岡市役所で費用が計上されている市議会議場及び豊岡稽古堂を除いた 3 施設の平均では、84 万円となっています。円山川防災センターは約 110 万円と平均を上回っていますが、これ以外の施設については、いずれも平均以下となっています。

費用の内訳をみると、施設に関する費用が高い円山川防災センターでは光熱水費が半数近くを占め、これ以外に委託費や施設運営費の占める割合が高くなっています。豊岡防災公園では修繕費が半数近くを占め、防災通信センターでは光熱水費のみが計上されています。



### ④単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用（人件費を除く）を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、3 施設（市議会議場及び豊岡稽古堂を除く）の平均では、2,126 円となっていますが、豊岡防災公園は約 3,380 円と平均を上回っています。施設に関する費用が高いものの延床面積も広い円山川防災センターは、約 1,570 円と平均を下回っています。



### 3) 消防施設

#### ①概要

本市では、消防施設を6箇所に設置していますが、このうち豊岡地域に消防本部・豊岡消防署、城崎地域、日高地域、出石地域に分署、竹野地域に出張所、但東地域に駐在所がそれぞれ立地しています。

消防施設では、火災や地震等の災害及び事故等に伴う負傷者や急病等による傷病者の発生に備え、消防隊員が待機しています。

なお、城崎分署については、平成27年4月に新分署に移転しています（本節のデータは旧分署のデータとなっています）。



< 消防本部・豊岡消防署 >

表 3-2-3 消防施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報（千円）			収入 （千円）
	施設名	所在地	施設 形態	建築 年	構造 階数	延床面積 （㎡）	維持 管理費	事業 運営費	人件費	
12	消防本部・豊岡消防署	昭和町4-33		H1	RC・3	2,186	33,302	18,985	0	5,904
13	日高分署	日高町国分寺857-1		S59	RC・3	499	2,747	1,892	0	1
14	出石分署	出石町寺坂194		S59	RC・3	493	2,744	1,882	0	3
15	出石分署但東駐在所	但東町出合150	複合	H18	S・2	139	1,436	1,161	0	1
16	城崎分署	城崎町湯島584		S45	RC・3	433	2,408	1,876	0	2
17	城崎分署竹野出張所	竹野町松本46-1		S57	S・2	355	2,120	1,576	0	1

※城崎分署は旧分署のデータ

#### ②建物の状況

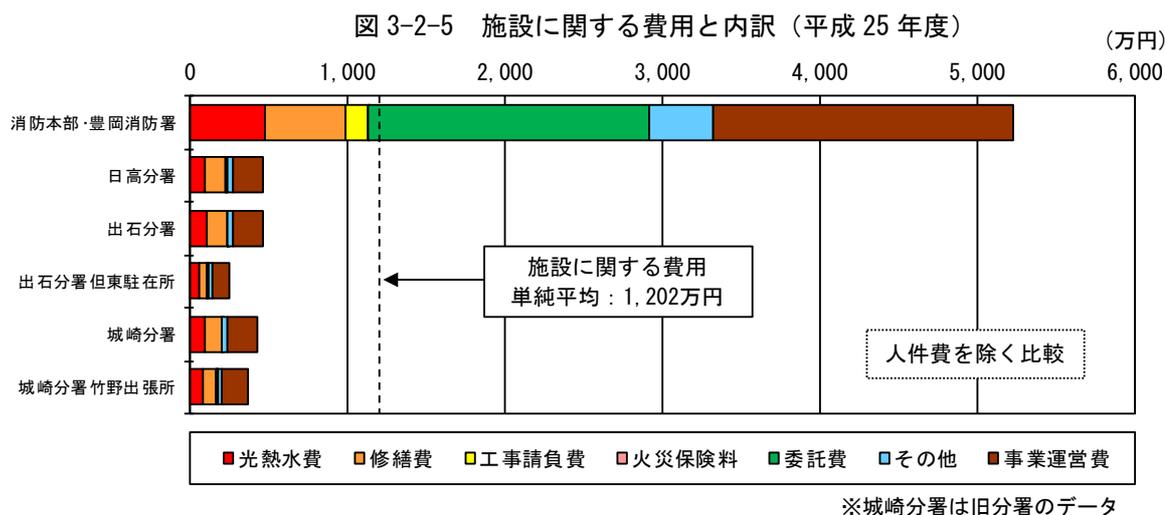
延床面積は、消防本部・豊岡消防署が約2,190㎡と特に広く、これ以外の消防施設は500㎡未満となっています。

昭和57年に建築した城崎分署竹野出張所は、建築後32年が経過し、大規模改修・更新のサイクルを上回っています。また、日高分署及び出石分署も昭和59年の建築で老朽化がかなり進んでいる状況で、いずれの施設もこれまでに大規模改修は実施していません。

### ③施設に関する費用の状況

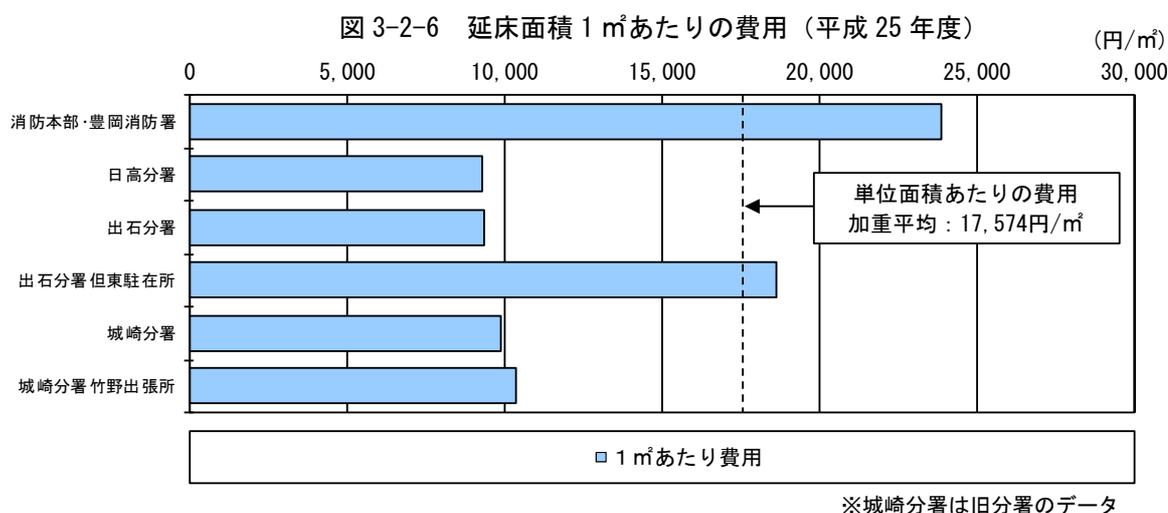
平成 25 年度における施設に関する費用(人件費を除く)をみると、全施設の平均では 1,202 万円となっていますが、延床面積が広い消防本部・豊岡消防署は約 5,230 万円と特に高く、平均の 4 倍を超えています。これ以外の消防施設については、いずれも平均未満となっています。

費用の内訳をみると、施設に関する費用が高い消防本部・豊岡消防署では、事業運営費と委託費が特に多く、この 2 費目で全体の 7 割を占めています。これ以外の消防施設では、事業運営費、修繕費、光熱水費が主な費目として挙がっています。



### ④単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用(人件費を除く)を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、全施設の平均では 17,574 円となっていますが、施設に関する費用が高い消防本部・豊岡消防署は約 23,920 円、延床面積が狭い出石分署但東駐在所も約 18,680 円と平均を上回っています。これ以外の消防施設は、いずれも平均未満となっています。



## 4) 消防車庫・詰所

### ①概要

本市では、消防車庫・詰所を 58 箇所を設置しており、このうち 17 箇所は日高地域、14 箇所は豊岡地域に立地しています（表 3-2-4）。

消防車庫・詰所は、消防団が所有している車両を保管するとともに、地震や河川氾濫等の災害発生時に消防団員が待機する場所として利用されています。



< 消防車庫・詰所 >

### ②建物の状況

延床面積は、日高消防団車庫（特設分団）が 170 m<sup>2</sup>と最も広く、豊岡消防団車庫（第 8・9・12 分団）が 110～130 m<sup>2</sup>とやや広くなっていますが、これ以外は 100 m<sup>2</sup>未満となっています。

昭和 40 年代以前に建築した消防車庫・詰所は 15 箇所あり、建築後 40 年以上が経過して老朽化がかなり進んでいますが、改修を実施した施設は 4 箇所のみとなっています。

また、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築した消防車庫・詰所は 22 箇所ありますが、いずれの施設も耐震診断・改修は実施していません。

### ③施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用（人件費を除く）をみると、全施設の平均では 2.5 万円となっていますが、日高消防団車庫（第 2 分団）が約 20.7 万円、豊岡消防団車庫（第 2 分団）が約 18.0 万円と、平均の 7 倍以上となっています（図 3-2-7）。

費用の内訳をみると、施設に関する費用が高い日高消防団車庫（第 2 分団）や豊岡消防団（第 2 分団）では修繕費が大半を占めていますが、これ以外の消防車庫・詰所の多くは光熱水費が大半を占めています。

### ④単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用（人件費を除く）を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、全施設の平均では 498 円となっていますが、施設に関する費用が高い日高消防団車庫（第 2 分団）では約 6,470 円と、平均の 10 倍を超える高い水準となっています（図 3-2-8）。豊岡消防団車庫（第 2 分団）も約 2,570 円と平均の 5 倍を超えていますが、これ以外の消防車庫・詰所の多くは平均を下回っています。

表 3-2-4 消防車庫・詰所の概要

ID	基礎情報						コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	維持管理費	事業運営費	人件費	
18	豊岡消防団車庫(第1分団)	九日市中町316-2		H12	S・1	70	59	0	0	0
19	豊岡消防団車庫(第2分団)	城南町161-5		S62	S・2	70	180	0	0	0
20	豊岡消防団車庫(第4分団)	元町37-3		S61	S・1	64	42	0	0	0
21	豊岡消防団車庫(第5分団)	鎌田123-3		H9	S・1	66	36	0	0	0
22	豊岡消防団車庫(第6分団)	野上115-23		S54	S・1	55	41	0	0	0
23	豊岡消防団車庫(第7分団)	新堂294-1		H5	S・1	63	25	0	0	0
24	豊岡消防団車庫(第8分団)	木内221-3		H19	S・2	106	59	0	0	0
25	豊岡消防団車庫(第9分団)	土淵281-2		H21	W・2	115	37	0	0	0
26	豊岡消防団車庫(第10分団)	吉井593-7		H1	S・1	60	27	0	0	0
27	豊岡消防団車庫(第11分団)	香住481-5		S55	S・1	61	35	0	0	0
28	豊岡消防団車庫(第12分団)	瀬戸4		H23	W・2	125	37	0	0	0
29	豊岡消防団車庫(第13分団)	気比4005-2		S50	S・1	59	35	0	0	0
30	豊岡消防団車庫(第14分団)	中陰343-29		H15	S・1	70	34	0	0	0
31	城崎消防団車庫(第1分団ひたち班)	城崎町湯島477		S49	RC・2	55	13	0	0	0
32	城崎消防団車庫(第1分団やまと班)	城崎町湯島608-1		H9	W・1	28	13	0	0	0
33	城崎消防団車庫(第2分団ゆしま班)	城崎町湯島261-3		S41	CB・1	27	20	0	0	0
34	城崎消防団車庫(第3分団はやて班)	城崎町湯島1586		S41	CB・1	30	16	0	0	0
35	城崎消防団車庫(第4分団あさひ班)	城崎町飯谷76		H20	S・1	68	38	0	0	0
36	城崎消防団車庫(第4分団のぞみ班)	城崎町結152-1		H16	S・1	27	13	0	0	0
37	城崎消防団車庫(第5分団うやま班)	城崎町上山548-12		S63	S・1	21	13	0	0	0
38	城崎消防団車庫(第5分団くるひ班)	城崎町来日555-3		H20	W・2	66	28	0	0	0
39	竹野消防団車庫(第1分団第1部)	竹野町竹野3664-1		S58	W・1	27	14	0	0	0
40	竹野消防団車庫(第1分団第6部)	竹野町竹野2919		S53	S・1	58	19	0	0	0
41	竹野消防団車庫(第3分団)	竹野町轟1050-1		S60	W・1	99	8	0	0	0
42	竹野消防団車庫(第4分団)	竹野町森本514-1		S62	W・1	48	14	0	0	0
43	竹野消防団車庫(第5分団)	竹野町桑野本789-1		S50	W・1	24	14	0	0	0
44	日高消防団車庫(特設分団)	日高町日置65-1		S57	W・2	170	105	0	0	0
45	日高消防団車庫(第1分団)	日高町土居629		S50	S・1	24	9	0	0	0
46	日高消防団車庫(第2分団)	日高町堀256-4		S41	S・1	32	207	0	0	0
47	日高消防団車庫(第3分団)	日高町上石140-2		S49	S・1	24	4	0	0	0
48	日高消防団車庫(第4分団)	日高町中392-5		H15	S・1	33	4	0	0	0
49	日高消防団車庫(第6分団)	日高町江原73-2		H10	S・2	53	15	0	0	0
50	日高消防団車庫(第7分団)	日高町浅倉211-1		S49	S・1	24	4	0	0	0
51	日高消防団車庫(第8分団)	日高町久斗492		S50	S・1	24	4	0	0	0
52	日高消防団車庫(第9分団)	日高町水上405-1		S49	S・1	24	4	0	0	0
53	日高消防団車庫(第10分団)	日高町鶴岡492		S49	W・1	24	22	0	0	0
54	日高消防団車庫(第11分団)	日高町伊府107-1		S49	S・1	21	4	0	0	0
55	日高消防団車庫(第12分団)	日高町栗山526-1		H12	RC・1	33	4	0	0	0
56	日高消防団車庫(第13分団)	日高町羽尻343		S49	S・1	23	0	0	0	0
57	日高消防団車庫(第14分団)	日高町芝67-1		S49	S・1	22	10	0	0	0
58	日高消防団車庫(第15分団)	日高町十戸115		S49	S・1	23	3	0	0	0
59	日高消防団詰所(第15分団)	日高町十戸115		S49	S・1	9	1	0	0	0
60	日高消防団車庫(第16分団)	日高町山宮1328-4		S48	W・1	33	5	0	0	0
61	出石消防団車庫(本部分団・第1分団車庫)	出石町内町		S59	S・1	58	25	0	0	0
62	出石消防団車庫(第2分団車庫)	出石町鉄砲1-2		H11	W・1	54	2	0	0	0
63	出石消防団車庫(第3分団車庫)	出石町松枝173-1		H20	S・2	91	29	0	0	0
64	出石消防団車庫(第4分団車庫)	出石町町分212		H11	W・1	45	20	0	0	0
65	出石消防団車庫(第5分団車庫)	出石町荒木810		H17	W・1	45	7	0	0	0
66	出石消防団車庫(第6分団車庫)	出石町福住60-4		H13	W・1	43	6	0	0	0
67	出石消防団車庫(第7分団車庫)	出石町寺坂980-4		H1	W・1	58	1	0	0	0
68	出石消防団車庫(第8分団車庫)	出石町丸中180		S44	W・1	24	4	0	0	0
69	出石消防団車庫(第9分団車庫)	出石町福居948		H3	W・1	54	8	0	0	0
70	但東消防団車庫(第1分団)	但東町中山825-2		S63	S・1	36	4	0	0	0
71	但東消防団車庫(第2分団)	但東町中山181-6		S62	S・1	33	12	0	0	0
72	但東消防団車庫(第3分団)	但東町出合市場44-2		H1	S・1	36	12	0	0	0
73	但東消防団車庫(第4分団)	但東町出合179-5		H6	S・1	50	4	0	0	0
74	但東消防団車庫(第5分団)	但東町平田780		S62	S・1	38	4	0	0	0
75	但東消防団車庫(第6分団)	但東町久畑938-1		H19	S・1	49	12	0	0	0

図 3-2-7 施設に関する費用と内訳 (平成 25 年度)

(万円)

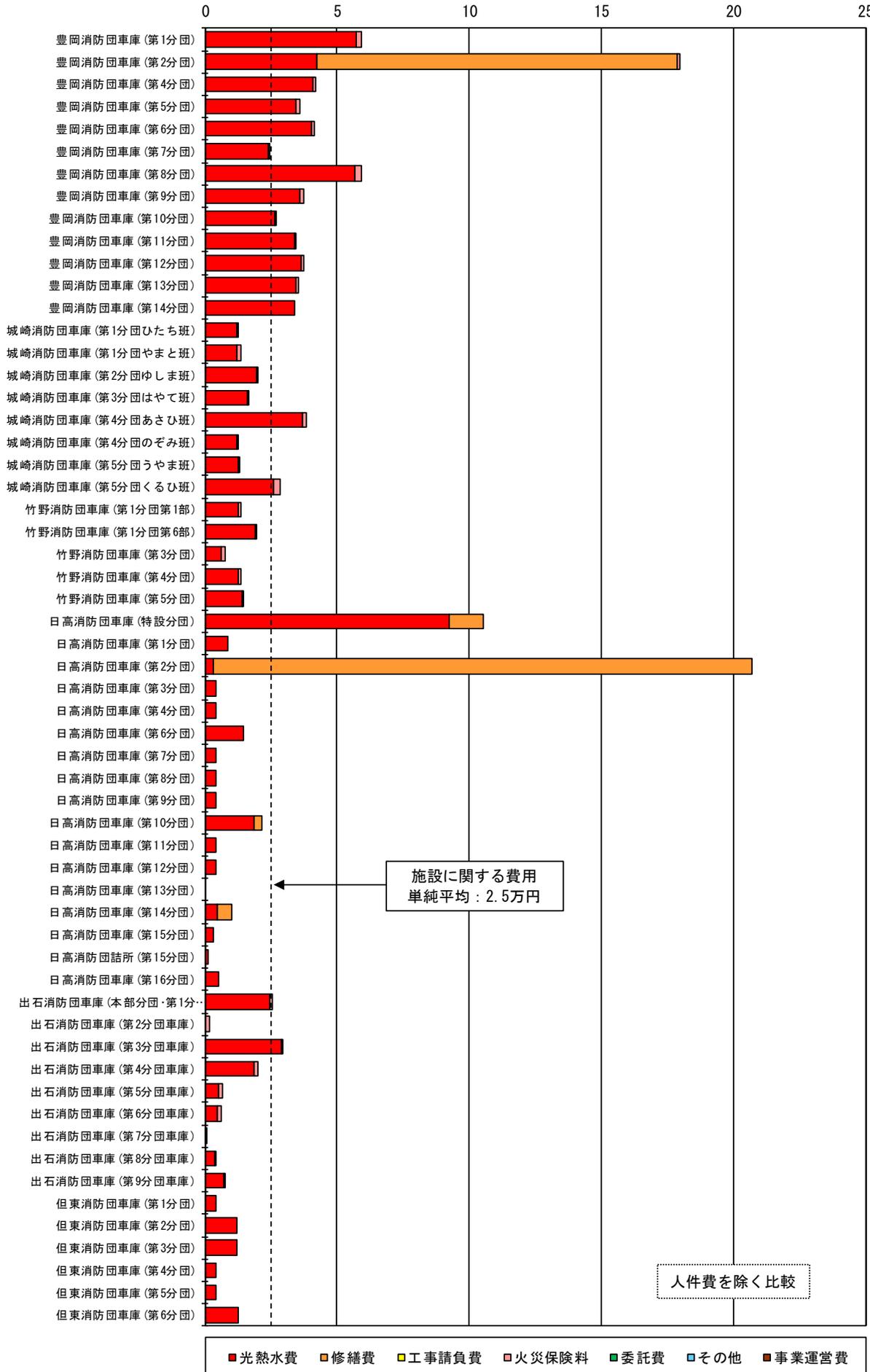
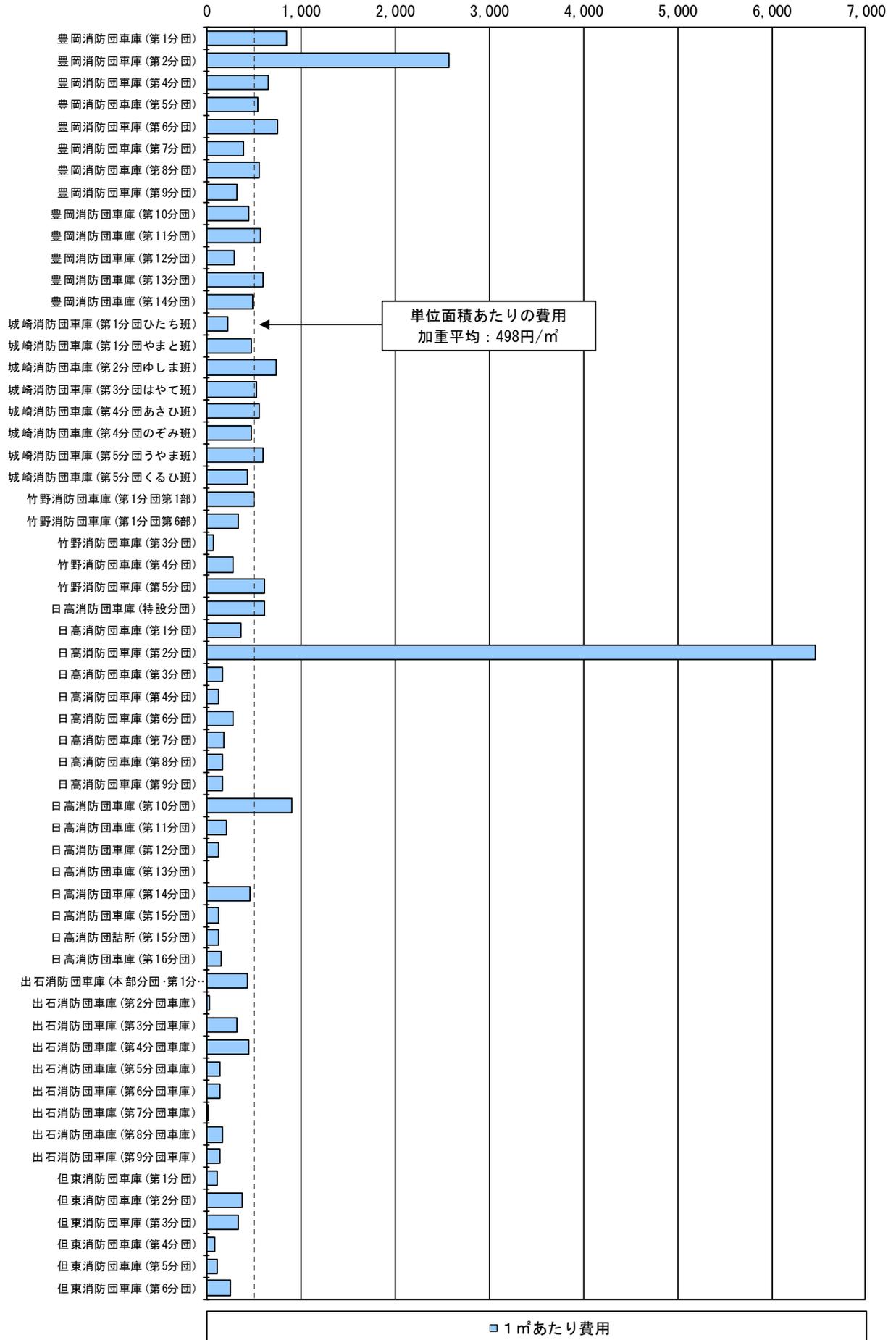


図 3-2-8 延床面積 1㎡あたりの費用（平成 25 年度）

(円/㎡)



## 5) 防災資機材庫

### ①概要

本市では、防災資機材庫を 7 箇所を設置していますが、このうち 4 箇所は竹野地域に立地しており、豊岡地域には立地していません。

防災資機材庫には、地震や河川氾濫等の災害発生時に消防隊員及び消防団員が迅速な救助・救出活動を実施するために必要な資機材等を保管しています。



< 防災倉庫 >

表 3-2-5 防災資機材庫の概要

ID	基礎情報						コスト情報 (千円)			収入 (千円)
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積 (㎡)	維持管理費	事業運営費	人件費	
76	防災資材倉庫	城崎町湯島735		S44	CB・1	26	12	0	0	0
77	防災倉庫	城崎町湯島625-1		S63	S・1	194	8	0	0	0
78	防災資機材庫(竹野松本)	竹野町松本46-1		H8	S・1	53	6	0	0	0
79	防災資機材庫(竹野森本)	竹野町森本514-1		H10	S・1	36	0	0	0	0
80	防災資機材備蓄庫 (竹野消防団第2分団)	竹野町竹野1458-10		H11	S・1	33	9	0	0	0
81	防災資機材備蓄庫 (竹野消防団第6分団)	竹野町椒1391-1		H14	S・1	35	13	0	0	0
82	防災資機材倉庫 (西芝水防倉庫)	日高町西芝字清水		H7	S・1	95	4	0	0	0

### ②建物の状況

延床面積は、防災倉庫が約 190 ㎡、防災資機材倉庫（西芝水防倉庫）が約 100 ㎡とやや広くなっていますが、これ以外は 20～50 ㎡程度と小規模なものになっています。

昭和 44 年に建築した防災資材倉庫は、建築後 45 年が経過して老朽化がかなり進んでおり、昭和 63 年に建築した防災倉庫も、建築後 26 年を経過して老朽化がかなり進んでいますが、いずれの施設もこれまでに改修を実施していません。

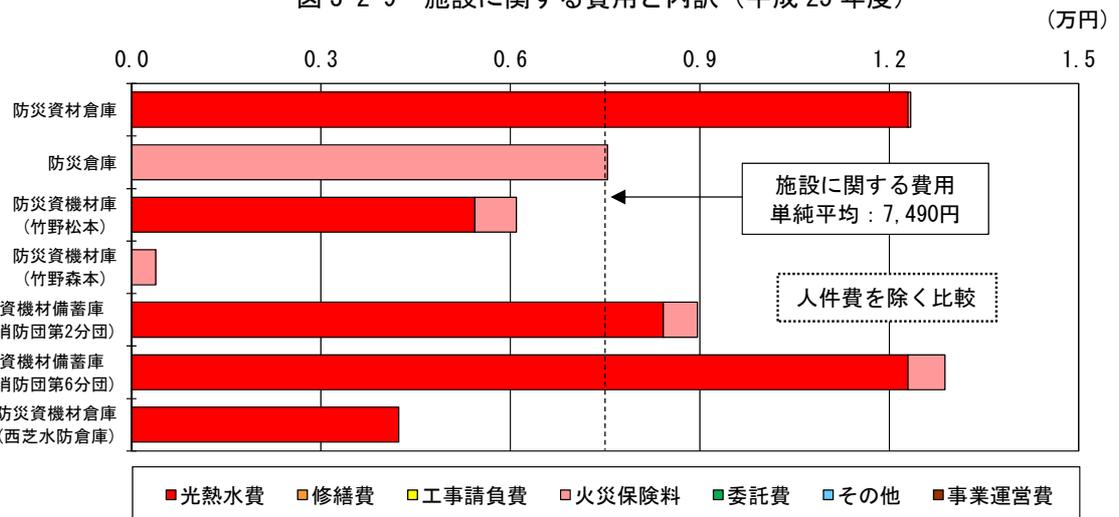
また、防災資材倉庫は、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築したものですが、耐震診断・改修は実施していません。

### ③施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用(人件費を除く)をみると、全施設の平均では 7,490 円となっていますが、防災資機材備蓄庫(竹野消防団第 6 分団)(約 1 万 2,880 円)や防災資機材倉庫(約 1 万 2,340 円)は平均の 1.5 倍程度となっています。防災資機材備蓄庫(竹野消防団第 2 分団)や防災資機材庫(竹野松本)、防災倉庫は平均的な水準となっています。

費用の内訳をみると、防災倉庫及び防災資機材庫(森本)が火災保険料のみとなっており、これ以外の防災資機材庫では光熱水費が大半を占めています。

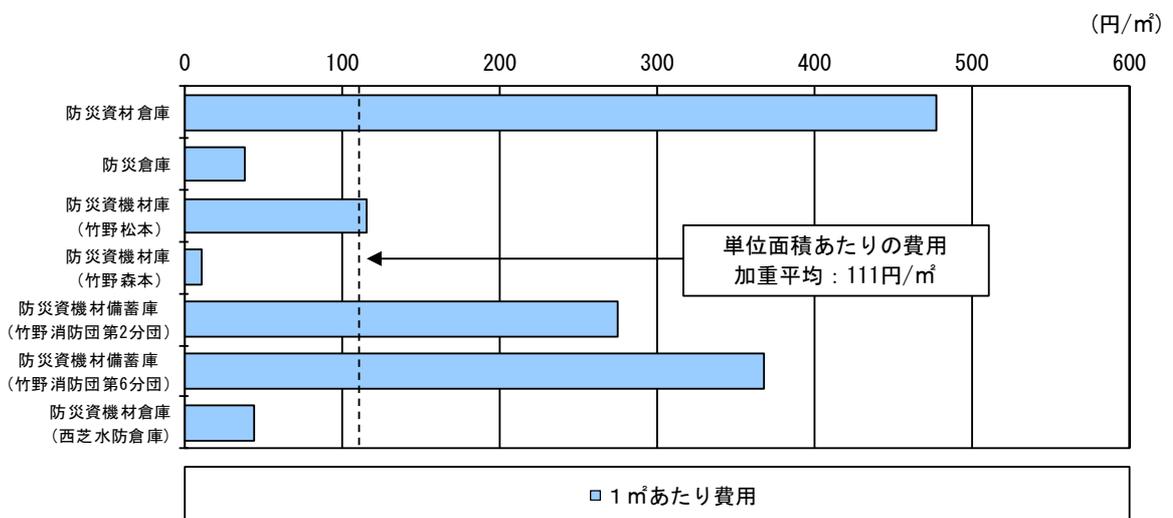
図 3-2-9 施設に関する費用と内訳(平成 25 年度)



### ④単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用(人件費を除く)を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、全施設の平均では 111 円となっていますが、施設に関する費用が高い防災機材倉庫では約 480 円と平均の 4 倍を超える高い水準となっています。このほか、防災資機材備蓄庫(竹野消防団第 6 分団・2 分団)も、平均を大きく上回る水準となっています。

図 3-2-10 延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの費用(平成 25 年度)



## 6) 水防倉庫

### ①概要

本市では、水防倉庫を 14 箇所を設置しており、このうち 8 箇所は豊岡地域に立地しています。

水防倉庫には、消防団員が迅速な水防活動を実施するために必要な水防資機材や、泥水や土砂の流出を防止するための土のう袋等を保管しています。



< 水防倉庫 >

表 3-2-6 水防倉庫の概要

ID	基礎情報						コスト情報 (千円)			収入 (千円)
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積 (㎡)	維持管理費	事業運営費	人件費	
83	水防倉庫(八条)	九日市上町1001-1		S43	W・1	20	0	0	0	0
84	水防倉庫(庄境)	庄境270		H14	W・1	33	1	0	0	0
85	水防倉庫(日撫)	日撫449		H19	S・1	19	0	0	0	0
86	水防倉庫(下鶴井)	下鶴井1361		H17	S・1	14	0	0	0	0
87	水防倉庫(森津)	一日市1673		S26	W・1	32	0	0	0	0
88	水防倉庫(引野)	引野846-3		S34	W・1	33	0	0	0	0
89	水防倉庫(清冷寺)	伏9-5		H3	W・1	20	1	0	0	0
90	水防倉庫(神美)	香住73-1		S58	W・1	20	1	0	0	0
91	水防倉庫(城崎円山)	城崎町来日208-3		H21	W・1	23	4	0	0	0
92	水防倉庫(日高土居)	日高町土居		S48	W・1	20	0	0	0	0
93	水防倉庫(出石小坂)	出石町鳥居31		H18	W・1	23	1	0	0	0
94	水防倉庫(出石片間)	出石町片間		S44	W・1	33	1	0	0	0
95	水防倉庫(出石堀川)	出石町馬場21-7		H13	S・1	21	1	0	0	0
96	水防倉庫(但東出合)	但東町出合337-1		S58	S・1	27	4	0	0	0

### ②建物の状況

延床面積は、いずれの水防倉庫も 20~30 ㎡程度と小規模なものになっています。

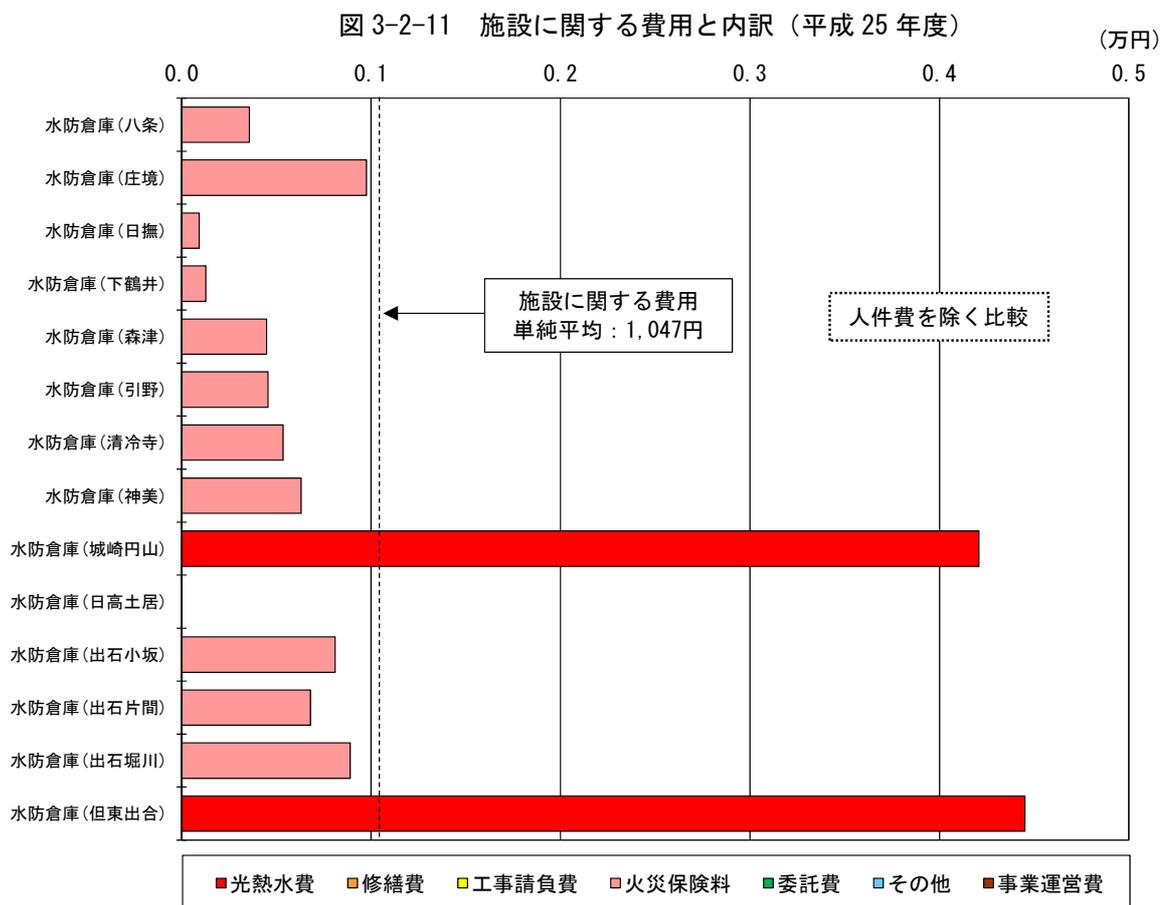
昭和 20 年代の後半から昭和 50 年代の後半にかけて建築した水防倉庫が 7 箇所あり、建築後 30~60 年程度が経過して老朽化がかなり進んでいますが、平成 23 年に屋根の修繕を行った神美水防倉庫以外は、改修を実施していません。

また、新耐震基準以前(昭和 56 年以前)に建築した水防倉庫は 5 箇所ありますが、いずれの施設も耐震診断・改修を実施していません。

### ③施設に関する費用の状況

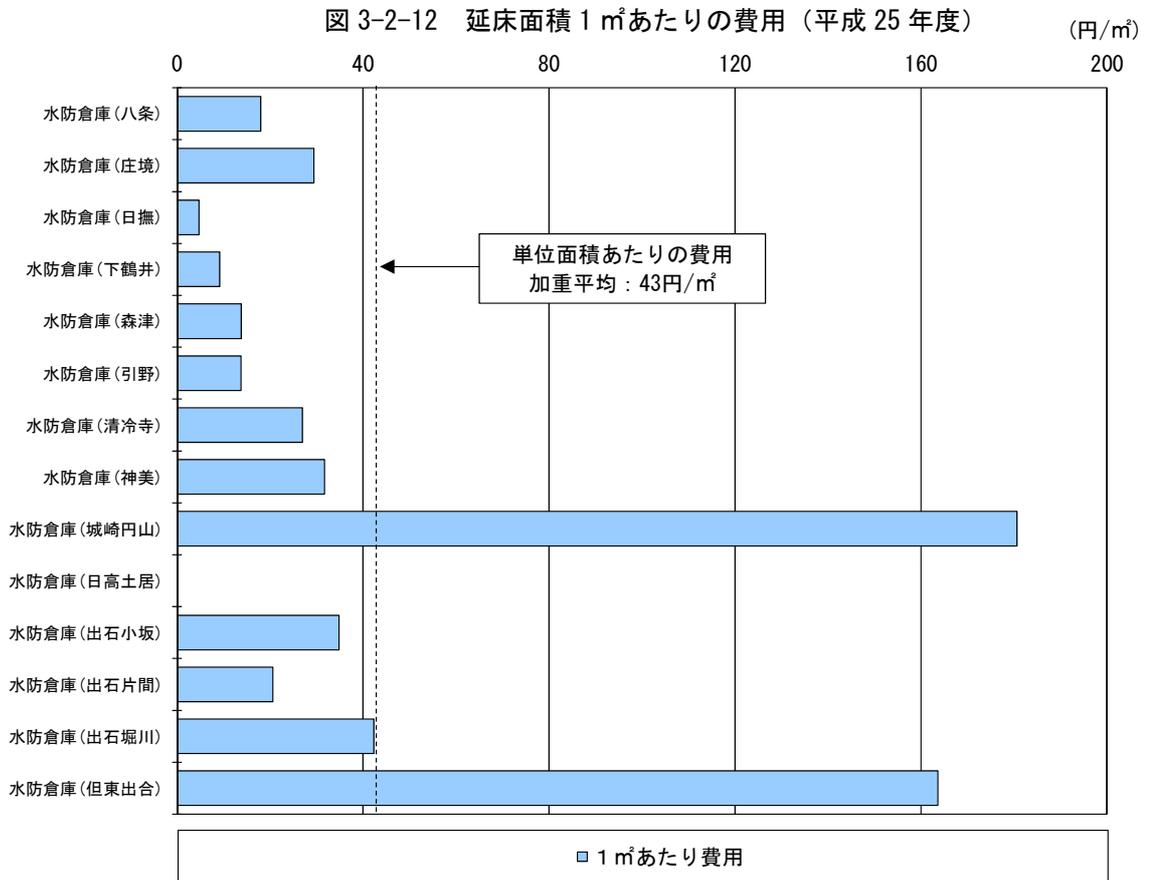
平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 1,047 円となっていますが、但東出合（約 4,450 円）及び城崎円山の水防倉庫（約 4,210 円）は、平均の 4 倍以上を超える高い水準となっています。

費用の内訳をみると、施設に関する費用が高い但東出合及び城崎円山の水防倉庫では光熱水費のみ、これ以外の水防倉庫は火災保険料のみとなっています。



#### ④単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりで見ると、全施設の平均では 43 円となっていますが、城崎円山（約 180 円）及び但東出合（約 160 円）の水防倉庫は、平均の 3～4 倍とかなり高い水準になっています。



## (2) 市民文化系施設

### 1) 公民館

#### ①概要

本市では、地区公民館を29地区に設置しており、五荘地区の大浜分館を加え、30施設あります。

公民館は、地域住民に最も身近な生涯学習拠点として、教養の向上、生活文化の振興など、地域に根ざした活動を行っています。



< 豊岡地区公民館 >

表 3-2-7 公民館の概要

ID	基礎情報						コスト情報 (千円)			収入 (千円)
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積 (㎡)	維持管理費	事業運営費	人件費	
97	豊岡地区公民館	立野町1-4		H13	S・3	1,788	6,503	2,981	2,978	1,216
98	八条地区公民館	九日市下町402	複合	H1	RC・3	509	3,824	2,219	2,978	44
99	三江地区公民館	庄境626		S62	RC・2	641	2,723	1,957	2,978	122
100	田鶴野地区公民館	野上162		S56	RC・2	589	1,966	1,902	2,978	38
101	五荘地区公民館	上陰137-7		H15	S・2	1,292	5,100	2,785	2,978	1,057
102	五荘地区公民館大浜分館	新堂243		H3	W・1	150	173	30	0	85
103	新田地区公民館	河谷596		S59	RC・2	655	2,690	1,938	2,978	87
104	中筋地区公民館	土淵281-1		S52	RC・2	533	14,637	1,915	2,978	72
105	奈佐地区公民館	吉井593-5		H18	W・2	497	1,745	2,004	2,978	89
106	港地区公民館	氣比2435		H6	RC・2	715	1,949	2,235	2,978	16
107	神美地区公民館 (神美地区基幹集落センター)	三宅81-1		H3	RC・2	519	1,339	1,963	2,978	27
108	城崎地区公民館	城崎町桃島1057-1	複合	H15	SRC・3	705	2,834	2,529	2,978	70
109	竹野地区公民館	竹野町竹野1585-1	複合	H13	RC・3	614	3,098	2,183	2,978	162
110	中竹野地区公民館	竹野町轟1051		S53	RC・2	638	3,489	2,116	2,978	23
111	竹野南地区公民館	竹野町森本984-1		S49	RC・2	927	3,898	2,037	2,978	96
112	国府地区公民館 (国府地区コミュニティセンター)	日高町野々庄934-2		S58	RC・2	554	927	1,947	2,978	238
113	八代地区公民館 (八代ふれあいセンター)	日高町中333-1		H5	RC・2	497	901	1,894	2,978	276
114	日高地区公民館 (日高農村環境改善センター)	日高町国分寺850		S53	RC・3	2,005	6,999	2,780	5,195	2,877
115	三方地区公民館 (三方地区基幹集落センター)	日高町栗山901-2		S56	RC・2	607	979	2,068	2,978	82
116	清滝地区公民館(清滝会館)	日高町山宮1337-1		S57	S・1	522	867	1,689	2,978	48
117	西気地区公民館 (西気地区コミュニティセンター)	日高町栗栖野739-1		S56	RC・2	398	0	1,584	0	189
118	弘道地区公民館	出石町内町1	複合	H5	RC・3	572	2,007	2,233	2,978	139
119	福住地区公民館 (福住地区交流センター)	出石町福住460-1		H19	W・1	494	1,227	1,988	0	93
120	寺坂地区公民館 (寺坂地区交流センター)	出石町寺坂157		H20	W・1	438	1,137	1,871	2,978	109
121	菅谷地区公民館(菅谷地区 高齢者生活支援センター)	出石町荒木810		H16	W・1	286	448	2,062	2,978	34
122	小坂地区公民館(小坂地区 多目的研修集会施設)	出石町福居946		S56	RC・2	467	735	1,970	2,978	81
123	小野地区公民館 (小野地区交流センター)	出石町袴狭386-1		H24	W・1	369	804	1,656	2,978	165
124	合橋地区公民館	但東町出合150	複合	H6	RC・3	730	2,210	2,125	2,978	234
125	高橋地区公民館	但東町久畑830		H6	W・1	499	1,006	2,163	2,978	44
126	資母地区公民館 (資母地区交流センター)	但東町中山815		H22	W・2	509	1,359	2,031	2,978	64

## ②建物の状況

延床面積が 2,000 m<sup>2</sup>前後の日高地区や豊岡地区の公民館を除き、概ね 500~1,000 m<sup>2</sup>程度の公民館が多くなっています。

公民館の 1/3 以上（11 施設）が昭和 40 年代後半から 50 年代にかけて建築されており、老朽化が進んでいますが、八条地区公民館以外は大規模な改修を実施していません。

また、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築された 8 施設について、二次診断で耐震改修が不要と判断された中筋地区公民館を除き、耐震改修は未実施となっています。

## ③利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、大半の公民館が 1 万人以下となっていますが、日高地区では約 6.3 万人と特に多く、豊岡地区や五荘地区でも 3.5 万人前後と多くなっています（図 3-2-13）。

延利用者数の推移をみると、ほとんどの公民館で増加または横ばいとなっています。

公民館に併設されている貸室の稼働率をみると、平成 25 年度で 10%前後の公民館が多くなっていますが、豊岡地区、城崎地区、日高地区の公民館では 30%程度とやや高くなっています（図 3-2-14）。

稼働率の推移をみると、ほとんどの公民館で横ばいか増加となっています。

## ④施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 737 万円となっていますが、中筋地区（約 1,950 万円）、日高地区（約 1,500 万円）、豊岡地区（約 1,250 万円）の公民館では、平均を大きく上回っています（図 3-2-15）。

費用の内訳をみると、人件費や事業運営費の占める割合が高い公民館が多く、これ以外では委託費、修繕費、光熱水費が主な費目として挙がっています。施設に関する費用が高い公民館（中筋地区、日高地区、豊岡地区）では、工事請負費や委託費の割合が高くなっています。

## ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、全施設の平均では 11,212 円となっていますが、施設に関する費用が高い中筋地区公民館は約 36,660 円で、平均の 3 倍を超える高い水準となっています（図 3-2-16）。

利用者 1 人あたりでみると、全施設の平均では 594 円となっていますが、中筋地区公民館は約 1,860 円で、延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの費用と同様に平均の 3 倍を超える高い水準となっています（図 3-2-17）。

図 3-2-13 利用者数の推移

(人)

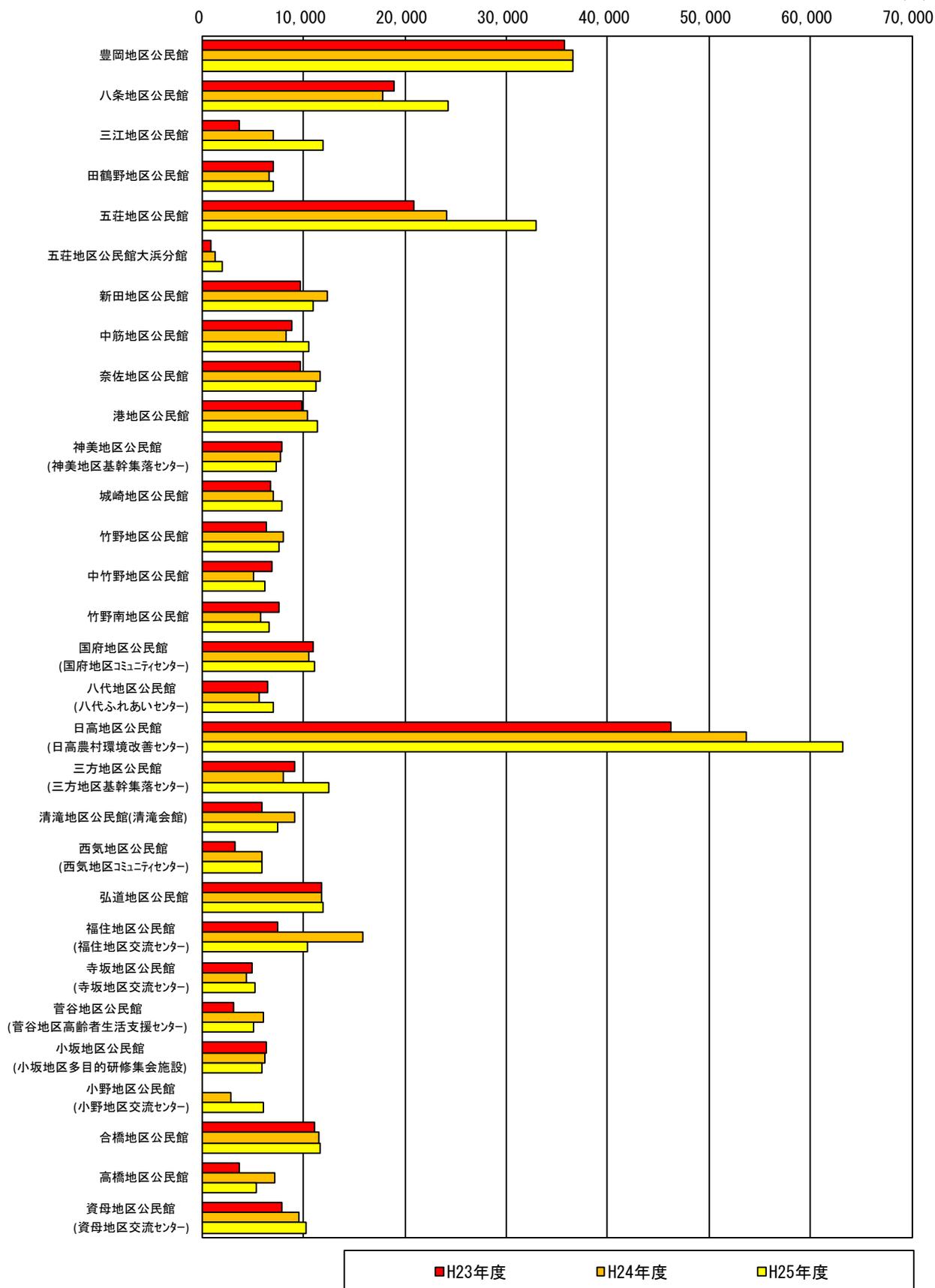


図 3-2-14 貸室の稼働率の推移

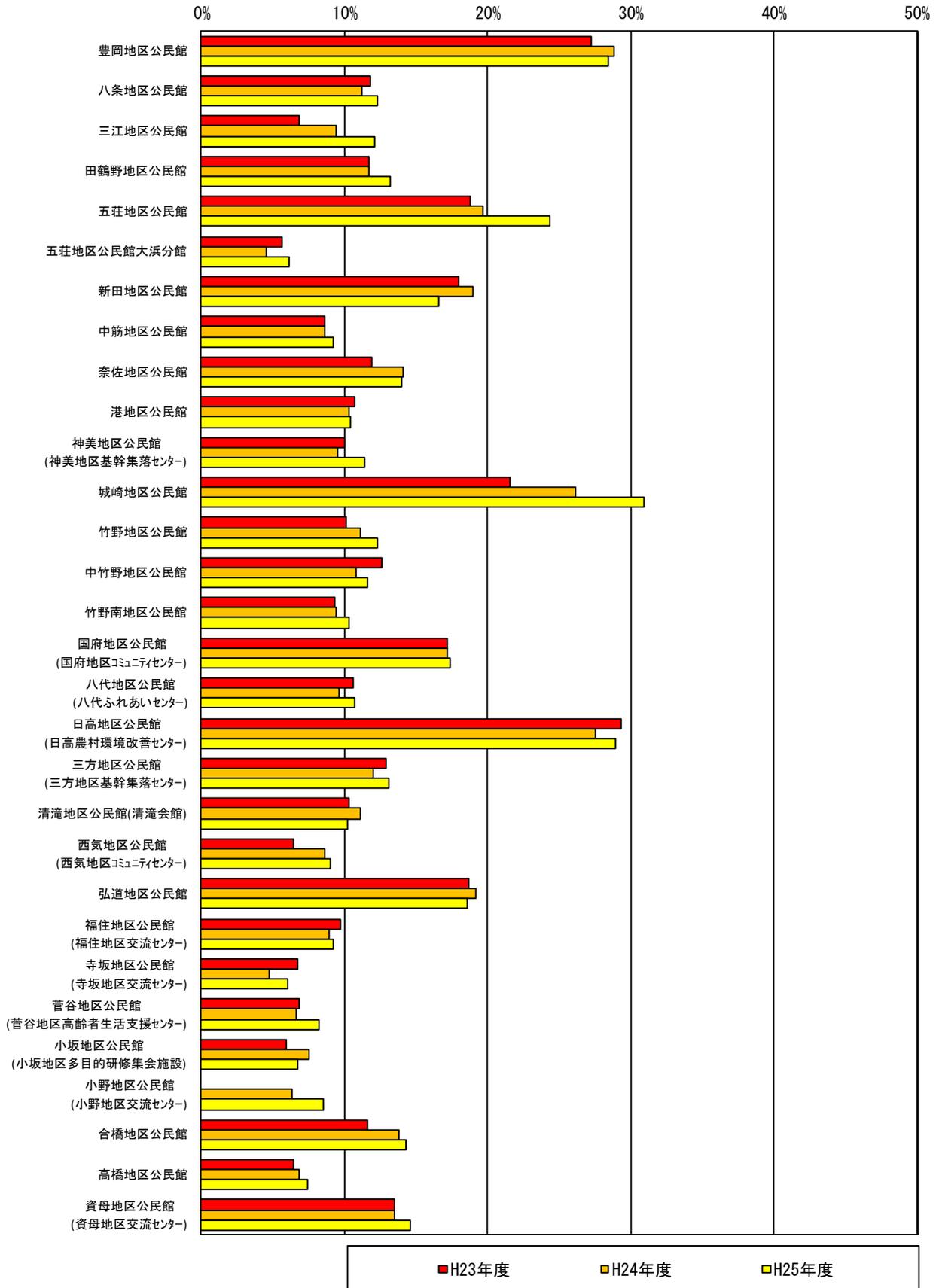


図 3-2-15 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）

(万円)

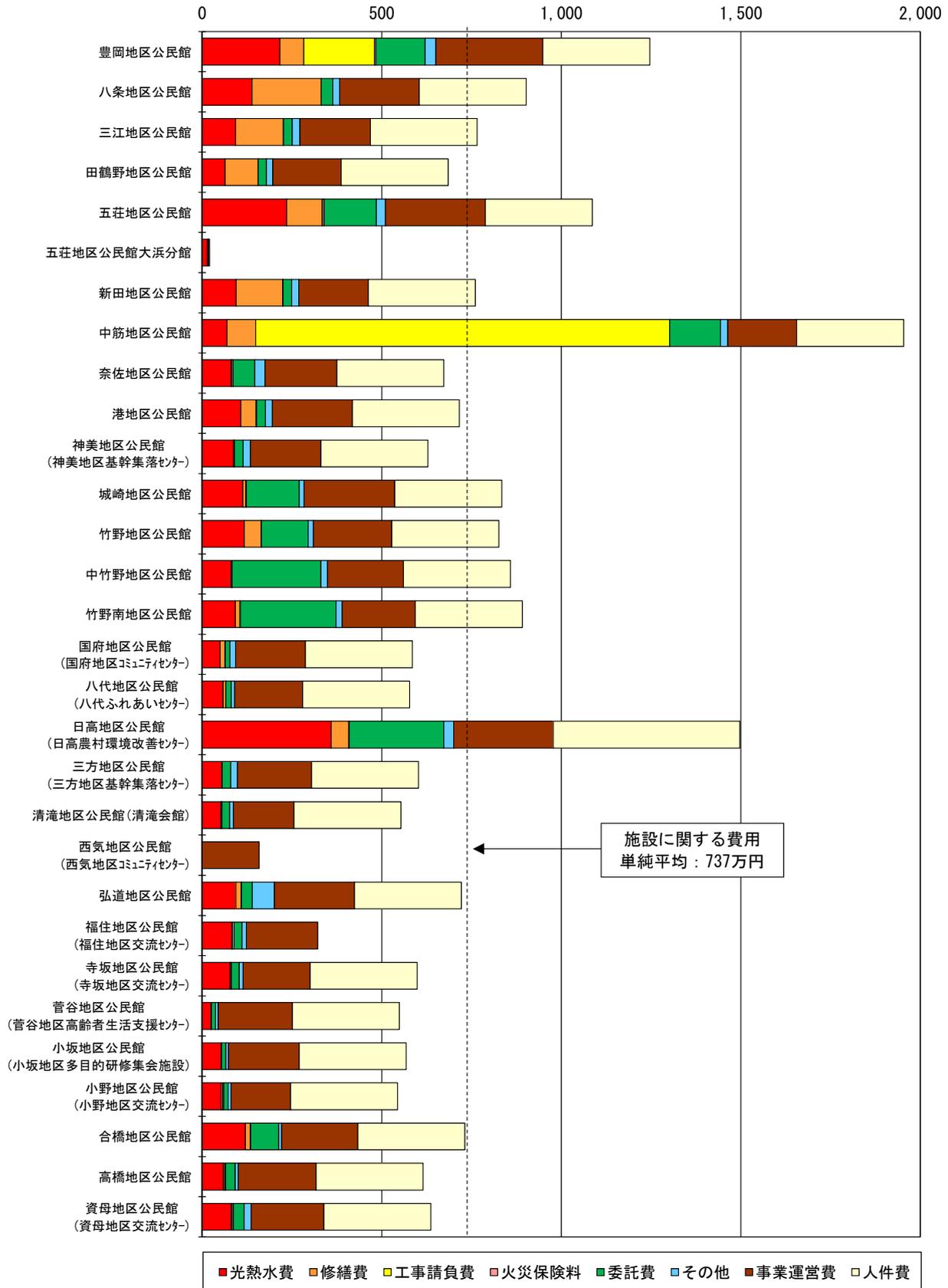


図 3-2-16 延床面積 1㎡あたりの費用（平成 25 年度）

(円/㎡)

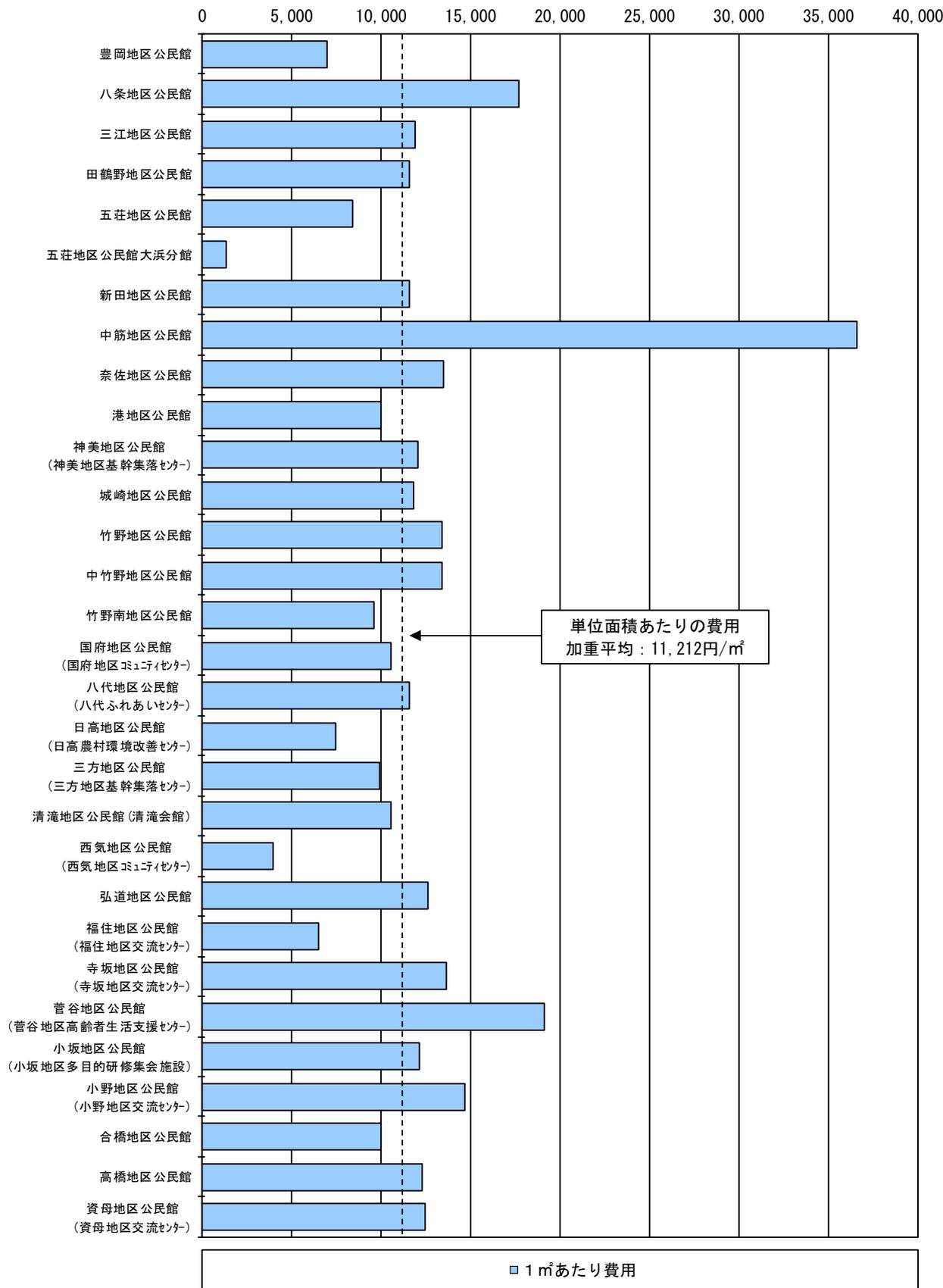
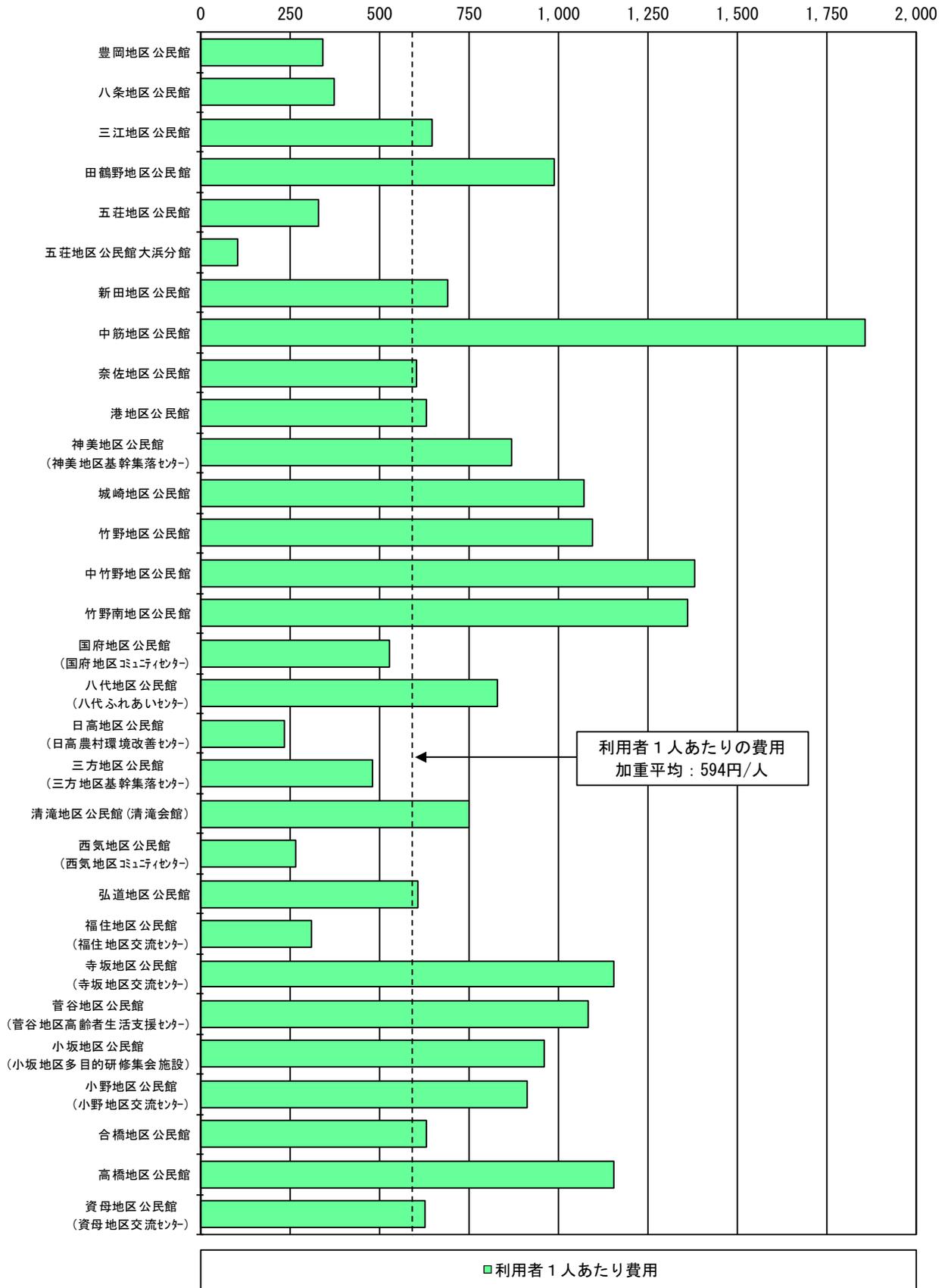


図 3-2-17 利用者 1 人あたりの費用（平成 25 年度）

(円/人)



## 2) 集会施設

### ①概要

本市では、集会施設を 49 箇所に設置しています。コミュニティ（消防）センター及び高齢者生活支援センターがそれぞれ 9 箇所と最も多く、次いで集会所が 8 箇所となっています（表 3-2-8）。

集会施設は、公民館と同様に地域住民の集いの場・寄り合いの場となっているほか、地域の伝統的な文化・芸能や産業等を後世に伝承するための活動を行う場としても利用されています。



< 坊岡地区多目的集会施設 >

### ②建物の状況

いずれの施設も規模は小さく、椒地域ふるさと生きがいセンター（約 490 m<sup>2</sup>）など 5 施設を除いて、延床面積は 300 m<sup>2</sup>未満となっています。

平成に入ってから建築された施設が 45 箇所と大半を占めており、建築後 10～15 年程度の施設が特に多くなっています。明治元年に建築された出石歴史文化交流館は老朽化がかなり進んでいましたが、平成 25 年に実施した大規模改修（改築工事）により新しい施設に生まれ変わりました。

また、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築された施設は 3 箇所ありますが、いずれの施設も耐震診断・改修が未実施となっています。

表 3-2-8 集会施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報 (千円)			収入 (千円)
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積 (㎡)	維持管理費	事業運営費	人件費	
127	楽々浦交流館	城崎町楽々浦535		H15	W・1	123	0	0	0	166
128	須野谷地区多目的集会施設	竹野町須野谷129		H1	W・1	87	0	0	0	0
129	坊岡地区多目的集会施設	竹野町坊岡281		H2	W・1	92	0	0	0	0
130	鬼神谷地区山村活性化支援センター	竹野町鬼神谷137		H7	W・1	96	0	0	0	0
131	阿金谷地区農林漁家婦人活動施設	竹野町阿金谷230-1		H9	W・1	103	0	0	0	0
132	交流の館	竹野町大森282		H5	W・1	101	0	0	0	0
133	文化芸能伝承館	竹野町轟354		H4	W・1	116	0	0	0	0
134	日高区公民館	日高町鶴岡492-1		S55	RC・2	264	0	0	0	0
135	羽尻活性化センター	日高町羽尻585		H9	W・1	223	341	0	0	341
136	頃垣活性化センター	日高町頃垣592		H12	W・1	191	172	0	0	172
137	東河内生活改善センター	日高町東河内498-1		S55	S・1	200	387	0	0	387
138	木の薫る土居交流促進センター	日高町土居410-1		H16	W・1	225	165	0	0	165
139	木の薫る久田谷交流促進センター	日高町久田谷194-2		H15	W・1	207	0	289	0	289
140	木の薫る森山交流促進センター	日高町森山189-1		H16	W・1	214	245	0	0	245
141	木の薫る山宮交流促進センター	日高町山宮929		H13	W・1	233	451	0	0	451
142	上石区コミュニティ消防センター	日高町上石130		H15	W・1	228	0	0	0	0
143	篠垣区コミュニティ消防センター	日高町篠垣110		H13	W・1	151	0	0	0	0
144	堀区コミュニティセンター	日高町堀384-2		H12	W・2	244	0	0	0	0
145	竹貴区コミュニティセンター	日高町竹貴313		H14	W・1	195	224	0	0	224
146	猪爪区コミュニティセンター	日高町猪ノ爪37-2		H13	W・1	171	0	0	0	0
147	小河江区コミュニティセンター	日高町小河江79-1		H16	W・1	66	0	0	0	0
148	観音寺字区コミュニティセンター	日高町観音寺679		H17	W・1	223	0	0	0	0
149	稲葉区コミュニティセンター	日高町稲葉33-5		H16	W・1	155	0	0	0	0
150	宮内地区コミュニティ消防センター	出石町宮内1126-1		H13	W・1	375	288	146	0	434
151	袴狭集会所	出石町袴狭1392-1		H1	W・1	311	549	0	0	0
152	宵田集会所	出石町宵田65-2		H7	W・2	238	232	20	0	30
153	東條集会所	出石町東條172		H7	W・1	60	476	4	0	3
154	川原集会所	出石町川原168		H9	W・2	307	695	37	0	38
155	材木集会所	出石町材木22		H12	W・1	74	99	4	0	0
156	大谷集会所	出石町大谷446		H1	W・1	159	145	32	0	0
157	室見会館	出石町細見845		H11	W・1	308	384	38	0	5
158	奥小野集会所	出石町奥小野578		H15	W・1	194	229	80	0	5
159	出石歴史文化交流館	出石町松枝159		M1	W・1	79	7	0	0	22
160	赤野太刀振り文化伝承館	但東町中山459-1		S62	W・1	270	214	0	0	0
161	坂津転作研修センター	但東町坂津272-1		H5	W・1	116	104	0	0	0
162	赤花多目的集会施設	但東町赤花767		H4	W・1	182	322	0	0	0
163	コミュニティ消防センター-唐川	但東町唐川221-1		H14	W・1	232	0	0	0	0
164	相田交流館	但東町相田202		H15	W・1	107	62	0	0	5
165	須谷高齢者生活支援センター	竹野町須谷939		H15	W・1	166	208	0	0	208
166	畑山高齢者生活支援センター	但東町畑山199-5		H12	W・1	244	278	36	0	314
167	水石高齢者生活支援センター	但東町水石155		H13	W・1	81	147	0	0	147
168	奥矢根高齢者生活支援センター	但東町奥矢根377-3		H14	W・1	139	237	0	0	237
169	栗尾高齢者生活支援センター	但東町栗尾234-1		H14	W・1	144	169	0	0	169
170	佐田高齢者生活支援センター	但東町佐田708		H14	W・1	125	177	0	0	177
171	口藤高齢者生活支援センター	但東町口藤334-2		H14	W・1	129	154	0	0	154
172	但東三原高齢者生活支援センター	但東町三原523-3		H15	W・1	148	180	0	0	180
173	出合高齢者生活支援センター	但東町出合452-1		H15	W・1	142	141	18	0	159
174	椒地域ふるさと生きがいセンター	竹野町椒1247		H1	S・2	486	344	0	0	423
175	坂野地区農作業準備休憩施設	但東町坂野382-1		H17	W・1	140	286	0	0	20

### 3) 文化施設

#### ①概要

本市では、文化施設を6箇所に設置しています。市民会館や市民センターは行政（旧市町）単位ごとに設置されることが多い施設ですが、竹野地域及び日高地域には立地していません。

文化施設は、市民の文化・芸術活動の場、音楽・演芸等の鑑賞の場として、多くの市民に利用されています。



＜ 城崎国際アートセンター ＞

表 3-2-9 文化施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報（千円）			収入（千円）
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積（㎡）	維持管理費	事業運営費	人件費	
176	豊岡市民会館	立野町20-34		S46	RC・4	5,922	240,343	24,522	44,356	23,470
177	豊岡市民プラザ	大手町4-5		H10	RC・7	2,436	0	0	0	0
178	城崎市民センター	城崎町桃島1057-1	複合	H15	SRC・3	386	1,462	0	0	228
180	城崎国際アートセンター	城崎町湯島1060		S58	RC・4	3,930	0	0	0	0
181	出石文化会館	出石町水上318		H6	RC・4	2,423	12,071	0	0	1,904
182	但東市民センター	但東町出合150	複合	H6	RC・3	1,099	5,315	0	0	508

#### ②建物の状況

城崎市民センター（約 390 ㎡）以外はいずれの施設も規模が大きく、豊岡市民会館は延床面積が約 5,900 ㎡で 4 階建と特に規模が大きくなっています。

昭和 46 年に建築した豊岡市民会館が最も古く、城崎国際アートセンター（昭和 58 年建築）とともに大規模改修・更新のサイクルを上回る建築後 30～40 年が経過していますが、豊岡市民会館は平成 25 年度から平成 26 年度にかけて耐震化等の改修、城崎国際アートセンターは平成 25 年度に大規模改修をそれぞれ実施しています。

#### ③利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、豊岡市民プラザが約 12.4 万人と最も多く、次いで豊岡市民会館が約 8.8 万人となっていますが、他の施設は 0.2～1.3 万人程度となっています。

延利用者数の推移をみると、出石文化会館は減少傾向にあります。他の施設では横ばいとなっています。なお、豊岡市民会館については、改修工事による休館期間の影響で一時的に延利用者数が減少しています。

文化施設に併設されている貸室の稼働率をみると、豊岡市民プラザでは平成 25 年度で約 39%となっていますが、城崎市民センターでは 3%程度にとどまっています。稼働率の推移をみると、いずれの施設も横ばいとなっています。

図 3-2-18 利用者数の推移

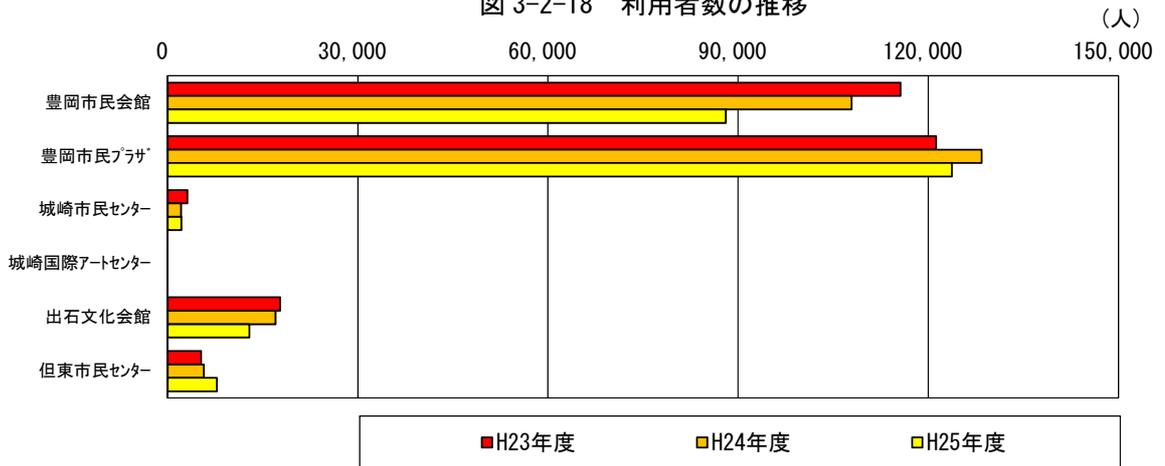
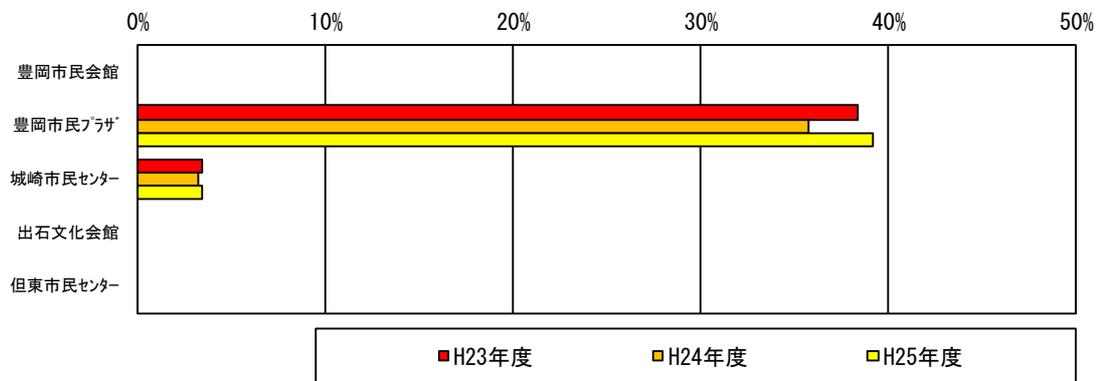


図 3-2-19 貸室の稼働率の推移

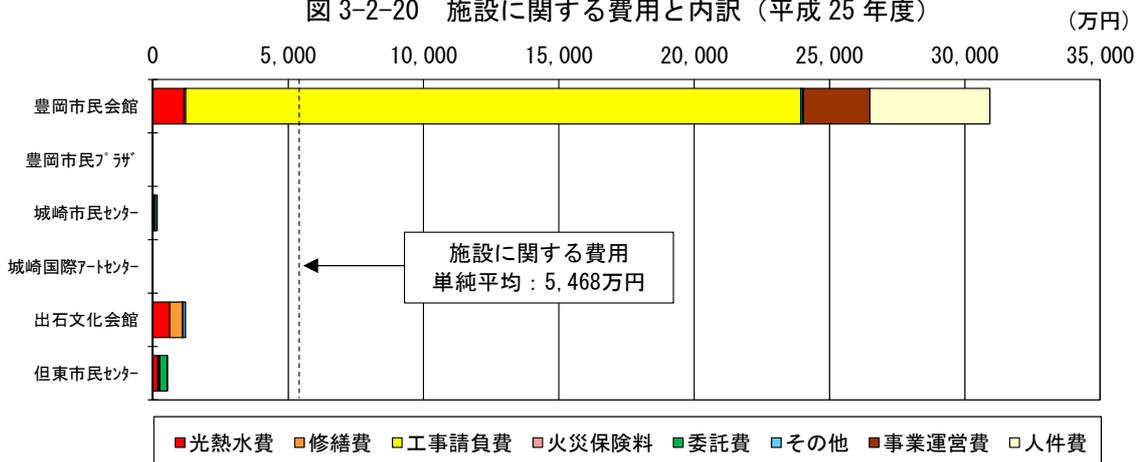


④施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 5,468 万円となっていますが、施設規模の大きい豊岡市民会館は約 3 億 6,850 万円と他の施設（約 150～1,210 万円）に比べるとかなり高い水準となっています。

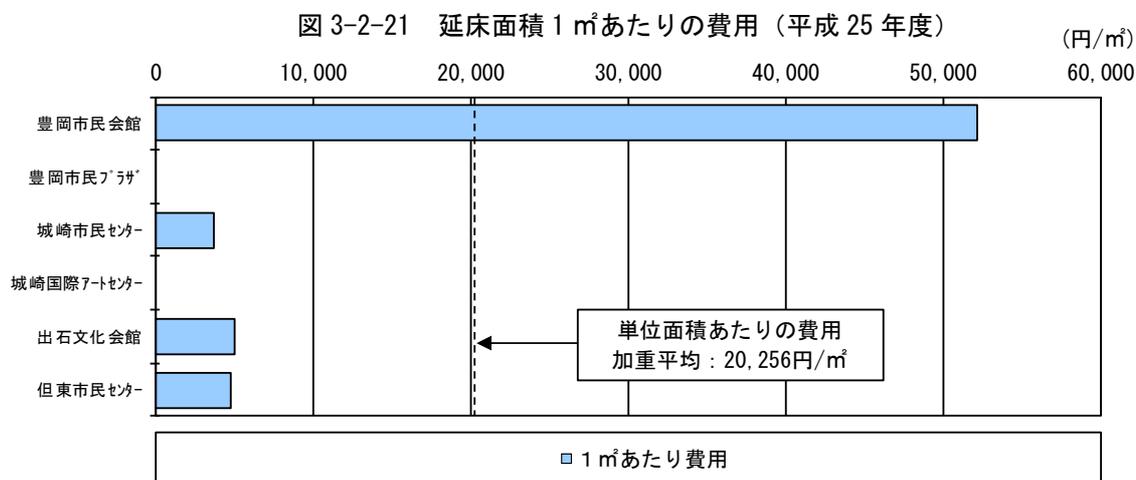
費用の内訳をみると、いずれの施設においても光熱水費、修繕費、委託費が費目として挙がっていますが、豊岡市民会館では耐震改修等のため工事請負費が約 2 億 2,730 万円と多くなっており、人件費（約 4,440 万円）や事業運営費（約 2,450 万円）も他の施設の合計を上回っています。

図 3-2-20 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）

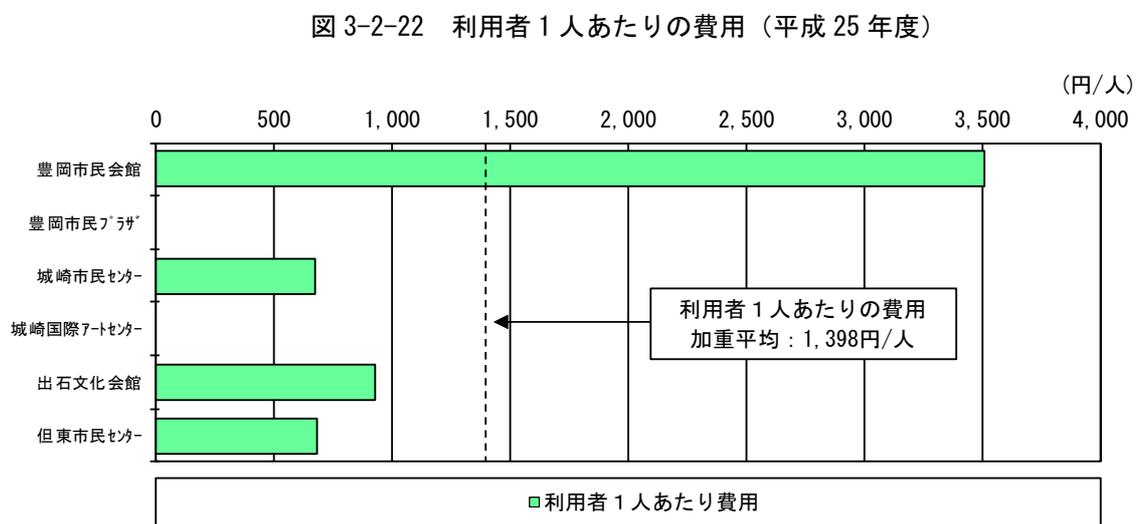


### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりで見ると、全施設の平均では 20,256 円となっていますが、豊岡市民会館は耐震改修等のため約 52,220 円と平均の 2 倍を超えており、他の施設（約 0~4,980 円）に比べるとかなり高い水準となっています。



利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 1,398 円となっていますが、豊岡市民会館は耐震改修等のため約 3,510 円と平均の 2 倍を超えており、他の施設（約 680~940 円）に比べるとかなり高い水準となっています。



### (3) 社会教育系施設

#### 1) 図書館

##### ①概要

本市では、図書館を6箇所を設置していますが、単独の施設である本館以外は、各地域における庁舎の中に他の公共施設と併設する形で設置しています。

図書館は、全域サービスの考え方に基づいて、サービスの空白地域が生じないように配置を行っています。



< 図書館本館 >

表 3-2-10 図書館の概要

ID	基礎情報						コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	維持管理費	事業運営費	人件費	
183	図書館本館	京町5-28		H10	RC・3	2,804	16,226	20,627	0	120
184	図書館城崎分館	城崎町桃島1057-1	複合	H15	SRC・3	266	1,835	1,996	0	12
185	図書館竹野分館	竹野町竹野1585-1	複合	H13	RC・3	363	2,620	2,662	0	15
186	図書館日高分館	日高町祢布920	複合	S56	RC・4	478	3,264	3,327	0	19
187	図書館出石分館	出石町内町1	複合	H5	RC・3	386	2,427	3,743	0	19
188	図書館但東分館	但東町出合150	複合	H6	RC・3	170	1,037	1,331	0	8

※分館の建築年は各庁舎の建築年であり、分館としての開設年とは異なります

平成25年度の蔵書数は、図書館全体で約33.3万冊となっており、本館が約18.1万冊と全体の半数以上を占めています。

これ以外の分館は、庁舎の中に設置しているため、蔵書数は約2.1~3.7万冊程度となっています。

表 3-2-11 図書館の蔵書数

施設名	蔵書数(平成25年度)
図書館本館	180,904冊
図書館城崎分館	21,312冊
図書館竹野分館	24,262冊
図書館日高分館	37,298冊
図書館出石分館	33,932冊
図書館但東分館	34,982冊
全体	332,690冊

##### ②建物の状況

昭和56年(日高庁舎の建築年)に建築した日高分館が最も古く、大規模改修・更新のサイクルを上回る建築後33年が経過していますが、平成20年に大規模な改修を実施しており、平成22年には耐震改修も実施しています。これ以外の図書館については、平成に入ってから建築したものであり(分館は庁舎の建築年)、建築後10~20年ほど経過しています。

また、平成10年に建築した図書館本館は、建築後15年目にあたる平成25年から26年にかけて、空調設備及び電気設備の更新を行っています。

### ③利用の状況

平成 25 年度の図書館の利用状況をみると、貸出サービスの延利用者数は約 23.7 万人、貸出冊数は約 48.8 万冊となっています。延利用者数、貸出冊数ともに本館が最も多く、それぞれ約 14.3 万人（約 60%）、約 27.6 万冊（約 57%）となっています。

延利用者数の推移をみると、本館では減少が続いていますが、分館では増加または横ばいとなっています。

貸出冊数の推移も延利用者数と同様の傾向がみられ、本館では減少、分館では増加または横ばいとなっています。

図書館本館に併設されている貸室の稼働率をみると、平成 25 年度で 9%程度にとどまっております、年々減少する傾向にあります。

図 3-2-23 利用者数の推移

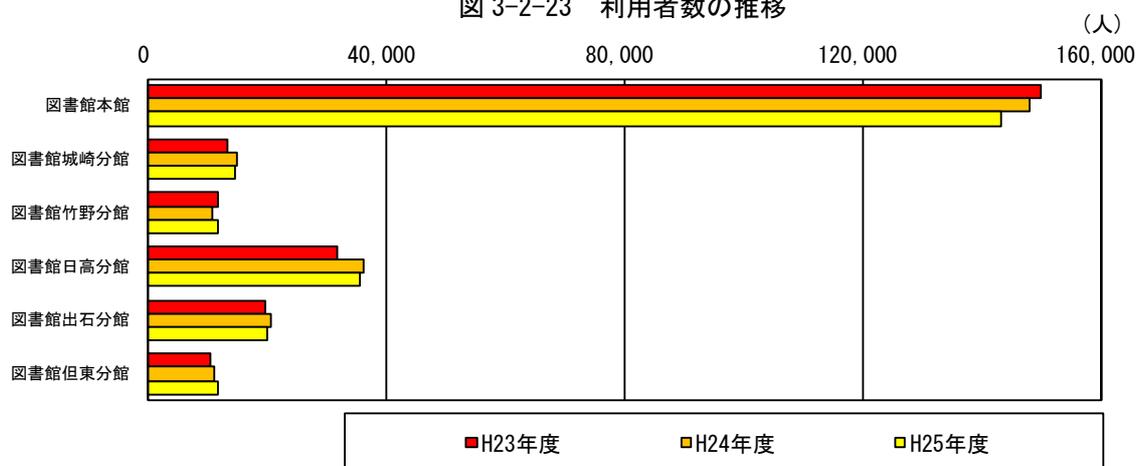


図 3-2-24 貸出冊数の推移

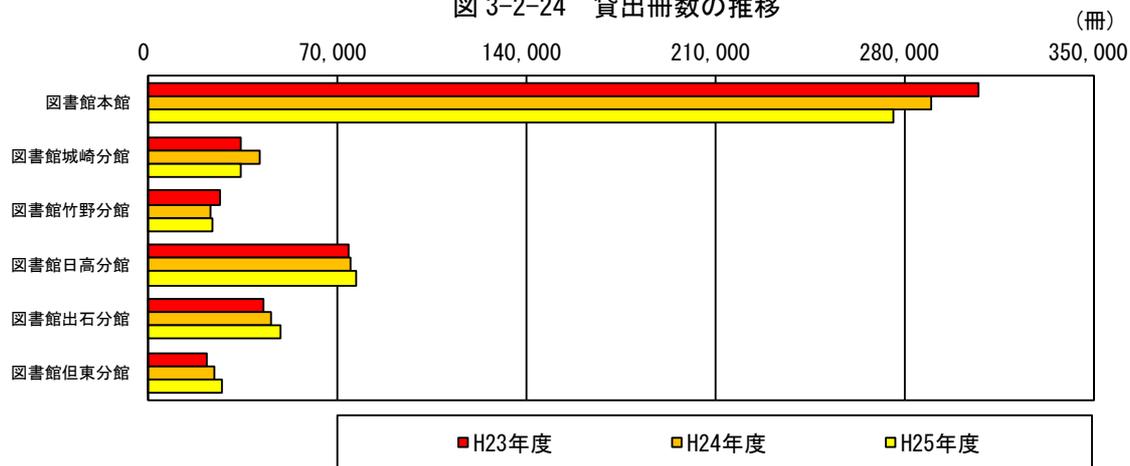
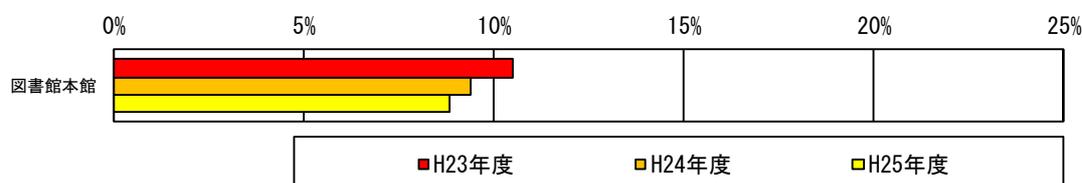


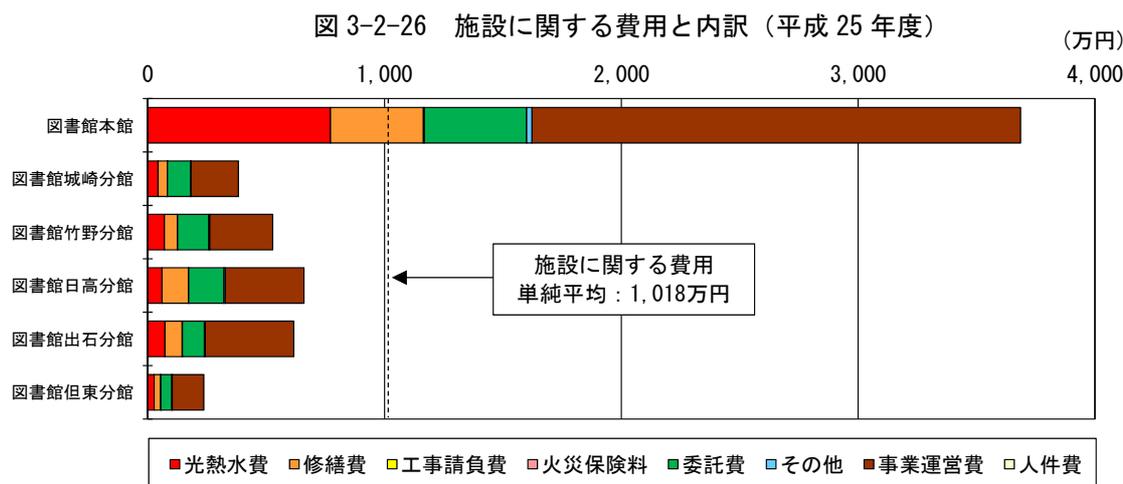
図 3-2-25 貸室の稼働率の推移



#### ④施設に関する費用の状況

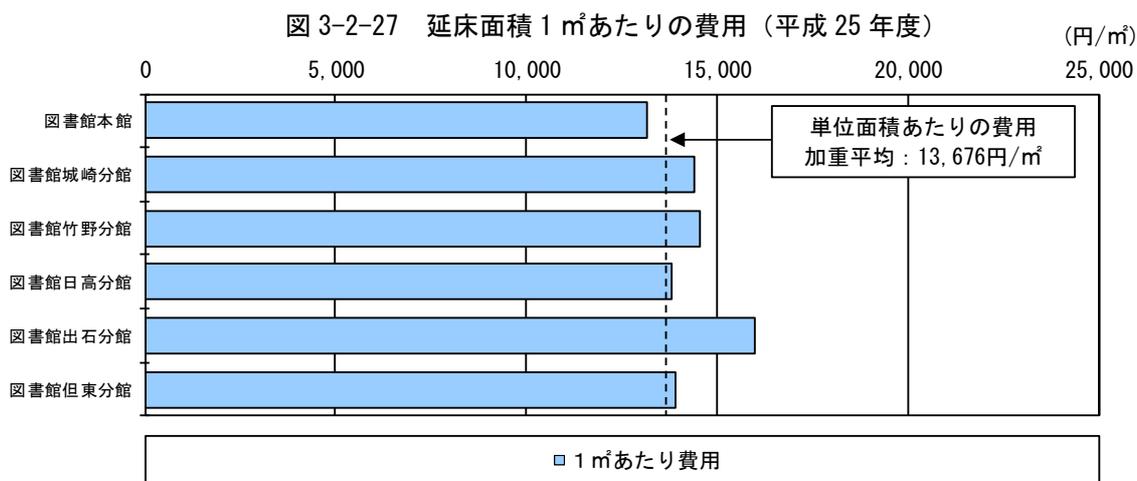
平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 1,018 万円となっていますが、蔵書数、利用者数、貸出冊数が特に多く、分館を含む市内の図書館全体に関する業務も行っている本館は約 3,690 万円で、分館（約 240～660 万円）に比べるとかなり高い水準となっています。

費用の内訳をみると、いずれの図書館においても事業運営費が過半を占めており、これ以外では委託費、修繕費、光熱水費が主な費目として挙がっています。本館は、単独の施設であることから光熱水費の割合が分館に比べて高くなっています。

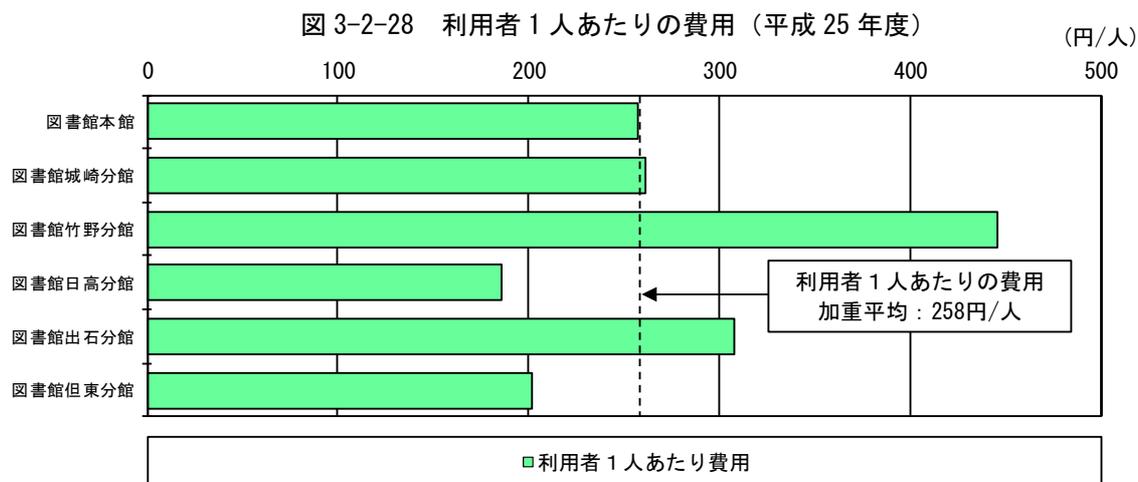


#### ⑤単位あたりのコストの状況

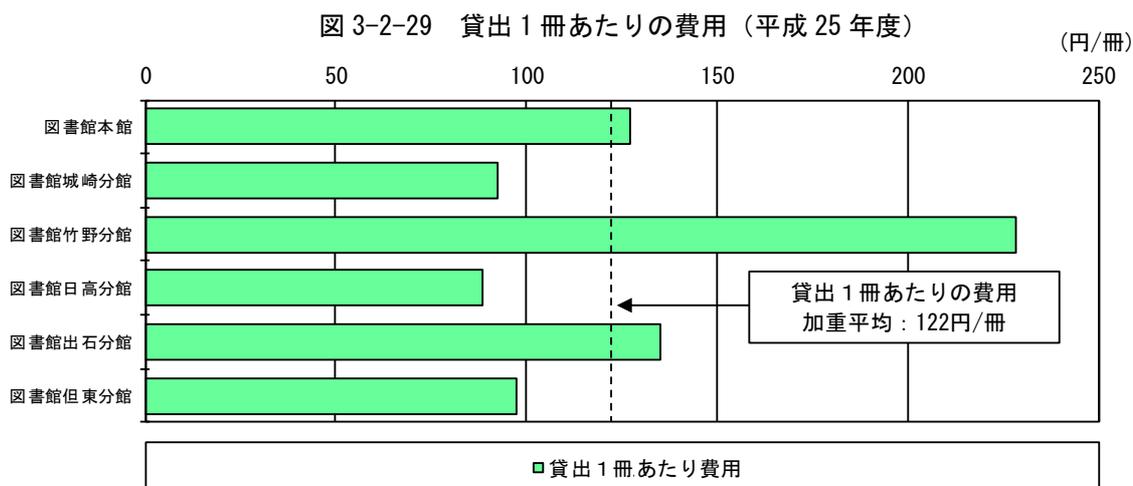
平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、全施設の平均では 13,676 円となっており、出石分館（約 15,980 円）以外は、おおむね平均に近い水準となっています。



利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 258 円となっていますが、竹野分館は約 450 円と他の図書館（約 190～310 円）に比べて高い水準となっています。



貸出 1 冊あたりで見ると、全施設の平均では 122 円となっていますが、利用者 1 人あたりの費用が高い竹野分館は約 230 円と他の図書館（約 90～140 円）に比べて高い水準となっています。



## 2) 博物館・資料館

### ①概要

本市では、博物館・資料館を17箇所に設置しており、歴史・文化・産業・自然・人物など様々なテーマで各所に立地しています。

博物館・資料館は、市民が本市の歴史・文化等を学び習得する場として利用されているほか、本市を訪れる観光客等の主な立ち寄り先にもなっています。



< コウノトリ文化館 >

表 3-2-12 博物館・資料館の概要

ID	基礎情報						コスト情報（千円）			収入（千円）
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積（㎡）	維持管理費	事業運営費	人件費	
189	出土文化財管理センター	神美台157-40		H7	S・2	789	1,681	355	0	0
190	コウノトリ文化館	祥雲寺127		H12	W・2	1,008	4,418	7,125	25,760	8,664
192	城崎文芸館	城崎町湯島357-1		H8	RC・2	1,081	6,622	7,240	4,041	11,534
193	城崎麦わら細工伝承館	城崎町湯島376		T10	他・2	77	800	2,729	2,483	5,706
194	住吉屋歴史資料館	竹野町竹野422		H13	W・1	489	1,007	987	3,092	741
195	竹野北前館	竹野町竹野50-12		H4	RC・3	2,021	0	0	0	28,559
196	植村直己冒険館	日高町伊府785		H6	RC・1	1,373	17,654	2,572	32,111	7,432
197	歴史博物館 「但馬国府・国分寺館」	日高町祢布808		H17	S・1	1,452	5,515	3,446	24,142	1,018
198	美術館_伊藤清永記念館	出石町内町98		H1	RC・2	956	28,794	6,962	6,931	4,073
199	出石永楽館	出石町柳17-2		M34	W・2	687	3,685	3,277	8,011	7,713
200	旧中和家住宅	出石町三木133-2		M33	W・2	284	0	0	0	0
201	出石加藤弘之生家	出石町下谷10-1		M1	W・1	111	485	49	0	0
202	出石家老屋敷	出石町内町98-9		M1	W・2	343	2,697	216	0	2,458
203	出石史料館	出石町宵田78		M45	W・2	568	699	817	2,127	2,154
204	出石明治館	出石町魚屋50		M20	W・2	403	828	171	1,654	693
205	日本・モンゴル民族博物館	但東町中山711		H8	RC・1	1,294	8,063	6,081	21,658	1,596
206	東井義雄記念館	但東町出合150	複合	H6	RC・3	95	261	0	2,216	0

### ②建物の状況

延床面積 1,000 ㎡以上の施設が 6 箇所あり、このうち竹野北前館は約 2,000 ㎡と規模の大きい施設となっています。

大正期以前に建築された施設が 7 箇所あり、このうち 6 箇所は出石地域に立地しています。いずれの施設も大規模改修・更新のサイクルを大幅に上回っていましたが、城崎麦わら細工伝承館は平成 22 年に大規模改修を、旧中和家住宅は平成 25 年から平成 26 年にかけて大規模改修と耐震改修を実施しています。また、出石永楽館については、平成 20 年に復原工事を実施しています。

これ以外の施設は、平成に入ってから建築したのですが、竹野北前館等の 3 施設については、平成 21 年から平成 25 年の間に大規模改修を実施しています。

### ③利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、コウノトリ文化館が約 30.4 万人と特に多く、次いで竹野北前館が約 18.5 万人となっています。

延利用者数の推移をみると、全体的に横ばいの傾向がみられますが、延利用者数が 2 番目に多い竹野北前館では 2 年前に比べ 1.2 万人程度増加しています。

博物館・資料館に併設されている貸室の稼働率をみると、城崎文芸館では平成 25 年度で約 35% となっていますが、他の施設では 10% を下回っています。

稼働率の推移をみると、稼働率の高い城崎文芸館では平成 24 年度からの 1 年間で 8% ほど減少しています。

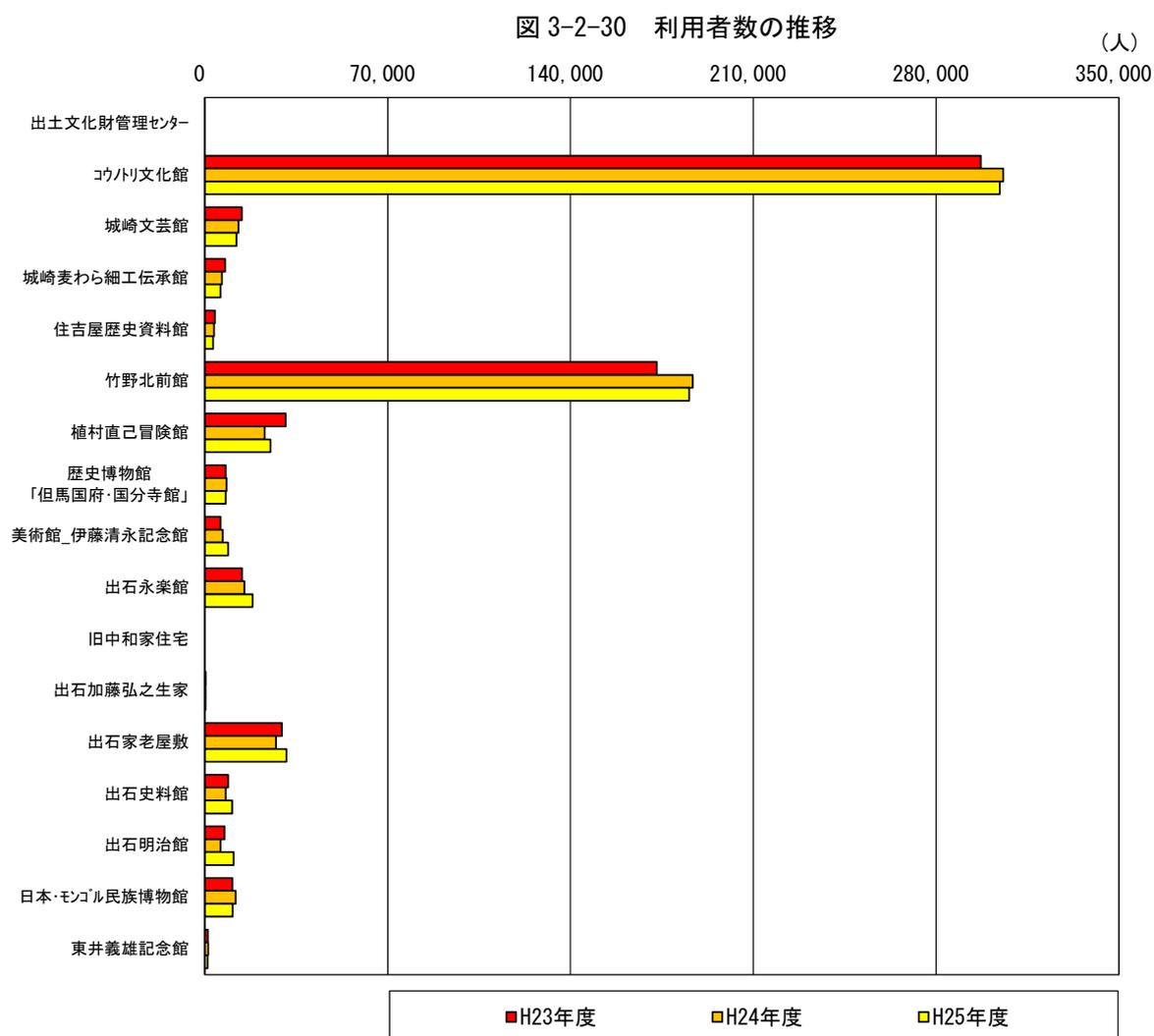
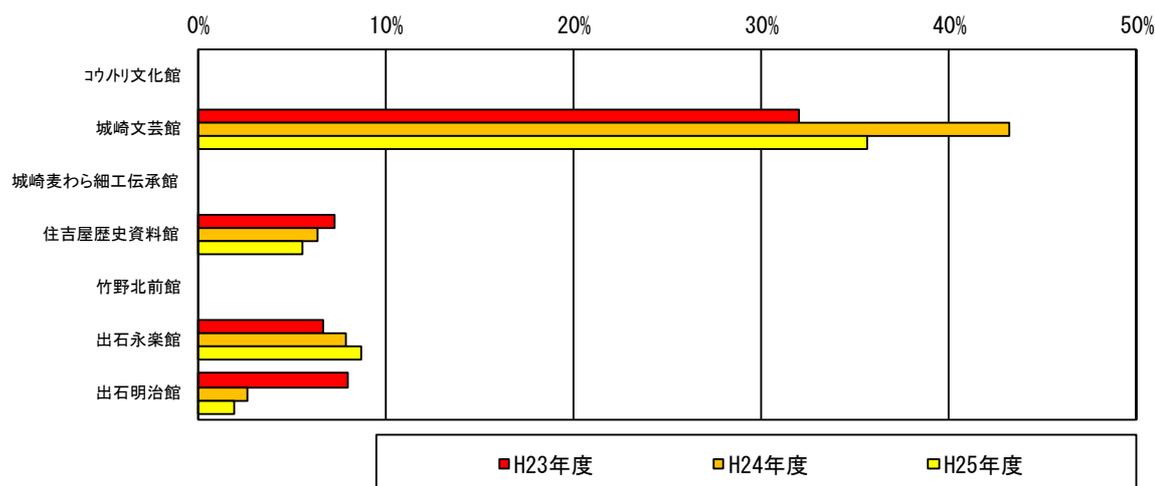


図 3-2-31 貸室の稼働率の推移

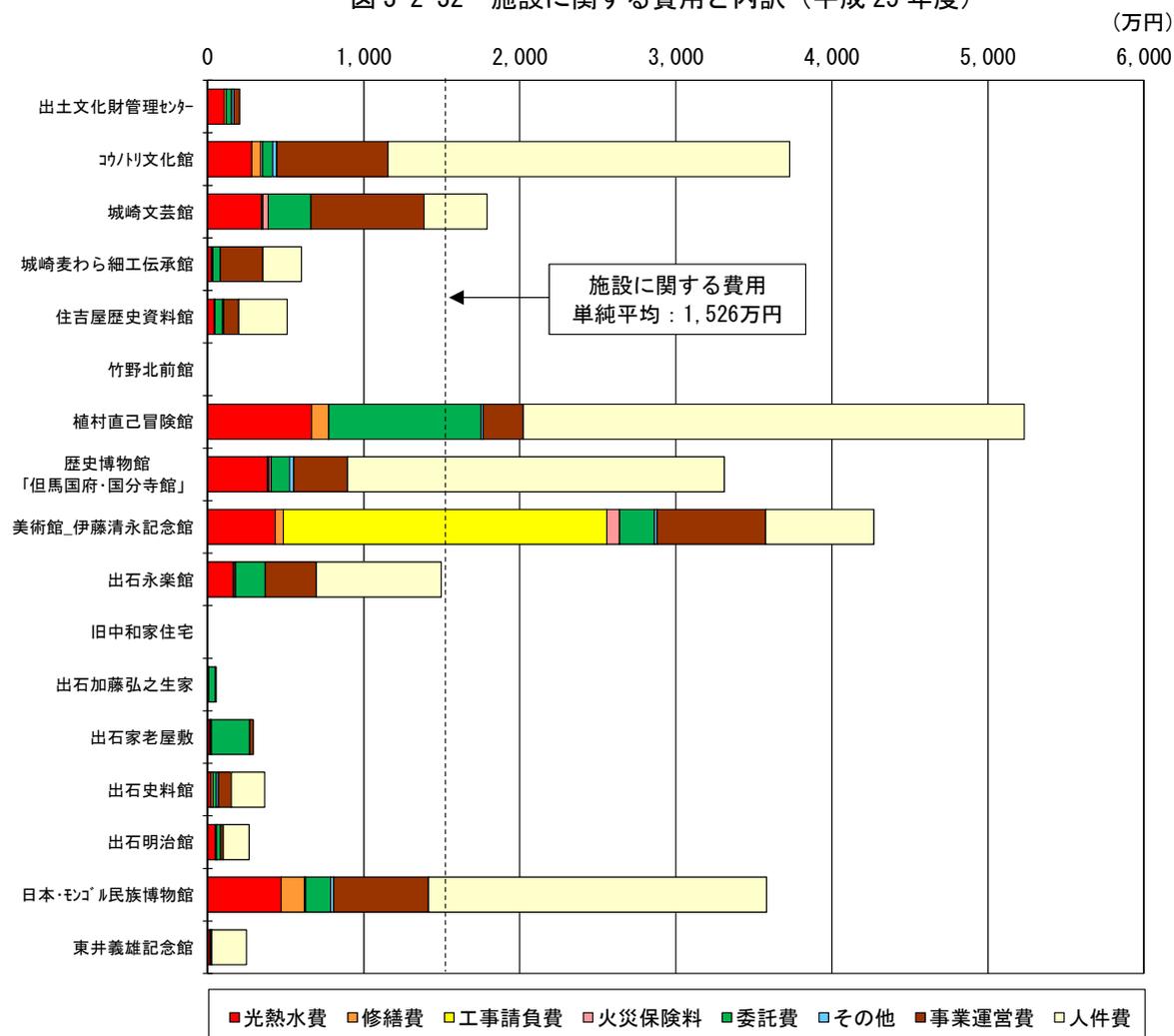


④施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 1,526 万円となっており、植村直己冒険館（約 5,230 万円）をはじめ 5 施設が平均を大きく上回っています。

費用の内訳をみると、施設に関する費用が高い施設は人件費や事業運営費の割合が高く、伊藤清永記念館ではエレベーター改修工事のため工事請負費の割合が高くなっています。これ以外では光熱水費、委託費が主な費目として挙がっています。

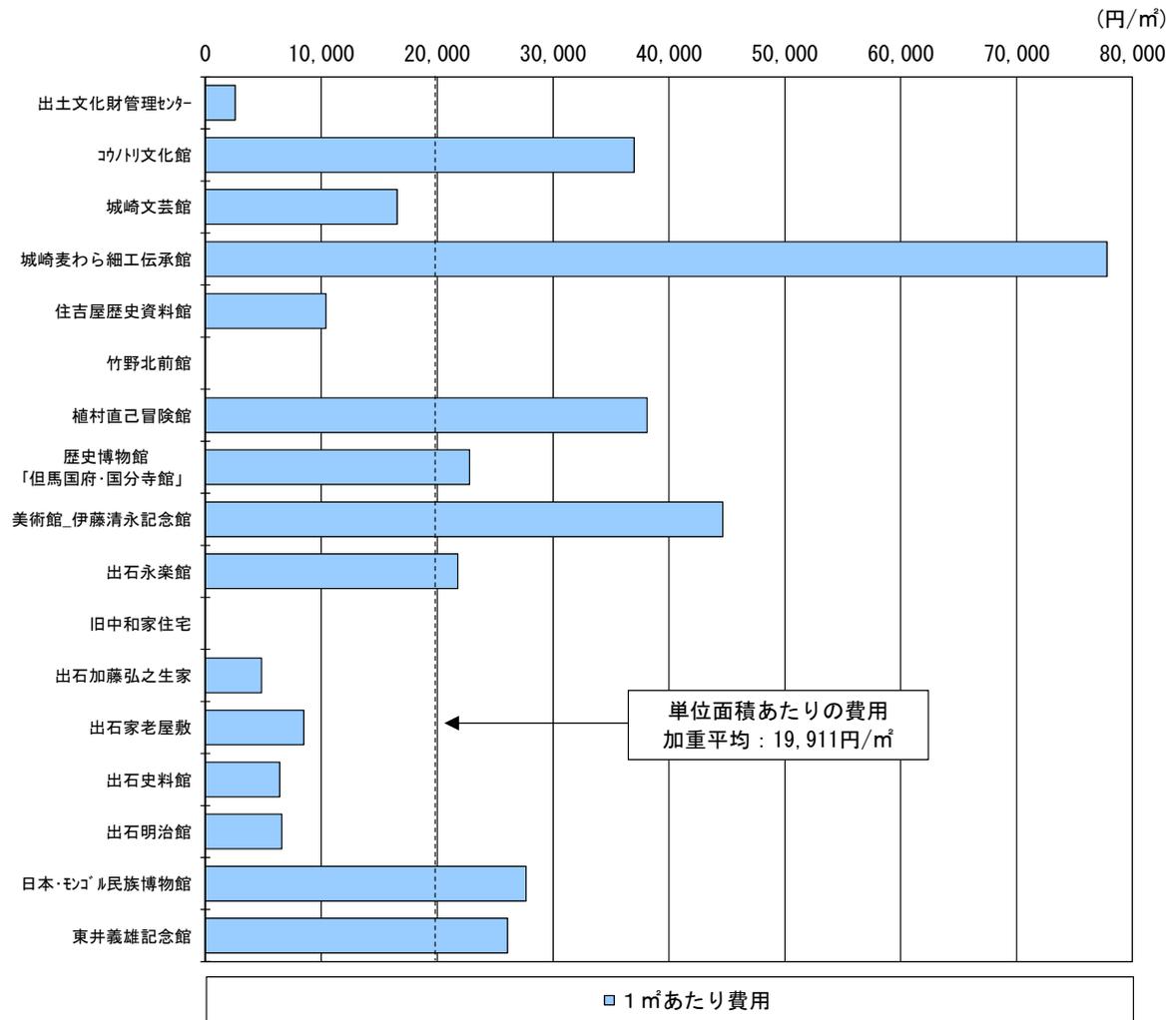
図 3-2-32 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



### ⑤単位あたりのコストの状況

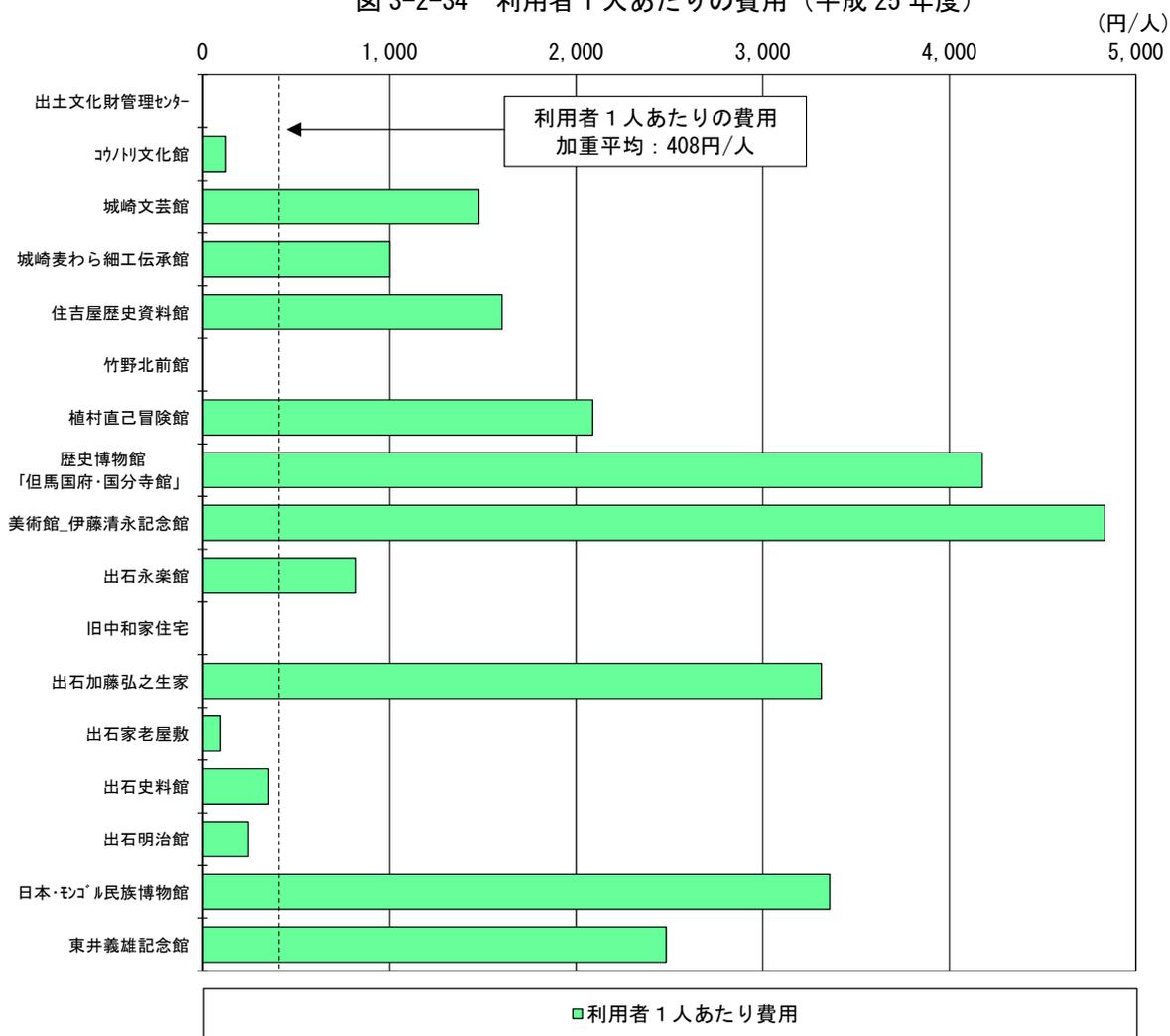
平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりで見ると、全施設の平均では 19,911 円となっていますが、延床面積が最も小さい城崎麦わら細工伝承館は平均の 4 倍近い約 77,800 円となっており、他の施設に比べかなり高い水準となっています。

図 3-2-33 延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの費用（平成 25 年度）



利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 408 円となっていますが、伊藤清永記念館や但馬国府・国分寺館は改修工事等のため約 4,180~4,830 円と他の施設に比べてかなり高い水準となっています。

図 3-2-34 利用者 1 人あたりの費用（平成 25 年度）



### 3) 社会教育系施設

#### ①概要

本市では、社会教育系施設としてハチゴロウの戸島湿地と但馬歴史散策の里の2箇所を設置しています。

コウノトリが生息しているハチゴロウの戸島湿地は、本市の環境保全の拠点として位置付けられており、環境教育の場としても利用されています。



< ハチゴロウの戸島湿地 >

表 3-2-13 社会教育系施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報（千円）			収入（千円）
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積（㎡）	維持管理費	事業運営費	人件費	
207	ハチゴロウの戸島湿地	城崎町今津1362		H21	W・2	152	699	528	3,513	4,743
209	但馬歴史散策の里	但東町久畑870-1		S63	W・1	12	67	0	0	0

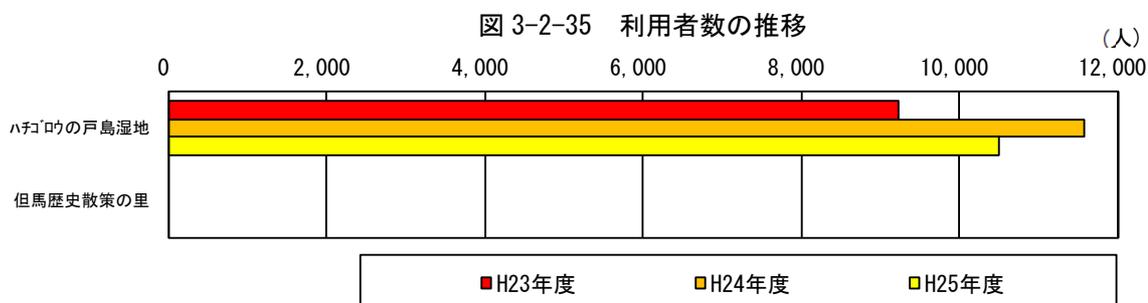
#### ②建物の状況

延床面積は、ハチゴロウの戸島湿地の管理棟・野鳥観察棟が約 150 ㎡、但馬歴史散策の里の水車小屋が約 10 ㎡と規模の小さい施設となっています。

昭和 63 年に建築した但馬歴史散策の里の水車小屋棟は、建築後 26 年経過しています。また、ハチゴロウの戸島湿地の管理棟・野鳥観察は、平成 21 年に建築したもので建築後 5 年ほどしか経過していません。

#### ③利用の状況

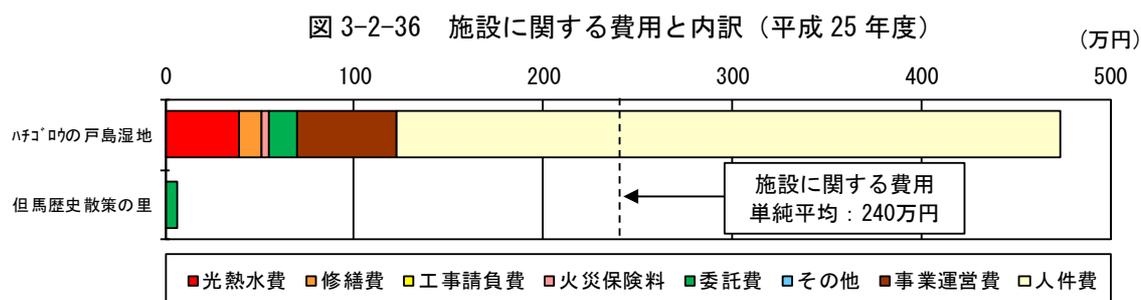
平成 25 年度の延利用者数をみると、ハチゴロウの戸島湿地が約 10,490 人となっており、延利用者数の推移をみると、平成 23 年度から平成 24 年度にかけて約 2,350 人増加したものの、平成 24 年度から平成 25 年度にかけて約 1,090 人減少しています。



#### ④施設に関する費用の状況

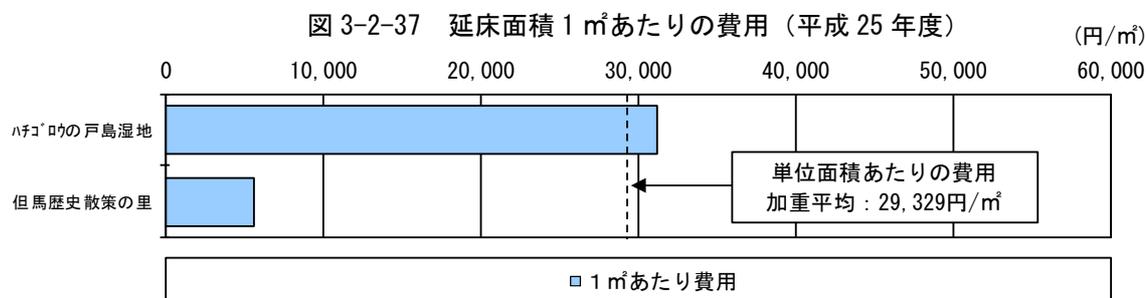
平成 25 年度における施設に関する費用をみると、2 施設の平均では 240 万円となっていますが、ハチゴロウの戸島湿地が約 470 万円と但馬歴史散策の里（約 10 万円）を大きく上回っています。

費用の内訳をみると、ハチゴロウの戸島湿地では人件費が特に多く全体の 7 割以上を占めています。これ以外では事業運営費、光熱水費、委託費、修繕費が主な費目として挙がっています。

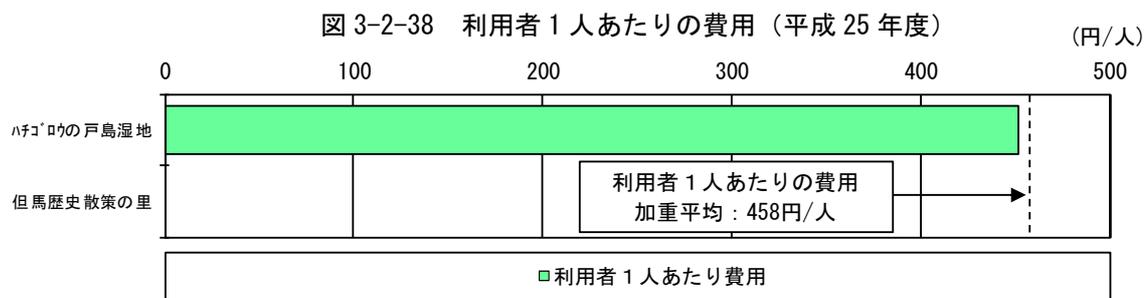


#### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、2 施設の平均では 29,329 円となっていますが、施設に関する費用が少ない但馬歴史散策の里（約 5,580 円）は平均を大きく下回っています。



利用者 1 人あたりでみると、ハチゴロウの戸島湿地が約 450 円となっています。



## (4) 保健・福祉施設

### 1) 健康福祉施設

#### ①概要

本市では、健康福祉施設を 8 箇所を設置しており、7 箇所の健康福祉センターのほか、豊岡総合健康ゾーン内に豊岡市役所立野庁舎を設置しています。

健康福祉施設は、地域住民の福祉の増進及び健康づくりの拠点として設置しています。健康福祉センター（豊岡市役所立野庁舎を除く）では指定管理者制度を導入しており、日高東部以外の健康福祉センターでは、豊岡市社会福祉協議会が施設の管理を行っています。



< 豊岡健康福祉センター >

表 3-2-14 健康福祉施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報（千円）			収入（千円）
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積（㎡）	維持管理費	事業運営費	人件費	
210	豊岡健康福祉センター	城南町23-6		S57	RC・3	2,954	19,911	2,078	4,554	512
211	豊岡市役所立野庁舎	立野町12-12		H22	RC・2	2,132	9,268	159	0	121
212	城崎健康福祉センター	城崎町湯島625-9		H6	SRC・3	2,336	23,793	220	1,257	3,303
213	竹野健康福祉センター	竹野町須谷1478		H16	SRC・2	1,759	7,234	127	1,464	1,192
214	日高健康福祉センター	日高町祢布891-2		H5	RC・2	3,123	18,211	249	832	920
215	日高東部健康福祉センター	日高町堀809		H17	RC・1	1,831	47,386	1,000	27,500	17,330
216	出石健康福祉センター	出石町福住1302		H7	RC・1	2,096	15,198	184	1,526	980
217	但東健康福祉センター	但東町出合433-1		H15	RC・2	3,178	16,984	185	1,170	4,323

#### ②建物の状況

延床面積は、概ね 3,000 ㎡程度（但東、日高、豊岡の健康福祉センター）の施設と、概ね 2,000 ㎡程度の施設に分かれています。

豊岡健康福祉センター以外は、いずれも平成に入ってから建築した施設で、このうち 3 箇所は建築後 10 年以内の比較的新しい施設となっています。

昭和 57 年に建築した豊岡健康福祉センターは老朽化が進んでおり、建築後 31 年目の平成 25 年に大規模な改修を実施していますが、耐震診断（二次診断）を実施したところ耐震改修が必要と判定されたため、平成 27 年度に実施する予定です。

### ③利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、約 4,150～28,390 人まで幅がありますが、日高東部や出石の健康福祉センターは、他の施設に比べ多くなっています。

延利用者数の推移をみると、ほとんどの施設で減少傾向がみられますが、竹野健康福祉センターは横ばいとなっています。

健康福祉センターに併設されている貸室の稼働率をみると、平成 25 年度で 10～20%程度の施設が多くなっていますが、出石健康福祉センターでは約 26%とやや高くなっています。

稼働率の推移をみると、出石と竹野の健康福祉センターで減少傾向がみられますが、他の施設では横ばいか増加となっています。

図 3-2-39 利用者数の推移

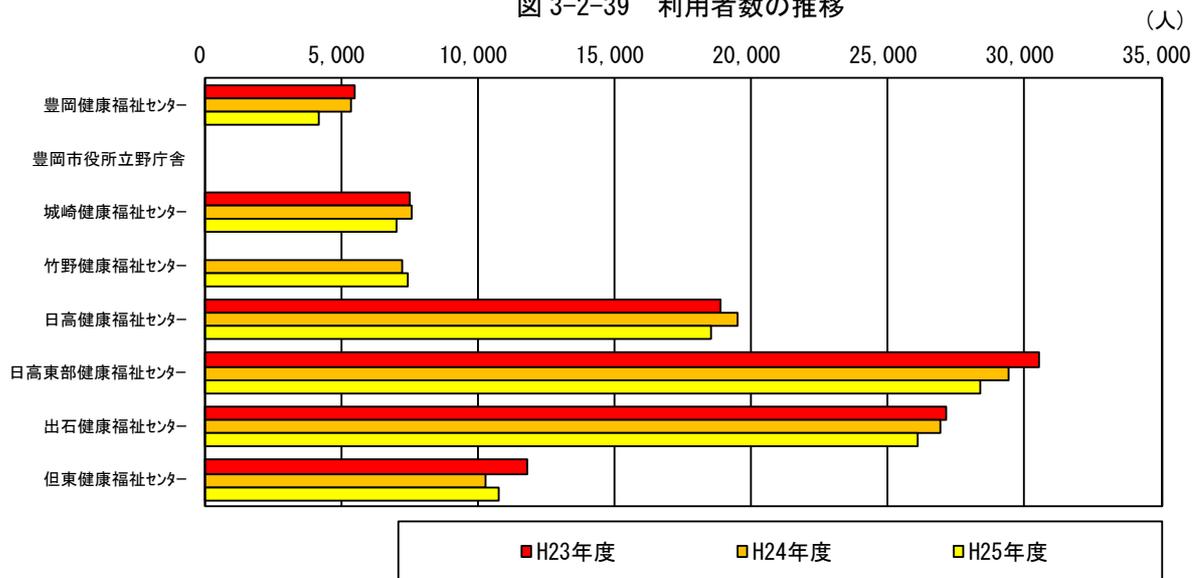
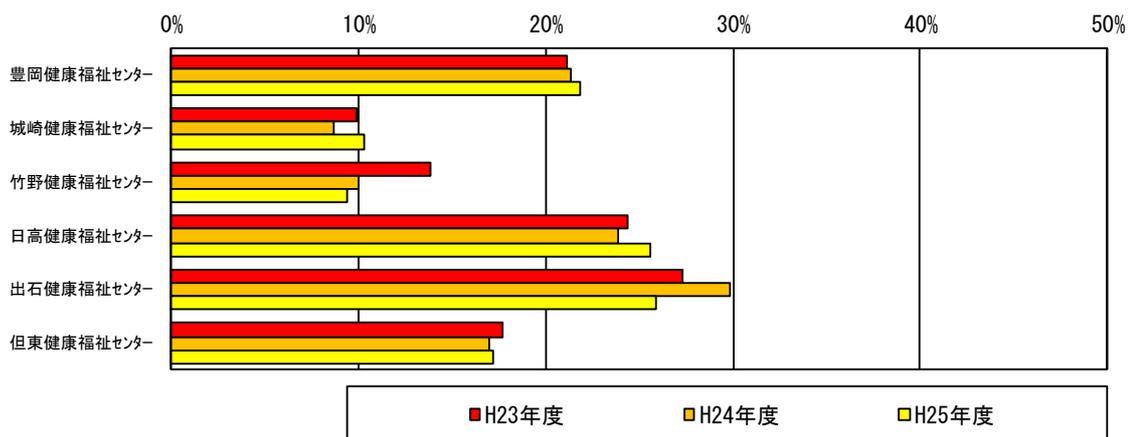


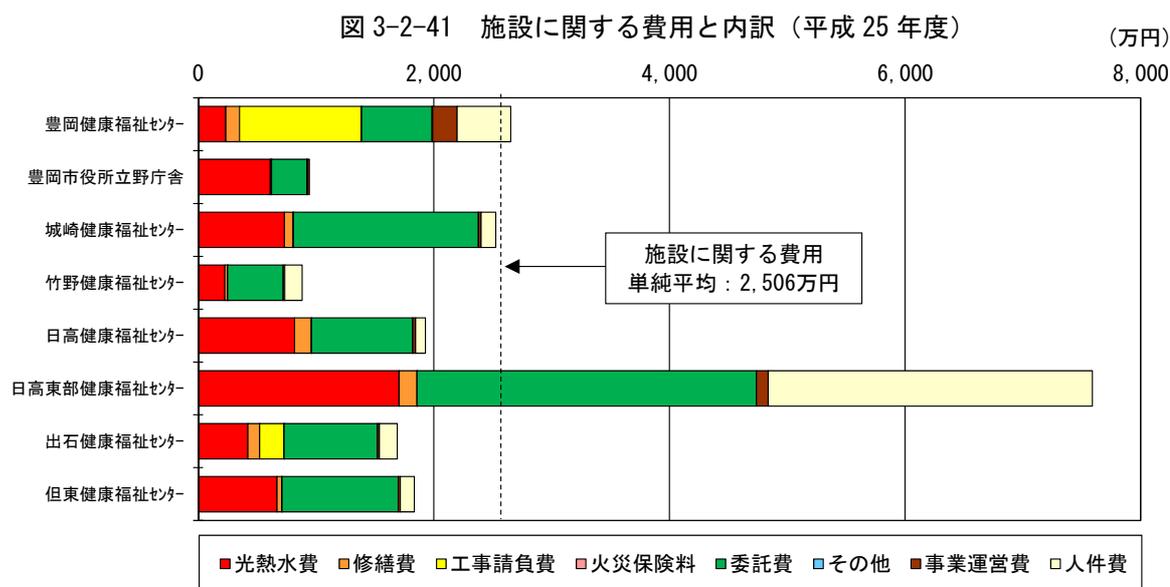
図 3-2-40 貸室の稼働率の推移



#### ④施設に関する費用の状況

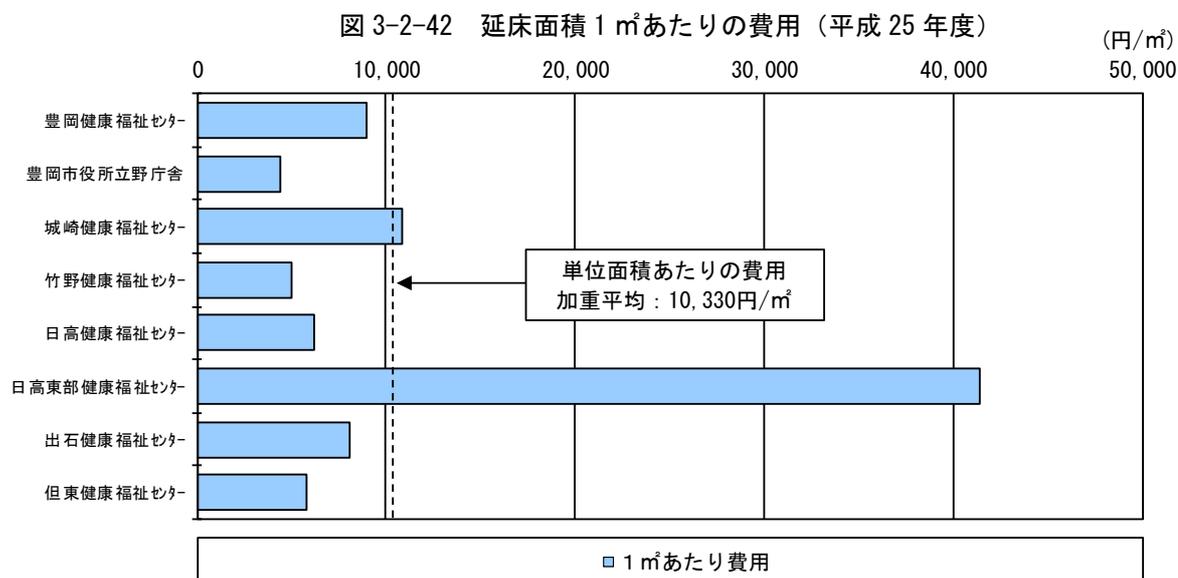
平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 2,506 万円となっていますが、日高東部健康福祉センターでは約 7,590 万円と他の施設（約 880～2,650 万円）に比べかなり高い水準となっています。

費用の内訳をみると、委託費や光熱水費の占める割合が高い施設が多く、これ以外では人件費、火災保険料が主な費目として挙がっています。施設に関する費用が高い日高東部健康福祉センターでは、人件費の占める割合が特に高くなっています。

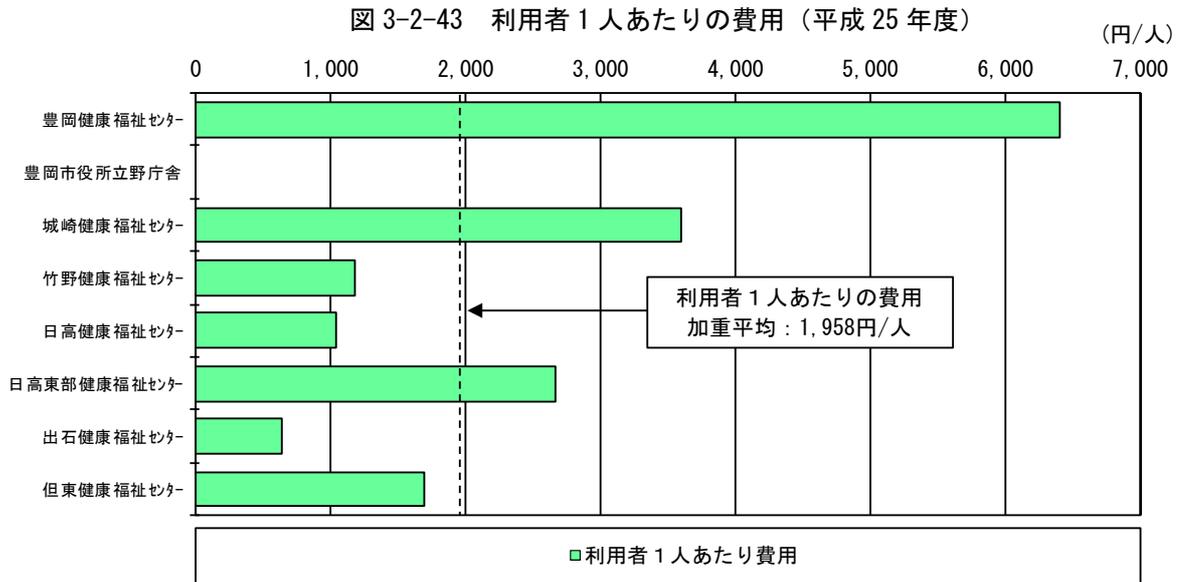


#### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、全施設の平均では 10,330 円となっていますが、施設に関する費用が高い日高東部健康福祉センターは約 41,450 円で、平均の 4 倍を超える高い水準となっています。



利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 1,958 円となっていますが、利用者数が最も少ない豊岡健康福祉センターは約 6,400 円で、平均の 3 倍を超える高い水準となっています。



## 2) 高齢福祉施設

### ①概要

本市では、高齢福祉施設を豊岡地域と竹野地域の2箇所に設置しています。

高齢福祉施設は、老人福祉に関する各種相談に応じるとともに、高齢者の健康増進やレクリエーションへの参加の機会を提供しています。

また、地域の高齢者のコミュニティ形成の場としての役割も果たしています。



< 長寿園 >

表 3-2-15 高齢福祉施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報（千円）			収入（千円）
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積（㎡）	維持管理費	事業運営費	人件費	
218	長寿園	幸町10-6		H8	RC・3	1,018	3,215	3,797	0	7,012
219	竹野老人福祉センター	竹野町竹野2944-1		S60	RC・2	802	1,150	1,746	0	2,900

### ②建物の状況

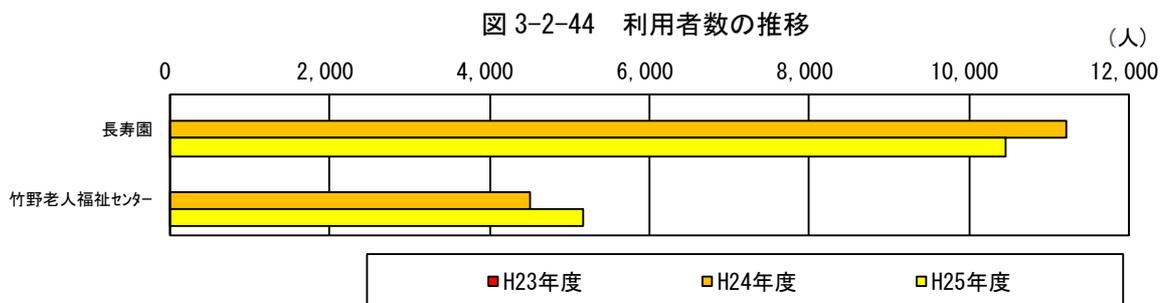
延床面積は、長寿園が約 1,020 ㎡、竹野老人福祉センターが約 800 ㎡となっています。

昭和 60 年に建築した竹野老人福祉センターは、建築後 29 年と大規模改修・更新のサイクルを迎え老朽化が進んでいますが、これまでに大規模改修を実施したことはありません。長寿園は平成 8 年に建築した施設で、建築後 18 年が経過しています。

いずれの施設も新耐震基準以降（昭和 57 年以降）に建築されたものであるため、耐震改修の必要はありません。

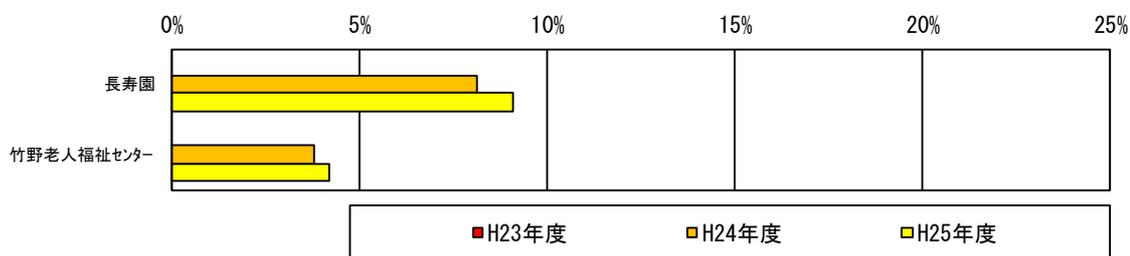
### ③利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、長寿園が約 10,450 人、竹野老人福祉センターが約 5,170 人となっており、平成 24 年度からの延利用者数の推移をみると、長寿園で 770 人の減少、竹野老人福祉センターで約 700 人の増加となっています。



高齢福祉施設に併設されている貸室の稼働率をみると、平成 25 年度で 4~9%とかなり低く、稼働率の推移をみると、長寿園、竹野老人福祉センターともに微増となっています。

図 3-2-45 貸室の稼働率の推移

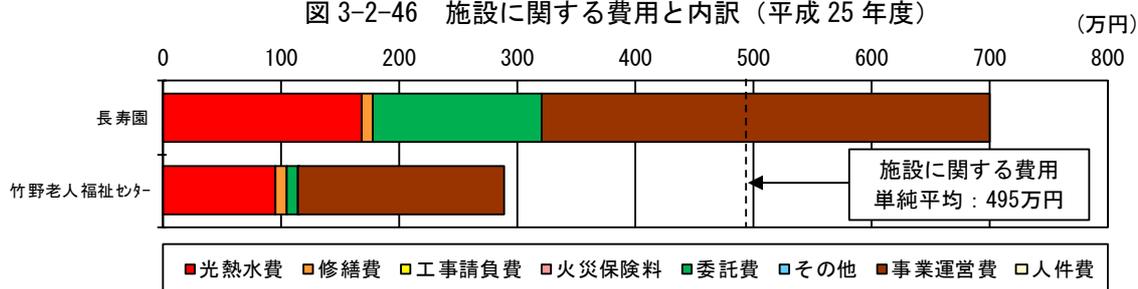


#### ④施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、2 施設の平均では 495 万円となっていますが、長寿園が約 700 万円と竹野老人福祉センター（約 290 万円）の 2 倍以上となっています。

費用の内訳をみると、いずれの施設も事業運営費が過半を占めており、長寿園では委託費も多くなっています。これ以外では委託費、光熱水費、修繕費が主な費目として挙がっています。

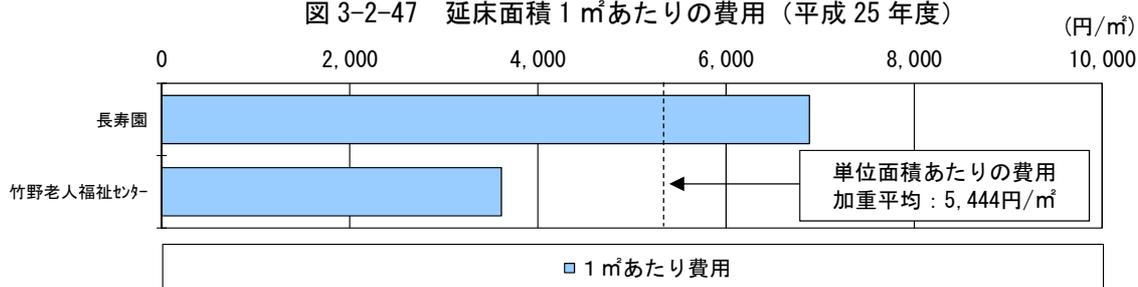
図 3-2-46 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



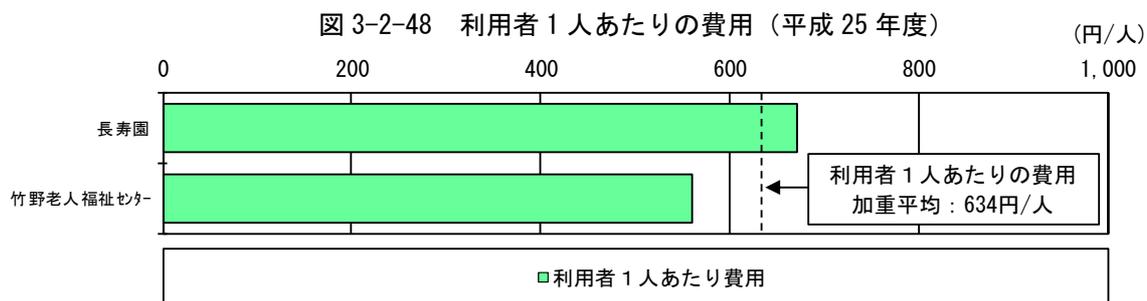
#### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、2 施設の平均では 5,444 円となっていますが、施設に関する費用が大きい長寿園は約 6,890 円と、竹野老人福祉センター（約 3,610 円）の 2 倍近くになっています。

図 3-2-47 延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの費用（平成 25 年度）



利用者 1 人あたりで見ると、2 施設の平均では 634 円となっており、いずれの施設も平均に近い水準となっています。



### 3) 障害福祉施設

#### ①概要

本市では、障害福祉施設を竹野地域、日高地域、出石地域の3箇所に設置しています。

障害福祉施設は、障害者に軽作業を行う機会を提供するとともに、日常生活に必要な訓練等を行うことにより、その自立及び社会参加を促進するために設置しています。



＜ 竹野心身障害者小規模通所作業所 ＞

表 3-2-16 障害福祉施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報 (千円)			収入 (千円)
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積 (㎡)	維持管理費	事業運営費	人件費	
220	竹野心身障害者小規模通所作業所	竹野町須谷1466-1		H13	W・1	201	0	2,850	0	17,330
221	日高共同作業所	日高町柘布1306-2		S36	W・1	174	275	5,506	0	11,103
222	てっせんの会作業所	出石町小人129-23		S42	W・1	161	0	0	0	0

#### ②建物の状況

延床面積は、竹野心身障害者小規模通所作業所が約 200 ㎡で最も大きく、他の 2 施設は 160～170 ㎡となっています。

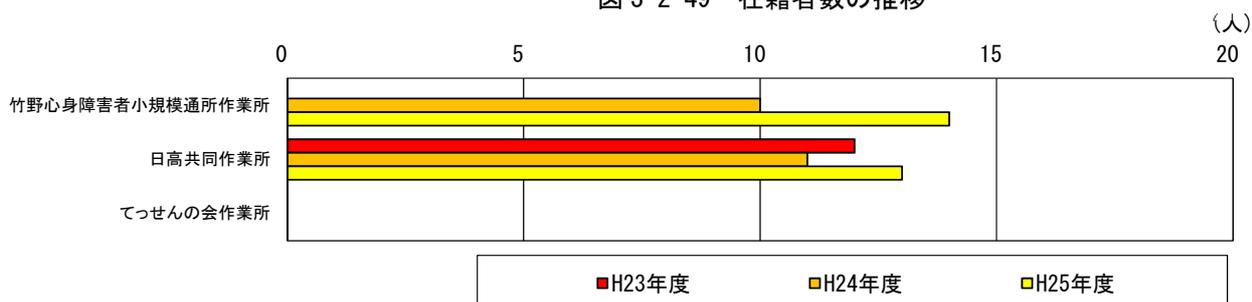
昭和 36 年に建築した日高共同作業所、昭和 42 年に建築したてっせんの会作業所は、それぞれ建築後 53 年と 47 年が経過し老朽化がかなり進んでいましたが、平成 25 年に日高共同作業所は大規模改修を実施しました。てっせんの会作業所は、これまでに大規模改修を実施しておらず、大規模改修・更新のサイクルを大幅に経過したままとなっています。

これらの 2 施設は、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築されたものですが、耐震診断・改修は実施していません。

#### ③利用の状況

平成 25 年度の在籍者数をみると、竹野心身障害者小規模通所作業所が 14 人、日高共同作業所が 13 人となっており、いずれの施設も在籍者数は若干増加しています。（てっせんの会作業所はデータなし）

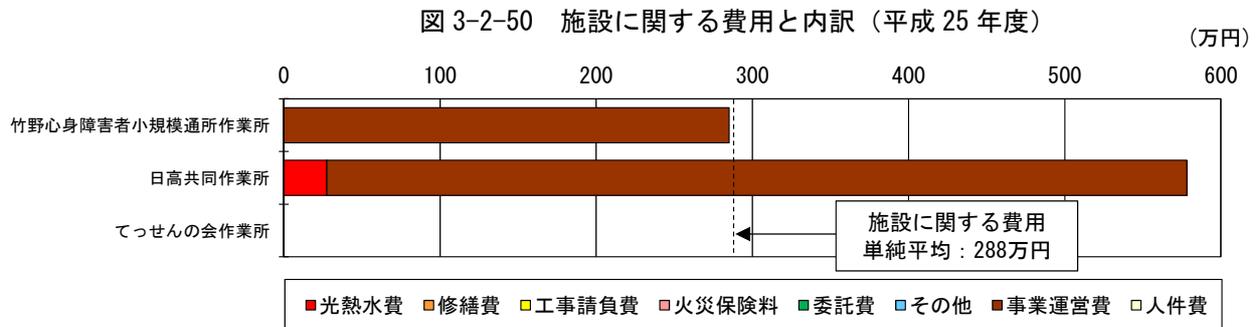
図 3-2-49 在籍者数の推移



#### ④施設に関する費用の状況

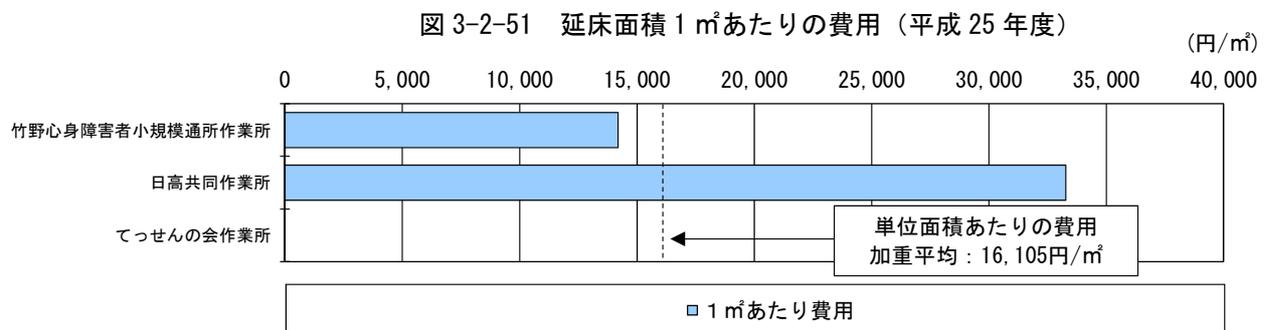
平成 25 年度における施設に関する費用をみると、3 施設の平均では 288 万円となっていますが、日高共同作業所が約 580 万円と竹野心身障害者小規模通所作業所（約 290 万円）の 2 倍となっています。

費用の内訳をみると、いずれの施設も事業運営費が大半を占めており、これ以外では光熱水費が主な費目として挙がっています。

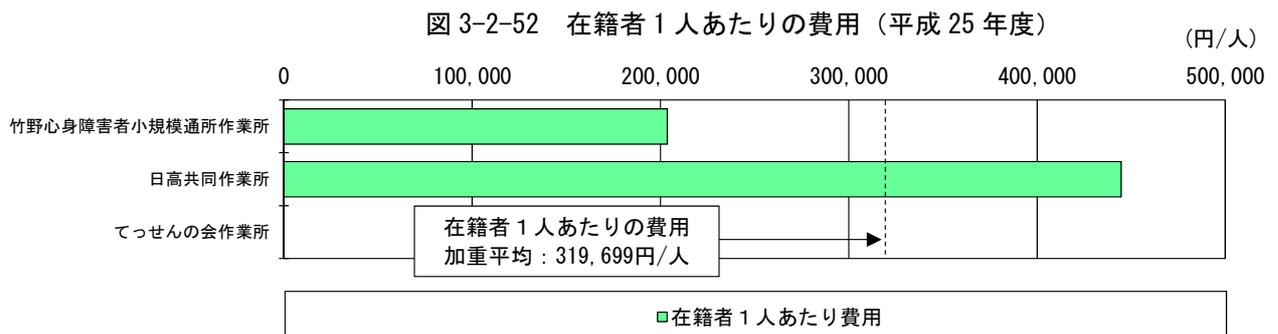


#### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、3 施設の平均では 16,105 円となっていますが、施設に関する費用が大きい日高共同作業所は約 33,280 円と、竹野心身障害者小規模通所作業所（約 14,190 円）の 2 倍以上になっています。



利用者 1 人あたりでみると、3 施設の平均では 319,699 円となっていますが、1 m<sup>2</sup>あたりの費用と同様に、日高共同作業所（約 444,710 円）が竹野心身障害者小規模通所作業所（約 203,600 円）の 2 倍以上になっています。



## 4) その他福祉施設

### ①概要

本市では、その他福祉施設として隣保館を豊岡地域と出石地域の2箇所に設置しています。

隣保館は、地域における福祉の向上や人権啓発のための交流拠点となる施設で、生活上の各種相談をはじめ、社会福祉に関する活動や人権問題に対する理解を深めるための活動を行っています。



< 豊岡隣保館 >

表 3-2-17 その他福祉施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報 (千円)			収入 (千円)
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積 (㎡)	維持管理費	事業運営費	人件費	
223	豊岡隣保館	庄境1066		H17	W・2	297	503	314	5,477	3,967
224	出石隣保館	出石町青田78-1		S50	RC・2	274	1,135	1,034	5,477	4,659

### ②建物の状況

延床面積は、豊岡隣保館が約 300 ㎡、出石隣保館が約 270 ㎡となっています。

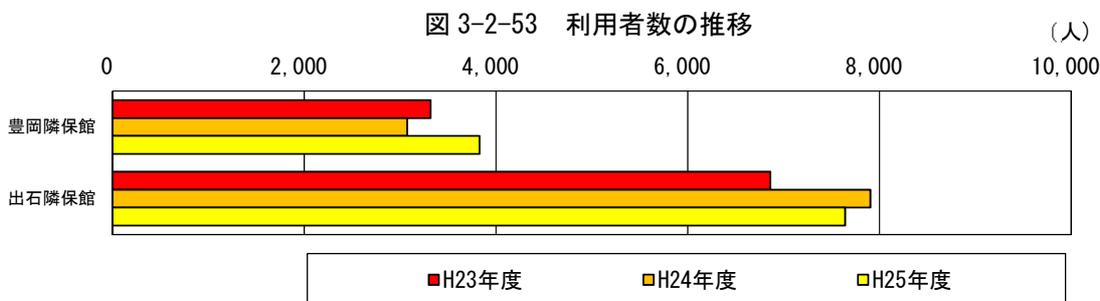
昭和 50 年に建築した出石隣保館は、建築後 39 年が経過し老朽化がかなり進んでいたため、平成 22 年に大規模改修（全面改修）を実施しました。

豊岡隣保館は、新耐震基準以降（昭和 57 年以降）に建築されたものであるため、耐震改修の必要はありません。

### ③利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、出石隣保館が約 7,640 人で、豊岡隣保館（約 3,830 人）の 2 倍となっています。

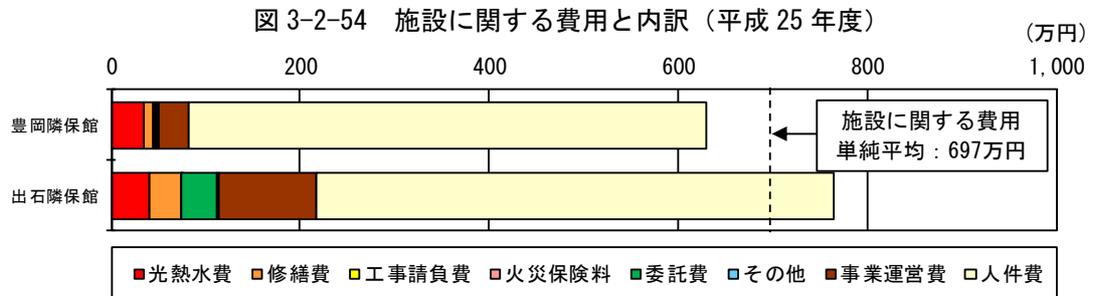
延利用者数の推移をみると、平成 23 年度と平成 25 年度を比較するといずれの施設も増加していますが、平成 24 年度からの 1 年間でみると出石隣保館は若干減少しています。



#### ④施設に関する費用の状況

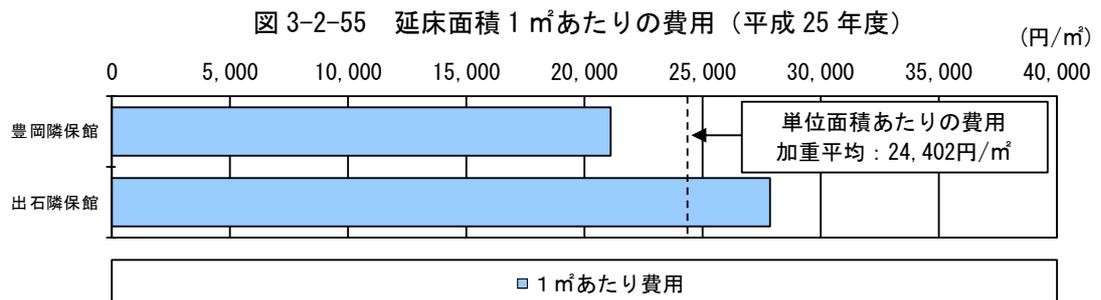
平成 25 年度における施設に関する費用をみると、2 施設の平均では 697 万円となっており、いずれの施設も平均に近い水準となっています。

費用の内訳をみると、いずれの施設も人件費が大半を占めています。これ以外では事業運営費、光熱水費が主な費目として挙がっており、出石隣保館では委託費や修繕費も挙がっています。

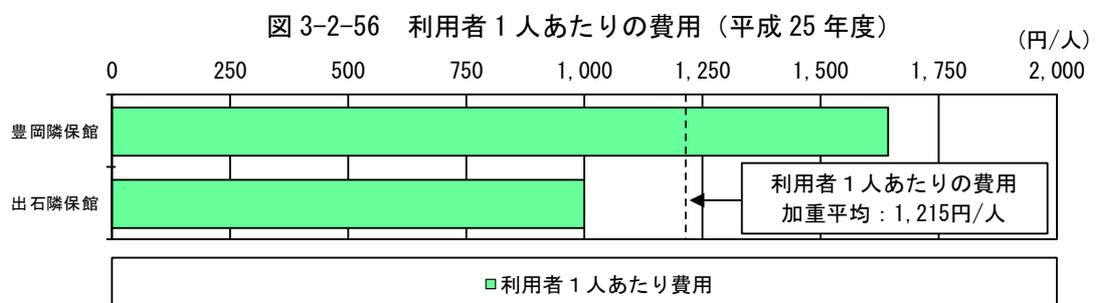


#### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、2 施設の平均では 24,402 円となっており、いずれの施設も平均に近い水準となっています。



利用者 1 人あたりでみると、2 施設の平均では 1,215 円となっていますが、利用者数が少ない豊岡隣保館は約 1,640 円と、出石隣保館 (約 1,000 円) より高い水準となっています。



## (5) 医療施設

### 1) 医療施設

#### ①概要

本市では、医療施設を6箇所を設置しており、5箇所の診療所（うち1箇所は国民健康保険診療施設）のほか、歯科診療所を1箇所設置しています。

これらの診療所は、近隣に医療施設がない地域のへき地診療所として、地域住民の医療を支えています。



< 高橋診療所 >

表 3-2-18 医療施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報（千円）			収入 （千円）
	施設名	所在地	施設 形態	建築 年	構造 階数	延床面積 （㎡）	維持 管理費	事業 運営費	人件費	
225	森本診療所	竹野町森本513-1		H10	S・1	394	2,295	36,300	37,686	77,064
226	神鍋診療所	日高町栗栖野60-34		S62	RC・1	270	2,003	35,808	34,408	74,760
227	合橋診療所	但東町出合76		H3	W・1	485	27	0	0	0
228	国民健康保険資母診療所	但東町中山788		S61	W・1	431	4,671	54,408	33,940	96,359
229	高橋診療所	但東町久畑126		S58	RC・1	1,085	5,016	21,089	14,765	42,573
230	但東町歯科診療所	但東町出合73-1		S47	W・2	148	19	0	0	0

#### ②建物の状況

延床面積は、比較的規模の大きい高橋診療所（約1,100㎡）以外は、150～490㎡程度となっています。

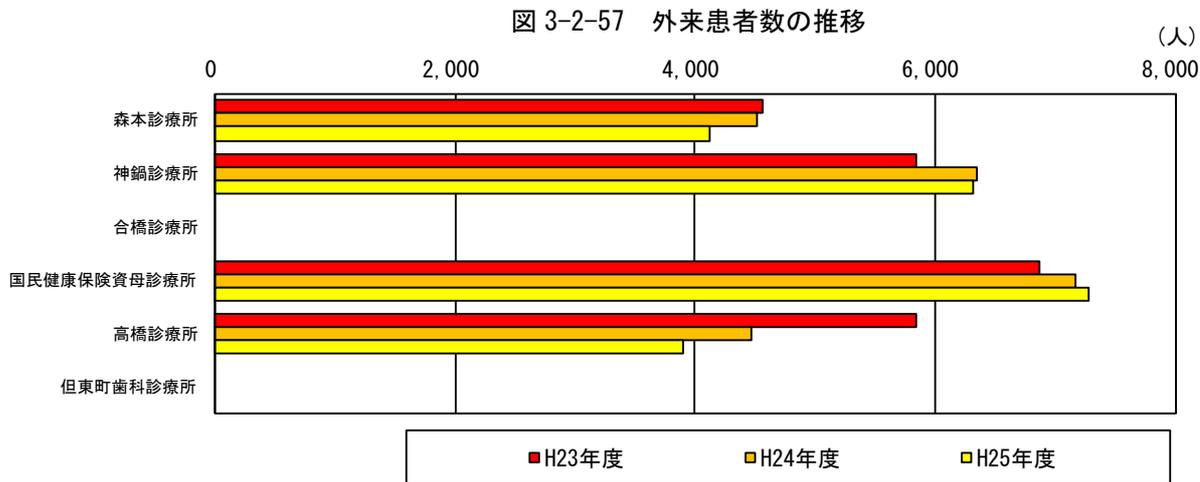
平成10年に建築した森本診療所以外は、建築後20年以上経過していますが、このうち3箇所の施設（神鍋、資母、高橋）では、大規模な改修を実施しています。

昭和47年に建築した但東町歯科診療所は老朽化が進んでいますが、これまでに大規模な改修を実施したことがありません。また、新耐震基準以前（昭和56年以前）の施設ですが、耐震診断、耐震改修ともに未実施となっています。

### ③利用の状況

平成 25 年度の延外来患者数をみると、約 3,890~7,280 人まで幅がありますが（不明を除く）、資母診療所（約 7,280 人）や神鍋診療所（約 6,320 人）は他の施設に比べてやや多くなっています。

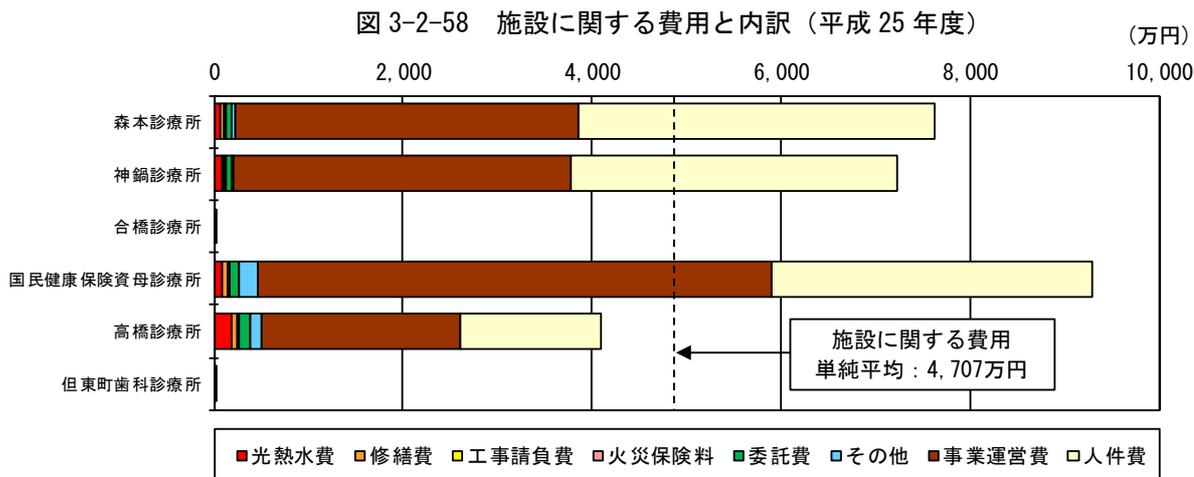
外来患者数の推移をみると、増加している施設（資母、神鍋）と減少している施設（森本、高橋）が分かれており、高橋診療所ではこの 3 年間で約 1,950 人も減少しています。



### ④施設に関する費用の状況

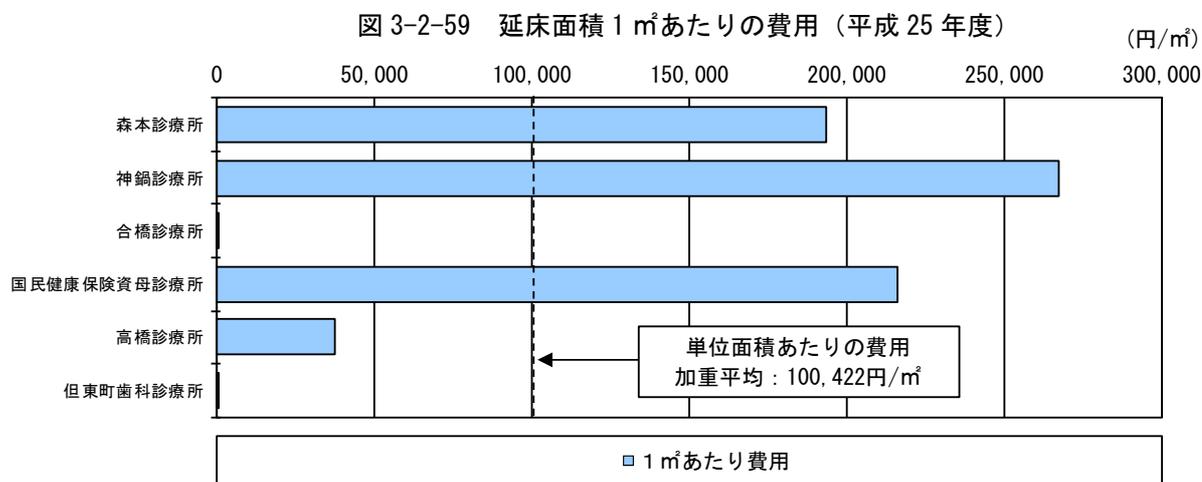
平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 4,707 万円となっていますが、高橋診療所は約 4,100 万円と平均を下回っており、他の施設（約 7,220~9,300 万円）に比べてかなり低い水準となっています。

費用の内訳をみると、事業運営費と人件費が大半を占めており、これ以外の費目はほとんど計上されていません。

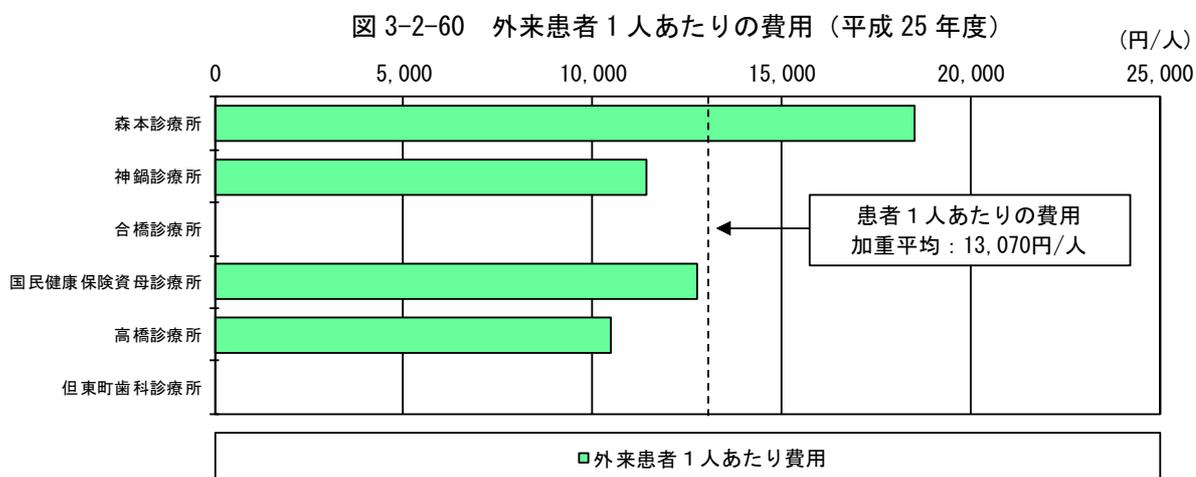


### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、全施設の平均では 100,422 円となっていますが、施設に関する費用が低い高橋診療所は約 37,670 円で、平均の半分以下となっています。



外来患者 1 人あたりでみると、全施設の平均では 13,070 円となっていますが、外来患者数が少ない森本診療所は約 18,550 円で、他の診療所 (約 10,500~12,780 円) に比べて高い水準となっています。



## (6) スポーツ・レクリエーション施設

### 1) 観光センター

#### ①概要

本市では、観光センターを4箇所に設置しており、このうち2箇所については本市の中心部であるJR豊岡駅周辺、他の2箇所については臨海部や山間部に立地しています。

これらの観光センターは、本市を訪れる観光客等の拠点施設として利用されています。



< まちなか交流館 >

表 3-2-19 観光センターの概要

ID	基礎情報						コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	維持管理費	事業運営費	人件費	
231	まちなか交流館	中央町11-22		S9	RC・2	849	0	0	0	0
232	まちなかステーション	中央町7-23(中央町16)		H26	W・1	56	0	0	0	0
233	竹野観光センター	竹野町竹野17-2		S56	RC・2	158	172	119	590	881
234	道の駅「神鍋高原」	日高町栗栖野59-13		H15	RC・3	1,259	13,610	96,129	9,096	124,550

#### ②建物の状況

延床面積は、道の駅「神鍋高原」が約1,260㎡、まちなか交流館が約850㎡と他の2施設に比べて広がっています。

昭和9年に建築したまちなか交流館は、建築後80年以上が経過して老朽化が進んでいましたが、平成25年に全面的な改修を行い新たな施設に生まれ変わりました。また、必要な補強対策工事も実施済となっています。

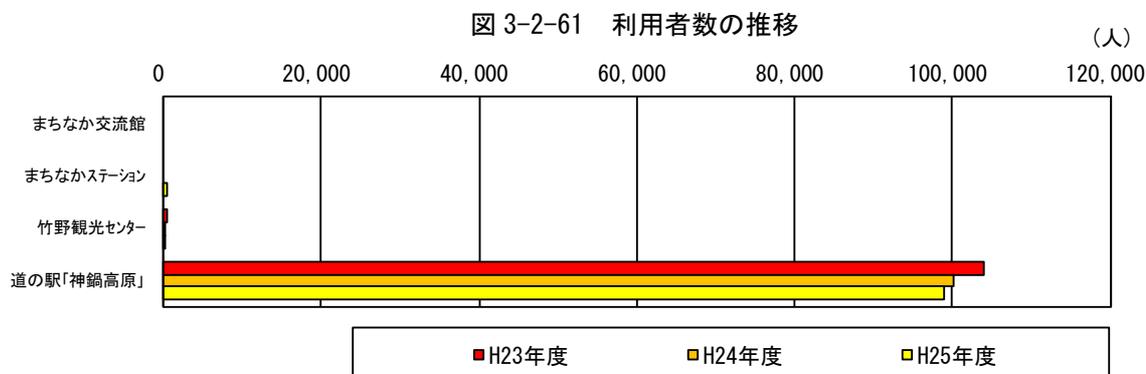
道の駅「神鍋高原」は建築後10年程度しか経っていませんが、平成21年にリニューアルを行い、新たに農産物直売所やイベントコーナー等を設置しました。

昭和56年に建築した竹野観光センターは、新耐震基準以前(昭和56年以前)の施設ですが、耐震診断、耐震改修ともに未実施となっています。

### ③利用の状況

平成 25 年度の利用者数をみると、道の駅「神鍋高原」が約 9.9 万人と特に多くなっており、他の施設は 300～500 人程度にとどまっています。（まちなか交流館はデータなし）

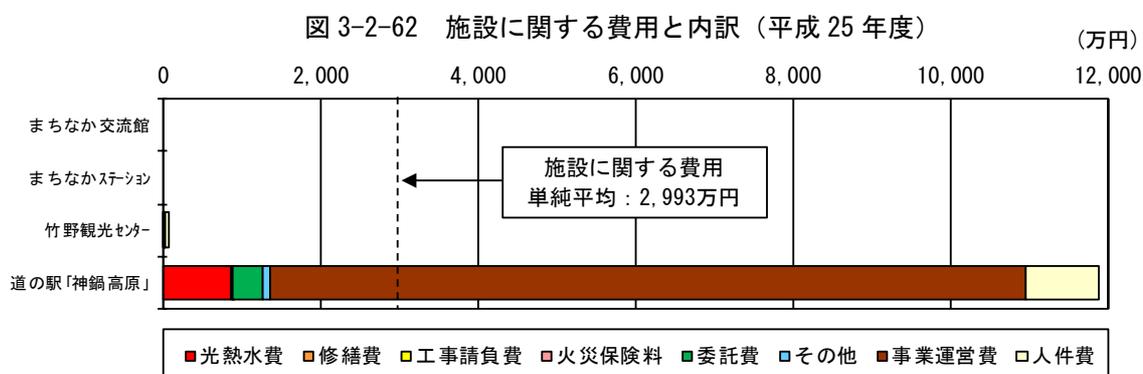
道の駅「神鍋高原」の利用者数の推移をみると、この 3 年間は減少傾向が続いています。



### ④施設に関する費用の状況

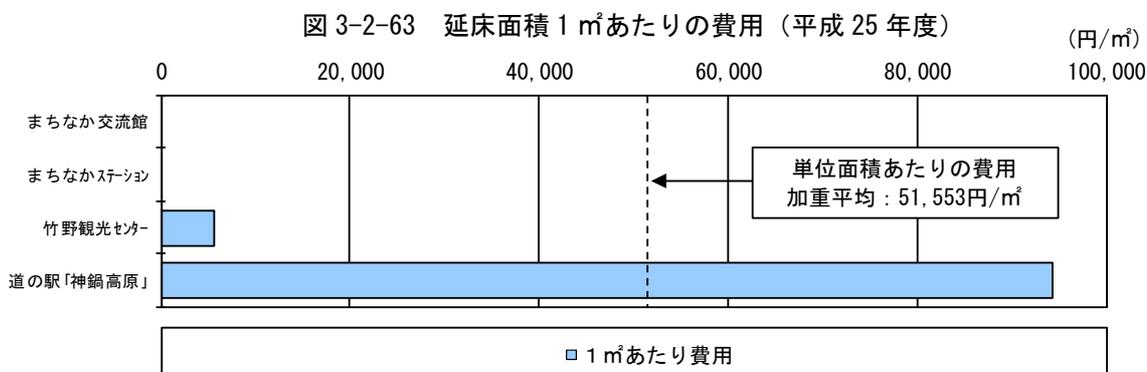
平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 2,993 万円となっていますが、利用者数の多い道の駅「神鍋高原」は約 1 億 1,880 万円とかなり高くなっています。（まちなか交流館、まちなかステーションはデータなし）

道の駅「神鍋高原」の費用の内訳をみると、事業運営費が大半を占めており、これ以外の費目では人件費や光熱水費が主な費目として挙がっています。

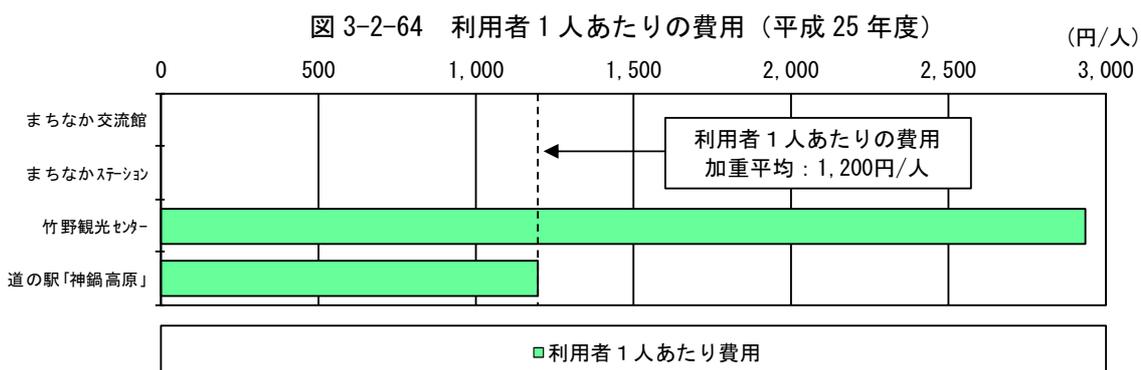


### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりで見ると、全施設の平均では 51,553 円となっていますが、施設に関する費用が大きい道の駅「神鍋高原」は約 94,380 円となっており、竹野観光センターは約 5,580 円となっています。



利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 1,200 円となっていますが、竹野観光センターは約 2,940 円と、道の駅「神鍋高原」(約 1,200 円) の 2 倍以上となっています。



## 2) スポーツ施設

### ①概要

本市では、スポーツ施設を 24 箇所に設置しており、このうち体育館が 7 箇所と最も多く、運動公園・広場も多くなっています。

スポーツ施設は、市民の健康増進に寄与する施設として、また、スポーツ振興のための施設としての役割を担っています。



< 総合体育館 >

表 3-2-20 スポーツ施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報 (千円)			収入 (千円)
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積 (㎡)	維持管理費	事業運営費	人件費	
235	円山川運動公園	土淵459		H6	RC・2	246	1,482	560	0	884
236	市民体育館	立野町1-3		S35	SRC・1	2,432	1,809	177	0	549
237	総合体育館	立野町1-75		S63	SRC・2	3,903	14,232	7,995	0	2,522
238	健康増進施設	立野町6-30		H22	他・2	3,535	63,397	27,510	96	60,610
239	豊岡総合スポーツセンター	戸牧359		H4	RC・2	244	1,116	596	0	1,377
240	神美台スポーツ公園	神美台157-40		H8	RC・2	911	3,638	374	2,292	2,394
241	城崎スポーツセンター	城崎町楽々浦343-6		H16	S・2	1,277	1,889	227	0	215
242	菊屋島運動公園便所	城崎町桃島1232-2		S61	W・2	32	165	278	0	0
243	竹野B&G海洋センター	竹野町竹野3102-2		S60	RC・2	1,716	3,566	1,259	634	927
244	竹野多目的屋内運動広場	竹野町須谷483		H7	S・1	1,019	351	430	0	818
245	竹野中央公園	竹野町須谷1395		H2	W・1	136	851	1	0	94
246	中竹野ふるさと館	竹野町轟5	複合	H15	W・1	917	833	0	0	8
247	日高職業訓練センター	日高町鶴岡417-5		S47	S・1	195	120	0	0	120
248	日高文化体育館	日高町祢布954-6		S62	RC・2	2,731	8,609	2,274	0	2,508
249	神鍋高原体育館	日高町栗栖野59-51		S46	SRC・1	812	925	12	0	966
250	神鍋野外スポーツ公園	日高町名色88-50		H10	S・1	1,279	1,750	1,196	0	2,946
251	出石B&G海洋センター屋内プール	出石町福住923		H17	S・1	1,233	8,915	18,258	0	2,131
252	出石B&G海洋センター体育館	出石町福住923		S57	SRC・1	1,373	6,076	3,205	0	1,081
253	出石屋内多目的運動場	出石町福住1326		H14	S・1	1,150	383	12	0	613
254	出石総合スポーツセンター	出石町福住1200		H6	RC・1	325	5,923	699	0	892
255	但東スポーツ公園	但東町小谷6		H4	W・1	265	3,612	541	0	672
256	但東健康増進センター	但東町正法寺190		H16	S・1	1,131	770	168	0	970
257	但東中央体育館	但東町出合47-1		S58	SRC・2	1,432	1,403	197	0	142
258	資母体育館	但東町中山706		H5	RC・1	1,236	715	102	0	51

### ②建物の状況

延床面積は、総合体育館 (約 3,900 ㎡) や健康増進施設 (約 3,540 ㎡) が特に広く、体育館では 1,000 ㎡を超える施設が多くなっています。

昭和 30 年代の後半から昭和 50 年代後半にかけて建築した施設が 5 箇所あり、大規模改修・更新のサイクルを迎え老朽化が進んでいますが、神鍋高原体育館 (平成 12 年) 以外はこれまでに大規模改修を実施していません。

また、新耐震基準以前 (昭和 56 年以前) に建築された施設は、市民体育館をはじめ 3 箇所ありますが、いずれの施設も耐震診断・改修は実施していません。

### ③利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、健康増進施設が約 25.6 万人と特に多く、これ以外では総合体育館が約 4.5 万人、日高文化体育館が約 3.7 万人と体育館の利用者が多くなっています。利用者数の推移をみると、延利用者数の多い健康増進施設が大幅に増加していますが、これ以外の施設については横ばいか減少する傾向がみられます。

スポーツ施設に併設されている貸室の稼働率をみると、平成 25 年度で竹野B&G海洋センターが約 37%とやや高くなっていますが、他の施設は 1~26%程度となっています。稼働率の推移をみると、竹野B&G海洋センターや神鍋野外スポーツ公園で大幅な減少がみられますが、これ以外の施設では横ばいとなっています。

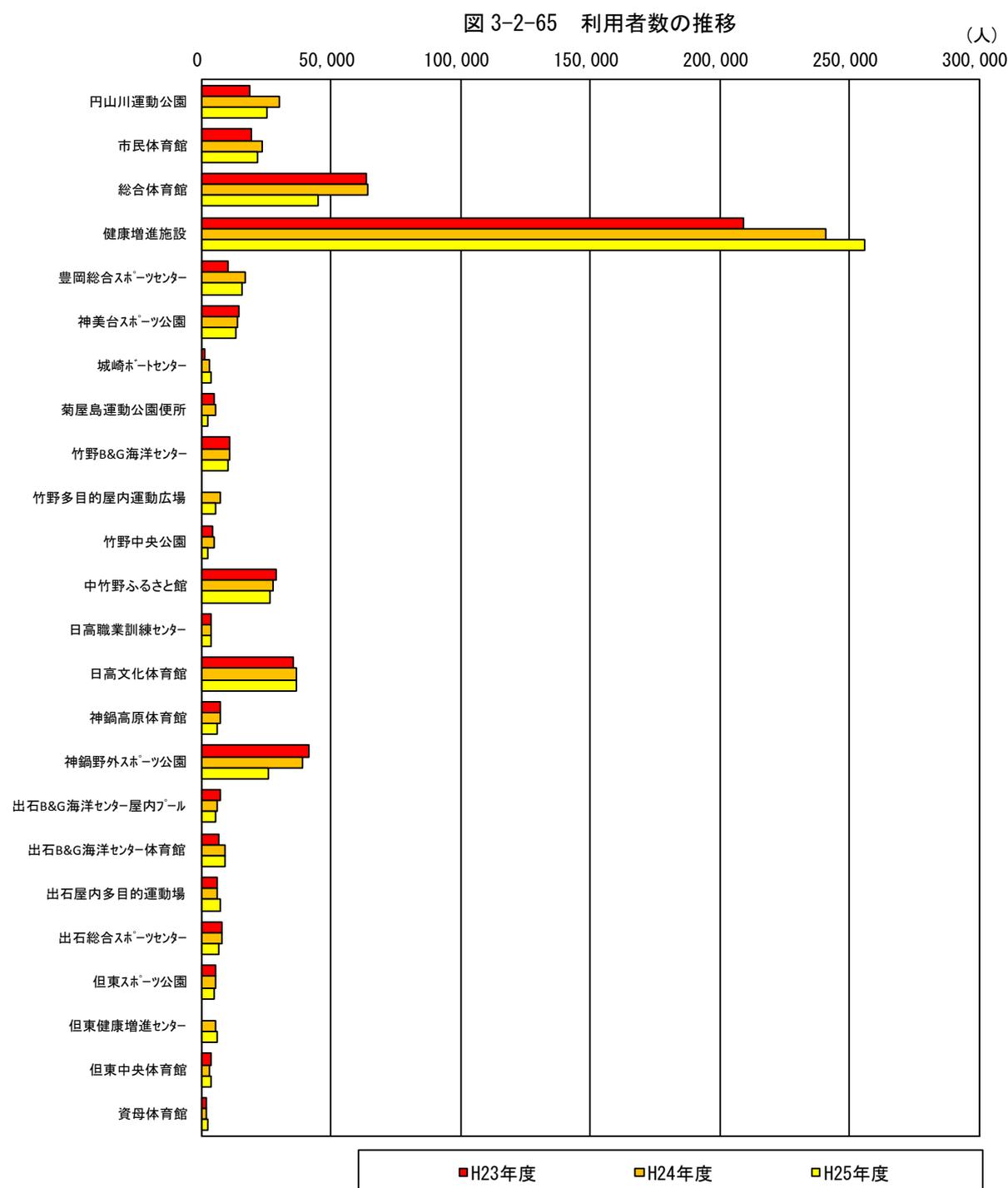
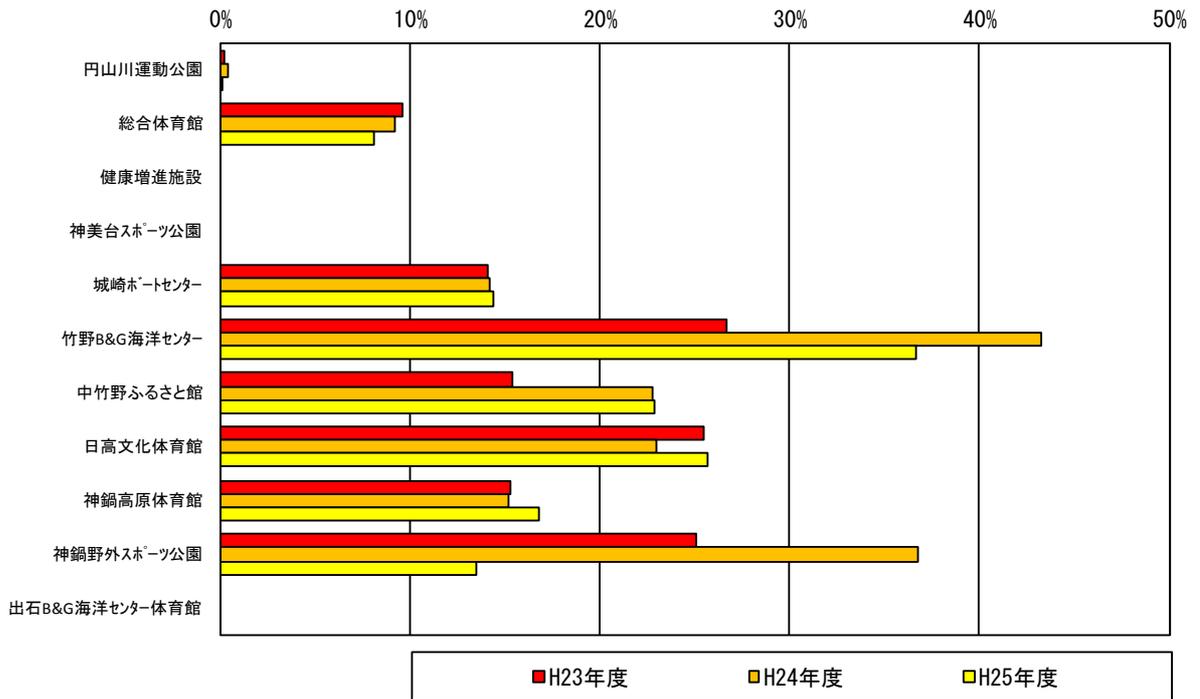


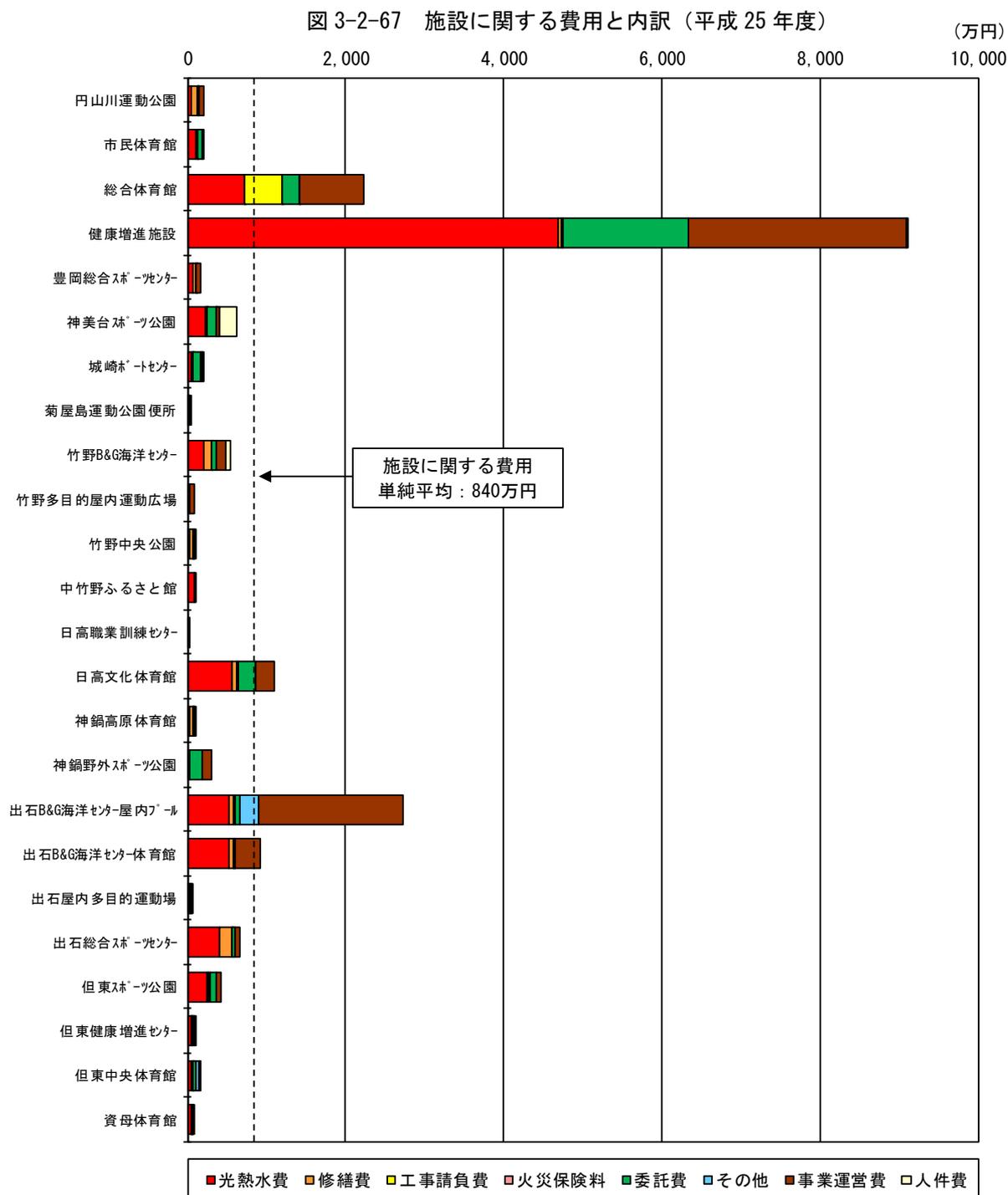
図 3-2-66 貸室の稼働率の推移



#### ④施設に関する費用の状況

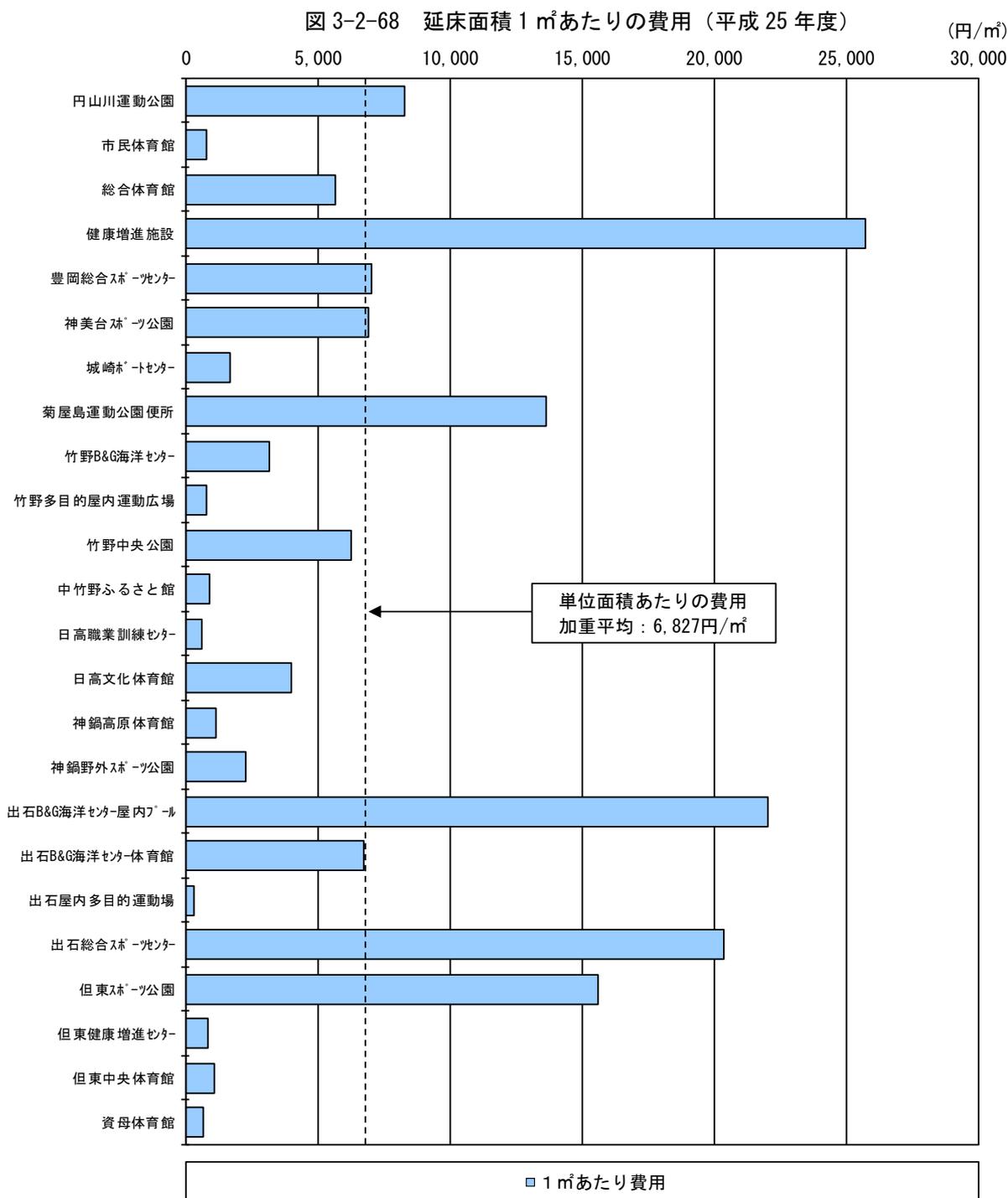
平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 840 万円となっていますが、施設規模が大きく利用者も多い健康増進施設は約 9,100 万円とかなり高く、平均の 10 倍以上となっています。これ以外では、出石 B&G 海洋センター屋内プール（約 2,720 万円）や総合体育館（約 2,220 万円）等が平均を上回っています。

費用の内訳をみると、施設に関する費用が高い施設では事業運営費や光熱水費の占める割合が高く、健康増進施設では委託費、工事請負費も多くなっています。これ以外では修繕費が主な費目として挙がっています。



### ⑤単位あたりのコストの状況

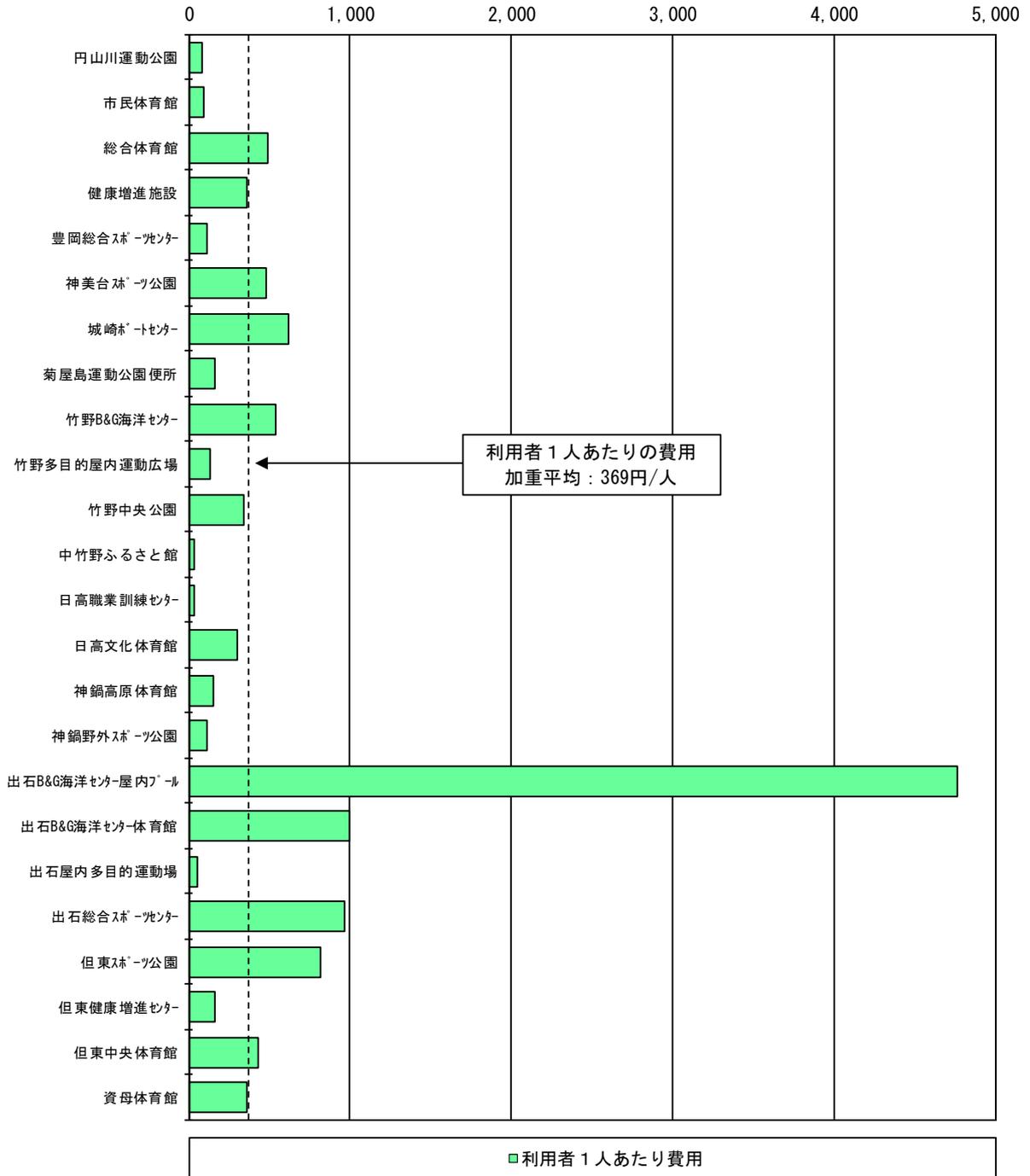
平成25年度の施設に関する費用を延床面積1㎡あたりで見ると、全施設の平均では6,827円となっていますが、施設に関する費用が大きい健康増進施設（約25,740円）や出石B&G海洋センター屋内プール（約22,040円）、出石総合スポーツセンター（約20,380円）は、平均の3～4倍近くになっています。



利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 369 円ですが、施設に関する費用がある程度高く利用者数が少ない出石 B&G 海洋センター屋内プールは約 4,770 円と、他の施設（いずれも 1,000 円未満）を大幅に上回っています。

図 3-2-69 利用者 1 人あたりの費用（平成 25 年度）

(円/人)



### 3) レクリエーション施設

#### ①概要

本市では、レクリエーション施設を 10 箇所に設置しており、その多くはキャンプ場等の野外活動施設となっています。

レクリエーション施設は、恵まれた自然環境の中で親子のふれあいや仲間づくりを行う場、日常生活から離れた憩いの場を提供するとともに、地域の活性化を担う施設として利用されています。



＜ 湯の原温泉オートキャンプ場 ＞

表 3-2-21 レクリエーション施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報（千円）			収入（千円）
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積（㎡）	維持管理費	事業運営費	人件費	
259	気比の浜キャンプ場炊事棟	気比4001先		H16	W・1	74	0	0	0	0
260	弁天浜野営場炊事棟（東側）	竹野町竹野730-1		S54	W・1	58	13	0	0	13
261	東大谷野外活動施設	竹野町東大谷334		H3	W・1	948	423	0	0	1
262	湯の原温泉オートキャンプ場	日高町羽尻1510		H10	S・1	1,718	14,914	14,366	14,261	42,190
263	ロクハウス「黎明の家」	出石町奥山532		H5	W・1	42	0	0	0	0
264	白糸の滝キャンプ場	出石町袴狭136他		S61	RC・1	26	50	3	0	0
265	子ども自然村ミーティングセンター	但東町平田780		S60	SRC・1	98	920	46	0	161
266	但東自然の郷	但東町正法寺7		H7	W・2	376	5,356	3,787	7,042	6,963
267	但東自然ふれあいセンター「やまびこ」	但東町正法寺165		S60	RC・2	3,475	49,500	126,471	65,087	198,036
268	田舎暮らし体験施設	但東町中山803-6		S50	W・1	85	40	146	0	14

#### ②建物の状況

延床面積は、但東自然ふれあいセンター「やまびこ」が約 3,470 ㎡と特に広く、これ以外では、湯の原温泉オートキャンプ場（約 1,720 ㎡）や東大谷野外活動施設（約 950 ㎡）等が規模の大きい施設となっています。

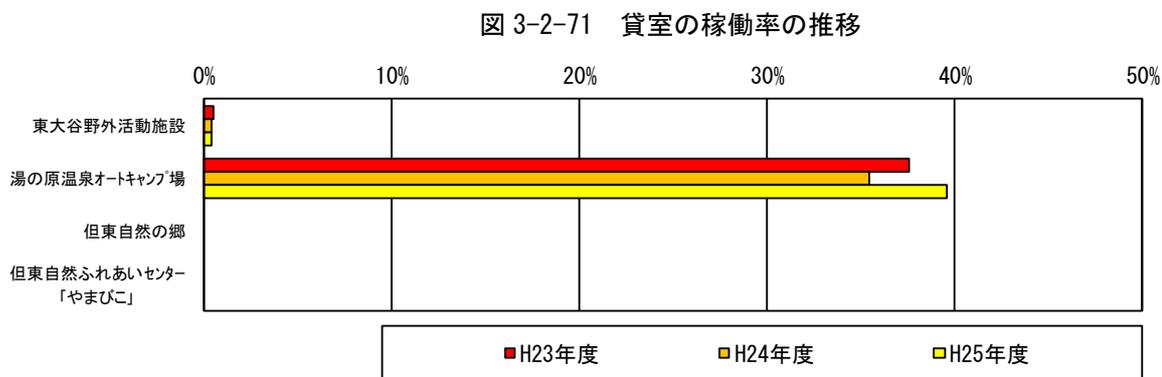
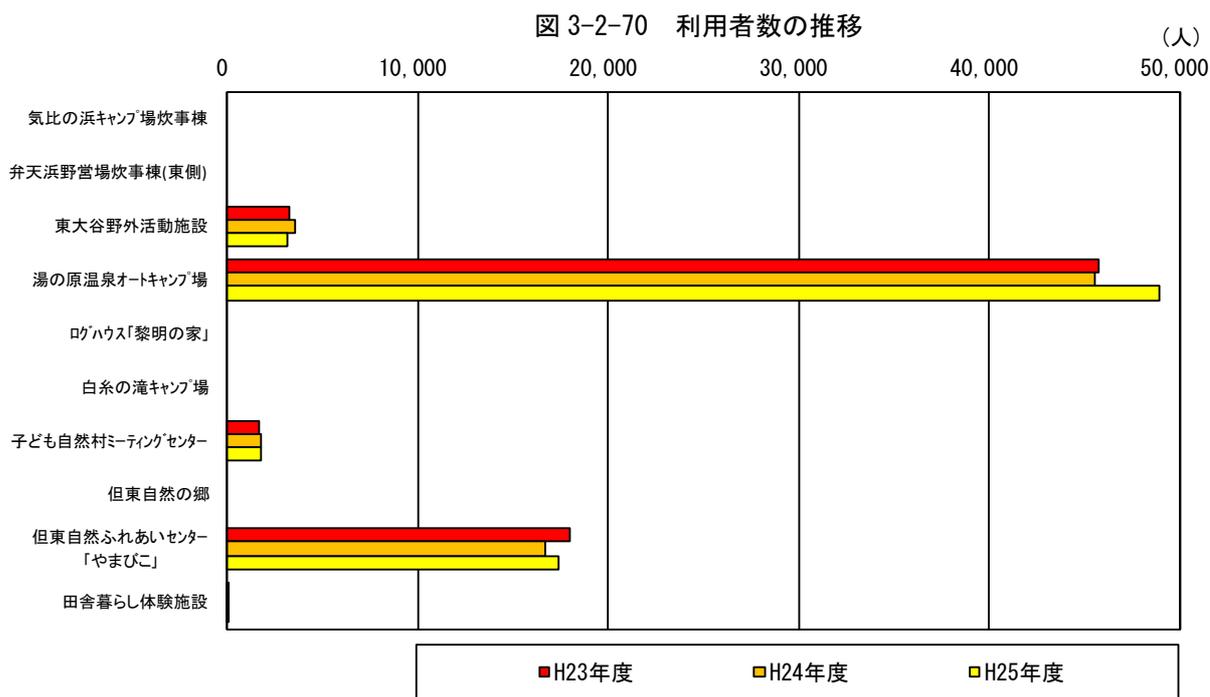
昭和 50 年代から昭和 60 年代前半にかけて建築した施設が 5 箇所あり、大規模改修・更新のサイクルを迎えて老朽化が進んでいますが、田舎暮らし体験施設（平成 21 年）、但東自然ふれあいセンター「やまびこ」（平成 26 年）以外はこれまでに大規模改修を実施していません。

また、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築された施設は、田舎暮らし体験施設と弁天浜野営場炊事棟の 2 施設ありますが、いずれの施設も耐震診断・改修は実施していません。

### ③利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、湯の原温泉オートキャンプ場が約 4.9 万人と特に多く、これ以外では但東自然ふれあいセンター「やまびこ」が約 1.7 万人と多くなっています。利用者数の推移をみると、延利用者数の多い湯の原温泉オートキャンプ場が増加していますが、これ以外の施設については横ばいか減少する傾向がみられます。

レクリエーション施設に併設されている貸室の稼働率をみると、平成 25 年度で湯の原温泉オートキャンプ場が約 40%と高くなっていますが、東大谷野外活動施設は 1%程度にとどまっています。稼働率の推移をみると、湯の原温泉オートキャンプ場では増加する傾向がみられます。

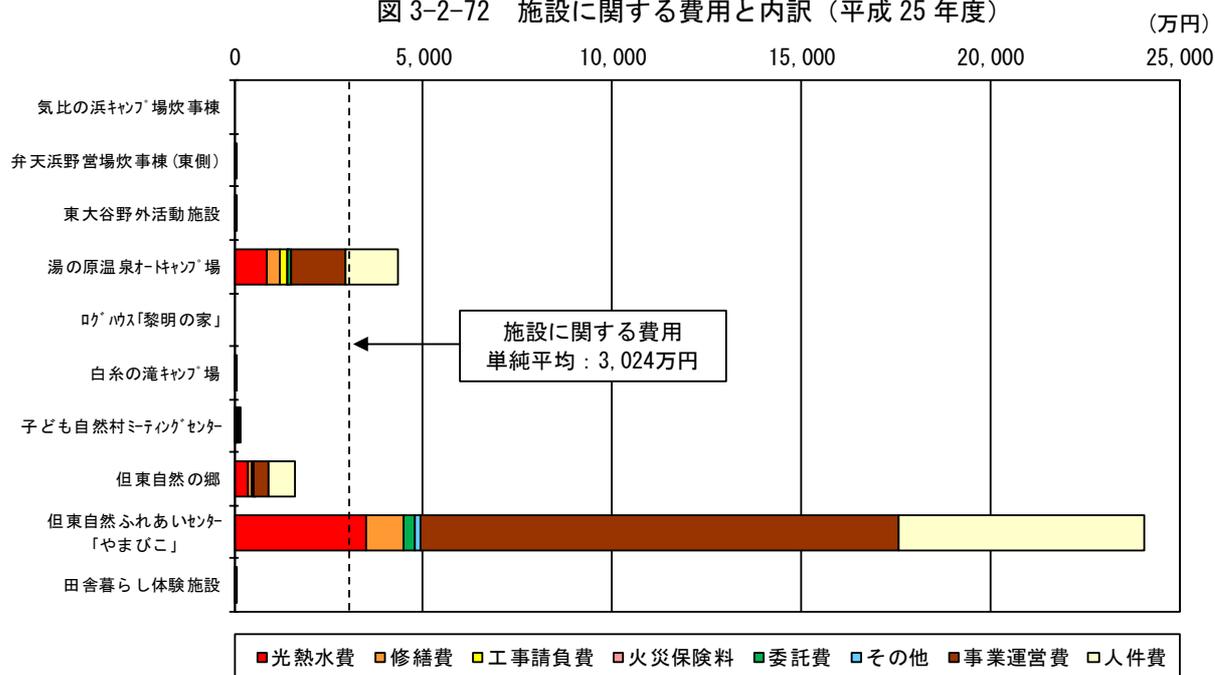


#### ④施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 3,024 万円となっていますが、施設規模が大きく一定数の利用者がある但東自然ふれあいセンター「やまびこ」は約 2 億 4,110 万円と平均の 8 倍程度となっています。これ以外では、湯の原温泉オートキャンプ場が約 4,350 万円と平均を上回っています。

費用の内訳をみると、事業運営費や人件費、光熱水費の占める割合が高く、これ以外では修繕費、委託費が主な費目として挙がっています。

図 3-2-72 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）



#### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりで見ると、全施設の平均では 43,834 円となっていますが、施設に関する費用が大きい但東自然ふれあいセンター「やまびこ」が約 69,370 円と平均を大きく上回っており、延床面積が狭い但東自然の郷も約 43,050 円と平均に近い水準となっています。

利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 4,247 円ですが、施設に関する費用が大きい但東自然ふれあいセンター「やまびこ」は約 13,890 円と平均の 3 倍以上になっています。（田舎暮らし体験館は、利用者数が 10 人であるため 1 人あたりの費用が高くなっています）

図 3-2-73 延床面積 1㎡あたりの費用（平成 25 年度）

(円/㎡)

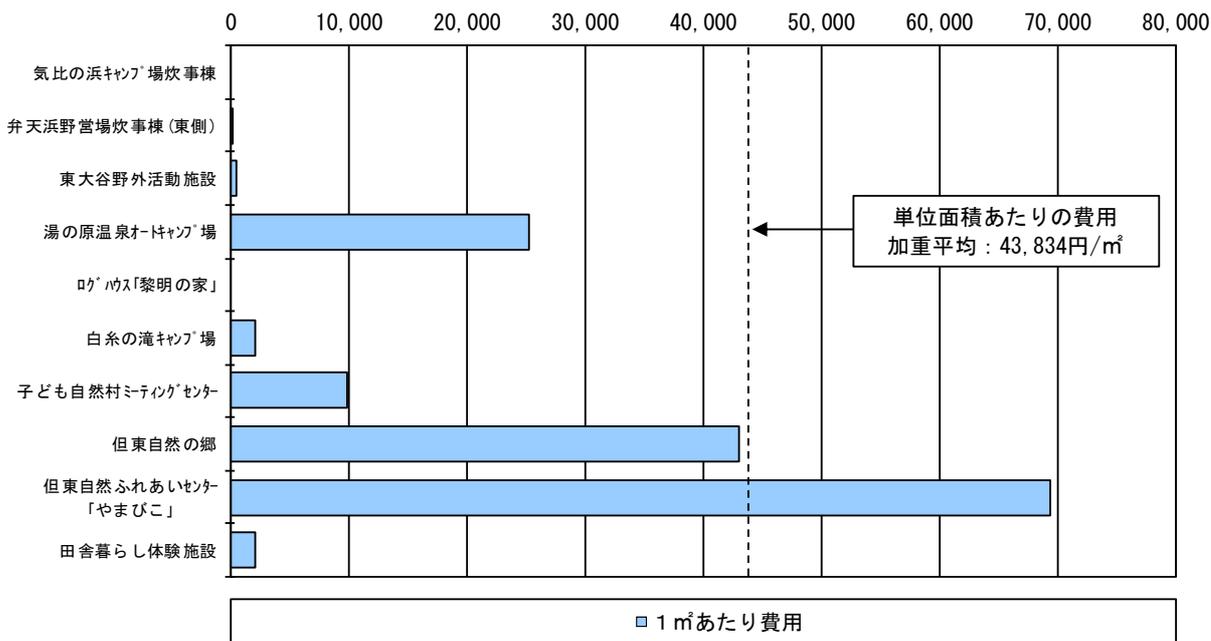
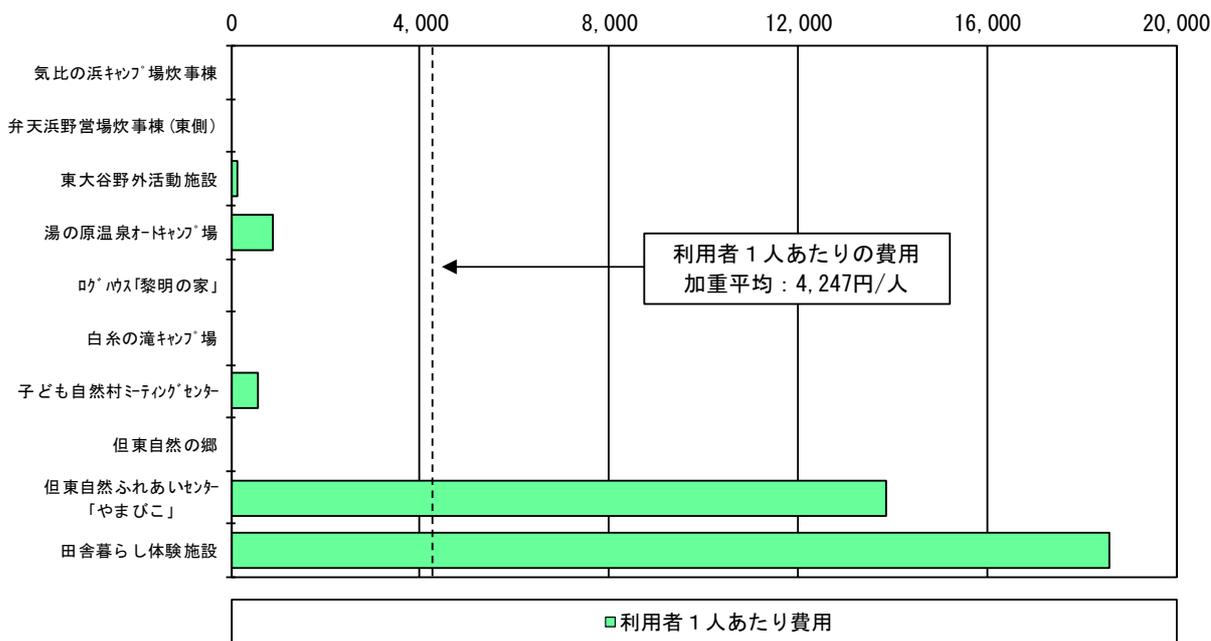


図 3-2-74 利用者 1人あたりの費用（平成 25 年度）

(円/人)



## 4) 温泉施設

### ①概要

本市では、温泉施設を6箇所に設置しており、いずれも豊岡地域以外に立地しています。

温泉施設は、市民に憩いとやすらぎを与え、市民の健康増進や福祉の向上を図るとともに、施設を活用した観光客等との交流・ふれあいなど、地域の活性化を担う施設として利用されています。



＜ 出石温泉館乙女の湯 ＞

表 3-2-22 温泉施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報 (千円)			収入 (千円)
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積 (㎡)	維持管理費	事業運営費	人件費	
179	城崎温泉交流センター	城崎町今津290-36		H12	RC・3	1,684	37,777	10,683	12,015	49,460
269	神鍋温泉ゆとろぎ	日高町栗栖野59-13		H26	RC・1	939	0	0	0	0
270	出石温泉館乙女の湯	出石町福住882		H17	W・1	533	1,666	27,631	12,842	41,641
271	出石温泉泉源	出石町福住811		H6	CB・1	115	1,616	28	0	0
272	但東シルク温泉館	但東町正法寺165		H11	RC・1	1,552	22,103	58,857	29,063	148,104
273	たんたん温泉福寿の湯	但東町坂野470		H20	W・1	376	16,513	11,999	13,217	35,184

### ②建物の状況

延床面積は、城崎温泉交流センターが約1,680㎡、但東シルク温泉館が約1,550㎡と広く、これ以外は1,000㎡未満の施設となっています。

いずれの施設も平成に入ってから建築した施設で、建築後10年を経過していない新しい施設も3箇所あります。

但東シルク温泉館では建築後15年目の平成26年に、城崎温泉交流センターでは13年目の平成25年に大規模改修を実施しています。

### ③利用の状況

平成25年度の延利用者数をみると、城崎温泉交流センターが約17.3万人、但東シルク温泉館が約16.7万人と特に多く、これ以外では出石温泉館乙女の湯が約10.9万人と多くなっています。利用者数の推移をみると、延利用者数の多い但東シルク温泉館が減少していますが、これ以外の施設については横ばいか増加する傾向がみられます。

城崎温泉交流センターに併設されている貸室の稼働率をみると、平成25年度で約2%とかなり低く、平成23年度に比べると減少しています。

図 3-2-75 利用者数の推移

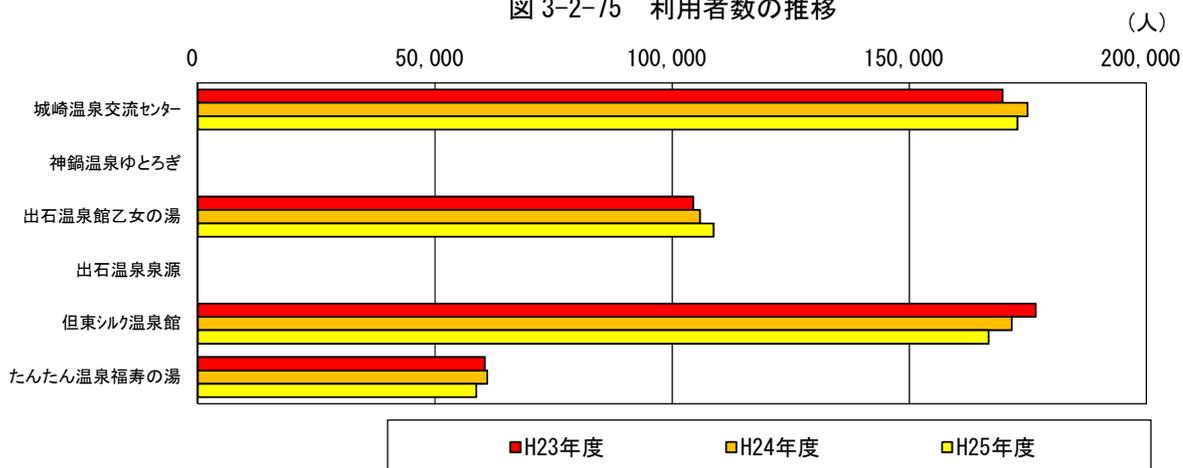
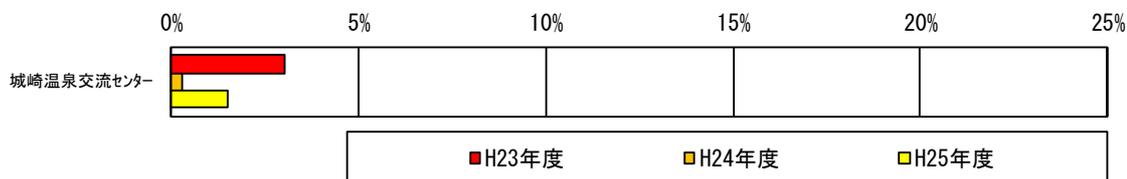


図 3-2-76 貸室の稼働率の推移

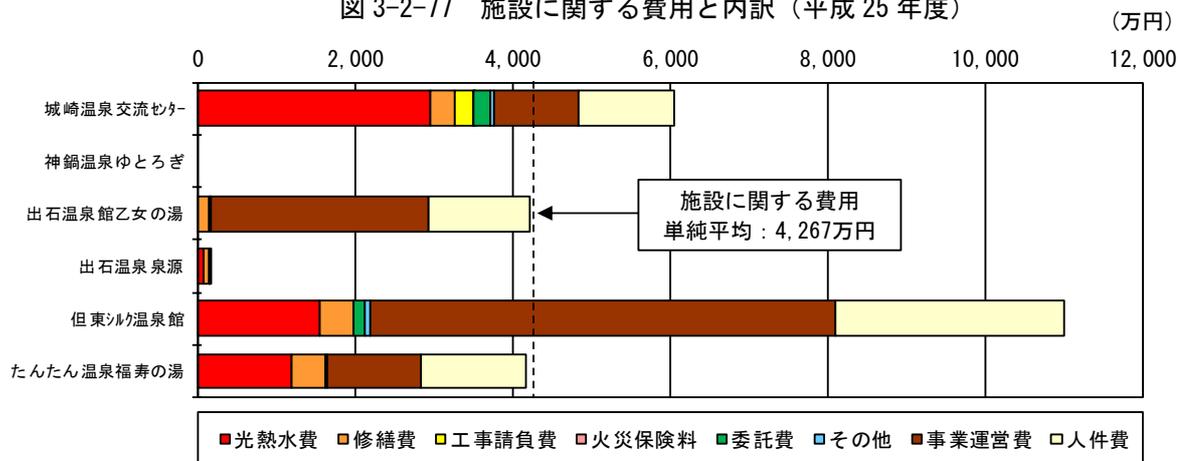


#### ④施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 4,267 万円となっていますが、施設規模が大きく利用者数も多い但東シルク温泉館は約 1 億 1,000 万円と平均の 2 倍以上になっています。これ以外では、利用者数が多い城崎温泉交流センターが約 6,050 万円で平均を上回っています。

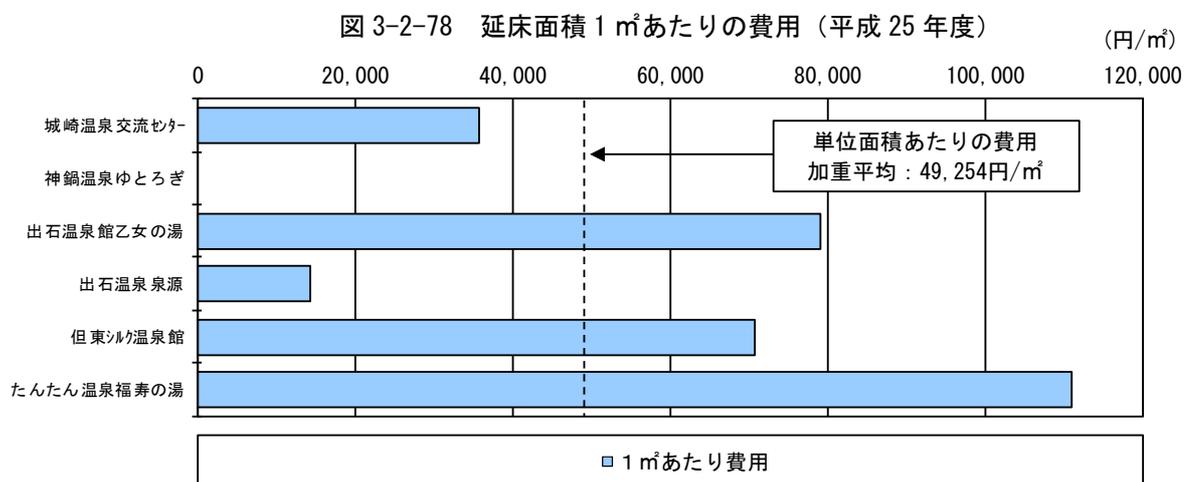
費用の内訳をみると、事業運営費や人件費、光熱水費の占める割合が高く、これ以外では修繕費、委託費、工事費が主な費目として挙がっています。

図 3-2-77 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）

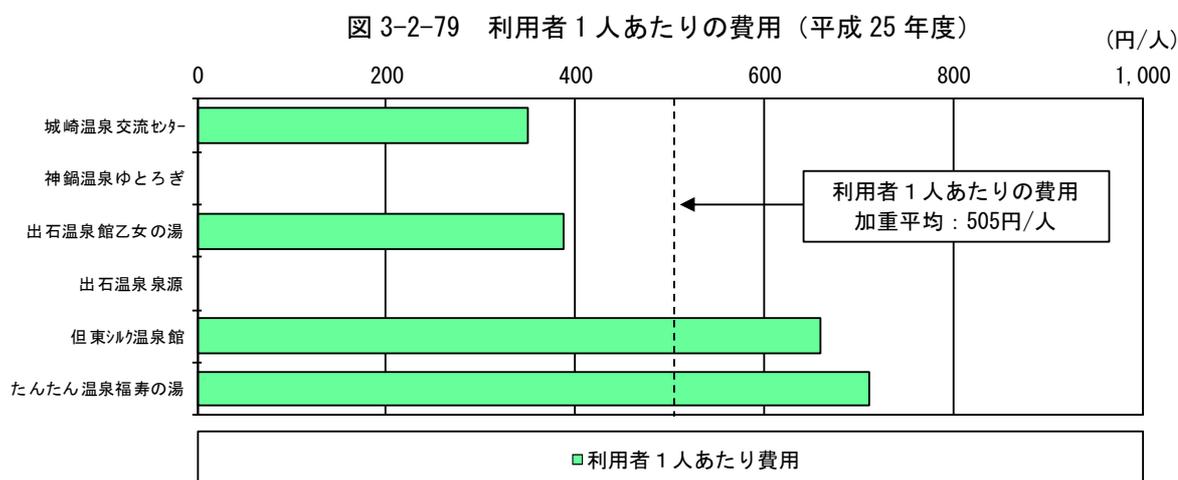


### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりで見ると、全施設の平均では 49,254 円となっていますが、施設規模が小さいたんたん温泉福寿の湯が約 111,040 円と平均の 2 倍以上になっており、これ以外では出石温泉館乙女の湯も約 79,110 円と平均を大きく上回っています。



利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 505 円ですが、利用者数が少ないたんたん温泉福寿の湯 (約 710 円) や施設に関する費用が特に高い但東シルク温泉館 (約 660 円) が平均を上回っています。



## (7) 産業系施設

### 1) 産業系施設

#### ①概要

本市では、産業系施設を 14 箇所に設置しており、5 箇所の加工施設のほかに、販売施設や体験・学習施設等を設置しています。

産業系施設は、児童・学生をはじめとする地域住民や本市を訪れる観光客等に、本市の産業や特産物を知ってもらい、実際に加工等を体験することができる施設として利用されています。



< 木屋町小路 >

表 3-2-23 産業系施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報 (千円)			収入 (千円)
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積 (㎡)	維持管理費	事業運営費	人件費	
274	地域交流センター「コトトリ本舗」	祥雲寺14-12		H19	W・1	338	179	0	0	0
275	木屋町小路	城崎町湯島391		H20	W・2	700	6,938	1,578	2,329	10,974
276	殿食材供給施設	日高町殿810		H17	W・1	312	2,338	12,858	0	15,312
277	日高農林漁業体験実習館	日高町栗栖野58-133		H5	S・2	892	2,347	20,677	11,909	34,541
278	日高農林産物加工研修所	日高町岩中102-1		S63	W・1	203	627	837	0	2,592
279	出石農産物加工場	出石町福居948		H7	S・1	194	24	754	0	124
280	片間ふれあい農園	出石町片間365		H17	W・1	69	158	0	0	0
281	そば乾燥調製貯蔵施設	但東町赤花163-1		H12	S・1	300	595	150	330	630
282	但東地域活性化センター (赤花そばの郷)	但東町赤花159-1		H3	W・1	519	2,052	698	2,606	13,365
283	但東地域特産物加工施設	但東町出合433		S60	W・1	184	195	32	0	42
284	但東農産物加工施設	但東町佐田526		H14	W・1	191	2,856	383	6,118	21,941
285	但馬ちりめん振興館	但東町中山268-1		S63	S・1	571	835	38	1,800	3,800
286	農産物直売所	日高町柘布909-1		H17	W・1	9	17	207	0	511
287	農林産物加工研修施設	竹野町轟2-1		S58	W・1	153	346	38	0	477

#### ②建物の状況

延床面積が最も大きい施設は日高農林漁業体験学習館（約 890 ㎡）で、全体的に小規模な施設が多い状況です。

平成に入ってから建築した施設が多く、このうち 6 箇所は建築後 10 年以内の比較的新しい施設となっています。

昭和 58 年に建築した農林産物加工研修施設は老朽化が進んでいましたが、建築後 29 年目の平成 24 年に大規模な改修を実施しています。このほか、木屋町小路が平成 25 年に大規模な改修を実施しています。

いずれの施設も新耐震基準以降（昭和 57 年以降）に建築されたものであることから、耐震改修を実施する必要はありません。

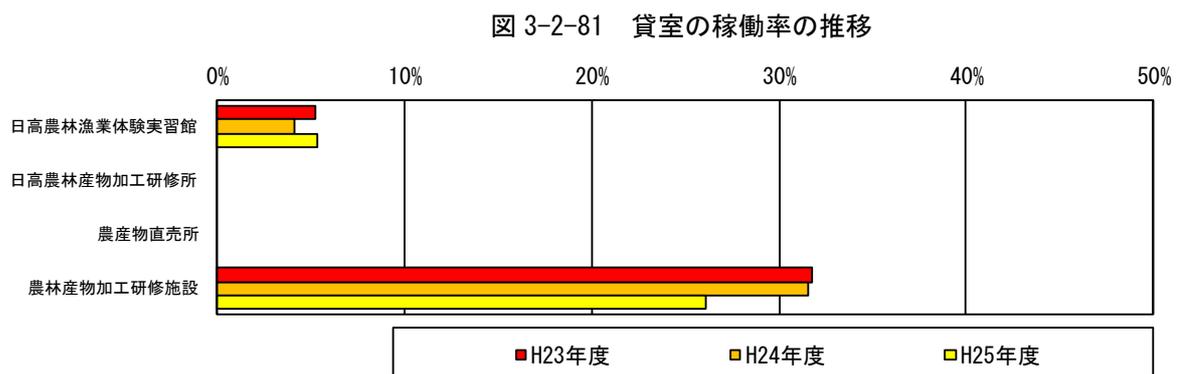
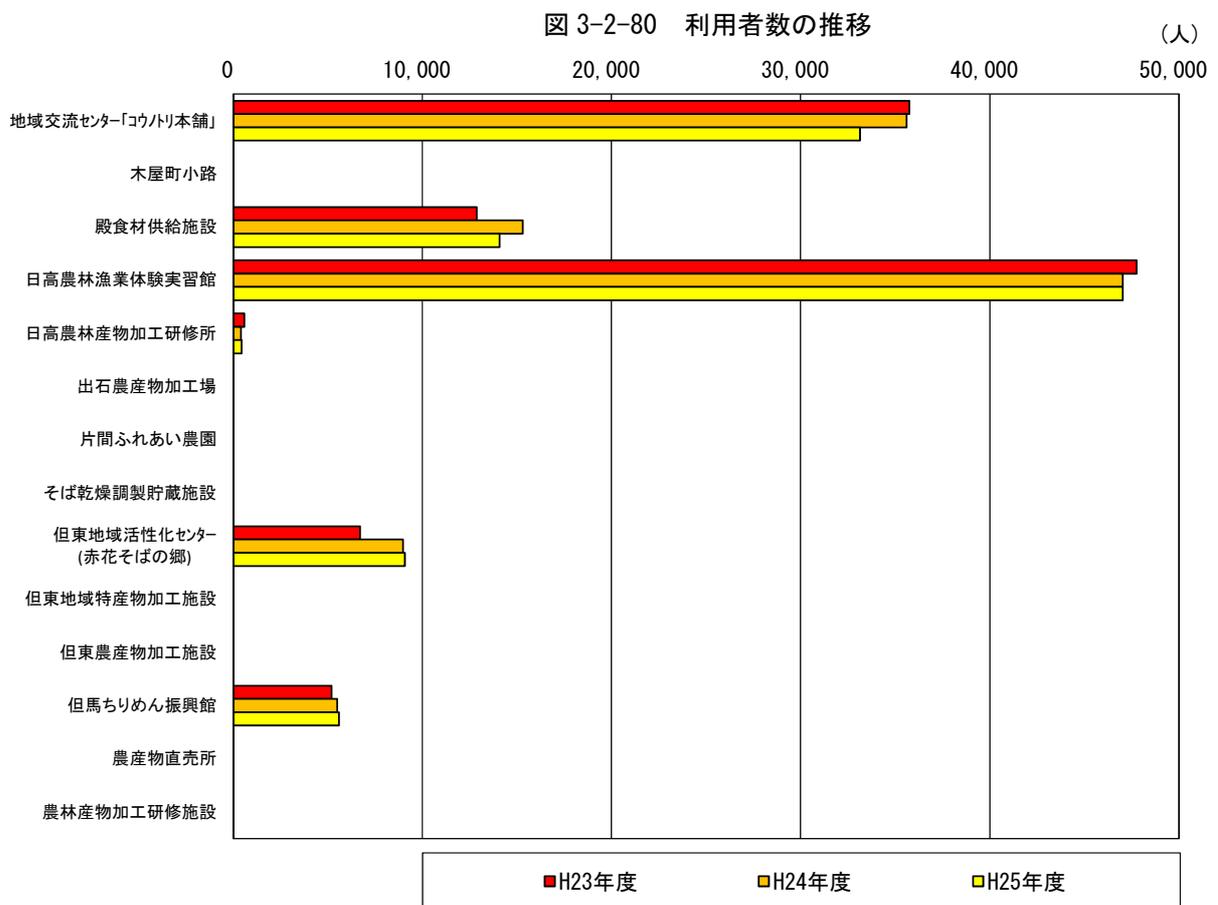
### ③利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、約 440～47,040 人（不明を除く）まで幅がありますが、日高農林漁業体験実習館では約 47,040 人、地域交流センター「コウノトリ本舗」では約 33,140 人と他の施設に比べかなり多くなっています。

延利用者数の推移をみると、延利用者数が多い施設では減少傾向がみられますが、他の施設では横ばいとなっています。

産業系施設に併設されている貸室の稼働率をみると、農林産物加工研修施設では約 26%と一定の利用がみられますが、日高農林漁業体験実習館では 5%程度にとどまっています。

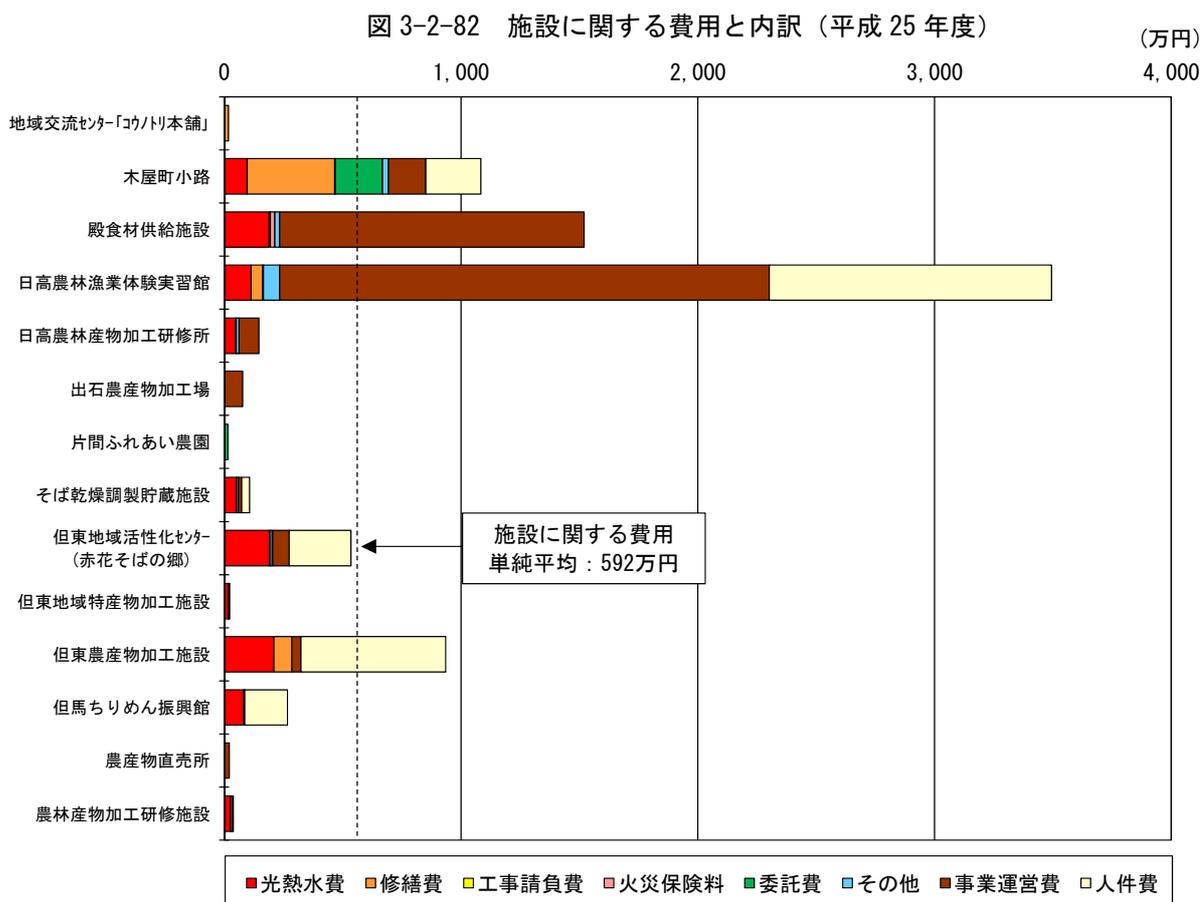
稼働率の推移をみると、農林産物加工研修施設では減少傾向がみられますが、日高農林漁業体験実習館では横ばいとなっています。



#### ④施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 592 万円となっていますが、日高農林漁業体験実習館では約 3,490 万円と他の施設（約 20～1,520 万円）に比べかなり高い水準となっています。

費用の内訳をみると、事業運営費や光熱水費の占める割合が高い施設が多く、これ以外では人件費、修繕費、委託費が主な費目として挙がっています。施設に関する費用が高い日高農林漁業体験実習館では、人件費が全体の 1/3 以上を占めています。



#### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりで見ると、全施設の平均では 17,878 円となっていますが、但東農産物加工施設は約 48,961 円、殿食材供給施設は約 48,760 円、日高農林漁業体験実習館は約 39,150 円で、他の施設（約 530～25,650 円）に比べ高い水準となっています。

利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 757 円となっていますが、日高農林産物加工研修所は約 3,320 円で、他の施設（約 10～1,080 円）に比べかなり高い水準となっています。

図 3-2-83 延床面積 1㎡あたりの費用（平成 25 年度）

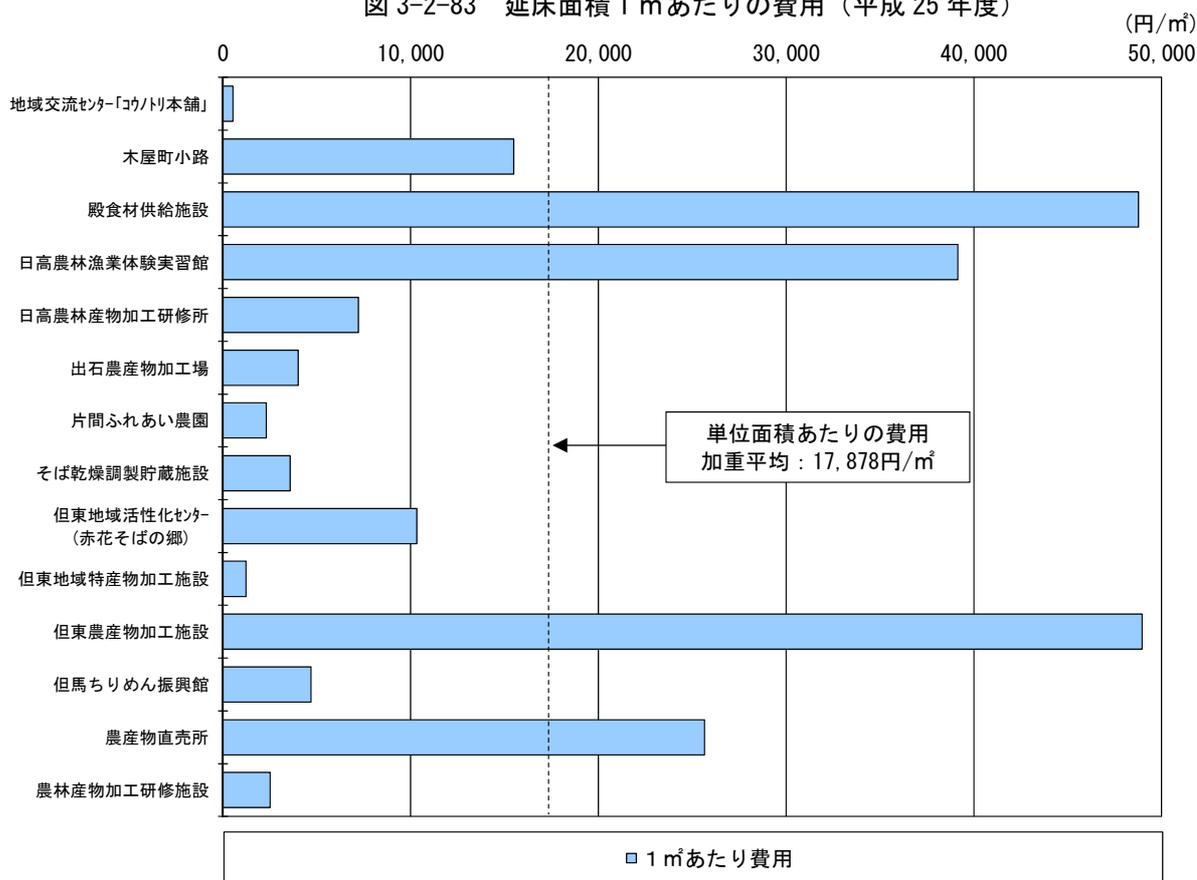
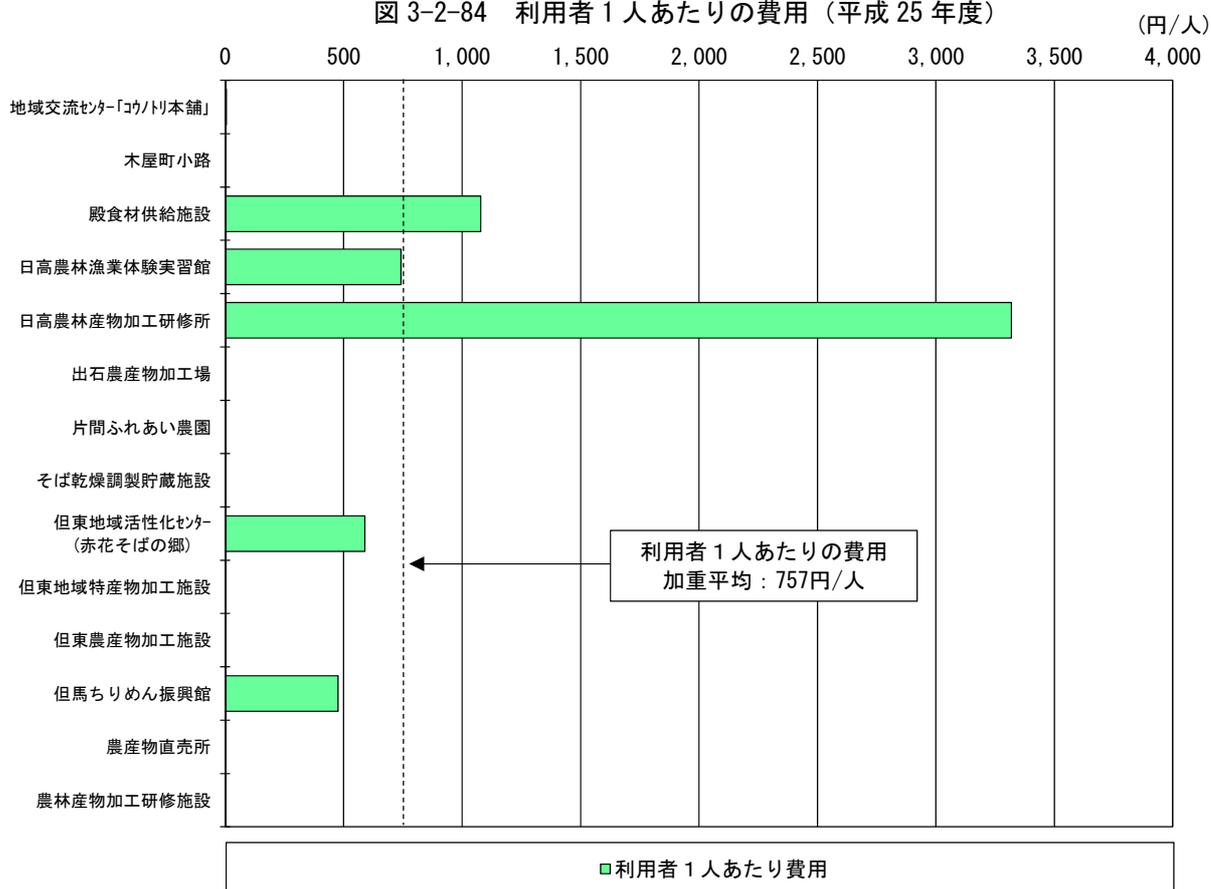


図 3-2-84 利用者 1人あたりの費用（平成 25 年度）



## 2) 環境関連施設

### ①概要

本市では、環境関連施設として豊岡市エコハウスと山宮地場ソーラーPR館の2施設を設置しています。

環境関連施設は、地球温暖化防止対策や再生可能エネルギーの地産地消費、エネルギー利用の多様化に関する普及啓発や情報提供を行う施設として、市民や事業者にご利用されています。



< 豊岡市エコハウス >

表 3-2-24 環境関連施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報（千円）			収入（千円）
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積（㎡）	維持管理費	事業運営費	人件費	
288	豊岡市エコハウス	城崎町今津1361		H22	W・2	168	494	160	142	27
289	山宮地場ソーラーPR館	日高町山宮1516		S46	W・1	36	53	0	0	0

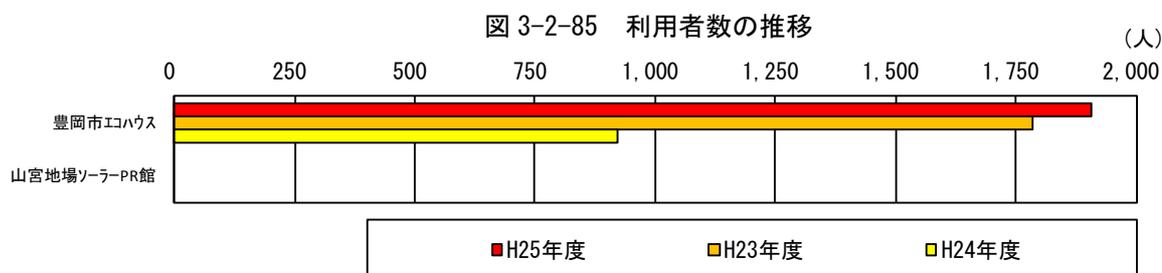
### ②建物の状況

延床面積は、豊岡市エコハウスが約 170 ㎡、山宮地場ソーラーPR館が約 40 ㎡で、いずれも小規模な施設となっています。

豊岡市エコハウスは、平成 22 年に建築した新しい施設ですが、昭和 46 年に建築した山宮地場ソーラーPR館は、建築後 43 年が経過し老朽化がかなり進んでいたため、平成 24 年に大規模改修を実施しました。また、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築されたものですが、耐震診断・改修は実施していません。

### ③利用の状況

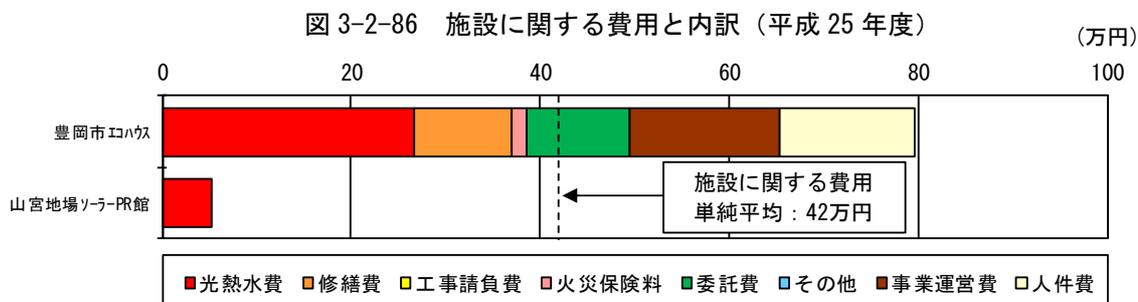
豊岡市エコハウスの平成 25 年度の延利用者数は約 920 人となっており、平成 23 年度から平成 25 年度の間には半数近く（約 990 人）まで減少しています。（山宮地場ソーラーPR館はデータなし）



#### ④施設に関する費用の状況

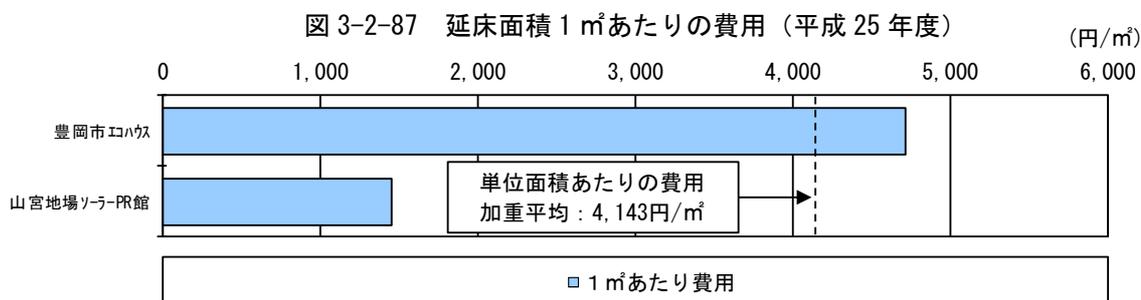
平成 25 年度における施設に関する費用をみると、2 施設の平均では 42 万円となっていますが、利用者数の多い豊岡市エコハウスは約 80 万円と平均の 2 倍近くになっています。

費用の内訳をみると、いずれの施設でも光熱水費の支出が多く、豊岡市エコハウスではこれ以外の費目として事業運営費、人件費、委託費、修繕費がほぼ同じ金額で挙がっています。

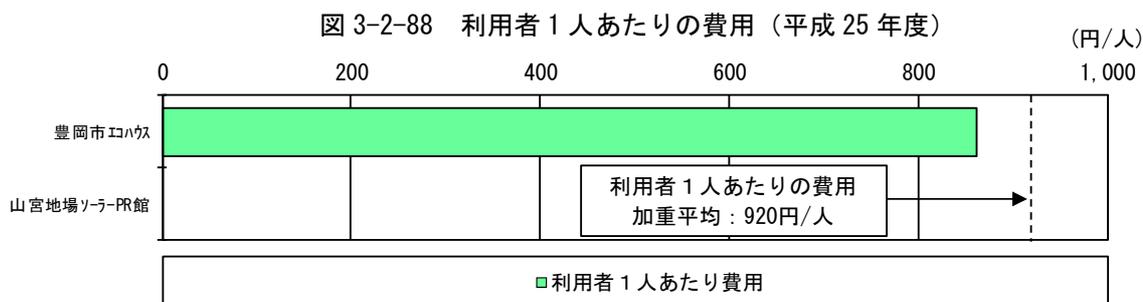


#### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、2 施設の平均では 4,143 円となっていますが、施設に関する費用が少なく床面積も小さい山宮地場ソーラーPR館では、約 1,450 円と平均の 1/3 程度になっています。



利用者 1 人あたりでみると、豊岡市エコハウスでは約 860 円となっています。(山宮地場ソーラーPR館はデータなし)



## (8) 学校教育系施設

### 1) 中学校

#### ①概要

本市では、中学校を 10 箇所を設置しており、豊岡地域に 3 箇所、竹野地域と日高地域に 2 箇所ずつ、それ以外は 1 箇所ずつとなっています。

豊岡地域では小学校 3~4 校ごとに 1 校を設置していますが、少子化が進んでいることもあり、旧町地域も含めて生活圈等を考慮しながら校区の見直し・再編等を行っています。

なお、森本中学校については、平成 26 年度末で廃校となっています。



< 豊岡南中学校 >

表 3-2-25 中学校の概要

ID	基礎情報						コスト情報 (千円)			収入 (千円)
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積 (㎡)	維持管理費	事業運営費	人件費	
290	豊岡南中学校	大磯町1-65		S50	RC・3	10,733	297,817	3,950	10,704	0
291	豊岡北中学校	中陰250		S45	RC・3	9,046	20,200	4,079	10,704	0
292	港中学校	気比3485		S37	RC・3	3,673	4,479	1,833	7,965	0
293	城崎中学校	城崎町湯島617		H7	RC・3	5,352	6,626	1,684	2,738	8
294	竹野中学校	竹野町竹野2056		H8	RC・3	6,223	6,280	1,926	2,738	4
295	森本中学校	竹野町森本541		H16	S・2	2,954	11,356	1,523	2,738	0
296	日高東中学校	日高町水上160		S43	RC・3	7,750	157,285	2,884	5,477	0
297	日高西中学校	日高町庄境410		S42	RC・2	5,822	6,042	1,942	2,738	0
298	出石中学校	出石町弘原202-1		H10	RC・3	8,692	12,664	2,974	5,477	12
299	但東中学校	但東町三原108-1		H16	RC・2	6,398	7,488	2,320	2,738	33

※森本中学校は平成 26 年度末で廃校

#### ②建物の状況

延床面積は、豊岡南中学校と豊岡北中学校が 1 万㎡前後と特に広がっていますが、港中学校は約 3,600 ㎡と他の中学校に比べて規模は小さくなっています。

昭和 30 年代後半から 50 年頃にかけて建築した中学校が 5 校あり、老朽化がかなり進んでいましたが、日高東中学校と日高西中学校では平成 21 年以降にほとんどの建物で大規模改修を実施しました。

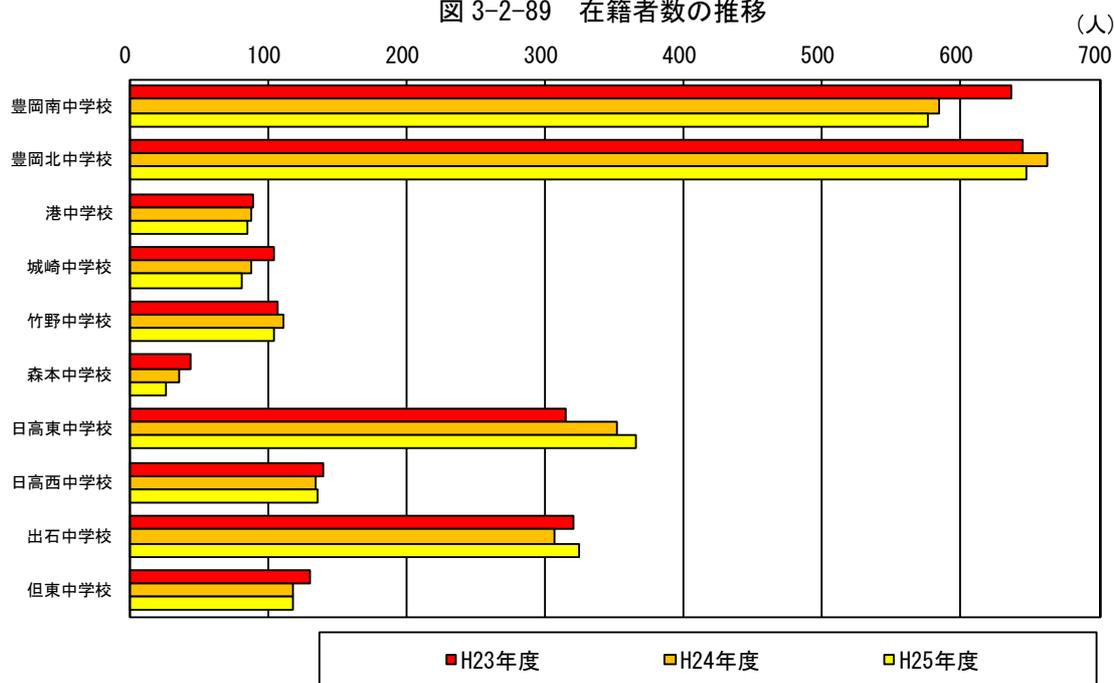
これらの 5 校は、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築したのですが、校舎等の主要な建物については耐震改修を実施しています。

#### ③利用の状況

平成 25 年度の在籍者数をみると、豊岡南中学校や豊岡北中学校では 600 人前後となっていますが、城崎、港など 100 人を下回っている中学校もあります。

在籍者数の推移をみると、日高東中学校で増加傾向がみられるものの、全体的には減少傾向となっています。

図 3-2-89 在籍者数の推移



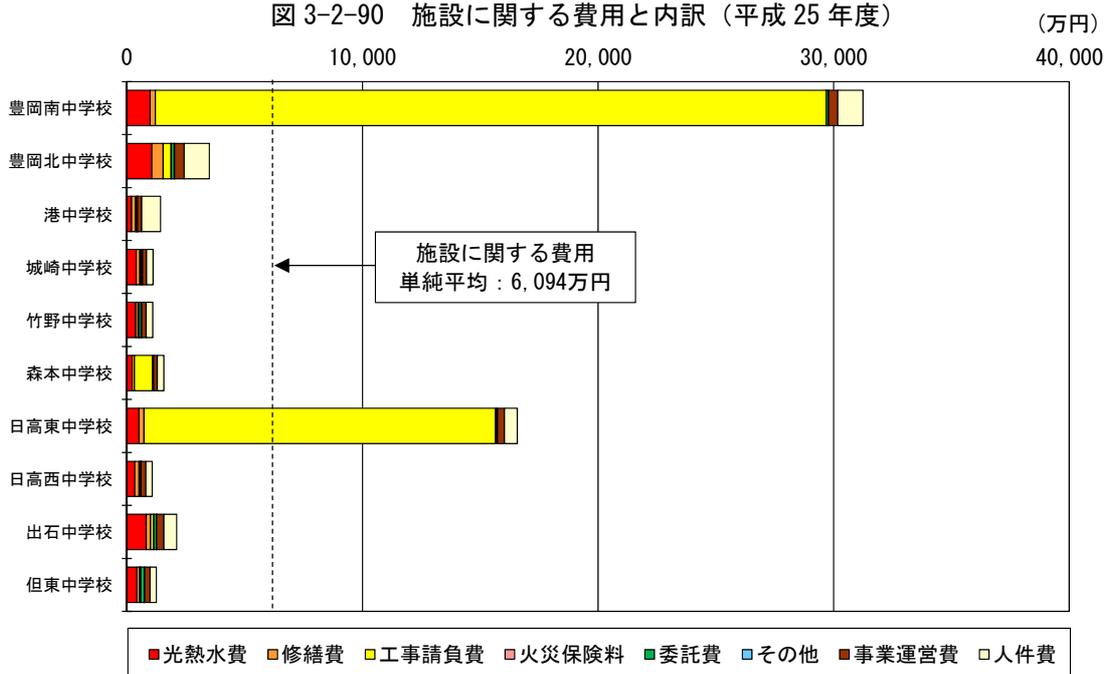
※森本中学校は平成 26 年度末で廃校

#### ④施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 6,094 万円となっていますが、耐震改修を実施した豊岡南中学校は約 3 億 1,250 万円と特に高く、大規模改修を実施した日高東中学校も約 1 億 6,570 万円と高くなっています。

費用の内訳をみると、施設に関する費用が高い豊岡南中学校や日高東中学校では工事請負費が大半を占めており、これ以外の費目では人件費や光熱水費が主な費目として挙がっています。

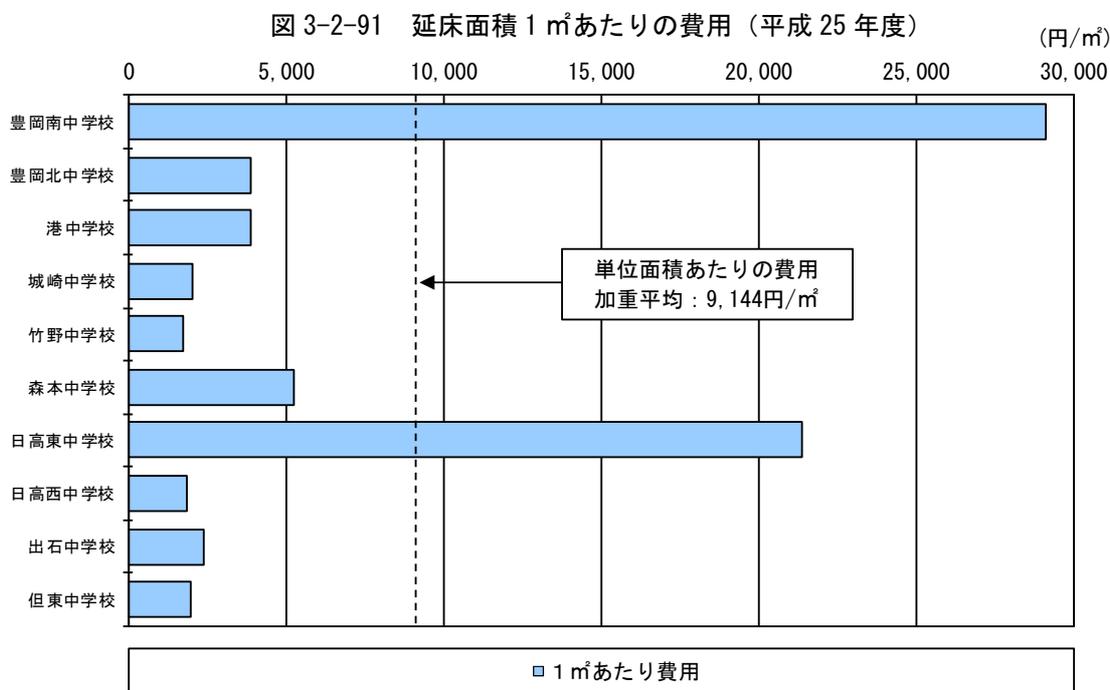
図 3-2-90 施設に関する費用と内訳 (平成 25 年度)



※森本中学校は平成 26 年度末で廃校

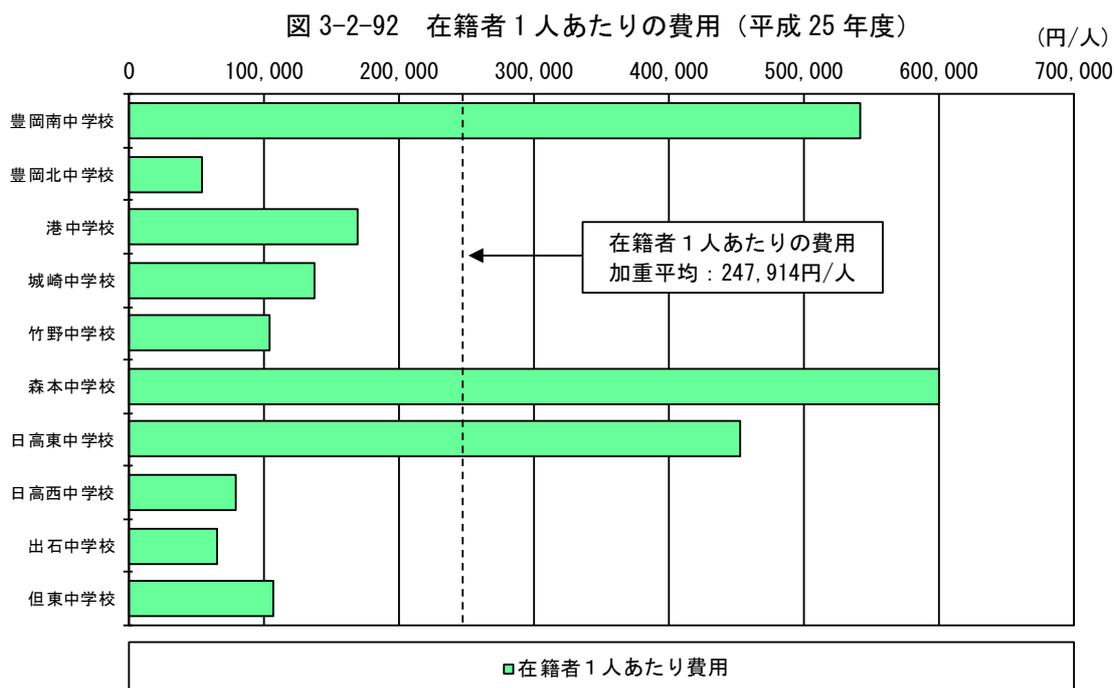
### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、全施設の平均では 9,144 円となっていますが、施設に関する費用が大きい豊岡南中学校（約 29,110 円）や日高東中学校（約 21,370 円）は、他の中学校に比べかなり高い水準となっています。



※森本中学校は平成 26 年度末で廃校

在籍者 1 人あたりでみると、全施設の平均では 247,914 円となっていますが、施設に関する費用が大きい豊岡南中学校（約 542,480 円）や日高東中学校（約 453,820 円）は、他の中学校に比べかなり高い水準となっています。



※森本中学校は平成 26 年度末で廃校

## 2) 小学校

### ①概要

本市では、小学校を29箇所を設置していますが、このうち1/3以上(11校)は豊岡地域に立地しています。

また、放課後児童クラブとの複合施設となっている小学校が11校あります。

少子化が進んでいることもあり、生活圏等を考慮しながら校区の見直し・再編等を行っています。



< 豊岡小学校 >

表 3-2-26 小学校の概要

ID	基礎情報						コスト情報(千円)			収入(千円)
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	維持管理費	事業運営費	人件費	
300	豊岡小学校	中央町16-5		H8	RC・3	8,338	10,905	3,094	5,477	27
301	八条小学校	九日市下町402	複合	H6	RC・3	4,554	135,249	3,034	7,965	24
302	三江小学校	庄境648		S58	RC・4	5,159	9,013	2,311	7,965	91
303	田鶴野小学校	野上162	複合	S55	RC・3	3,641	140,721	1,918	7,965	0
304	五荘小学校	中陰1		S46	RC・3	8,273	29,977	4,465	10,704	0
305	新田小学校	河谷596		S56	RC・3	5,065	110,984	1,773	7,965	0
306	中筋小学校	土淵27	複合	H3	RC・3	3,307	5,855	1,722	7,965	73
307	奈佐小学校	吉井620	複合	S62	RC・2	3,023	79,508	1,549	7,965	56
308	港東小学校	気比3291-235		S60	RC・3	3,055	6,942	1,769	7,965	86
309	港西小学校	瀬戸57		S55	RC・3	4,338	11,344	1,665	7,965	0
310	神美小学校	三宅45		S63	RC・2	2,945	10,467	1,951	7,965	68
311	城崎小学校	城崎町湯島72-4		S63	RC・3	6,027	6,532	1,580	7,965	97
312	竹野小学校	竹野町竹野300	複合	S35	RC・3	3,400	4,625	1,768	7,965	0
313	中竹野小学校	竹野町轟7-1		S33	RC・2	1,438	4,505	1,290	2,738	0
314	竹野南小学校	竹野町御又78		S62	RC・3	3,366	4,420	1,179	2,738	34
315	府中小学校	日高町野々庄934	複合	H3	RC・3	5,080	6,399	1,918	2,738	0
316	八代小学校	日高町中320-1		H8	RC・3	3,278	4,495	1,487	2,738	22
317	日高小学校	日高町岩中22	複合	H1	RC・3	7,015	11,153	2,583	5,477	0
318	静修小学校	日高町道場157-1	複合	S53	RC・2	2,114	4,146	1,469	2,738	0
319	三方小学校	日高町栗山735	複合	H6	RC・2	4,461	5,260	1,528	2,738	62
320	清滝小学校	日高町山宮1357-1		H9	RC・2	3,676	5,161	1,574	2,738	59
321	弘道小学校	出石町寺町345		H3	RC・2	4,805	12,113	2,034	5,477	0
322	福住小学校	出石町福住209		S62	RC・3	2,883	5,328	1,437	2,738	0
323	寺坂小学校	出石町日野辺1-1		S60	RC・2	2,312	3,968	1,271	2,738	0
324	小坂小学校	出石町鳥居31		H15	RC・2	4,379	6,274	1,743	2,738	90
325	小野小学校	出石町口小野153		S63	RC・3	2,742	5,279	1,315	2,738	185
326	合橋小学校	但東町出合市場391	複合	H2	RC・2	3,306	10,226	1,453	2,738	168
327	高橋小学校	但東町久畑916	複合	H1	RC・1	3,109	7,344	1,404	2,738	0
328	寶母小学校	但東町中山856		S57	RC・3	3,418	5,801	1,293	2,738	0

## ②建物の状況

延床面積は、約 1,400~8,300 m<sup>2</sup>まで幅がありますが、豊岡小学校（約 8,300 m<sup>2</sup>）や五荘小学校（約 8,300 m<sup>2</sup>）など豊岡地域に立地する学校は比較的規模が大きくなっています。

昭和 30 年代前半から 50 年代にかけて建築した小学校が 9 校あり、老朽化がかなり進んでいましたが、このうち 8 校については平成に入ってから大規模改修を実施しています。最も古い中竹野小学校については、大規模改修を実施していません。

また、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築した小学校は 7 校ありますが、7 校すべてで耐震改修実施済となっています。

## ③利用の状況

平成 25 年度の在籍者数をみると、延床面積が広い五荘小学校が約 750 人と特に多く、日高小学校や豊岡小学校、八条小学校では 400 人前後となっていますが、寺坂、高橋、竹野南、中竹野、八代など 50 人を下回っている小学校もあります（図 3-2-93）。

在籍者数の推移をみると、いずれの小学校においても多少の増減はみられるものの、全体的には減少傾向となっています。

## ④施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 3,002 万円となっていますが、田鶴野小学校（約 1 億 5,060 万円）や八条小学校（約 1 億 4,630 万円、平成 25 年度に大規模改修を実施）は特に高く、新田小学校（約 1 億 2,070 万円）や奈佐小学校（約 8,900 万円）も高くなっています（図 3-2-94）。

費用の内訳をみると、施設に関する費用が高い小学校では、工事請負費が大半を占めており、これ以外の費目では人件費や光熱水費が主な費目として挙がっています。

## ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりで見ると、全施設の平均では 7,347 円となっていますが、施設に関する費用が大きい田鶴野小学校（約 41,370 円）や八条小学校（約 32,110 円）、奈佐小学校（約 29,450 円）、新田小学校（約 23,840 円）は、他の小学校に比べかなり高い水準となっています（図 3-2-95）。

在籍者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 190,935 円となっていますが、施設に関する費用が高く在籍者数が最も少ない奈佐小学校（約 1,348,830 円）は、他の小学校に比べかなり高い水準となっています（図 3-2-96）。

図 3-2-93 在籍者数の推移

(人)

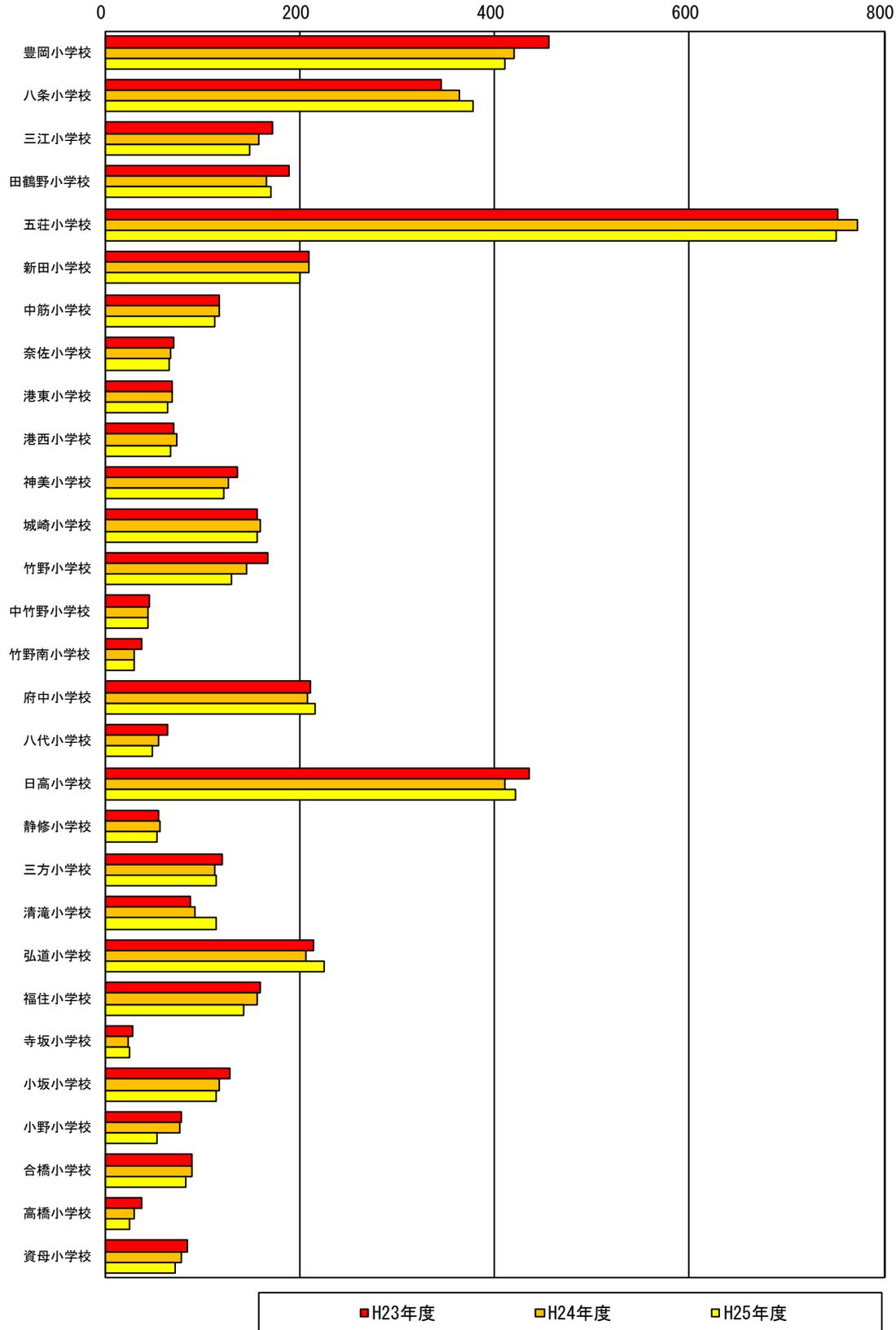


図 3-2-94 施設に関する費用と内訳 (平成 25 年度)

(万円)

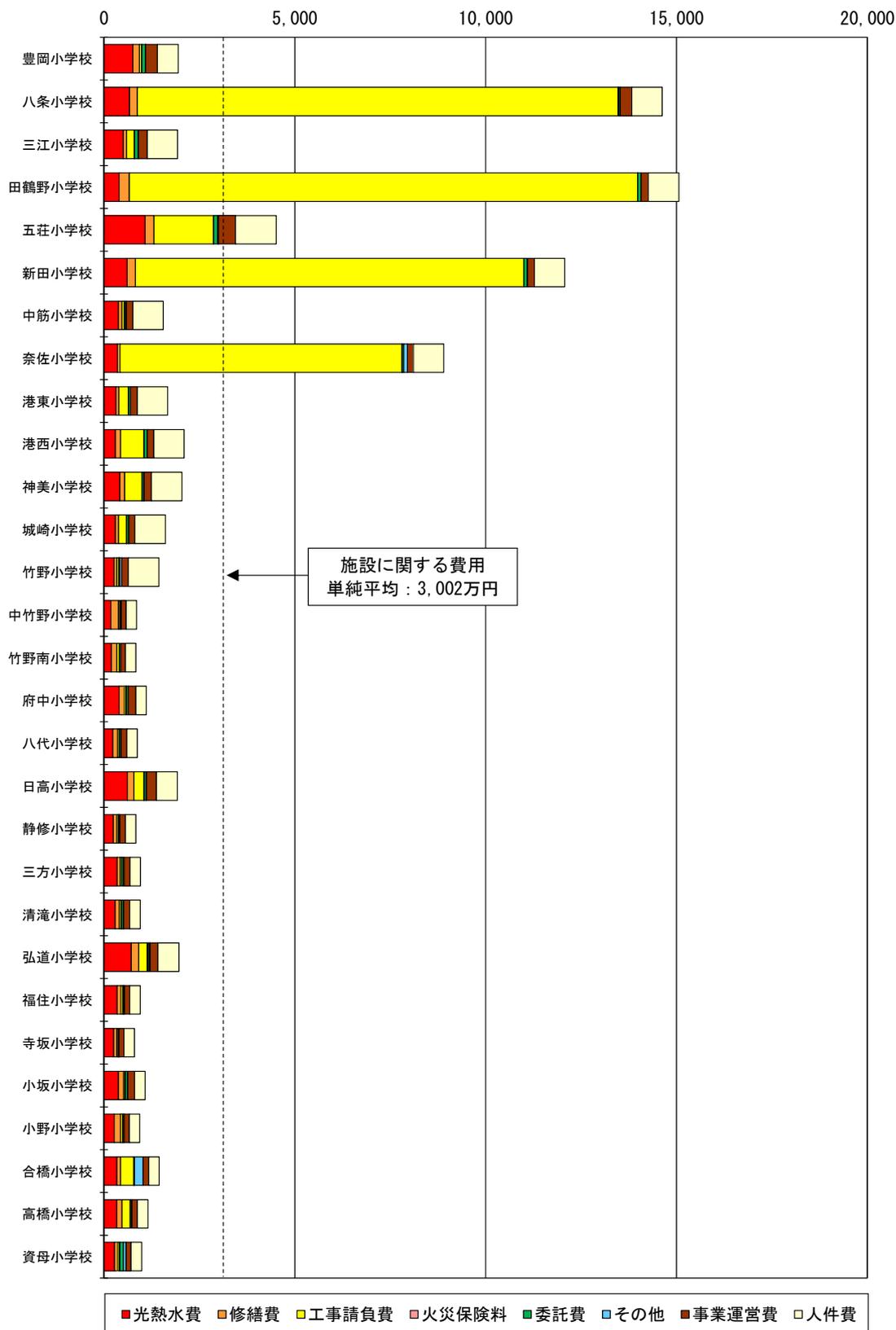


図 3-2-95 延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの費用 (平成 25 年度)

(円/m<sup>2</sup>)

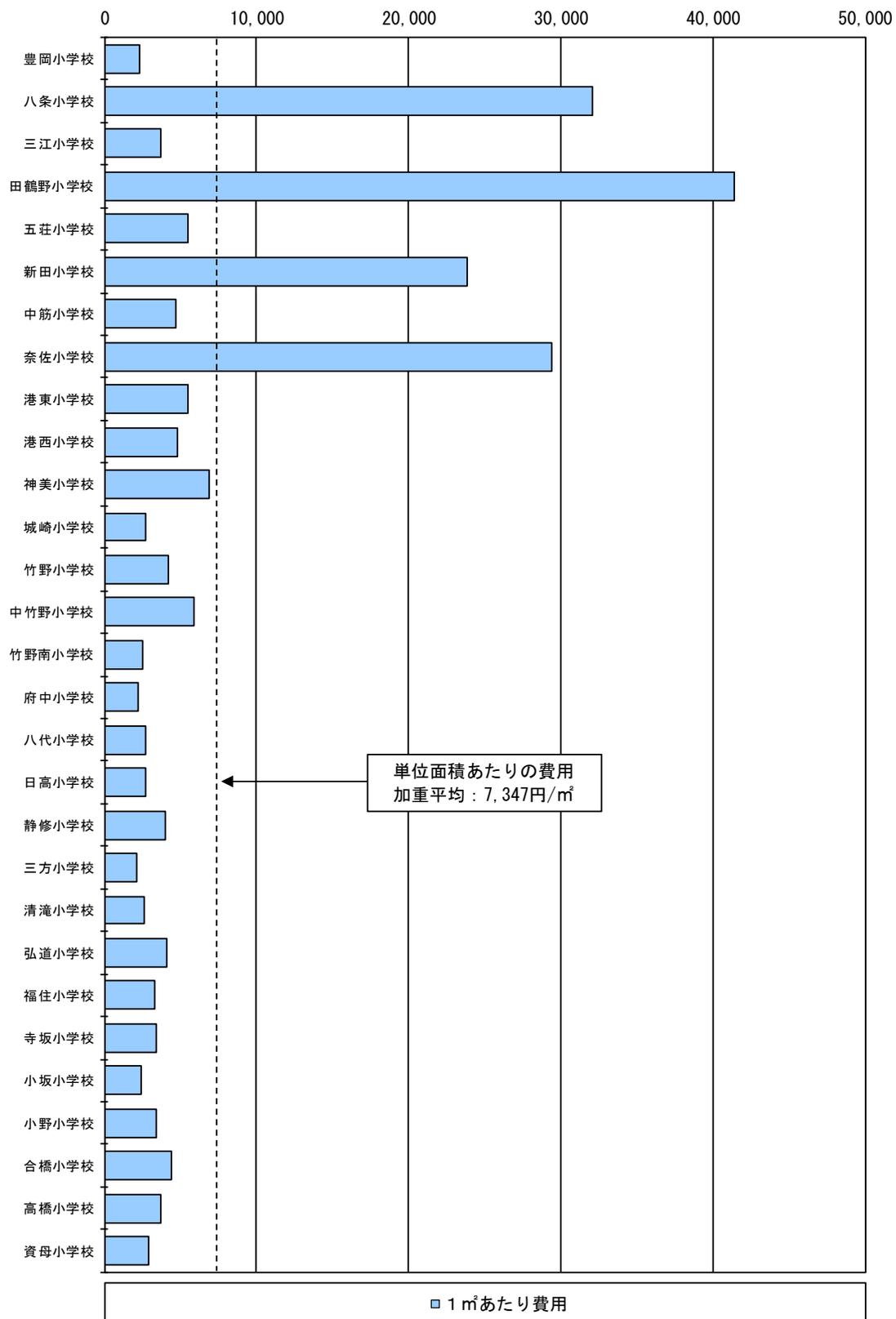
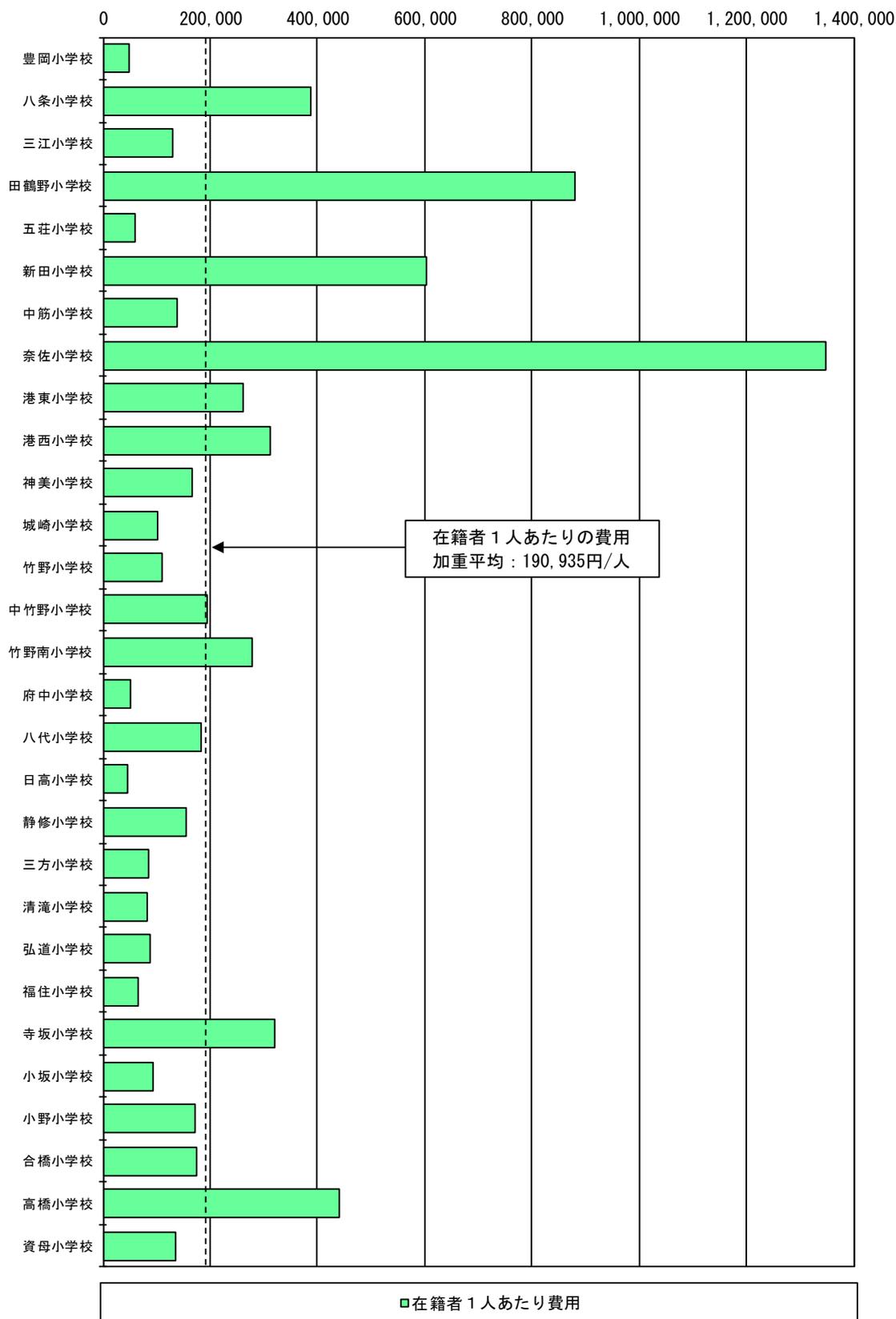


図 3-2-96 在籍者 1 人あたりの費用（平成 25 年度）

(円/人)



### 3) 給食センター

#### ①概要

本市では、給食センターを5箇所（うち1箇所は倉庫）に設置しており、このうち2箇所が豊岡地域に立地しています。

給食センターは、小中学校の児童・生徒に、安心・安全で栄養バランスのとれた給食を毎日提供し、基準栄養所要量の摂取と正しい食習慣の体得をめざす役割を担っています。

なお、但東学校給食センターについては、平成25年7月に用途廃止となっています。



< 豊岡学校給食センター >

表 3-2-27 給食センターの概要

ID	基礎情報					コスト情報（千円）			収入 （千円）	
	施設名	所在地	施設 形態	建築 年	構造 階数	延床面積 （㎡）	維持 管理費	事業 運営費		人件費
329	豊岡学校給食センター	森203-4		H13	S・2	1,903	108,173	278,817	82,391	154,484
330	豊岡学校給食センター（車庫）	野上486-5		H24	W・1	210	0	0	0	0
331	日高学校給食センター	日高町山本75		H10	SRC・2	785	37,880	79,231	59,750	70,923
332	出石学校給食センター	出石町水上315		H25	S・1	1,738	304,954	385,890	96,461	100,516
333	但東学校給食センター	但東町三原108-1		H17	S・1	478	0	0	0	0

※但東学校給食センターは平成25年7月に用途廃止

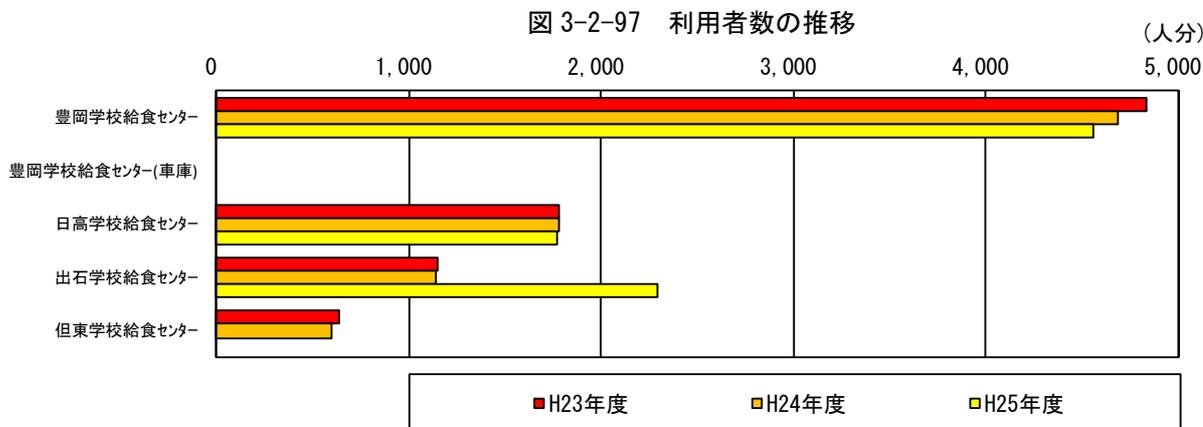
#### ②建物の状況

延床面積は、豊岡学校給食センターが約1,900㎡、出石学校給食センターが約1,740㎡と広がっていますが、これ以外の施設はそれほど広くありません。

いずれも平成に入ってから建築した新しい施設で、これまでに大規模改修及び耐震改修を実施した施設はありません。

### ③利用の状況

平成 25 年度の延利用者数をみると、豊岡学校給食センターが約 4,560 人と特に多く、出石学校給食センター及び日高等学校給食センターは 2,000 人前後となっています。

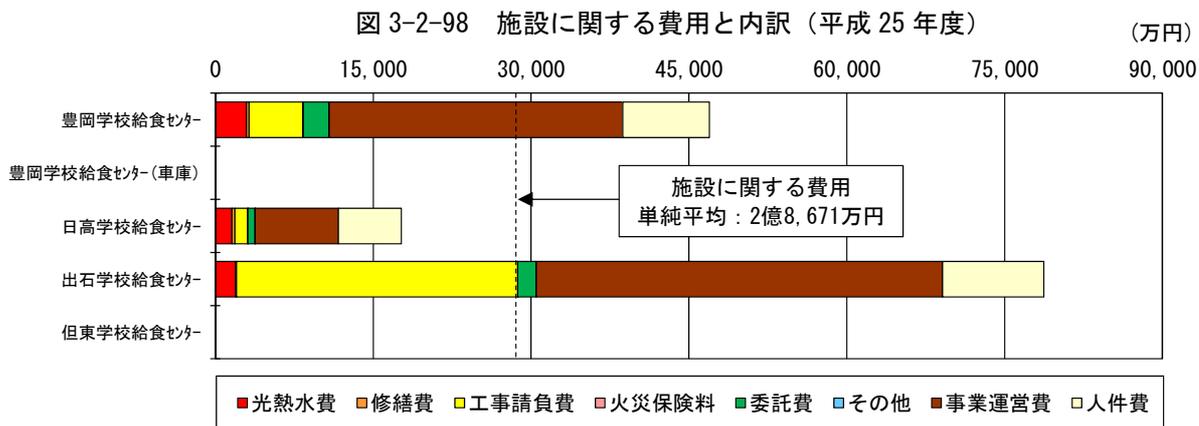


※但東学校給食センターは平成 25 年 7 月に用途廃止

### ④施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 2 億 8,671 万円となっていますが、施設規模の大きい出石学校給食センター（約 7 億 8,730 万円）や豊岡学校給食センター（約 4 億 6,940 万円）は平均を大きく上回っています。

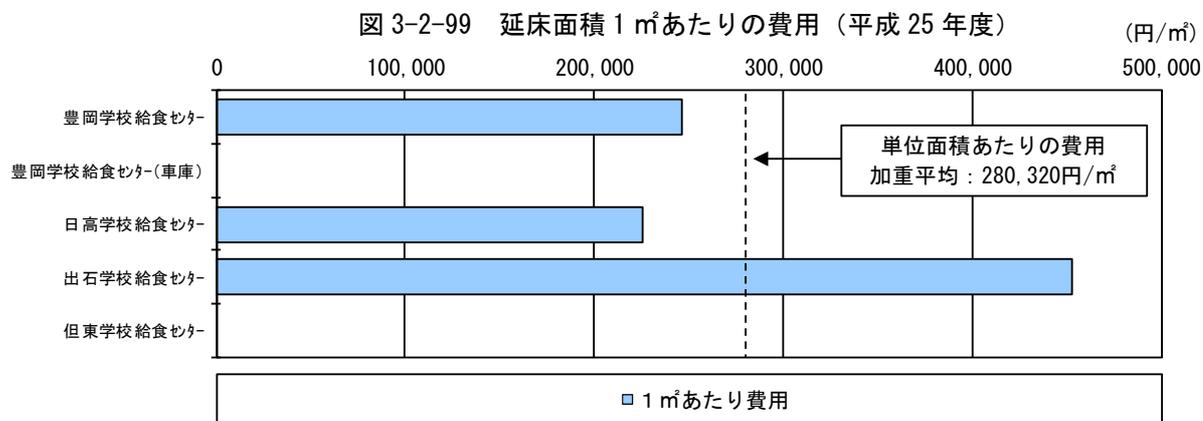
費用の内訳をみると、いずれの施設でも事業運営費や人件費の占める割合が高く、これ以外の費目として光熱水費、委託費が挙がっています。出石学校給食センターや豊岡学校給食センターでは、工事請負費の割合も高くなっています。



※但東学校給食センターは平成 25 年 7 月に用途廃止

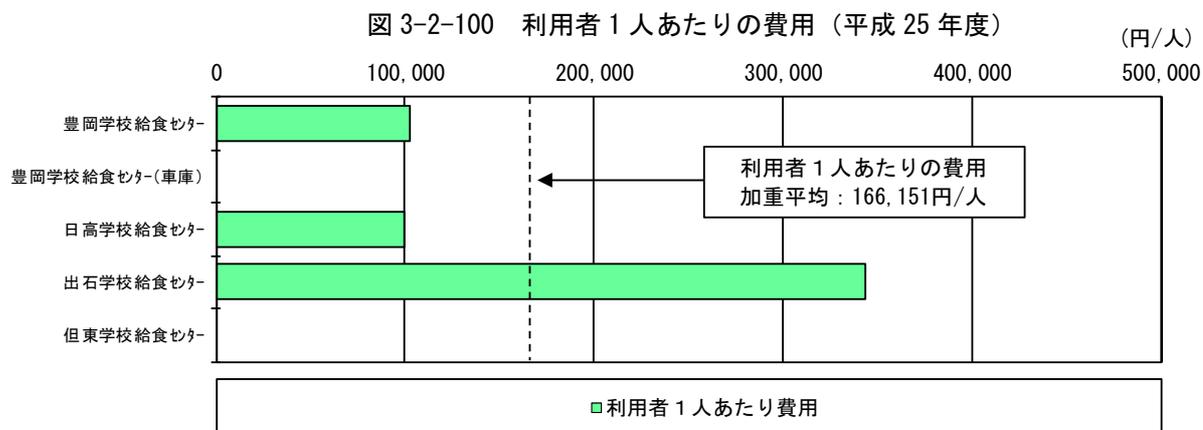
### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりで見ると、全施設の平均では 280,320 円となっていますが、施設に関する費用が高い出石学校給食センターでは、約 452,920 円と平均を大きく上回っています。



※但東学校給食センターは平成 25 年 7 月に用途廃止

利用者 1 人あたりで見ても、出石学校給食センターが約 343,200 円と平均を大きく上回っています。



※但東学校給食センターは平成 25 年 7 月に用途廃止

## (9) 子育て支援施設

### 1) 幼稚園

#### ①概要

本市では、幼稚園を 16 箇所に設置していますが、豊岡地域（8 箇所）、出石地域（5 箇所）、日高地域（3 箇所）以外には立地していません。

他の施設と複合している幼稚園が多く（12 箇所）、単独の施設は 4 箇所のみとなっています。

幼稚園は、幼児の心身の発達を助長する施設とされていますが、少子化やニーズの多様化を踏まえ、そのあり方を検討する時期が来ています。

なお、三江、三方、清滝の 3 園は、平成 27 年 3 月末で閉園（4 月から私立認定こども園に移行）となっています。



< 豊岡ひかり幼稚園 >

表 3-2-28 幼稚園の概要

ID	基礎情報						コスト情報（千円）			収入 （千円）
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積（㎡）	維持管理費	事業運営費	人件費	
334	豊岡めぐみ幼稚園	山王町7-5	複合	S63	RC・1	643	1,854	639	15,658	1,797
335	豊岡ひかり幼稚園	幸町7-51	複合	S46	W・1	702	9,977	720	18,669	2,002
336	三江幼稚園	庄境648	複合	H13	W・1	359	373	432	10,181	957
337	田鶴野幼稚園	野上162		H2	RC・1	322	1,306	668	12,398	2,118
338	五荘奈佐幼稚園	中陰1	複合	H25	S・2	1,762	3,328	1,125	49,736	6,724
339	新田幼稚園	河谷596	複合	H3	RC・1	416	1,222	557	4,432	1,429
340	中筋幼稚園	土淵27		S58	RC・1	413	1,573	595	10,181	1,981
341	神美幼稚園	三宅45	複合	H11	W・1	413	547	580	10,181	1,853
342	日高幼稚園	日高町岩中46-1	複合	H14	RC・1	860	1,551	670	36,816	3,445
343	三方幼稚園	日高町栗山735		H6	RC・1	244	388	461	10,181	1,044
344	清滝幼稚園	日高町山宮1357-1		H9	RC・1	208	327	444	10,181	567
345	出石幼稚園	出石町町分36-2	複合	S58	RC・1	700	1,596	821	31,589	3,844
346	福住幼稚園	出石町福住209	複合	S62	RC・1	328	119	792	10,181	2,100
347	寺坂幼稚園	出石町日野辺1-1	複合	S60	RC・1	207	125	551	10,181	622
348	小坂幼稚園	出石町鳥居31	複合	S63	RC・1	310	887	533	12,398	1,773
349	小野幼稚園	出石町口小野153	複合	S63	RC・1	298	124	567	10,181	1,089

※三江、三方、清滝の3園は平成27年3月末で閉園（4月から私立認定こども園に移行）

#### ②建物の状況

延床面積は、五荘奈佐幼稚園が約 1,760㎡と特に広がっていますが、他の幼稚園は約 210～860㎡と 1,000㎡を下回っています。

昭和 40 年代後半から 60 年頃にかけて建築した幼稚園が 7 園あり、老朽化がかなり進んでいます。豊岡ひかり幼稚園と出石幼稚園以外は大規模改修を実施していません。

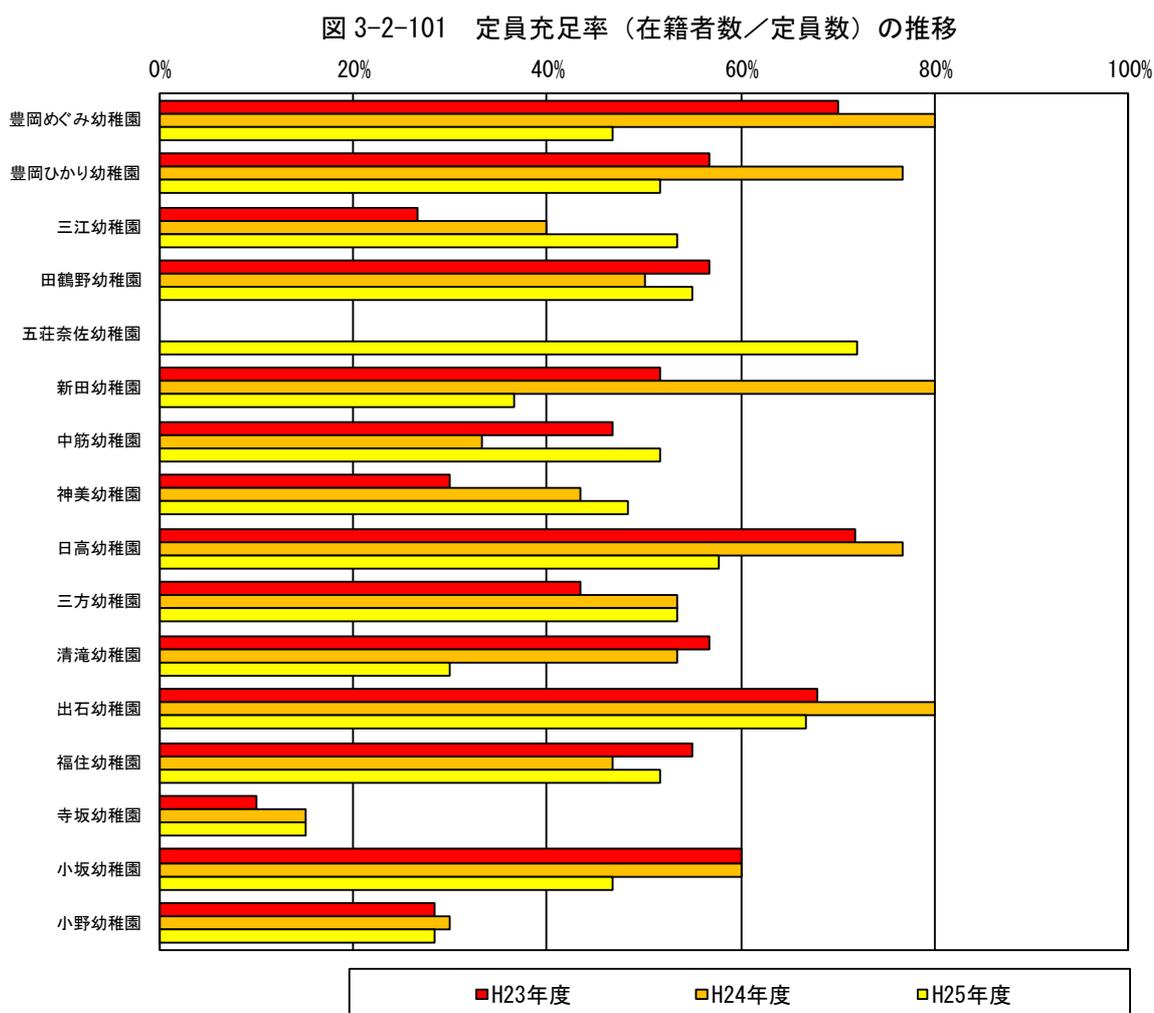
また、新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築した豊岡ひかり幼稚園は、耐震診断により改修が必要と判定されましたが、耐震改修は実施していません。

### ③利用の状況

平成 25 年度の在籍者数は、五荘奈佐幼稚園が最も多く約 110 人となっており、清滝幼稚園及び寺坂幼稚園が 10 人程度と最も少なくなっています。

定員充足率（在籍者数/定員数）は 15～70%程度と幅がありますが、半数以上の 9 園が 50%を超えています。

定員充足率の推移をみると、三江幼稚園や神美幼稚園等で増加傾向が、清滝幼稚園や小坂幼稚園等で減少傾向がみられますが、これ以外の幼稚園では年度により大きく増減しています。

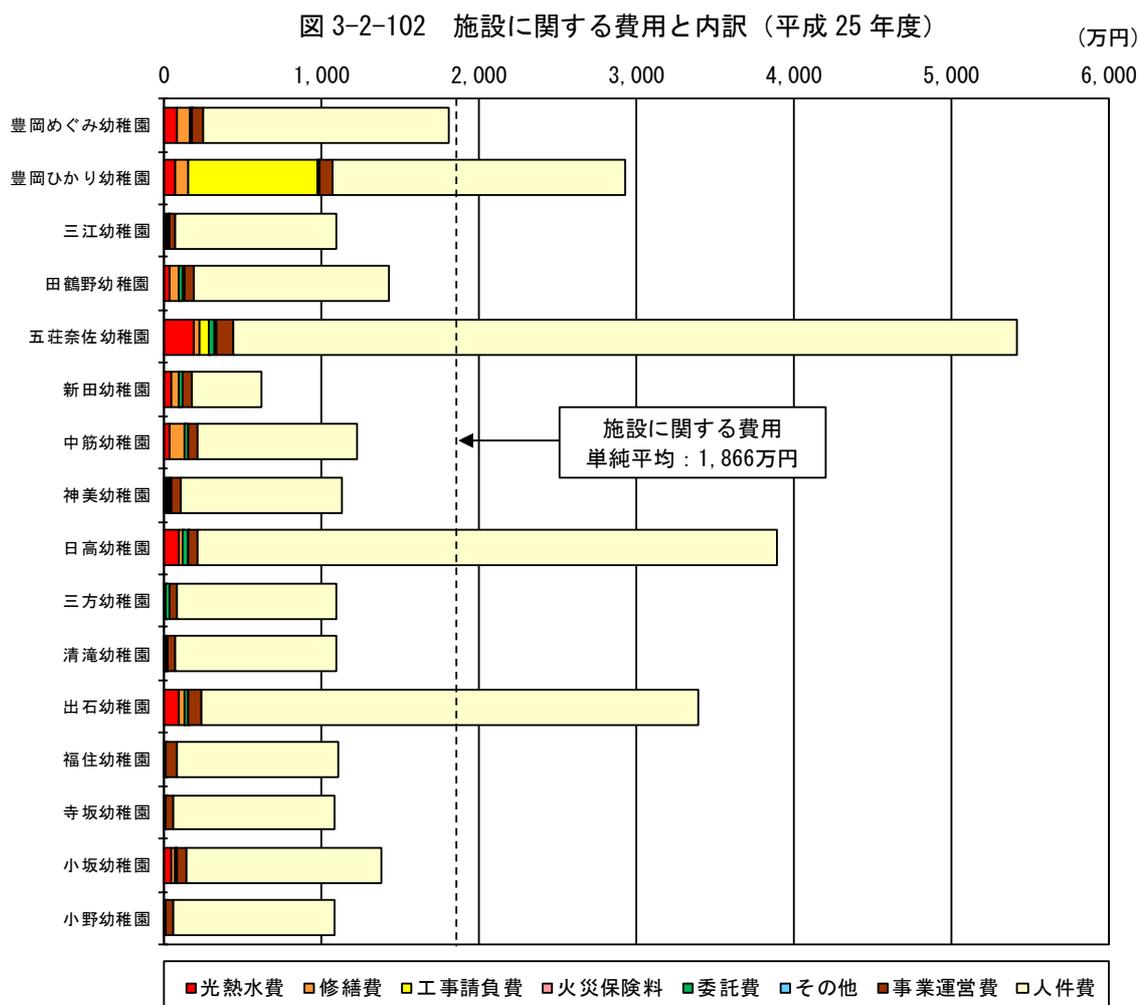


※三江、三方、清滝の3園は平成 27 年 3 月末で閉園（4 月から私立認定こども園に移行）

#### ④施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 1,866 万円となっていますが、延床面積が最も広い五荘奈佐幼稚園は約 5,420 万円と特に高く、規模が大きい日高幼稚園や出石幼稚園や大規模改修を実施した豊岡ひかり幼稚園も高くなっています。

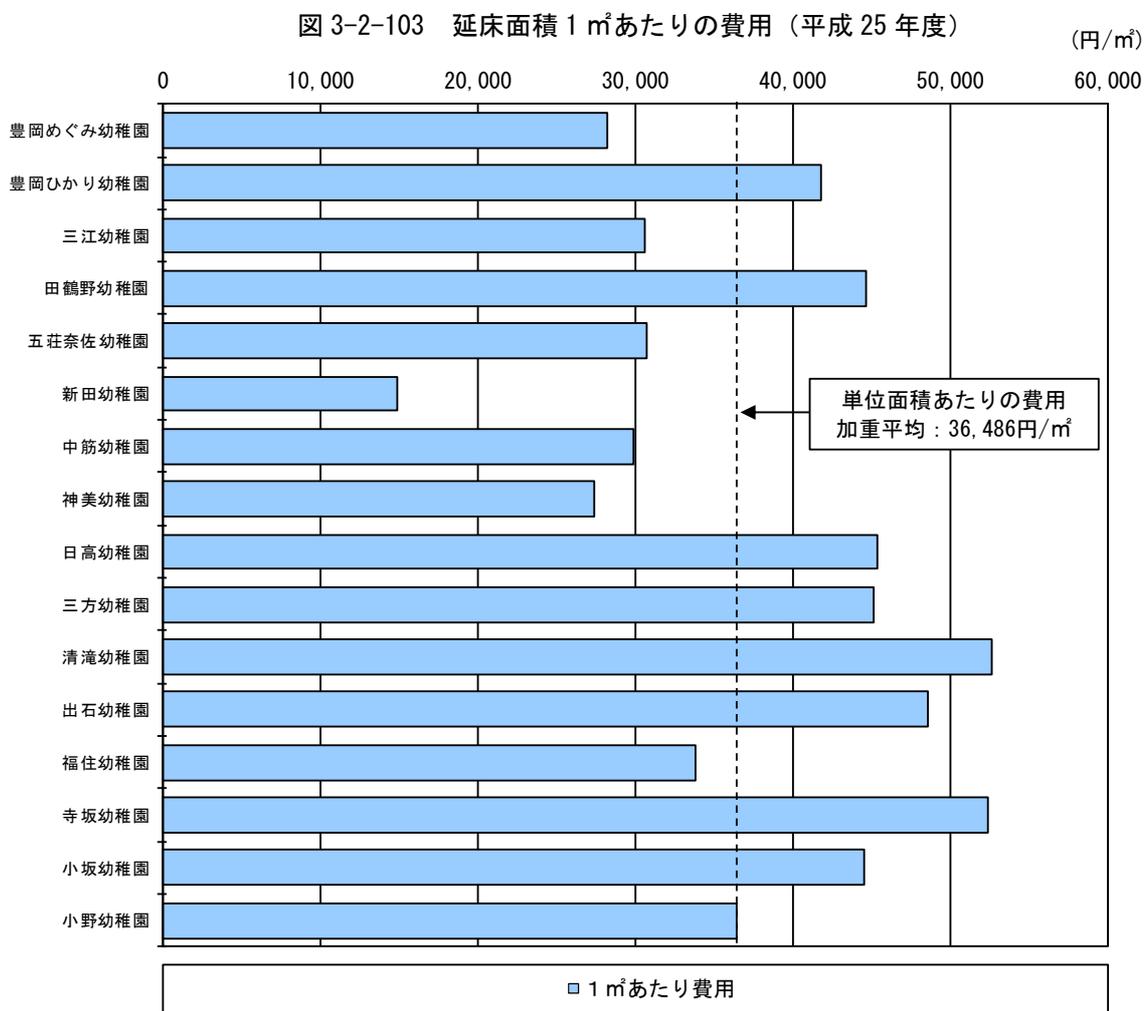
費用の内訳をみると、いずれの幼稚園も人件費が大半を占めています。これ以外の費目では事業運営費や修繕費が主な費目として挙がっています。大規模改修を実施した豊岡ひかり幼稚園では、工事請負費が全体の 3 割近くを占めています。



※三江、三方、清滝の3園は平成 27 年 3 月末で閉園（4 月から私立認定こども園に移行）

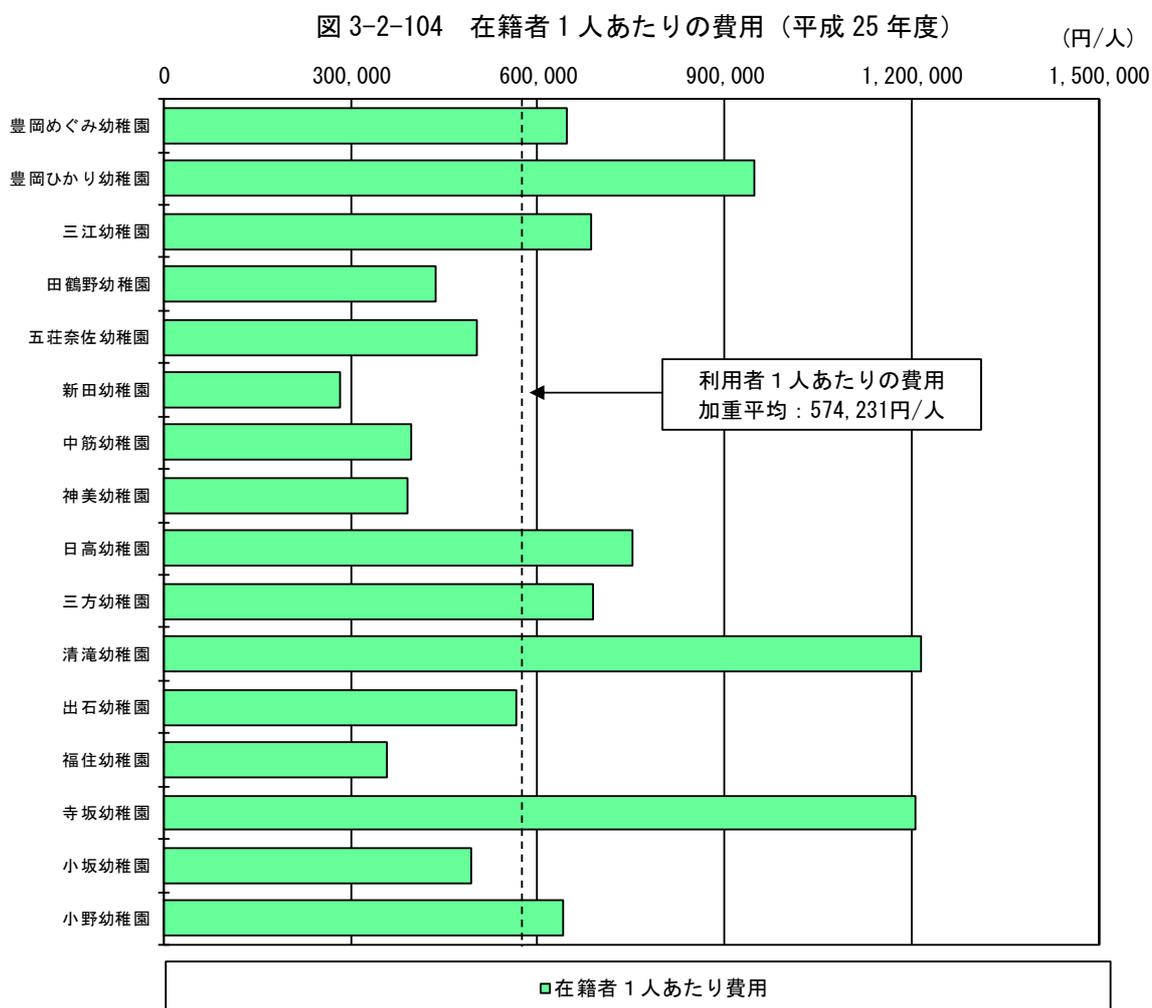
### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、全施設の平均では 36,486 円となっており、清滝幼稚園（約 52,660 円）や寺坂幼稚園（約 52,450 円）、新田幼稚園（約 14,920 円）以外は、いずれの施設も平均に近い水準となっています。



※三江、三方、清滝の3園は平成 27 年 3 月末で閉園（4 月から私立認定こども園に移行）

在籍者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 574,231 円となっていますが、在籍者数が少ない清滝幼稚園や寺坂幼稚園では 1,200,000 円程度と、他の幼稚園に比べかなり高くなっています。



※三江、三方、清滝の 3 園は平成 27 年 3 月末で閉園 (4 月から私立認定こども園に移行)

## 2) 保育園

### ①概要

本市では、保育園を4箇所を設置していますが、豊岡地域（1箇所）、竹野地域（1箇所）、日高地域（2箇所）以外には立地していません。

保育園は、日々保護者の委託を受けて、働いているなどの理由により保育に欠けるその乳児または幼児を保育する施設とされていますが、少子化やニーズの多様化を踏まえ、そのあり方を検討する時期が来ています。

なお、清滝、西気の2園は、平成27年4月に私立認定こども園に移行しています。



< 豊岡西保育園 >

表 3-2-29 保育園の概要

ID	基礎情報						コスト情報（千円）			収入（千円）
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積（㎡）	維持管理費	事業運営費	人件費	
350	西保育園	正法寺38-1		H18	W・1	1,142	4,907	13,020	131,829	54,304
351	森本へき地保育園	竹野町森本984-4		S44	W・1	479	676	1,069	13,901	654
352	清滝保育園	日高町山宮1374-5		S61	RC・1	404	1,647	7,778	52,168	72,538
353	西気保育園	日高町東河内616		S58	RC・1	295	722	2,225	25,081	31,155

※清滝、西気の2園は平成27年3月末で閉園（4月から私立認定こども園に移行）

### ②建物の状況

延床面積は、西保育園が約1,140㎡と特に広がっていますが、他の保育園は300~480㎡と500㎡を下回っています。

昭和40年代から60年頃にかけて建築した幼稚園が3園あり、大規模改修・更新のサイクルを迎えて老朽化が進んでいますが、これまでに大規模改修を実施した施設はありません。

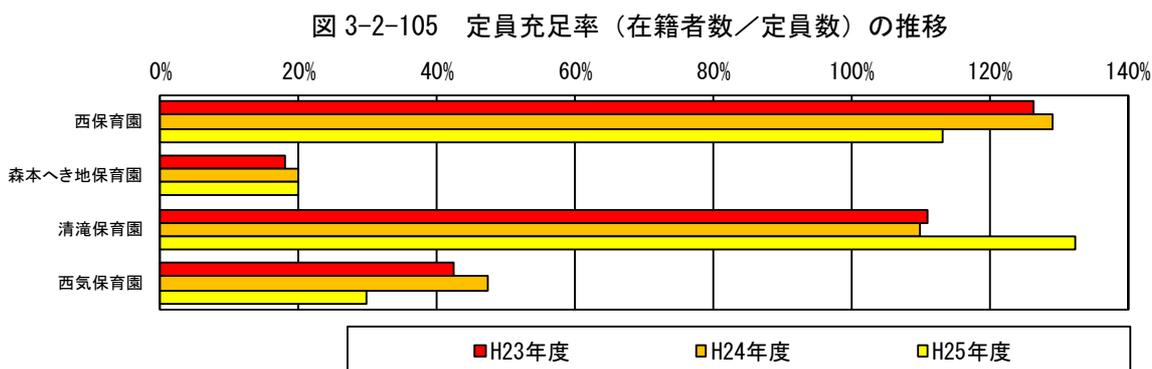
森本へき地保育園は、新耐震基準以前（昭和56年以前）に建築した施設ですが、耐震診断・改修は実施していません。

### ③利用の状況

平成 25 年度の在籍者数は、西保育園が最も多く 170 人となっており、森本へき地保育園及び西気保育園が 10 人程度と少なくなっています。

定員充足率（在籍者数/定員数）は、清滝保育園（約 133%）や西保育園（約 113%）で 100%を大幅に超えています、他の保育園では 30%を下回っています。

定員充足率の推移をみると、定員充足率の高い清滝保育園は大幅に増加していますが、他の保育園では横ばいまたは減少する傾向がみられます。

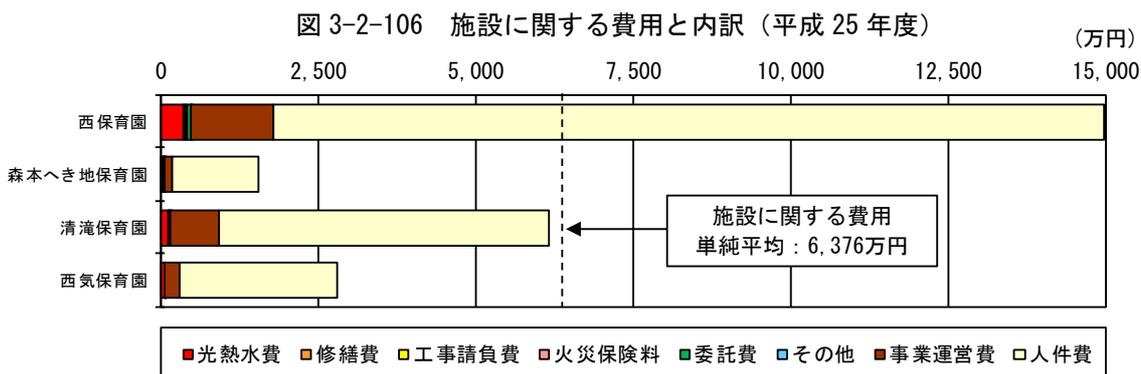


※清滝、西気の2園は平成 27 年 3 月末で閉園（4 月から私立認定こども園に移行）

### ④施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 6,376 万円となっていますが、延床面積が最も広い西保育園は約 1 億 4,980 万円と特に高く、他の保育園はいずれも平均を下回っています。

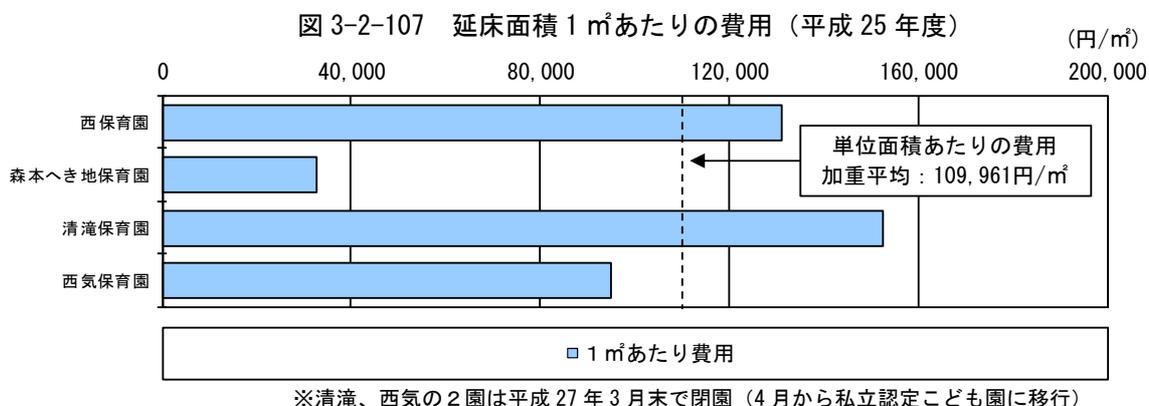
費用の内訳をみると、いずれの保育園も人件費が大半を占めており、これ以外の費目では事業運営費や光熱水費が主な費目として挙がっています。



※清滝、西気の2園は平成 27 年 3 月末で閉園（4 月から私立認定こども園に移行）

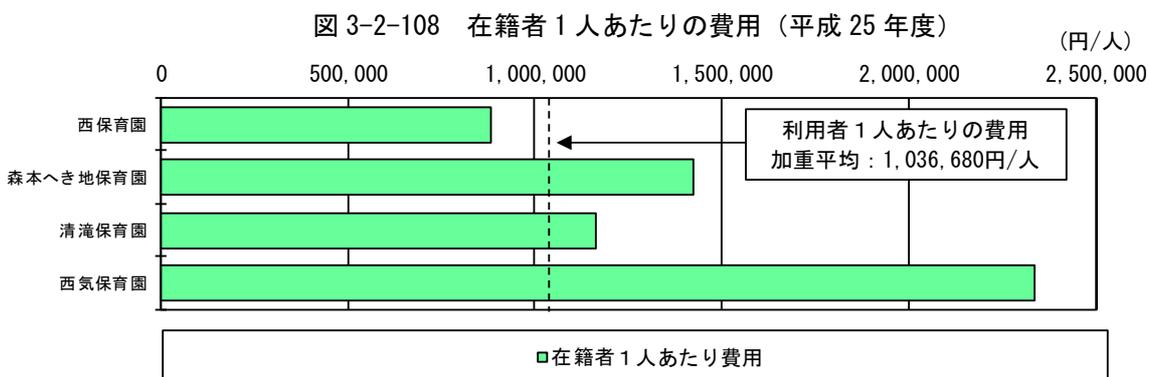
### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりで見ると、全施設の平均では 109,961 円となっており、施設に関する費用が高い清滝保育園（約 152,510 円）や西保育園（約 131,120 円）は平均を上回っています。



※清滝、西気の2園は平成 27 年 3 月末で閉園（4 月から私立認定こども園に移行）

在籍者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 1,036,680 円となっていますが、在籍者数が少ない西気保育園（約 2,335,680 円）では平均の 2 倍以上となっています。これ以外の保育園については、いずれも平均に近い水準となっています。



※清滝、西気の2園は平成 27 年 3 月末で閉園（4 月から私立認定こども園に移行）

### 3) 認定こども園

#### ①概要

本市では、認定こども園を6箇所を設置していますが、豊岡地域（2箇所）、竹野地域（1箇所）、但東地域（3箇所）以外には立地していません。

認定こども園は、少子化やニーズの多様化を踏まえ、親の就労状況にかかわらず就学前のこどもに教育・保育・子育て支援を一体的に提供する施設であり、これまでの幼稚園と保育所を一体化した施設として運営されています。



< 港認定こども園 >

表 3-2-30 認定こども園の概要

ID	基礎情報						コスト情報（千円）			収入 （千円）
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積 (㎡)	維持管理費	事業運営費	人件費	
354	八条認定こども園	弥栄町5-26	複合	H15	W・1	1,604	6,388	14,540	153,618	55,088
355	港認定こども園	気比3291-235		H25	W・1	732	2,074	4,198	50,903	9,381
356	竹野認定こども園	竹野町須谷1470-1		H24	W・1	884	3,045	5,121	55,858	14,539
357	合橋認定こども園	但東町出合市場419		S53	RC・1	811	3,368	4,366	47,370	10,344
358	高橋認定こども園	但東町久畑916		S52	W・1	556	1,437	1,790	32,756	2,779
359	資母認定こども園	但東町中山757-1		S54	RC・1	613	2,807	3,511	44,173	6,479

#### ②建物の状況

延床面積は、八条認定こども園が約1,600㎡と特に広がっていますが、他の認定こども園は約560～880㎡と1,000㎡を下回っています。

昭和50年代前半に建築した認定こども園が3園あり、大規模改修・更新のサイクルを迎えて老朽化が進んでいますが、これまでに大規模改修を実施した施設はありません。これ以外の3園については、平成に入ってから建築した比較的新しい施設となっています。

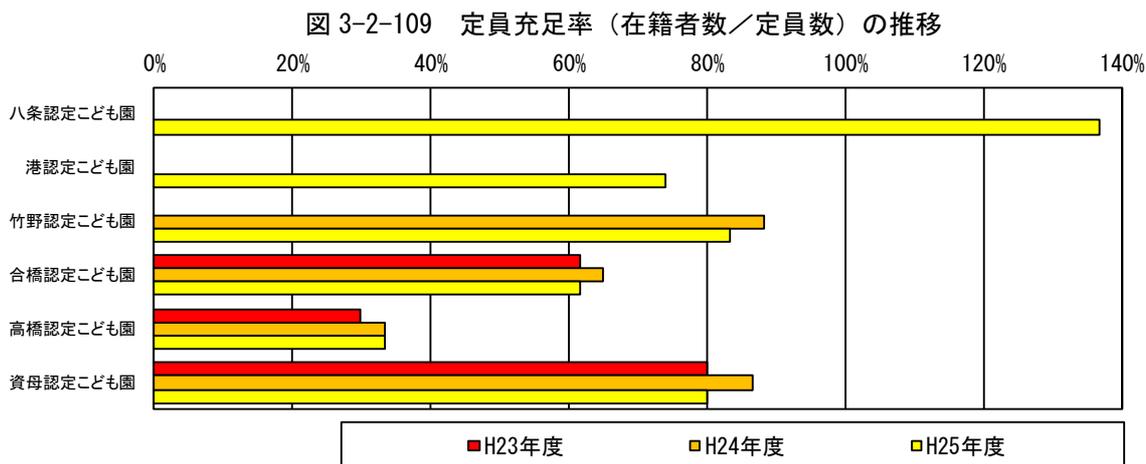
大規模改修・更新のサイクルを迎えている3園は、新耐震基準以前（昭和56年以前）に建築した施設ですが、耐震診断・改修は実施していません。

### ③利用の状況

平成 25 年度の在籍者数は、八条認定こども園が最も多く約 180 人となっており、これ以外の認定こども園については 50 人以下となっています。

定員充足率（在籍者数/定員数）は、八条認定こども園（約 137%）が 100%を大幅に超えており、これ以外でも高橋認定こども園を除いて 60~80%程度と比較的高くなっています。

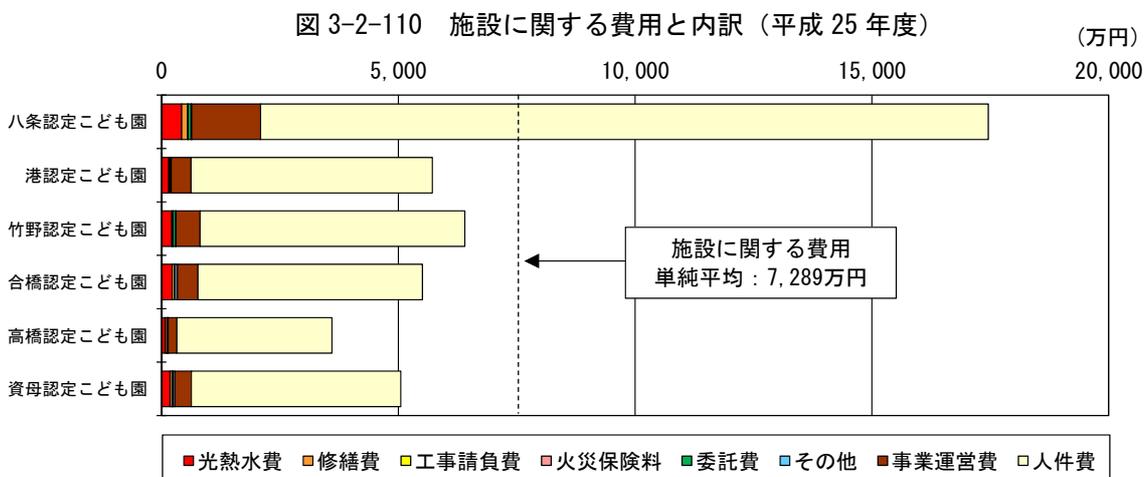
定員充足率の推移をみると、いずれの認定こども園でも横ばいまたは減少する傾向がみられます。（八条認定こども園、港認定こども園は平成 23 年度と平成 24 年度のデータなし）



### ④施設に関する費用の状況

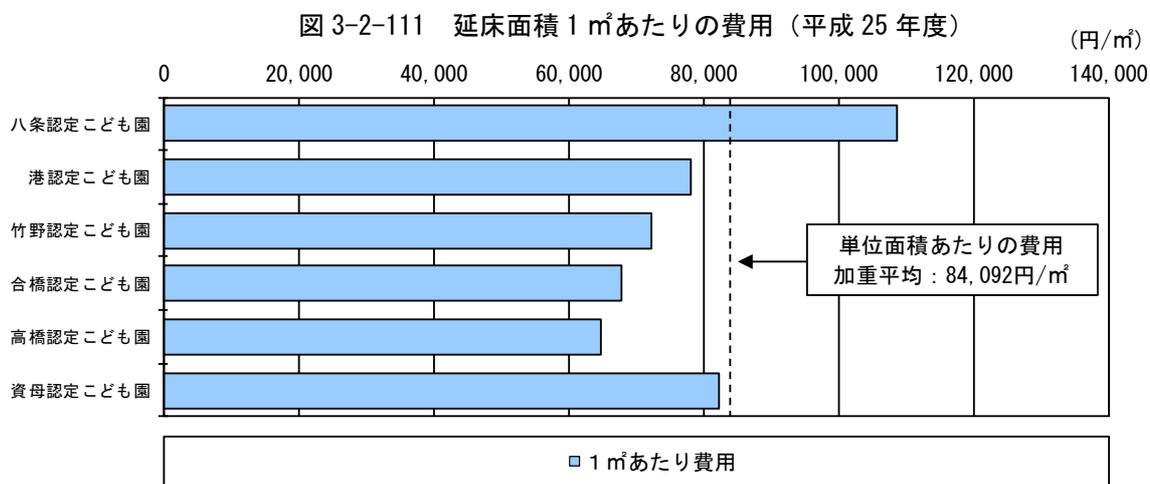
平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 7,289 万円となっていますが、延床面積が最も広い八条認定こども園は約 1 億 7,460 万円と特に高く、他の認定こども園はいずれも平均を下回っています。

費用の内訳をみると、いずれの認定こども園も人件費が大半を占めており、これ以外の費目では事業運営費や光熱水費が主な費目として挙がっています。

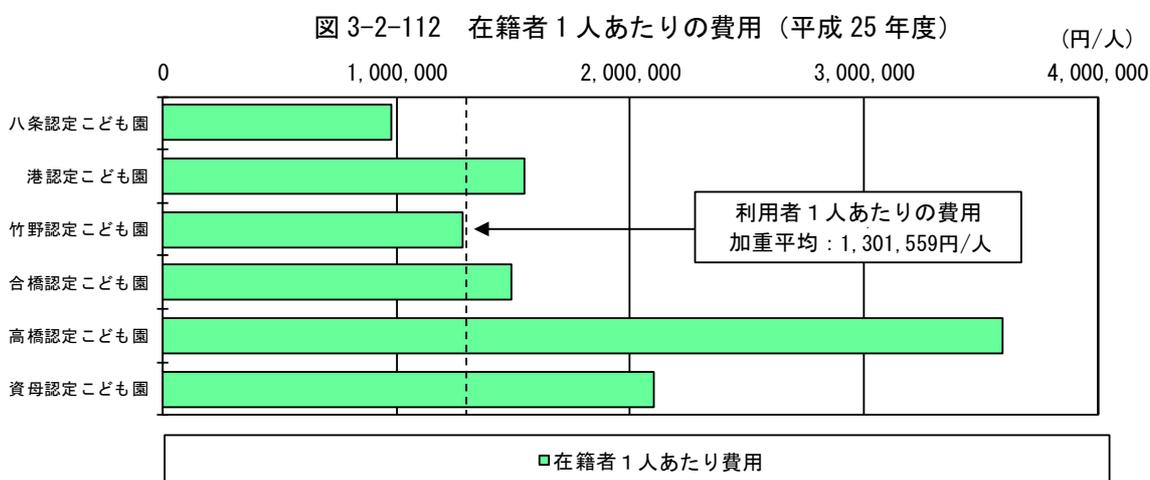


### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりで見ると、全施設の平均では 84,092 円となっており、施設に関する費用が高い八条認定こども園（約 108,820 円）だけが平均を上回っています。



在籍者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 1,301,559 円となっていますが、在籍者数が少ない高橋認定こども園（約 3,598,360 円）が特に高く、平均の 2 倍以上の水準となっています。



## 4) 放課後児童クラブ

### ①概要

本市では、放課後児童クラブを28箇所を設置していますが、港東・港西放課後児童クラブ及び資母放課後児童クラブ以外は、全て小学校や幼稚園、庁舎等の公共施設と複合しています。

放課後児童クラブは、就労等により放課後家庭において親の保護が受けられない児童の保育を行い、児童の健全育成と安心して働き続けられる環境づくりに役立っています。



＜ 八条放課後児童クラブ ＞

表 3-2-31 放課後児童クラブの概要

ID	基礎情報						コスト情報 (千円)			収入 (千円)	
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積 A (㎡)	延床面積 B (㎡)	維持管理費	事業運営費		人件費
360	豊岡放課後児童クラブ	山王町7-5	複合	S63	RC・1	56	198	189	665	5,609	2,574
361	豊岡第2放課後児童クラブ	幸町7-51	複合	S46	W・1	58	224	164	365	5,308	2,754
362	八条放課後児童クラブ	弥栄町5-26	複合	H16	W・1	0	203	34	178	7,335	4,893
363	八条第2放課後児童クラブ	九日市下町402	複合	H6	RC・3	82	82	156	168	6,909	2,780
364	三江放課後児童クラブ	庄境648	複合	H13	W・1	54	140	104	129	6,290	3,193
365	田鶴野放課後児童クラブ	野上162	複合	S63	S・2	57	57	141	74	5,075	2,700
366	五荘放課後児童クラブ	中陰1	複合	H25	S・2	63	297	301	446	8,629	4,261
367	五荘第2放課後児童クラブ	中陰11-4	複合	S8	W・2	137	137	325	78	6,448	3,905
368	新田放課後児童クラブ	河谷596	複合	H3	RC・1	0	184	206	29	6,914	3,880
369	中筋放課後児童クラブ	土淵27	複合	H5	RC・2	38	38	112	105	4,270	494
370	奈佐放課後児童クラブ	吉井620	複合	S63	RC・2	30	30	82	70	4,324	1,108
371	港東・港西放課後児童クラブ	瀬戸57		S57	RC・2	423	423	161	406	0	1,663
372	神美放課後児童クラブ	三宅45	複合	H11	W・1	0	86	125	112	5,775	3,447
373	竹野放課後児童クラブ	竹野町竹野300	複合	S53	RC・1	117	117	83	55	4,055	1,227
374	中竹野放課後児童クラブ	竹野町轟5	複合	H15	W・1	0	81	39	63	3,478	382
375	府中放課後児童クラブ	日高町野々庄929	複合	H3	RC・2	67	67	108	131	5,789	3,372
376	日高放課後児童クラブ	日高町岩中22	複合	H14	RC・2	86	86	178	160	6,041	3,092
377	日高第2放課後児童クラブ	日高町岩中46-1	複合	H14	RC・1	63	231	164	429	8,861	4,250
378	静修放課後児童クラブ	日高町道場157-1	複合	H17	W・1	40	40	84	82	3,142	401
379	三方放課後児童クラブ	日高町栗山735	複合	H6	RC・1	85	85	116	53	4,442	1,845
380	弘道放課後児童クラブ	出石町町分36-2	複合	S58	RC・1	50	186	188	265	7,953	3,812
381	福住放課後児童クラブ	出石町福住209	複合	S62	RC・1	0	228	112	342	7,896	4,230
382	寺坂放課後児童クラブ	出石町日野辺1-1	複合	S60	RC・1	0	123	46	72	2,816	724
383	小坂放課後児童クラブ	出石町鳥居31	複合	S63	RC・1	0	96	122	95	5,234	2,437
384	小野放課後児童クラブ	出石町口小野153	複合	S63	RC・1	0	102	50	47	2,340	283
385	合橋放課後児童クラブ	但東町出合市場391	複合	H2	RC・1	47	47	145	104	5,254	2,437
386	高橋放課後児童クラブ	但東町久畑916	複合	H1	RC・1	38	38	0	0	0	0
387	資母放課後児童クラブ	但東町中山847		S57	RC・1	251	251	179	71	4,401	407

※放課後児童クラブは、小学校・幼稚園等の施設内に設置していることから、以下の2種類の面積を記載した。

延床面積A：放課後児童クラブのみに使用（専有）している面積

延床面積B：延床面積Aに、他の施設と共有している面積を足したもの

なお、放課後児童クラブの1㎡あたりの費用は「施設に関する費用」を「延床面積B」で除して算出した。

## ②建物の状況

延床面積（専有面積）は、単独の施設である港東・港西放課後児童クラブ（約 420 m<sup>2</sup>）と資母放課後児童クラブ（約 250 m<sup>2</sup>）を除き、ほとんどが 100 m<sup>2</sup>を下回っていますが、複合施設である他の放課後児童クラブにおいては、他の施設と共有している面積（放課後のみ利用している幼稚園の遊戯室など）があるため、それらを足しあわせると過半が 100 m<sup>2</sup>以上となっています。

旧五荘公民館（昭和 8 年建築）を利用している五荘第 2 放課後児童クラブが最も古い施設で、建築後 80 年以上が経過して老朽化がかなり進んでいますが、これまでに大規模改修は実施していません。また、昭和 40 年代後半から 50 年代の後半に建築した放課後児童クラブが 5 箇所あり（複合施設の建築年を含む）、大規模改修・更新のサイクルを迎えて老朽化が進んでいますが、豊岡第 2 及び弘道の各放課後児童クラブ以外は、大規模改修を実施していません。

新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築した放課後児童クラブが 3 箇所あり、このうち 2 箇所は耐震診断を実施していますが、耐震改修を実施した施設はありません。

## ③利用の状況

平成 25 年度の延利用者数は、福住放課後児童クラブが約 790 人と最も多く、次いで五荘および弘道の各放課後児童クラブがそれぞれ約 720 人と多くなっています（図 3-2-113）。これに対し、中竹野や小野（それぞれ 60 人）など 5 箇所の放課後児童クラブで 100 人未満となっています。

延利用者数の推移をみると、福住や弘道、日高第 2 など急激に増加している放課後児童クラブがある一方で、八条や豊岡など急激に減少している放課後児童クラブもみられます。

## ④施設に関する費用の状況

平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 547 万円となっていますが、延利用者数が多い日高第 2（約 950 万円）、五荘（約 940 万円）や弘道、福住（それぞれ約 840 万円）等の放課後児童クラブが特に高く、平均を大きく上回っています（図 3-2-114）。

費用の内訳をみると、いずれの放課後児童クラブでも人件費が大半を占めており、これ以外の費目では事業運営費や光熱水費が主な費目として挙がっています。

## ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を共有している面積を含めた延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりでみると、全施設の平均では 39,492 円となっていますが、延床面積が狭い奈佐（約 149,190 円）や中筋（約 119,410 円）、合橋（約 116,460 円）の各放課後児童クラブが特に高く、平均のおおむね 3 倍以上の水準となっています（図 3-2-115）。

利用者 1 人あたりでみると、全施設の平均では 14,357 円となっていますが、延利用者数が少ない中竹野（約 59,660 円）や資母（約 55,370 円）、中筋（約 46,740 円）の各放課後児童クラブが特に高く、平均の 3 倍以上の水準となっています（図 3-2-116）。

図 3-2-113 利用者数の推移

(人)

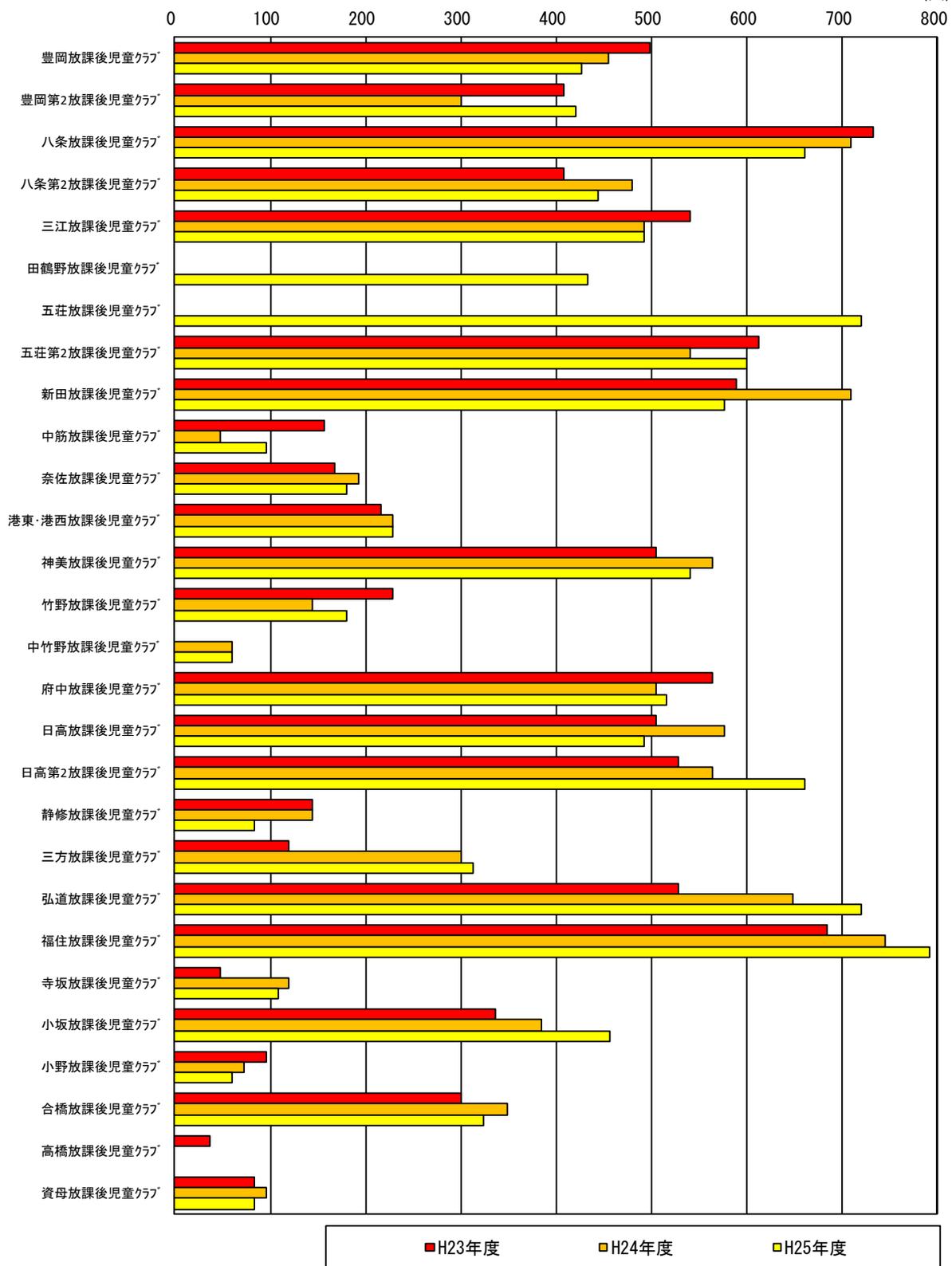


図 3-2-114 施設に関する費用と内訳（平成 25 年度）

(万円)  
1,000

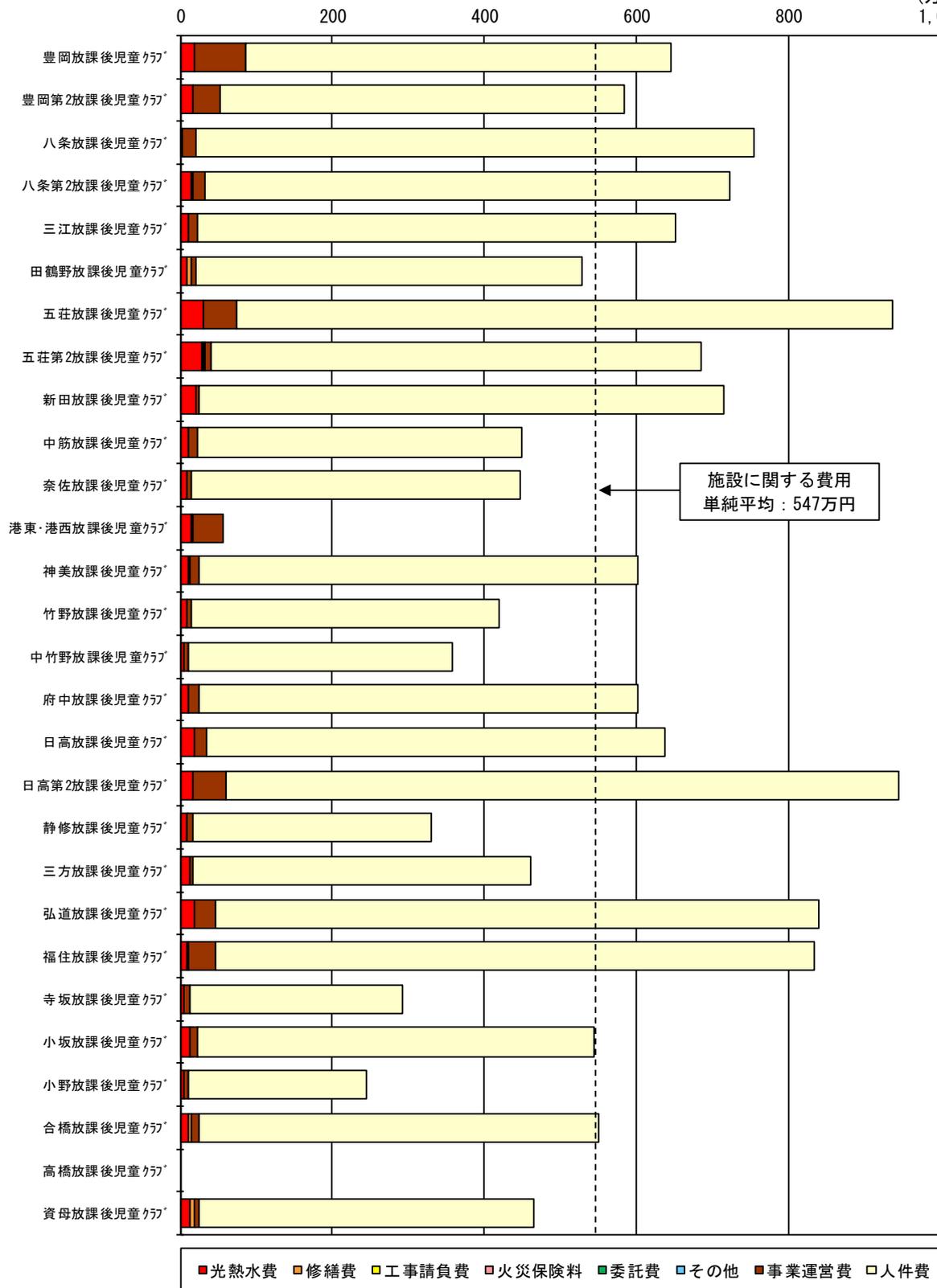
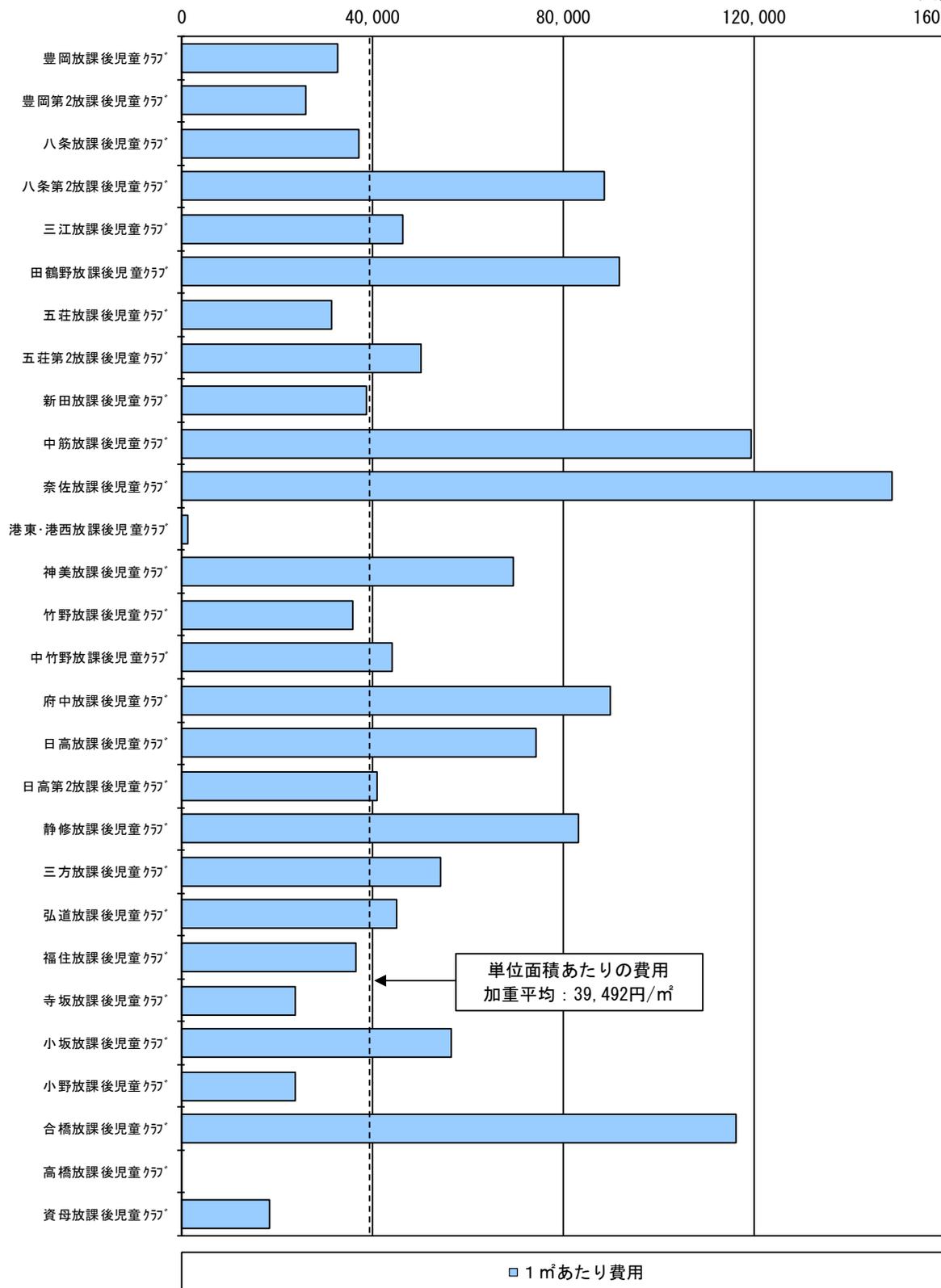


図 3-2-115 延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりの費用 (平成 25 年度)

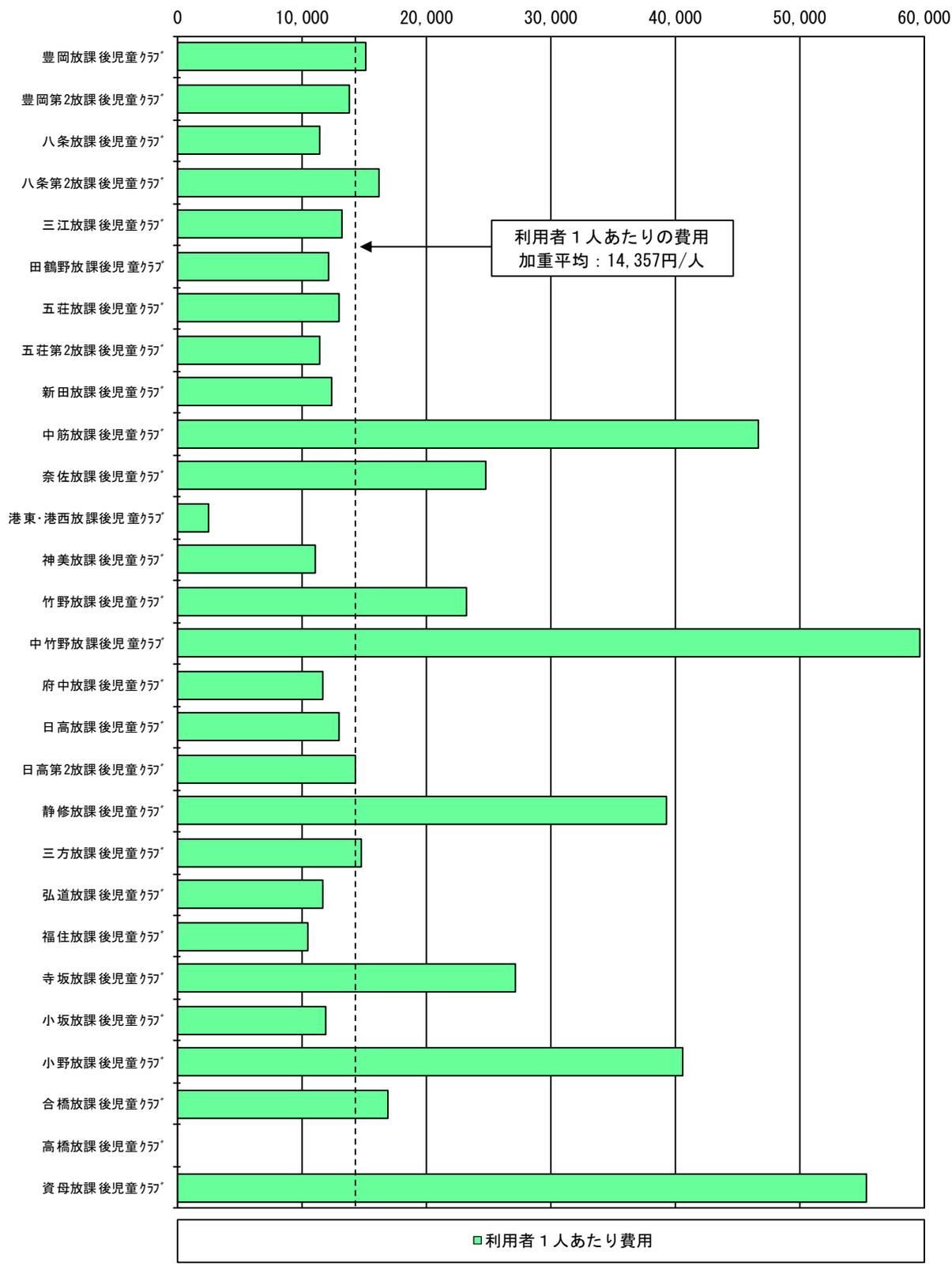
(円/m<sup>2</sup>)  
160,000



※放課後児童クラブは小学校・幼稚園等の施設内に設置していることから、1 m<sup>2</sup>あたりの費用は「施設に関する費用」を「施設の共用部分を考慮した床面積」で除して算出した。

図 3-2-116 利用者 1 人あたりの費用（平成 25 年度）

(円/人)



## 5) その他子育て支援施設

### ①概要

本市では、子育てセンターを5箇所に設置しており、豊岡地域以外の5地域に1箇所ずつ立地しています。単独の施設である竹野子育てセンター以外は、庁舎との複合施設となっています。

子育てセンターでは、子育てを行っている父母の悩みを解消し、安心して子育てができるよう、地域全体で子育てができる環境づくりを行っています。



＜ 竹野子育てセンター ＞

表 3-2-32 その他子育て支援施設の概要

ID	基礎情報						コスト情報（千円）			収入 （千円）
	施設名	所在地	施設形態	建築年	構造階数	延床面積 (㎡)	維持管理費	事業運営費	人件費	
388	城崎子育てセンター	城崎町桃島1057-1	複合	H15	SRC・3	140	530	181	4,201	0
389	竹野子育てセンター	竹野町和田389-1		H22	S・2	422	560	288	6,483	6
390	日高子育てセンター	日高町柵布920	複合	S56	RC・4	941	2,401	236	5,903	0
391	出石子育てセンター	出石町内町1	複合	H5	RC・3	188	651	190	4,546	0
392	但東子育てセンター	但東町出合150	複合	H18	S・2	125	462	148	4,326	0

### ②建物の状況

延床面積は、日高子育てセンターが約 940 ㎡と特に広く、次いで単独の施設である竹野子育てセンターが約 420 ㎡となっていますが、他の子育てセンターは 200 ㎡未満となっています。

日高庁舎（昭和 56 年建築）の中に平成 20 年に整備した日高子育てセンターと、平成に入ってから建築した他の 4 施設（庁舎の一部）で、ともに比較的新しい施設となっています。

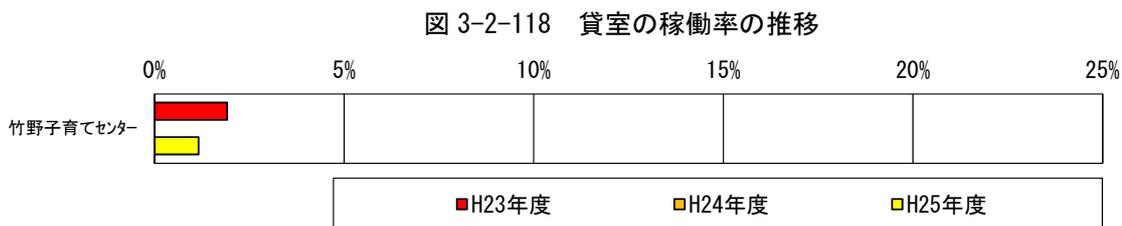
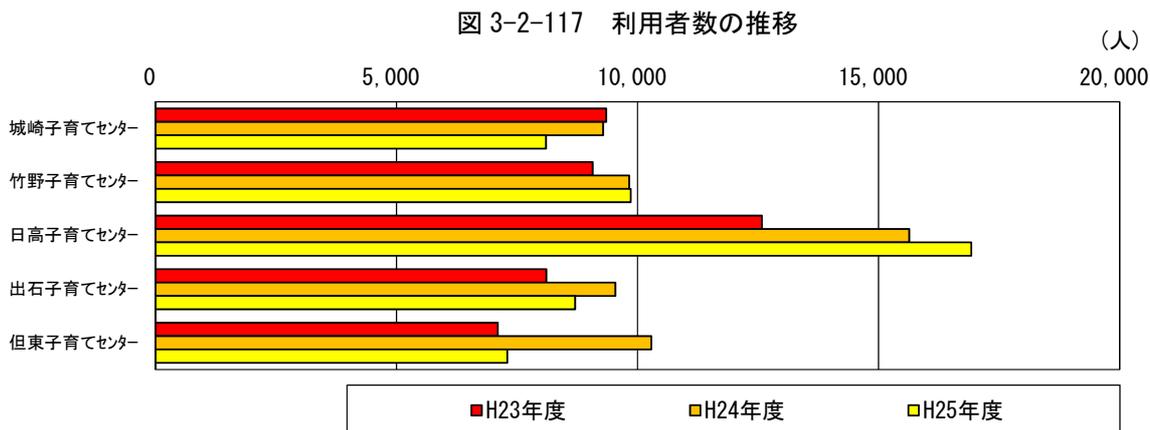
日高子育てセンターは新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築した施設ですが、耐震診断・改修は実施していません。

### ③利用の状況

平成 25 年度の延利用者数は、日高子育てセンターが最も多く約 1.7 万人となっており、これ以外の子育てセンターでは 1.0 万人未満となっています。

延利用者数の推移をみると、利用者数が多い日高子育てセンターでは急激に増加していますが、他の子育てセンターについては横ばいか減少の傾向がみられます。

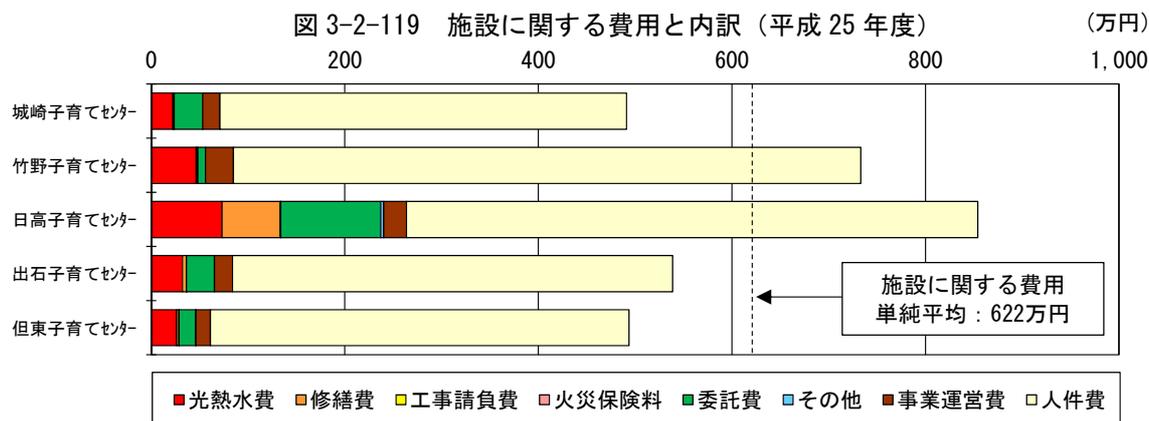
竹野子育てセンターに併設されている貸室の稼働率をみると、平成 25 年度では 1%程度にとどまっており、平成 23 年度に比べて若干減少しています。(平成 24 年度のデータなし)



### ④施設に関する費用の状況

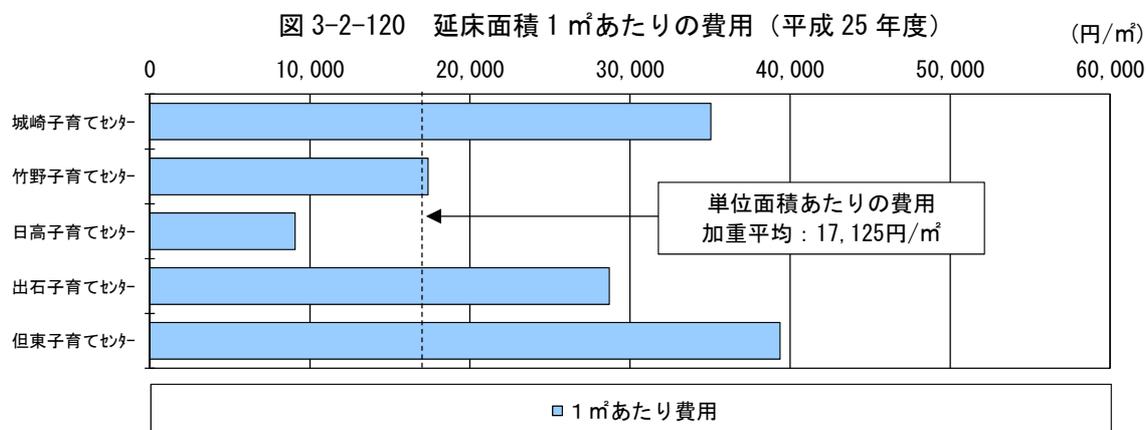
平成 25 年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では 622 万円となっていますが、延床面積が広く利用者数も多い日高子育てセンター（約 850 万円）や、次いで延床面積が広い竹野子育てセンター（約 730 万円）では平均を上回っています。

費用の内訳をみると、いずれの子育てセンターでも人件費が大半を占めており、これ以外の費目では事業運営費や委託費、光熱水費、修繕費が主な費目として挙がっています。

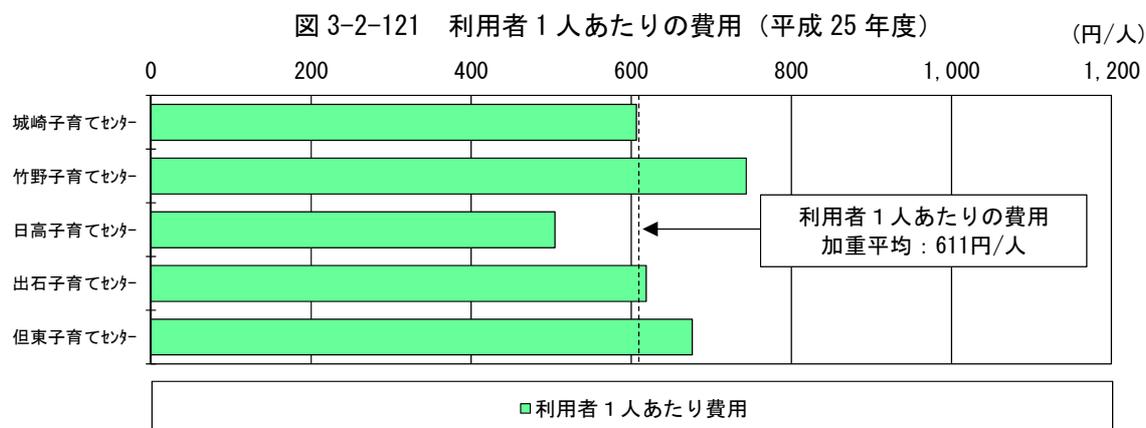


### ⑤単位あたりのコストの状況

平成 25 年度の施設に関する費用を延床面積 1 m<sup>2</sup>あたりで見ると、全施設の平均では 17,125 円となっており、延床面積が狭い但東子育てセンター（約 39,380 円）や城崎子育てセンター（約 35,040 円）が平均の 2 倍以上となっています。



利用者 1 人あたりで見ると、全施設の平均では 611 円となっており、いずれの施設も平均に近い水準となっています。



## (10) 公営住宅

### 1) 公営住宅

#### ①概要

本市では、公営住宅法に基づいて46団地1,028戸の市営住宅を設置しています(表3-2-33)。

市営住宅は、住宅に困窮する低額所得者に対する住宅セーフティネットとしての役割を担うよう、適正かつ合理的な管理を行っています。

なお、市営住宅のうち4団地、25戸については、公営住宅の収入基準を超える中堅所得者向けの特定公共賃貸住宅(特公賃)となっています。



< 市営今森住宅 >

#### ②建物の状況

平成に入ってから建築した比較的新しい団地が24団地、473戸と戸数ベースで半数近くを占めていますが、昭和30年代後半から昭和40年代後半に建築した老朽化が進んでいる団地も4団地(一本松住宅、津居山住宅、北部住宅、高屋厚生年金住宅)、101戸みられます。

経年劣化に伴う屋根、屋上、外壁、バルコニー等の改修は実施していますが、大規模な改修・更新を実施した団地はありません。

また、新耐震基準以前に建築した団地が11団地、316戸ありますが、二次診断により耐震改修の必要がないと判定された栄町住宅を除き、耐震改修を実施した団地はなく診断も実施していない団地があるなど耐震化は遅れています。

#### ③利用の状況

平成25年度における入居戸数は861戸で、管理戸数(1,028戸)に対する平均入居率は約84%となっています(図3-2-122)。入居率が100%となっている団地が10団地ある一方で、空家が発生し入居率が50%を下回っている団地も数団地みられます。

#### ④施設に関する費用の状況

平成25年度における施設に関する費用をみると、全施設の平均では147万円となっています(図3-2-123)。塩津住宅が約1,900万円と突出していますが、その内訳では工事請負費が過半を占めており、これは大規模改修で屋根防水を実施したことによります。

#### ⑤単位あたりのコストの状況

平成25年度の施設に関する費用を延床面積1㎡あたりでみると、全施設の平均は931円となっていますが、老朽化が進む津居山住宅も含め3団地で4,000円を超えています(図3-2-124)。

管理戸数1戸あたりでみると、全施設の平均は65,671円となっていますが、特定公共賃貸住宅である中山向町住宅も含め4団地で250,000円を超えています(図3-2-125)。

表 3-2-33 市営住宅の概要

ID	基礎情報						コスト情報（千円）			収入 （千円）
	施設名	所在地	施設 形態	建築 年	構造 階数	延床面積 （㎡）	維持 管理費	事業 運営費	人件費	
393	今森住宅	江本13		H15	RC・5	10,386	6,806	202	0	44,299
394	一本松住宅	庄境1005-1		S41	CB・2	1,533	152	67	0	3,854
395	津居山住宅	津居山455-60		S41	CB・1	321	1,300	77	0	549
396	栄町住宅	栄町235-1		S55	RC・4	6,897	2,294	273	0	20,061
397	栄町住宅Ⅱ	鎌田228-1		S50	PC・2	2,865	1,445	44	0	9,782
398	塩津住宅	塩津町248-1		S61	RC・8	9,601	18,479	532	0	48,432
399	高屋住宅	高屋350-1		H7	RC・5	5,811	2,645	205	0	24,425
400	元薬師1号住宅	城崎町湯島618-1		S57	PC・2	1,159	4,252	975	0	5,473
401	元薬師2号住宅	城崎町湯島634		H16	RC・3	1,550	804	0	0	6,585
402	内島住宅	城崎町桃島1062		H4	W・2	2,195	3,106	8	0	9,087
403	結1号住宅	城崎町結152-1		S55	PC・2	474	66	0	0	1,558
404	結2号住宅	城崎町結156		S62	W・2	577	2,171	4	0	1,640
405	上山住宅	城崎町上山219		H6	RC・4	1,678	340	12	0	4,905
406	円山住宅	城崎町来日235		H19	W・2	1,487	851	58	0	7,742
407	太田住宅	竹野町和田108-24		S52	PC・2	890	238	0	0	2,715
408	草飼Ⅱ住宅	竹野町草飼520		S59	PC・2	974	388	0	0	3,014
409	森本住宅	竹野町森本514-21		H4	W・2	951	202	21	0	2,961
410	轟住宅	竹野町轟14		H15	W・2	826	489	23	0	3,592
411	上郷住宅	日高町上郷45-1		H20	W・2	413	63	0	0	2,212
412	道場住宅	日高町道場538		S60	PC・2	640	2,792	0	0	2,872
413	鶴岡東住宅	日高町鶴岡48		S63	RC・3	905	2,114	5	0	2,930
414	静修住宅	日高町道場191		H4	RC・4	1,919	448	21	0	7,192
415	鶴岡住宅	日高町鶴岡371		H14	RC・3	1,169	604	0	0	4,842
416	北部住宅	出石町寺町539		S48	PC・1	510	210	60	0	1,174
417	水上住宅	出石町水上155-1		S54	PC・2	712	477	0	0	2,067
418	鍛冶屋住宅	出石町鍛冶屋316		S59	PC・2	657	1,687	0	0	2,766
419	鳥居住宅	出石町鳥居310-1		S62	W・1	1,293	411	240	0	4,633
420	日野辺住宅	出石町日野辺16-1		H5	W・2	1,304	1,563	49	0	4,763
421	福住住宅	出石町福住1320-1		H17	RC・3	2,015	828	0	0	11,174
422	出合住宅	但東町出合308-1		H20	W・1	688	459	21	0	4,657
423	出合市場住宅	但東町出合市場55-2		S54	W・1	551	188	5	0	1,608
424	出合第2住宅	但東町出合290		S58	W・2	649	97	19	0	1,778
425	畑山住宅	但東町畑山1010-1		S63	W・2	689	166	184	0	2,966
426	久畑二ノ宮住宅	但東町久畑336		H10	W・2	712	1,667	235	0	880
427	中山向町住宅	但東町中山1031-3		H11	W・1	357	289	137	0	1,798
428	矢根住宅	但東町矢根1248-2		H3	RC・4	1,113	254	0	0	4,763
429	赤野住宅	但東町中山197-4		H14	W・1	740	403	182	0	2,445
430	如布住宅	但東町中山1020		H17	W・1	827	204	251	0	4,087
431	上山2号住宅	城崎町上山236-1		H5	S・2	225	130	0	0	331
432	中山神田住宅	但東町中山54-1		S60	W・1	120	69	68	0	80
433	高屋厚生年金住宅	高屋350-1		S38	RC・4	1,673	54	0	0	684
434	三井谷改良住宅	出石町寺町676-17		S58	PC・2	339	164	21	0	446
435	久畑二ノ宮住宅(特公賃)	但東町久畑327		H8	W・1	505	38	114	0	2,994
436	中山向町住宅(特公賃)	但東町中山1034-1		H8	W・1	495	1,169	114	0	1,590
437	小谷住宅(特公賃)	但東町小谷332		H9	W・1	781	299	194	0	6,678
438	赤野住宅(特公賃)	但東町中山266-1		H15	W・1	380	101	114	0	1,948

図 3-2-122 入居率(入居戸数/管理戸数)の推移

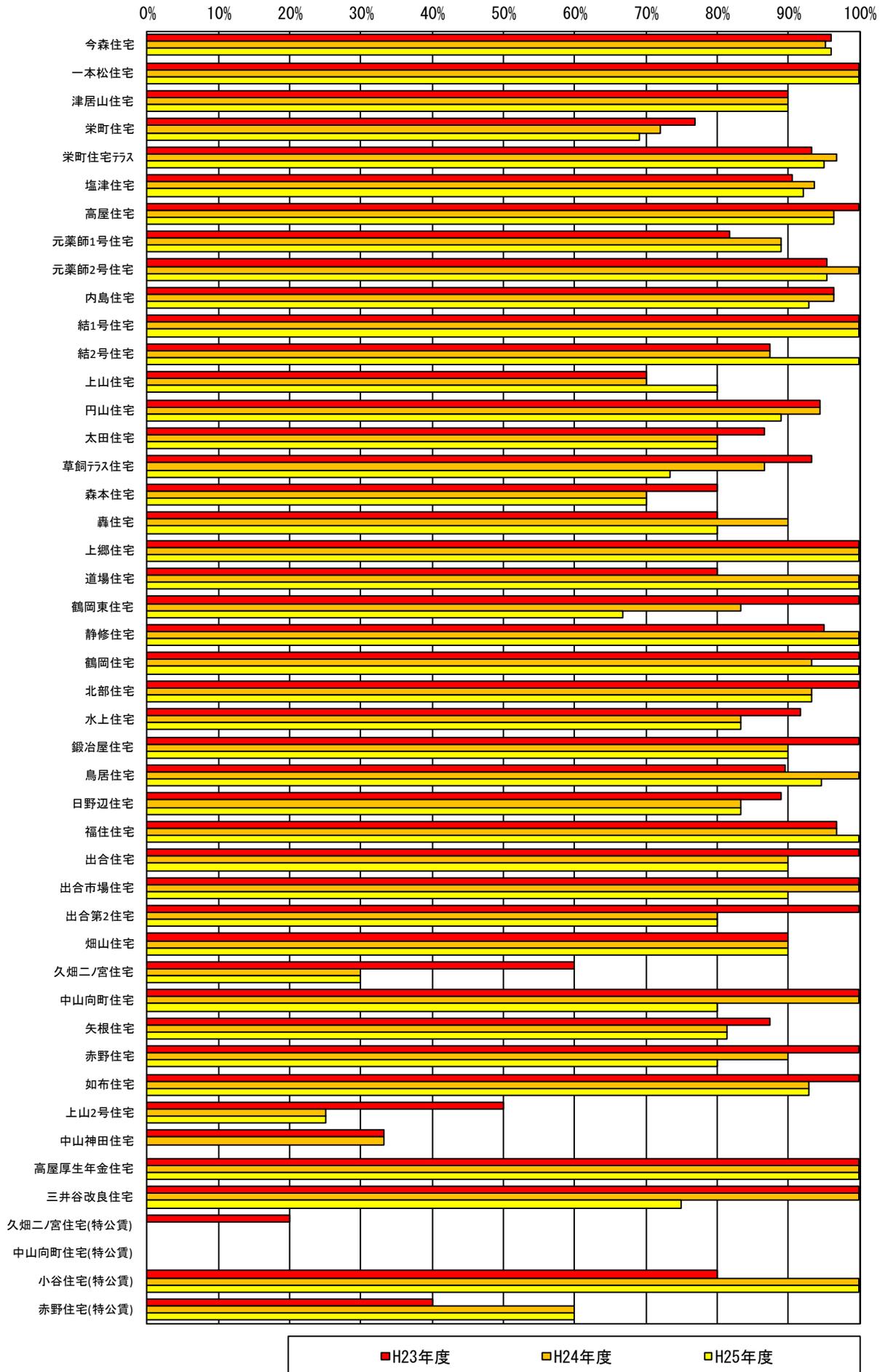


図 3-2-123 施設に関する費用と内訳 (平成 25 年度)

(万円)

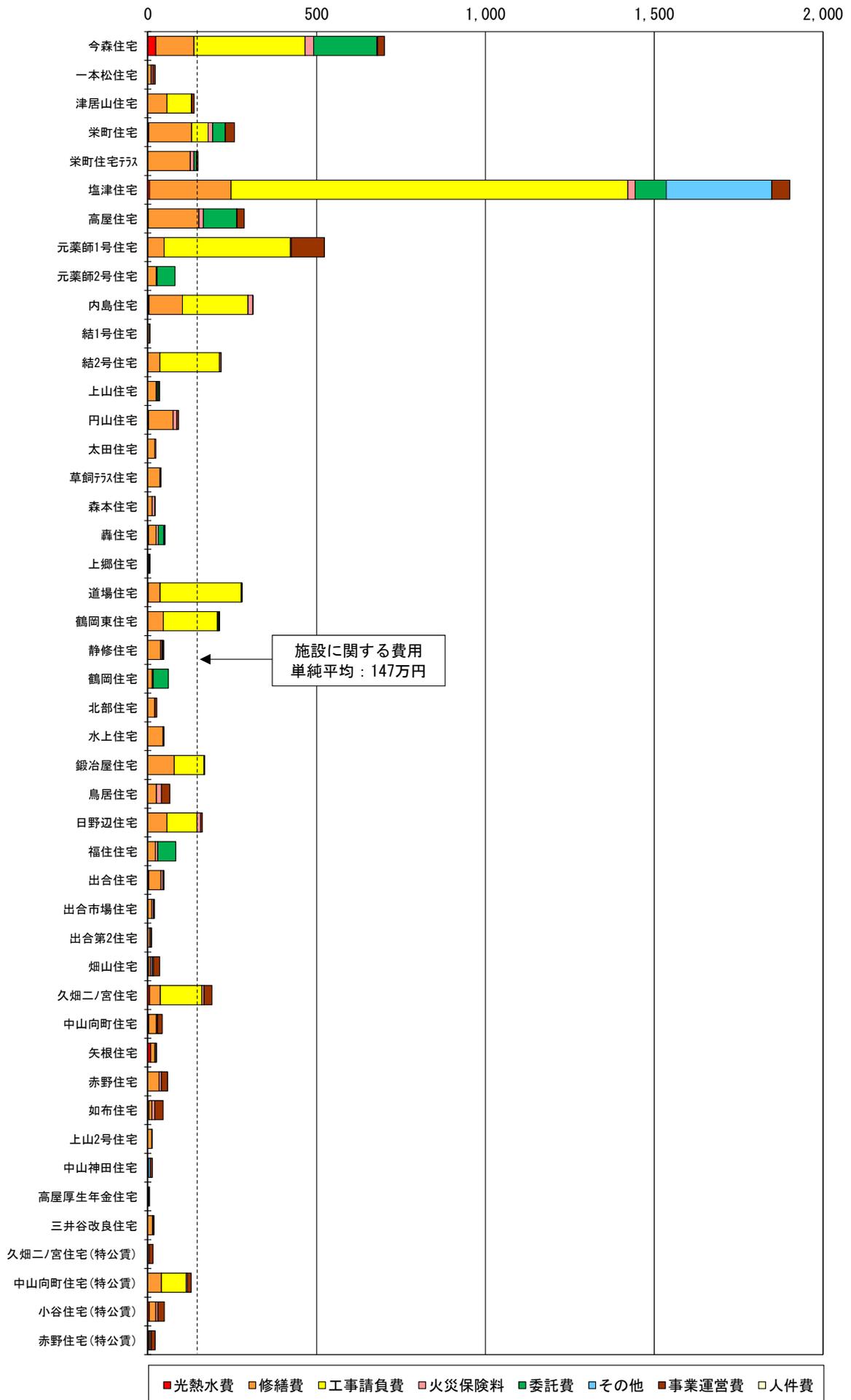


図 3-2-124 延床面積 1㎡あたりの費用（平成 25 年度）

(円/㎡)

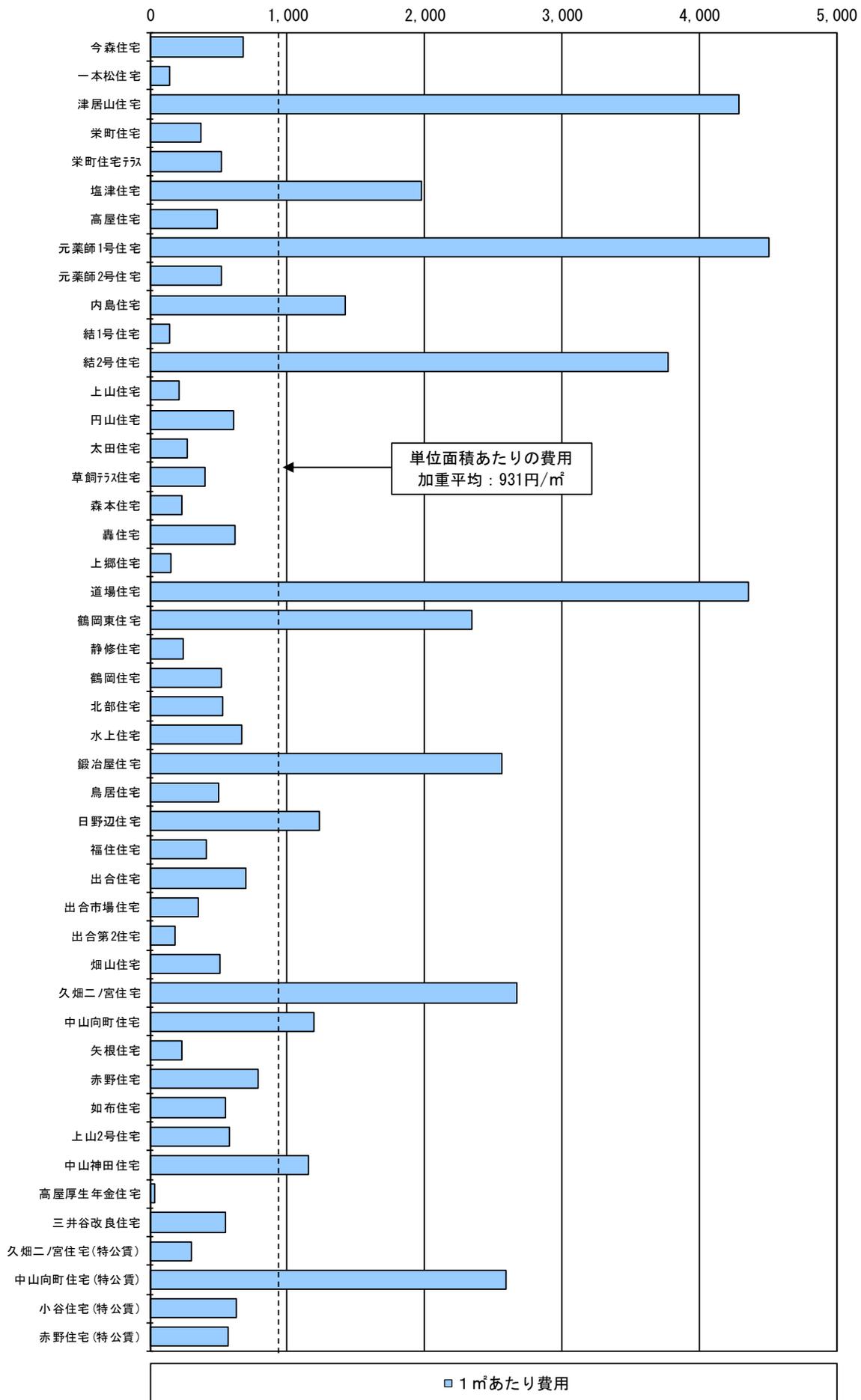
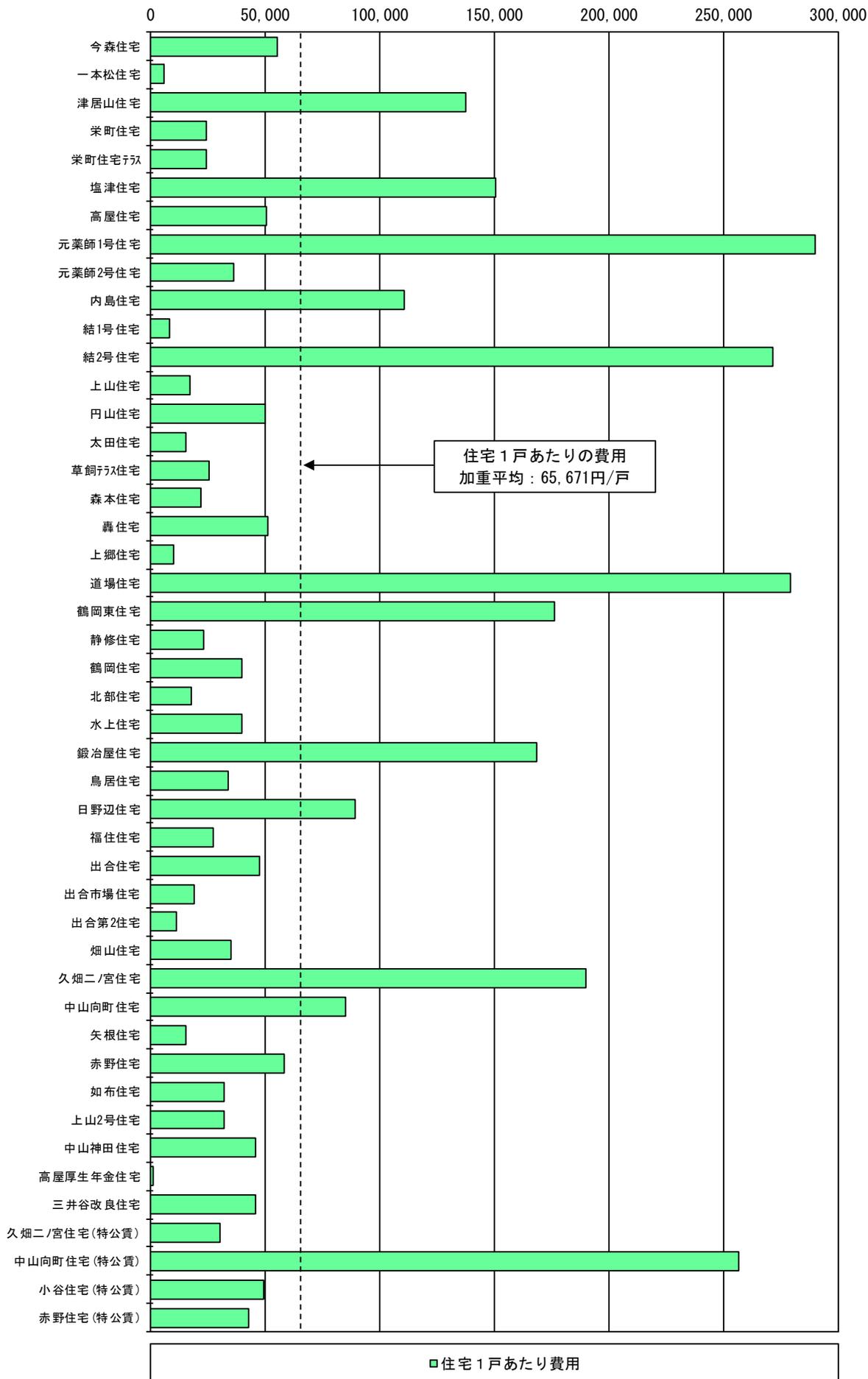


図 3-2-125 管理戸数 1 戸あたりの費用 (平成 25 年度)

(円/戸)



## 第4章 建替え・改修費用の試算

### 4-1. 試算の考え方について

本市の公共施設は、昭和55年頃までは学校教育系施設を中心に整備（建設）してきましたが、その後、昭和56年頃から急増し、平成16年頃までは学校教育系施設に加え行政系施設や市民文化系施設、スポーツ・レクリエーション施設、子育て支援施設、公営住宅など多くの施設を整備してきました。今後、これら公共施設が順次大規模改修や建替えの時期を迎えることから、施設の機能や安全性の維持とコストの観点から今後のあり方を検討すべく、将来の改修・建替え費用の試算を行いました。

#### (1) 前提とする考え方

本市が保有する公共施設について、今後も現状の施設を維持するために改修を実施し、更新時には現状と同規模で建替えを行うことを前提とします。これを「現状維持シナリオ」として、今後の検討の基本とします。

※現状維持シナリオにおいては、今後新たな施設の建設は想定しません。

#### (2) 試算方法

試算は、総務省が公開する「公共施設更新費用試算ソフト」の条件設定等を参考に、大規模改修の実施状況など、本市の個別の施設状況を反映させたくて、本市独自に行うものです。

試算では、推計期間40年間について、各施設の延床面積に以下に示す施設分類別の単価を乗じて将来の大規模改修費用及び建替え費用を算出します。

表 4-1-1 試算条件と単価の設定

項目	条件	施設分類	大規模改修 (万円/㎡)	建替え (万円/㎡)
推計期間	40年	行政、市民文化、社会教育、医療、産業	25	40
大規模改修	30年	保健福祉、スポーツ・レク、その他、供給処理	20	36
建替え	60年	学校教育、子育て支援	17	33
		公営住宅	17	28

※単価は公共施設更新費用試算ソフト（総務省）を元に設定。

※社会教育系施設のうち文化財等の施設と、概ね普通財産施設が該当する「その他」施設は、試算の対象外。

※費用の平準化を考慮し、建替えは築年59・60・61年目で費用発生、大規模改修は築年29・30年目で費用発生するものとします。同様に、築31年以上が経過している公共施設については、今後10年間で均等に大規模改修を行うものとします（ただし、築51年以上が経過しているものは大規模改修を行わないと仮定します。）

※概ね1,000万円以上の工事を実施している施設は、大規模改修「実施済」として扱います。

## 4-2. 試算結果について

### 1) 現状維持シナリオによる試算結果

「現状維持シナリオ」における試算では、今後40年間で大規模改修に約884億円、建替えに約972億円、合計約1,856億円（年平均で約46億円）の費用が発生する結果となりました。特に、当初10年間（2015～2024年）は施設の大規模改修（これまでの積み残し相当分を含む）を中心に年平均約56.8億円がかかると見込まれます。

図4-2-1 建替え・大規模改修に係るコスト試算

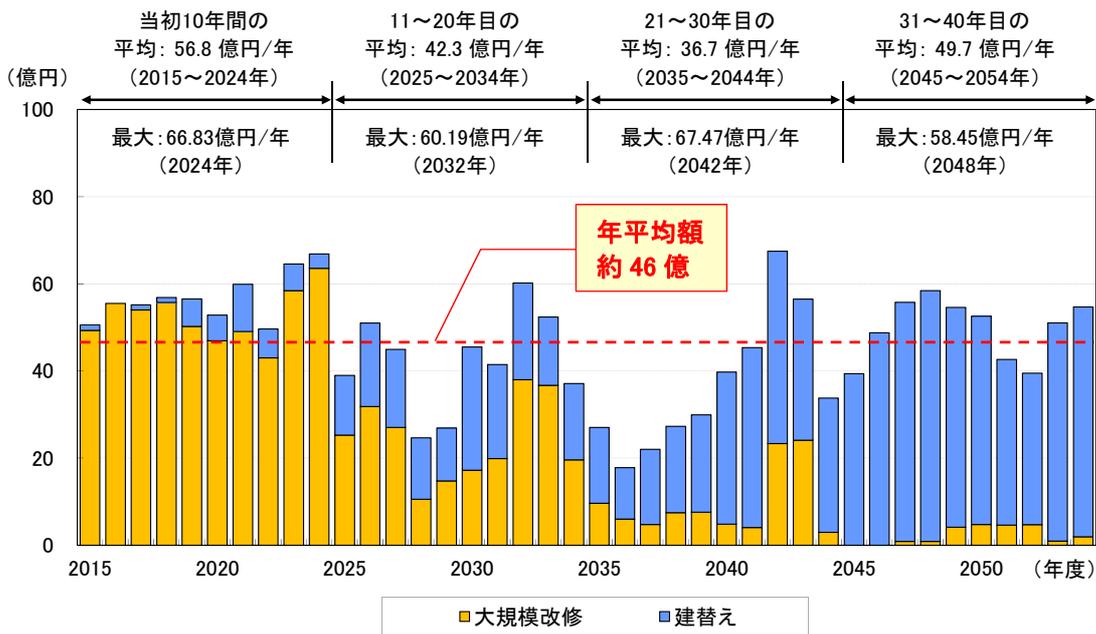
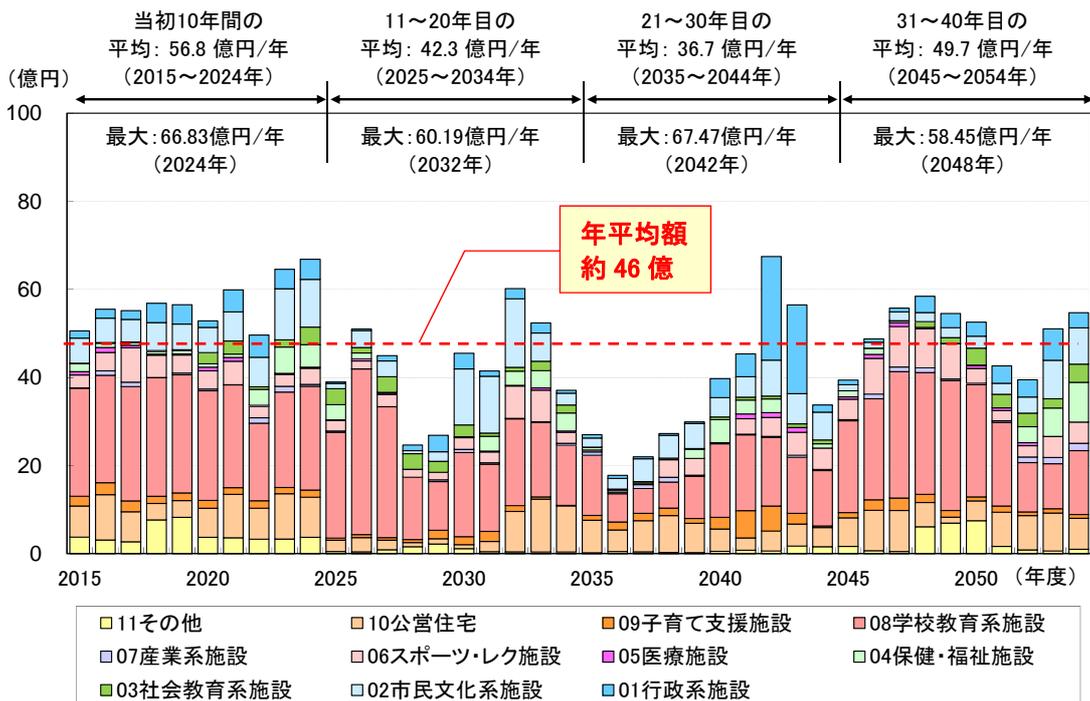


図4-2-2 建替え・大規模改修に係るコスト試算（施設分類別）



## 第5章 公共施設等の課題

### 5-1. 現状からみた課題の整理

#### 1) 全市的な課題の整理

##### ①人口動向からみた課題と方向性 — 新たなニーズへの対応と既存施設の活用 —

本市の人口は、昭和35年をピークに減少が始まり、昭和50年頃にいったん増加傾向に転じたものの、昭和60年頃から再び減少が始まり、今後も一貫して減少が続くと予想されています。また、全国的に少子高齢化が進展している中、本市においても年少人口の減少と老年人口の増加が続いており、今後も少子高齢化が進むと予想されています。

一方、本市の人口1人あたりの公共施設延床面積は約5.6㎡で、近畿圏内の類似団体の平均値（約3.5㎡）を大きく上回っています。特に学校施設と市営住宅以外の公共施設保有量で見ると、類似団体の平均値よりも1㎡以上多くなっています。

人口の減少や年齢構成の変化に伴い、必要とされる行政サービスの質や量も変化すると考えられ、今後の人口動向に柔軟に対応できる公共施設のあり方を検討することが求められています。公共施設に対する新たな市民ニーズがある場合には、施設整備の必要性について慎重に検討を進めるとともに、新設による対応だけではなく、既存施設の用途転換や多機能・複合化、民間施設との役割分担・連携の可能性についても検討することが必要です。

##### ②施設の設置状況からみた課題と方向性 — 機能の集約と連携・役割分担 —

本市の公共施設を地域ごとにみると、合併前における施設整備の目的・方針や設置基準に違いがあることから、地域により設置件数や施設配置に偏りがみられ、所管や管理主体が異なるものの同一あるいは類似した機能を有する施設もみられます。

また、各地域における人口・年齢構成や産業構造等の変化に伴い、需要が減りつつある施設や利用者がほとんどない施設もみられます。

より質の高い行政サービスを提供していくためには、地域の現状・動向や地域住民のニーズ等を考慮しつつ、類似施設の統廃合や用途転換、施設の多機能化や複合化、交通利便性や拠点性の高い地域への集積化など、施設の機能集約のあり方について検討することが必要です。

また、兵庫県や隣接する市町との広域的な連携や、民間事業者との連携（民間施設との役割分担）の可能性についても検討することが必要です。

### ③老朽化状況からみた課題と方向性 — 安全・快適性の向上と改修時期の平準化 —

本市の公共施設の整備面積は、昭和 55 年まで毎年 1 万㎡以下で推移していましたが（昭和 46 年と昭和 50 年を除く）、昭和 56 年から平成 16 年にかけて急増しています。

大規模改修・更新の目安は建築後 30 年（鉄筋コンクリート造の場合）とされていますが、本市の公共施設のうち建築後 31 年以上が経過している施設は約 32%で、このまま全ての施設を維持した場合は 10 年後に約 58%に達すると見込まれます。

また、大規模な地震により倒壊するおそれがあるとされている新耐震基準以前（昭和 56 年以前）に建築された施設のうち、耐震改修を実施していない施設が約 14%（約 7.4 万㎡）残っています。

施設の老朽化・劣化が進行すると、安全性や快適性が低下するだけでなく、日常的な維持・管理に要する費用も増加すると予想されますが、施設の予防・保全を適切に行い長寿命化を図ることで、安全性・快適性が高まるとともに、維持・管理に要する財政負担を縮減することにもつながります。

また、昭和 56 年以降に建築された施設が多く、大規模改修・更新や建替えの時期が集中すると予想されることから、大規模改修等の時期を平準化するなど、段階的に改修等を行うための具体的な計画を策定することが必要です。

### ④財政面からみた課題と方向性 — コストの縮減と新たな財源の確保 —

本市の公共施設の整備や道路・橋梁等インフラ施設の整備に充当されている普通建設事業費の総額は、新庁舎を建設した平成 24 年度と平成 25 年度を除いて年間 50～70 億円の間で推移しています。

一方、現在保有している全ての公共施設を一般的な手法（31 年目に大規模改修、61 年目に建替え）により改修・更新・建替えた場合、今後 40 年間にわたって年平均約 46 億円が必要になると試算されます。高齢化に伴う社会保障の増加、生産年齢人口の減少や合併特例期間の終了に伴う税収の減少により、今後も厳しい財政状況は続くと予測されることから、全ての公共施設を将来にわたり安全・快適な状態で維持し続けようとする、財源が不足すると考えられます。

限られた予算をより効率的・効果的に活用し、真に必要とされる行政サービスを適切に提供していくためには、施設の改修等に際して、「選択と集中」の視点に基づき、可能な限りのコスト縮減と新たな財源を確保するための計画的・戦略的な取り組みを進める必要があります。

このほか、インフラ施設整備との調整を図りつつ普通建設事業費を平準化するなど、財源の安定的な確保に向けた取り組みも必要です。

## ⑤運営面からみた課題と方向性 — 運営・建設方法の多様化と民間の活用 —

本市の公共施設の中には、本市が直接維持・管理を行っている施設のほか、指定管理者制度の導入により民間事業者等が維持・管理を行っている施設や、日常的な管理を地域住民等に委託している施設もあります。

指定管理者制度を導入し、民間事業者等が持つ施設運営のノウハウを有効活用することにより、施設の維持・管理に要する費用を縮減したり、施設利用者のニーズに応じたきめ細やかなサービスを効果的に提供することが期待できます。

施設の維持・管理をより一層効率的に行うとともに、維持・管理費用の縮減や効果的なサービス提供の実現に向けて、施設の運営のあり方（指定管理者制度導入、民営化等）や建設方法のあり方（PFI※導入等）を検討することが必要です。

また、光熱水費等の維持・管理費は、設備の老朽化による影響が大きいと考えられることから、省エネ型設備の導入など適切な設備更新によるコスト削減を図ることも必要です。

※PFI：Private Finance Initiative（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）の略称で公共施設等の建設、維持管理、運営等について、民間の資金とノウハウを活用して実施する手法のこと。地方公共団体等が直接実施するよりも効率的かつ効果的な公共サービスの提供が期待されます。



## 参 考 资 料

■施設一覧

中分類	施設名	延床面積 (㎡)	施設名	延床面積 (㎡)	施設名	延床面積 (㎡)	
<b>行政系施設 (P27~P41)</b>							
庁舎等	豊岡市役所	14,193.90	城崎庁舎	1,294.25	竹野庁舎	1,995.83	
	日高庁舎	3,240.90	出石庁舎	2,830.30	但東庁舎	2,329.68	
その他行政系施設	市議会議場	528.35	豊岡稽古堂	1,051.07	防災通信センター	237.47	
	豊岡防災公園	250.00	円山川防災センター	700.22	円山川防災センター	700.22	
消防施設	消防本部・豊岡消防署	2,185.51	日高分署	498.54	出石分署	493.02	
	出石分署但東駐在所	139.00	城崎分署	433.06	城崎分署竹野出張所	355.07	
消防車庫・詰所	豊岡消防団車庫 (第1分団)	69.76	豊岡消防団車庫 (第2分団)	70.00	豊岡消防団車庫 (第4分団)	64.00	
	豊岡消防団車庫 (第5分団)	65.96	豊岡消防団車庫 (第6分団)	55.01	豊岡消防団車庫 (第7分団)	63.00	
	豊岡消防団車庫 (第8分団)	105.64	豊岡消防団車庫 (第9分団)	114.87	豊岡消防団車庫 (第10分団)	60.00	
	豊岡消防団車庫 (第11分団)	60.50	豊岡消防団車庫 (第12分団)	124.92	豊岡消防団車庫 (第13分団)	58.70	
	豊岡消防団車庫 (第14分団)	69.71	城崎消防団車庫 (第1分団ひたち班)	54.61	城崎消防団車庫 (第1分団やまと班)	28.36	
	城崎消防団車庫 (第2分団ゆしま班)	26.52	城崎消防団車庫 (第3分団はやて班)	29.93	城崎消防団車庫 (第4分団あさひ班)	67.89	
	城崎消防団車庫 (第4分団のぞみ班)	26.92	城崎消防団車庫 (第5分団うやま班)	21.00	城崎消防団車庫 (第5分団くるひ班)	66.07	
	竹野消防団車庫 (第1分団第1部)	27.20	竹野消防団車庫 (第1分団第6部)	58.30	竹野消防団車庫 (第3分団)	99.00	
	竹野消防団車庫 (第4分団)	48.00	竹野消防団車庫 (第5分団)	23.52	日高消防団車庫 (特設分団)	170.20	
	日高消防団車庫 (第1分団)	24.00	日高消防団車庫 (第2分団)	32.00	日高消防団車庫 (第3分団)	24.00	
	日高消防団車庫 (第4分団)	32.81	日高消防団車庫 (第6分団)	52.84	日高消防団車庫 (第7分団)	24.00	
	日高消防団車庫 (第8分団)	24.00	日高消防団車庫 (第9分団)	24.00	日高消防団車庫 (第10分団)	24.00	
	日高消防団車庫 (第11分団)	20.71	日高消防団車庫 (第12分団)	32.81	日高消防団車庫 (第13分団)	22.80	
	日高消防団車庫 (第14分団)	21.60	日高消防団車庫 (第15分団)	22.80	日高消防団詰所 (第15分団)	8.55	
	日高消防団車庫 (第16分団)	33.01	出石消防団車庫 (本部分団・第1分団車庫)	58.00	出石消防団車庫 (第2分団車庫)	54.15	
	出石消防団車庫 (第3分団車庫)	91.40	出石消防団車庫 (第4分団車庫)	45.12	出石消防団車庫 (第5分団車庫)	45.10	
	出石消防団車庫 (第6分団車庫)	43.32	出石消防団車庫 (第7分団車庫)	58.00	出石消防団車庫 (第8分団車庫)	24.00	
	出石消防団車庫 (第9分団車庫)	54.00	但東消防団車庫 (第1分団)	35.69	但東消防団車庫 (第2分団)	32.76	
	但東消防団車庫 (第3分団)	35.69	但東消防団車庫 (第4分団)	49.50	但東消防団車庫 (第5分団)	38.25	
	但東消防団車庫 (第6分団)	48.78					
	防災資機材庫	防災資材倉庫	25.80	防災倉庫	194.44	防災資機材庫 (竹野松本)	52.80
		防災資機材庫 (竹野森本)	36.00	防災資機材備蓄庫 (竹野消防団第2分団)	32.50	防災資機材備蓄庫 (竹野消防団第6分団)	35.00
		防災資機材倉庫 (西芝水防倉庫)	94.50				
	水防倉庫	水防倉庫(八条)	19.87	水防倉庫(庄境)	33.12	水防倉庫(日撫)	19.44
水防倉庫(下鶴井)		14.00	水防倉庫(森津)	32.40	水防倉庫(引野)	33.12	
水防倉庫(清冷寺)		19.87	水防倉庫(神美)	19.89	水防倉庫(城崎円山)	23.29	
水防倉庫(日高土居)		19.83	水防倉庫(出石小坂)	23.29	水防倉庫(出石片間)	33.00	
水防倉庫(出石堀川)		21.00	水防倉庫(但東出合)	27.20			

■施設一覧

中分類	施設名	延床面積 (㎡)	施設名	延床面積 (㎡)	施設名	延床面積 (㎡)	
<b>市民文化系施設 (P42~P53)</b>							
公民館	豊岡地区公民館	1,787.54	八条地区公民館	509.00	三江地区公民館	640.96	
	田鶴野地区公民館	588.60	五荘地区公民館	1,292.43	五荘地区公民館大浜分館	149.90	
	新田地区公民館	654.87	中筋地区公民館	532.81	奈佐地区公民館	497.12	
	港地区公民館	714.97	神美地区公民館 (神美地区基幹集落センター)	518.77	城崎地区公民館	704.65	
	竹野地区公民館	613.69	中竹野地区公民館	637.87	竹野南地区公民館	927.05	
	国府地区公民館 (国府地区コミュニティセンター)	553.89	八代地区公民館 (八代ふれあいセンター)	497.23	日高地区公民館 (日高農村環境改善センター)	2,004.64	
	三方地区公民館 (三方地区基幹集落センター)	606.92	清滝地区公民館 (清滝会館)	521.75	西気地区公民館 (西気地区コミュニティセンター)	398.12	
	弘道地区公民館	572.00	福住地区公民館 (福住地区交流センター)	494.42	寺坂地区公民館 (寺坂地区交流センター)	437.65	
	菅谷地区公民館 (菅谷地区 高齢者生活支援センター)	286.17	小坂地区公民館 (小坂地区 多目的研修集会施設)	467.11	小野地区公民館 (小野地区交流センター)	368.71	
	合橋地区公民館	730.00	高橋地区公民館	498.59	資母地区公民館 (資母地区交流センター)	509.00	
	集会施設	楽々浦交流館	122.67	須野谷地区多目的集会施設	87.10	坊岡地区多目的集会施設	92.15
鬼神谷地区 山村活性化支援センター		96.02	阿金谷地区 農林漁家婦人活動施設	103.45	交流の館	100.90	
文化芸能伝承館		116.42	日高区公民館	264.00	羽尻活性化センター	223.15	
頃垣活性化センター		190.74	東河内生活改善センター	199.75	木の薫る土居交流促進セン ター	225.03	
木の薫る久田谷 交流促進センター		206.59	木の薫る森山交流促進セン ター	214.24	木の薫る山宮交流促進セン ター	233.32	
上石区コミュニティ 消防センター		227.99	篠垣区コミュニティ 消防センター	151.35	堀区コミュニティセンター	244.19	
竹貫区コミュニティセンター		195.36	猪爪区コミュニティセンター	170.80	小河江区コミュニティセン ター	66.42	
観音寺字区コミュニティ センター		223.37	稲葉区コミュニティセンター	154.75	宮内地区コミュニティ 消防センター	375.14	
袴狭集会所		311.00	宵田集会所	237.98	東條集会所	60.00	
川原集会所		307.31	材木集会所	74.16	大谷集会所	158.93	
室見会館		308.00	奥小野集会所	193.55	出石歴史文化交流館	79.44	
赤野太刀振り文化伝承館		269.81	坂津転作研修センター	116.42	赤花多目的集会施設	181.92	
コミュニティ消防センター-唐 川		231.68	相田交流館	106.72	須谷高齢者生活支援センター	165.97	
畑山高齢者生活支援センター		244.49	水石高齢者生活支援センター	81.00	奥矢根高齢者生活支援セン ター	139.47	
栗尾高齢者生活支援センター		143.75	佐田高齢者生活支援センター	125.15	口藤高齢者生活支援センター	129.19	
但東三原 高齢者生活支援センター		147.89	出合高齢者生活支援センター	141.78	椒地域 ふるさと生きがいセンター	485.97	
坂野地区 農作業準備休憩施設		140.23					
文化施設		豊岡市民会館	5,922.00	豊岡市民プラザ	2,436.10	城崎市民センター	386.04
		城崎国際アートセンター	3,929.68	出石文化会館	2,423.12	但東市民センター	1,099.00
<b>社会教育系施設 (P54~P64)</b>							
図書館	図書館本館	2,804.19	図書館城崎分館	266.27	図書館竹野分館	362.76	
	図書館日高分館	478.00	図書館出石分館	386.00	図書館但東分館	170.00	

## ■施設一覧

中分類	施設名	延床面積 (㎡)	施設名	延床面積 (㎡)	施設名	延床面積 (㎡)
博物館・資料館	出土文化財管理センター	788.71	コウノトリ文化館	1,008.04	城崎文芸館	1,081.41
	城崎麦わら細工伝承館	77.27	住吉屋歴史資料館	488.56	竹野北前館	2,020.96
	植村直己冒険館	1,372.90	歴史博物館 「但馬国府・国分寺館」	1,451.95	美術館_伊藤清永記念館	956.20
	出石永楽館	687.33	旧中和家住宅	284.38	出石加藤弘之生家	110.57
	出石家老屋敷	343.00	出石史料館	568.00	出石明治館	403.02
	日本・モンゴル民族博物館	1,293.93	東井義雄記念館	95.00		
社会教育系施設	ハチゴロウの戸島湿地	151.89	但馬歴史散策の里	12.00		
<b>保健・福祉施設 (P65~P75)</b>						
健康福祉施設	豊岡健康福祉センター	2,954.00	豊岡市役所立野庁舎	2,132.00	城崎健康福祉センター	2,335.69
	竹野健康福祉センター	1,758.64	日高健康福祉センター	3,122.97	日高東部健康福祉センター	1,831.00
	出石健康福祉センター	2,096.44	但東健康福祉センター	3,178.14		
高齢福祉施設	長寿園	1,018.21	竹野老人福祉センター	801.58		
障害福祉施設	竹野心身障害者 小規模通所作業所	200.90	日高共同作業所	173.74	てっせんの会作業所	161.33
その他福祉施設	豊岡隣保館	297.27	出石隣保館	273.97		
<b>医療施設 (P76~P78)</b>						
医療施設	森本診療所	394.22	神鍋診療所	270.00	合橋診療所	484.80
	国民健康保険資母診療所	430.52	高橋診療所	1,084.92	但東町歯科診療所	148.00
<b>スポーツ・レクリエーション施設 (P79~P94)</b>						
観光センター	まちなか交流館	848.78	まちなかステーション	56.31	竹野観光センター	157.92
	道の駅「神鍋高原」	1,259.18				
スポーツ施設	円山川運動公園	245.95	市民体育館	2,431.80	総合体育館	3,902.60
	健康増進施設	3,535.03	豊岡総合スポーツセンター	244.10	神美台スポーツ公園	911.00
	城崎ボートセンター	1,277.28	菊屋島運動公園便所	32.43	竹野B & G海洋センター	1,716.16
	竹野多目的屋内運動広場	1,019.20	竹野中央公園	135.85	中竹野ふるさと館	917.12
	日高職業訓練センター	195.45	日高文化体育館	2,731.18	神鍋高原体育館	812.40
	神鍋野外スポーツ公園	1,278.83	出石B & G海洋センター 屋内プール	1,233.05	出石B & G海洋センター体育館	1,373.24
	出石屋内多目的運動場	1,150.25	出石総合スポーツセンター	325.00	但東スポーツ公園	265.40
	但東健康増進センター	1,131.00	但東中央体育館	1,431.83	資母体育館	1,236.22
レクリエーション施設	気比の浜キャンプ場炊事棟	74.10	弁天浜野営場炊事棟(東側)	58.14	東大谷野外活動施設	947.95
	湯の原温泉オートキャンプ場	1,717.69	ログハウス「黎明の家」	42.00	白糸の滝キャンプ場	25.50
	子ども自然村 ミーティングセンター	98.00	但東自然の郷	375.98	但東自然ふれあいセンター 「やまびこ」	3,475.04
	田舎暮らし体験施設	85.00				
温泉施設	城崎温泉交流センター	1,684.02	神鍋温泉ゆとろぎ	938.51	出石温泉館乙女の湯	532.70
	出石温泉泉源	115.00	但東シルク温泉館	1,551.72	たんたん温泉福寿の湯	375.82

## ■施設一覧

中分類	施設名	延床面積 (㎡)	施設名	延床面積 (㎡)	施設名	延床面積 (㎡)
<b>産業系施設 (P95~P100)</b>						
産業系施設	地域交流センター 「コウノトリ本舗」	337.70	木屋町小路	700.17	殿食材供給施設	311.61
	日高農林漁業体験実習館	892.28	日高農林産物加工研修所	202.80	出石農産物加工場	193.95
	片間ふれあい農園	68.70	そば乾燥調製貯蔵施設	300.32	但東地域活性化センター (赤花そばの郷)	519.06
	但東地域特産物加工施設	184.35	但東農産物加工施設	191.13	但馬ちりめん振興館	570.50
	農産物直売所	8.73	農林産物加工研修施設	152.92		
環境関連施設	豊岡市エコハウス	168.40	山宮地場ソーラーP R館	36.45		
<b>学校教育系施設 (P101~P112)</b>						
中学校	豊岡南中学校	10,733.00	豊岡北中学校	9,046.00	港中学校	3,673.00
	城崎中学校	5,352.00	竹野中学校	6,223.00	森本中学校	2,954.00
	日高東中学校	7,750.00	日高西中学校	5,822.00	出石中学校	8,692.00
	但東中学校	6,398.00				
小学校	豊岡小学校	8,338.00	八条小学校	4,554.45	三江小学校	5,159.15
	田鶴野小学校	3,640.52	五荘小学校	8,272.65	新田小学校	5,064.50
	中筋小学校	3,307.35	奈佐小学校	3,023.28	港東小学校	3,055.40
	港西小学校	4,338.00	神美小学校	2,944.66	城崎小学校	6,027.00
	竹野小学校	3,400.00	中竹野小学校	1,438.00	竹野南小学校	3,366.00
	府中小学校	5,080.10	八代小学校	3,278.00	日高小学校	7,015.15
	静修小学校	2,114.36	三方小学校	4,461.00	清滝小学校	3,676.00
	弘道小学校	4,805.00	福住小学校	2,883.00	寺坂小学校	2,312.00
	小坂小学校	4,379.00	小野小学校	2,742.00	合橋小学校	3,305.75
	高橋小学校	3,109.00	資母小学校	3,418.00		
給食センター	豊岡学校給食センター	1,903.30	豊岡学校給食センター(車庫)	210.00	日高学校給食センター	784.86
	出石学校給食センター	1,738.28	但東学校給食センター	477.54		
<b>子育て支援施設 (P113~P132)</b>						
幼稚園	豊岡めぐみ幼稚園	642.59	豊岡ひかり幼稚園	702.24	三江幼稚園	358.72
	田鶴野幼稚園	321.51	五荘奈佐幼稚園	1,761.53	新田幼稚園	416.47
	中筋幼稚園	413.20	神美幼稚園	412.83	日高幼稚園	860.31
	三方幼稚園	244.00	清滝幼稚園	208.00	出石幼稚園	699.59
	福住幼稚園	328.00	寺坂幼稚園	207.00	小坂幼稚園	310.00
	小野幼稚園	298.00				
保育園	西保育園	1,142.11	森本へき地保育園	478.63	清滝保育園	403.86
	西気保育園	294.61				
こども園	八条認定こども園	1,603.97	港認定こども園	732.04	竹野認定こども園	884.46
	合橋認定こども園	811.47	高橋認定こども園	555.60	資母認定こども園	613.03

■施設一覧

中分類	施設名	延床面積 (㎡)	施設名	延床面積 (㎡)	施設名	延床面積 (㎡)	
放課後 児童クラブ	豊岡放課後児童クラブ	56.00 197.75	豊岡第2放課後児童クラブ	57.76 224.01	八条放課後児童クラブ	0.00 203.05	
	八条第2放課後児童クラブ	81.55 81.55	三江放課後児童クラブ	53.78 140.21	田鶴野放課後児童クラブ	57.48 57.48	
	五荘放課後児童クラブ	63.00 297.24	五荘第2放課後児童クラブ	136.61 136.61	新田放課後児童クラブ	0.00 184.00	
	※延床面積 【上段】 当該施設に 使用(専有) している面積	37.58 37.58	奈佐放課後児童クラブ	30.00 30.00	港東・港西放課後児童クラブ	423.00 423.00	
	神美放課後児童クラブ	0.00 86.43	竹野放課後児童クラブ	117.00 117.00	中竹野放課後児童クラブ	0.00 81.12	
	府中放課後児童クラブ	66.90 66.90	日高放課後児童クラブ	85.85 85.85	日高第2放課後児童クラブ	63.00 231.00	
	【下段】 他の施設と 共有してい る面積を足 したもの	39.74 39.74	三方放課後児童クラブ	85.00 85.00	弘道放課後児童クラブ	50.41 186.21	
	静修放課後児童クラブ	0.00 227.60	寺坂放課後児童クラブ	0.00 123.19	小坂放課後児童クラブ	0.00 96.00	
	福住放課後児童クラブ	0.00 101.80	合橋放課後児童クラブ	47.25 47.25	高橋放課後児童クラブ	38.00 38.00	
	小野放課後児童クラブ	251.00 251.00					
	資母放課後児童クラブ						
	その他子育 支援施設	城崎子育てセンター	140.16	竹野子育てセンター	421.84	日高子育てセンター	941.43
		出石子育てセンター	187.67	但東子育てセンター	125.34		
<b>公営住宅 (P133~P138)</b>							
公営住宅	今森住宅	10,385.75	一本松住宅	1,533.00	津居山住宅	321.00	
	栄町住宅	6,897.00	栄町住宅テラス	2,864.50	塩津住宅	9,600.56	
	高屋住宅	5,811.37	元薬師1号住宅	1,158.56	元薬師2号住宅	1,550.23	
	内島住宅	2,194.85	結1号住宅	474.36	結2号住宅	576.88	
	上山住宅	1,677.52	円山住宅	1,487.22	太田住宅	889.50	
	草飼テラス住宅	973.80	森本住宅	951.10	轟住宅	825.60	
	上郷住宅	412.92	道場住宅	640.09	鶴岡東住宅	904.56	
	静修住宅	1,919.42	鶴岡住宅	1,169.19	北部住宅	510.00	
	水上住宅	711.60	鍛冶屋住宅	657.24	鳥居住宅	1,293.10	
	日野辺住宅	1,303.88	福住住宅	2,014.80	出合住宅	687.72	
	出合市場住宅	551.00	出合第2住宅	649.00	畑山住宅	689.00	
	久畑二ノ宮住宅	712.40	中山向町住宅	357.00	矢根住宅	1,112.84	
	赤野住宅	739.82	如布住宅	827.08	上山2号住宅	224.78	
	中山神田住宅	119.67	高屋厚生年金住宅	1,672.80	三井谷改良住宅	338.71	
	久畑二ノ宮住宅 (特公賃)	504.50	中山向町住宅 (特公賃)	494.50	小谷住宅 (特公賃)	780.60	
	赤野住宅 (特公賃)	380.00					
	<b>その他 ※施設分類(3章)対象外</b>						
供給処理施設	豊岡清掃センター	5,397.92	豊岡最終処分場	700.19	豊岡第2清掃センター	223.00	
ホップ場	市道大開一日市線 道路排水ポンプ室	28.30	市道南高校線 雨水排水ポンプ室	4.86	市道妙楽寺弥栄線 排水ポンプ操作室	20.00	
	一日市排水機場	334.37	豊岡中核工業団地 汚水ポンプ施設	154.35			

■施設一覧

中分類	施設名	延床面積 (㎡)	施設名	延床面積 (㎡)	施設名	延床面積 (㎡)
公園	中央公園（元町） （便益施設）	40.50	中央公園（弥栄町） （便益施設）	22.94	中央公園（立野） （便益施設）	36.48
	中央公園（立野南） （便益施設）	27.28	丸山公園（便益施設）	70.00	戸牧第2号公園 （便益施設）	27.00
	神武山公園（便益施設）	7.41	正法寺公園（便益施設）	22.03	正法寺団地公園 （便益施設）	10.00
	大師山自然公園 （管理施設）	52.39	大師山自然公園 （便益施設）	111.91	豊岡市立奈佐森林公園	799.00
	なでしこ公園 （便益施設）	6.00	ひまわり公園 （便益施設）	13.50	高屋公園（便益施設）	22.03
	玄武洞公園休憩所	108.00	城崎駅通り公園	104.97	御所の湯ポケットパーク回廊	50.76
	東山公園（展望台）	163.00	来日岳山頂施設	123.21	ジャジャ山公園 （水道ポンプ室）	5.94
	つるがみね公園	5.50	ロマンフル国府公園	6.30	神鍋溪谷公園	5.50
	神鍋山頂公園登山口公衆便所	12.25	日高防災公園まゆの里	125.55	日高山本農村公園	5.50
	日高児童公園	40.96	八代ふるさと公園	38.72	日高町民公園	9.72
	出石城公園（便益施設）	39.20	入佐山公園	5.80	北部公園（便益施設）	20.52
	斎場・霊苑	豊岡斎場	620.43	東霊苑	48.53	西霊苑
駐車場	桃島駐車場	294.32	出石西の丸駐車場	91.65	出石鉄砲町駐車場	86.30
バス停留所	竹野市営バス停留所 （(旧)床瀬停留所）	9.93	竹野市営バス停留所 （桑野本停留所）	9.93	竹野市営バス停留所 （三原停留所）	9.93
	竹野市営バス停留所 （森本停留所）	12.96	竹野市営バス停留所 （須野谷停留所）	8.29	竹野市営バス停留所 （大森停留所）	9.93
	竹野市営バス停留所 （竹野南公民館停留所）	4.97	竹野市営バス停留所 （竹野南小学校停留所）	10.00	竹野市営バス停留所 （ニツ家停留所）	4.96
	出合バス停留所	25.00				
交通関係施設	豊岡駅前広場 （便益施設）	37.51	豊岡駅前広場待合所	191.35	但馬三江駅	6.27
	小尾崎自動車排出ガス測定局	8.30	Weぷらざ	779.26	阿瀬溪谷休憩所	36.00
車庫	除雪機械車庫	117.58	竹野市営バス車庫	136.58	上郷重機車庫1	41.86
	上郷重機車庫2	41.86	上郷重機車庫3	41.86	但東庁舎 （マイクロバス車庫）	31.92
倉庫	元自衛隊倉庫	120.00	大開東倉庫（倉庫）	3.80	柳町簡易倉庫	19.06
	城崎国際アートセンター（倉庫）	46.97	旧竹野中学校部室	68.79	倉庫（元JA轟支店）	165.60
	倉庫（元竹中部室）	68.79	倉庫（今後谷倉庫）	121.72	鶴岡橋倉庫	127.02
	出石耐火書庫	64.00	但東庁舎（倉庫）	78.12	学童農園附帯施設	17.25
	消防ポンプ小屋	6.13	文化財収蔵庫	80.48	文化財水槽庫	38.80
公衆便所	永楽公衆便所	3.30	青空市場公衆便所	3.30	大手前公衆トイレ	134.15
	中嶋神社観光トイレ	28.80	気比の浜トイレ	54.61	鴻の湯観光トイレ	33.77
	観光センター西公衆トイレ	51.13	今後谷公衆トイレ	49.96	切浜漁港公衆トイレ	32.40
	馬場町公衆トイレ	24.50	浜須井公衆トイレ	32.40	弁天浜西公衆トイレ	44.50
	弁天浜中公衆トイレ	26.21	日高小学校 夜間照明用公衆便所	8.74	十戸公衆便所	6.95
	神鍋高原公衆便所 （栗栖野中央グラウンド横）	56.61	神鍋高原キャンプ場入口 公衆便所	13.70	北神鍋公衆便所 （旧西気小横）	8.90

■施設一覧

中分類	施設名	延床面積 (㎡)	施設名	延床面積 (㎡)	施設名	延床面積 (㎡)
その他	城崎町美術館	135.67	旧豊岡自動車教習所	991.63	元職業訓練校	2,025.80
	生涯住宅豊岡展示場	362.82	旧五荘公民館	338.08	旧港出張所	238.84
	旧東保育園	546.21	旧港保育園	481.72	旧港西幼稚園	423.00
	旧奈佐幼稚園	255.00	旧ＪＡ内川支店	729.91	旧中竹野幼稚園	254.00
	旧森本中学校冬季宿舎	640.00	旧大森小学校	810.00	旧竹野いこま荘	1,115.84
	倉庫（今後谷休憩所）	164.07	旧）西気小学校	2,309.00	旧府中幼稚園	343.00
	旧三方農協集出荷場	79.33	旧神鍋高原観光センター	258.67	伊木住宅（旧尾崎邸）	199.90
	伊木住宅（福田邸）	90.59	出石辰鼓楼	115.70	長屋門	46.57
	旧倉品邸	136.88	旧資母幼稚園	251.00	旧高橋診療所	158.00
	旧但東町織物総合センター	626.40	旧但東北中学校	646.00	旧文化財保管施設	165.62
	下谷公民館	45.00	豊岡し尿処理場	2,326.61	旧ごみ焼却場（竹野）	96.97
	旧日高町ごみ焼却場	406.57	旧出石町福住最終処分場	88.52	旧但東町ごみ焼却場	314.00

## ■複合施設一覧

複合施設名	施設名称	中分類	掲載ページ
城崎庁舎	城崎庁舎	庁舎等	27
	城崎地区公民館	公民館	42
	城崎市民センター	文化施設	51
	図書館城崎分館	図書館	54
	城崎子育てセンター	その他子育て支援施設	130
竹野庁舎	竹野庁舎	庁舎等	27
	竹野地区公民館	公民館	42
	図書館竹野分館	図書館	54
日高庁舎	日高庁舎	庁舎等	27
	図書館日高分館	図書館	54
	日高子育てセンター	その他子育て支援施設	130
出石庁舎	出石庁舎	庁舎等	27
	弘道地区公民館	公民館	42
	図書館出石分館	図書館	54
	出石子育てセンター	その他子育て支援施設	130
但東庁舎	但東庁舎	庁舎等	27
	出石分署但東駐在所	消防施設	31
	合橋地区公民館	公民館	42
	但東市民センター	文化施設	51
	図書館但東分館	図書館	54
	東井義雄記念館	博物館・資料館	58
	但東子育てセンター	その他子育て支援施設	130

複合施設名	施設名称	中分類	掲載ページ
八条小学校	八条地区公民館	公民館	42
	八条小学校	小学校	104
	八条第2放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
田鶴野小学校	田鶴野小学校	小学校	104
	田鶴野放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
中筋小学校	中筋小学校	小学校	104
	中筋放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
奈佐小学校	奈佐小学校	小学校	104
	奈佐放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
竹野小学校	竹野小学校	小学校	104
	竹野放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
府中小学校	府中小学校	小学校	104
	府中放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
日高小学校	日高小学校	小学校	104
	日高放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
	日高小学校夜間照明用公衆便所	公衆便所	—
静修小学校	静修小学校	小学校	104
	静修放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
三方小学校	三方小学校	小学校	104
	三方放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
合橋小学校	合橋小学校	小学校	104
	合橋放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
高橋小学校	高橋小学校	小学校	104
	高橋放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
中竹野ふるさと館	中竹野ふるさと館	スポーツ施設	82
	中竹野放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
旧五荘公民館	五荘第2放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
	旧五荘公民館	その他	—
豊岡めぐみ幼稚園	豊岡めぐみ幼稚園	幼稚園	113
	豊岡放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
豊岡ひかり幼稚園	豊岡ひかり幼稚園	幼稚園	113
	豊岡第2放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
三江幼稚園	三江幼稚園	幼稚園	113
	三江放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
五荘奈佐幼稚園	五荘奈佐幼稚園	幼稚園	113
	五荘放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
新田幼稚園	新田幼稚園	幼稚園	113
	新田放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
神美幼稚園	神美幼稚園	幼稚園	113
	神美放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
日高幼稚園	日高幼稚園	幼稚園	113
	日高第2放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
出石幼稚園	出石幼稚園	幼稚園	113
	弘道放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
福住幼稚園	福住幼稚園	幼稚園	113
	福住放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
寺坂幼稚園	寺坂幼稚園	幼稚園	113
	寺坂放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
小坂幼稚園	小坂幼稚園	幼稚園	113
	小坂放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
小野幼稚園	小野幼稚園	幼稚園	113
	小野放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124
八条認定こども園	八条認定こども園	認定こども園	121
	八条放課後児童クラブ	放課後児童クラブ	124

### ※複合施設について

同一の建物内に異なる用途の施設が設置されているものです。

今後の公共施設マネジメントを検討して行く上で個別に検討が必要と考えられるため、本白書においては、それぞれの施設を対象として整理しています。

第3章の分析では大分類「その他施設」を除外しているため、日高小学校夜間照明用公衆便所と旧五荘公民館については、公共施設の総量には含むものの、掲載ページは「—」としました。